

BERNINA®



artista 730

BERNINA®



重要: 当契約書を開封前に必ずお読み下さい。

ベルニナソフトウェア使用許諾契約書

ソーイングおよび刺しゅう用ソーイングシステム（以下、「本システム」といいます）とは、マイクロソフトライセンスング社またはその関連会社（以下、「マイクロソフト社」といいます）の提供のもと、ベルニナ社によって使用許諾を与えるところのソフトウェア、並びにベルニナ社によって所有されるアプリケーションソフトウェアを含みます。これらのマイクロソフト社に帰属するインストール済みのソフトウェア製品およびベルニナ社に帰属するアプリケーションソフトウェアは、それに関連する媒体、印刷物および「オンライン」または電子文書（総称して、以下「本ソフトウェア製品」といいます）を含むものであり、国際著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。ソフトウェア製品はその使用を許諾されるものであり、販売されるものではありません。

当該ユーザー使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）の条項に同意されない場合、お客様に本ソフトウェア製品の使用および複製のいずれも許諾できません。そのような場合、未使用の本ソフトウェア製品を直ちにベルニナ社または購入店へご返品いただければ、お支払いいただいた金額を全額払い戻しいたします。本ソフトウェア製品を使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることを承諾されたものとします。

ソフトウェア製品ライセンス

本契約書はお客様に以下の権利を許諾します。

- ・ **ソフトウェア製品**：お客様はこのソフトウェアを本システムでのみ使用することが出来ます。
- ・ **責任の制限**：ベルニナ社は本ソフトウェア製品に関していかなる責任も負いません。ベルニナ社は、システムにおける本ソフトウェア製品の使用方法を独自に決定し、マイクロソフト社は、ベルニナ社がマイクロソフト社に帰属する本ソフトウェア製品の使用に関する十分なテストをしたと認識するものです。
- ・ **ソフトウェアの保証**：ベルニナ社は本ソフトウェア製品に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェア製品は現状のままの状態、お客様に提供されるものです。品質、適合性、正確さおよび努力に関して発生する一切の損害についての責任は、お客様に帰するものとします。また本ソフトウェア製品の破損によるもの以外の理由による、本ソフトウェア製品の使用の妨害に関しては、一切保証いたしません。本システムまたは本ソフトウェアに関してマイクロソフト社およびベルニナ社に帰属しない保障がなされている場合、当該保障は、マイクロソフト社およびベルニナ社には一切関知しません。
- ・ **JAVAサポートについての注意**：本ソフトウェア製品に、JAVAでかかれたプログラムのサポートが含まれている場合があります。JAVAテクノロジーは、不具合に対して自動的に対応できる機能または性質を持つものではなく、万一不具合があった場合に、死亡、人身傷害、もしくは重大な物損または環境破壊を直接もたらす可能性のある、原子力発電所の操業、航空、生命維持装置または兵器のために使用、または販売されるものではありません。サン・マイクロシステムズ社では、マイクロソフト社への義務として本文を記載することを契約しています。
- ・ **損害責任の制限**：弊社およびマイクロソフト社は、本ソフトウェア製品の使用から生ずる、法律に規定される場合を除いたいかなる他の損害に関しても、一切の責任を負いません。例えば救済処置がその本来の効を奏さなかった場合でも同様です。いかなる場合においても、マイクロソフト社の責任は、250米ドル（US\$250.00）を上限とします。
- ・ **リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限**：お客様は、本契約書を超越する適用法の規定により許可される範囲を超えて、本ソフトウェア製品をリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
- ・ **本ソフトウェア製品の譲渡**：本ソフトウェア製品のユーザーは、本システムの販売または恒久的な譲渡による場合、および譲受人が本契約書に同意する場合にのみ、本ソフトウェア製品の権利を譲渡することができます。本ソフトウェア製品がアップグレード版の場合は、それ以前のすべてのバージョンを含めて譲渡するものとします。
- ・ **輸出規制**：マイクロソフト社の提供による本ソフトウェア製品は、アメリカ合衆国製品です。お客様は、マイクロソフト社のソフトウェア製品に適用される、アメリカ合衆国の輸出規制を含むすべての国際法および国内法の規定に従い、アメリカ合衆国および他の国政府によって輸出規制が出されているエンドユーザーおよび国に対して、本ソフトウェア製品を輸出しないことに同意したものとします。マイクロソフト社製品の輸出に関する情報については、www.microsoft.com/exporting/をご覧ください。

安全にご使用いただくために

当製品のご使用にあたっては、電化製品を使用する際の一般的な順守事項に加えて、以下の注意事項を必ずお守り下さい。

また、ご使用の前には必ず説明書をご一読の上、操作方法を十分理解してから、ご使用下さい。

当製品をご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから外しておいて下さい。



危険！

感電、火災の恐れがあります。次の注意事項をお守り下さい。

1. プラグをコンセントに接続したままで、ミシンから離れないで下さい。
2. ご使用後、またはミシンの掃除をする際には、必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。



警告！

感電、火災、けがの原因になります。次の注意事項をお守り下さい。

1. おもちゃとして絶対にご使用にならないで下さい。また、小さなお子様の近くでのご使用時は、特別の注意をお願い致します。
2. この説明書の記載内容に従ってご使用下さい。また、ベルニナ社がお勧めする付属品のみをご使用下さい。

3. 次のような場合には、当製品の使用を避けて下さい。
 - ・ ミシン、フットコントローラーのコード、プラグに傷があるとき。
 - ・ ミシンが正常に作動しないとき。
 - ・ 落としたり、損傷したとき。
 - ・ 水の中に落としたとき。このような場合には、お近くのお買い上げ店に、ミシンの点検、修理、調整のご依頼をお願い致します。
4. ミシンの通気孔をふさがないで下さい。また、ミシンの通気孔に糸くずやほこり、布きれが詰まった状態で使用しないで下さい。モーターの過熱の原因となります。
5. 操作中は、動く部品に指を近づけないで下さい。特に針の回りでは、細心の注意を払って下さい。
6. 常に当製品専用の針板をご使用下さい。まちがった針板のご使用は、針折れを起こします。
7. 曲がった針は使用しないで下さい。
8. 裁縫中に布を引っ張ったり、押し込んだりすると、針をいため、針折れの原因となります。
9. 糸、針、ボビン、押え金等を交換する際には、ミシンの電源スイッチを切って下さい。
10. ミシンカバーを外したり、注油、又は説明書に従って調整する場合には、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。
 11. ミシンやフットコントローラーの隙間からものを入れたり、差し込んだりしないで下さい。
 12. 戸外では使用しないで下さい。

- 1 3. 酸素ガス等の引火性のあるスプレーを使用している場所では、使わないで下さい。
- 1 4. プラグをコンセントから抜く前に、必ずミシン本体の電源を切ってください。 **この製品は家庭でのご使用を対象として製造されております。**
- 1 5. プラグをコンセントから抜く場合には、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜いて下さい。
- 1 6. 以上の使用方法を順守しないために生じた損害に対しては、いかなる場合も当社は責任を持ちかねますので、ご了承下さい。
- 1 7. ミシンの修理には、必ず専用の部品を使ってください。
- 1 8. 刺しゅう機の使用中は、そばを離れないようにご注意ください。

！ この説明書は必ず大切に保存してください

artista 730

ベルニナご愛用者の皆様へ

この度は、ベルニナ・ソーイング・コンピュータ・アーティスト 730 をご購入いただき誠にありがとうございます。今日、市販されている最高のミシンを使って、真のクリエイティブなアートを追求していかれることを願っております。

このソーイングおよび刺しゅう用のミシンには、未来を見据えた最新のテクノロジーが満載されており、皆様の「趣味」をクリエイティブなアートへと高めるお手伝いをさせていただきます。また、従来のベルニナのハードウェアおよびソフトウェアとの接続のみでなく、マイアーティストポータルとの直接接続もできるようになっておりますので、いつでも最新のソーイングおよび刺しゅうに関する情報を直接ダウンロードすることが可能になっています。



ベルニナ社では、みなさまに、アーティストのソーイングシステムをフルに活用して、楽しんでいただきたいと存じます。

アーティストについて、何かご質問等ございましたら、いつでも最寄りのお買い上げ店にお問い合わせください。

みなさまに、クリエイティブなソーイングタイムを楽しみ、心からご満足いただくことが、私の心からの願いです。

A handwritten signature in black ink, which appears to read 'H. P. Muriel'.

ハンスペーター・ウルチ

代表取締役社長

フリッツ・ゲガウフ株式会社、ベルニナミシン製作所

CH-8266 Steckborn, Switzerland

Discover your creative wings.

BERNINA®

発行者欄

アーティスト 730 ソーイング・エンブroidアリー・コンピューター説明書

テキスト・ソーイング・エンブroidアリープロジェクト	Susanne Festi, Franziska Kiener, Herbert Stolz, Anna Tiberini
写真	Ben Wiesenfarth, Konstanz* S.8,9,Dividers Sewing/Embroidery
図面	Muller-Melzer ID, Kreuzlingen
ビットマップ	Herbert Stolz, Steckborn
デザインコンセプト	Silvia Bartholdi, Schaffhausen
表紙裏作品	Marlis Bennett, USA
タイプセッティング・レイアウト DTP	Silvia Bartholdi, Roswitha Taubert
印刷	Heer Druck AG, Sulgen
版權	©2005 by Fritz Gegauf AG, Steckborn

許可なくして複製する事を禁ずる
製品の改良にあたり、事前の通達なく、当該製品の全ての
機能及び性能に関して変更するための権限は当社に帰属します

目次

	安全にご使用いただくために	1
	ご挨拶	3
ソー ー イ ン グ	ミシンの概略説明	7
	実用縫い	35
	飾り縫い	73
	レタリング	97
	ボタンホール縫い	109
	キルトステッチ	135
	パーソナルプログラム	153
	ステッチ組合せの保存および削除	157
	セットアッププログラム	163
	ソーイングおよびミシンに関するサポート	177
刺 し ゅう	周辺機器の接続について	191
	刺しゅう機について	195
	刺しゅうに関する重要な情報	215
	刺しゅう	223
	モチーフの保存および削除	247
	刺しゅうに関するサポート	253
	周辺機器およびアクセサリーについて	259
	用語解説	265
	ステッチ一覧表	268
	刺しゅう用デザインカタログ	274
	索引	279

第1章 ソーイングの部

ミシンの概略説明
7-34



実用縫い
35-72



飾り縫い
73-96



レタリング
97-108



ボタンホール縫い
109-134



キルトステッチ
135-152



パーソナルプログラム
153-156



ステッチ組合せの保存および削除
157-162



セットアッププログラム
163-176



ソーイングおよびミシンに関するサポート
177-190



周辺機器の接続について
191-194





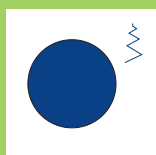
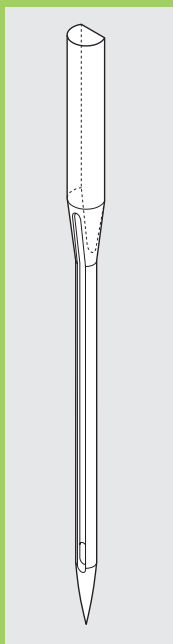
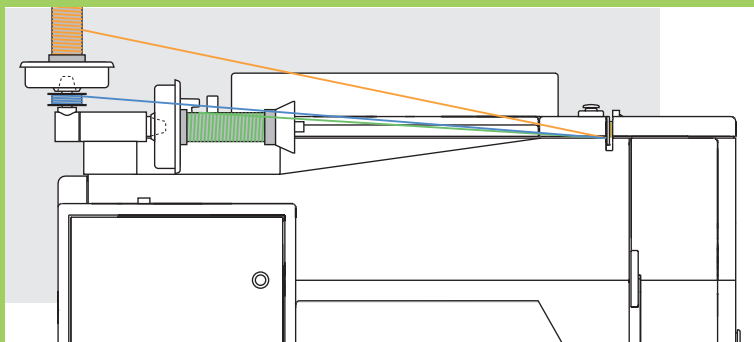
ミシンのセットアップ方法 **8**

操作説明 **11**

スクリーンの表示 **23**

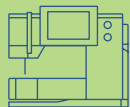
外部機能 **28**

オンスクリーン機能 **29**



The Sewing Computer

各部の名称



前面

ミシンの準備



背面

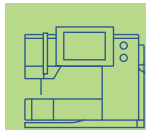


左側面

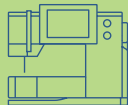


右側面

- 1 釜開閉ふた
- 2 針板
- 3 ソーイングヘッド
- 4 縫い縫い刺しゅう枠（オプション）取付け穴
- 5 押え金
- 6 針止めネジ
- 7 針元系案内
- 8 上糸系通し機
- 9 ソーイングレンズ取付け腕（オプション）
- 10 天秤カバー
- 11 上糸掛け糸道
- 12 天秤
- 13 下糸巻き案内
- 14 針元返し縫いボタン
- 15 一模様縫い機能ボタン
- 16 お気に入り機能ボタン
- 17 自動糸切り
- 18 スクリーン
- 19 糸巻きスイッチ／糸切り
- 20 実用縫いグループ選択ボタン
- 21 模様縫いグループ選択ボタン（16/4方向縫い）
- 22 文字グループ選択ボタン
- 23 ボタンホールグループ選択ボタン
- 24 キルトステッチ選択ボタン
- 25 パーソナルプログラムボタン
- 26 刺しゅう模様縫いグループ選択ボタン
- 27 振り幅調節つまみ
- 28 送り長さ調節つまみ
- 29 針基線選択ボタン
- 30 クリエイティブコンサルタントボタン
- 31 チュートリアルボタン
- 32 ≪c l r≫クリヤーボタン
- 33 セットアップ機能ボタン
- 34 スピーカー
- 35 膝押え上げレバー差込口
- 36 キャリングハンドル
- 37 水平式系こまホルダー
- 38 押え金上げレバー
- 39 スライドオンテーブル差込口
- 40 押え圧調節つまみ
- 41 糸切り
- 42 下糸巻取り用糸通しガイド
- 43 系こまホルダー（垂直、収納可能）
- 44 はずみ車
- 45 モデムカード（オプション）、デザインカードおよび刺しゅうカード（オプション）差し込み口
- 46 ヘッドセット差込口（オプション）-モノラル対応
- 47 USB スティック用ソケット
- 48 パソコン接続用 USB ソケット
- 49 刺しゅう機コードソケット差込口
- 50 フットコントローラーコードソケット差込口
- 51 送り歯ドロップブッシュボタン
- 52 電源スイッチ
- 53 電源コードソケット



製品には以下の付属品が入っています。



- ・フットコントローラー

- ・電源コード
- ・膝押え上げレバー
- ・ソーイングテーブル
- ・ソーイングテーブル用縫い目ガイド
- ・保証書
- ・使用説明書
- ・「四季のアート」ソフト解説書(英文)
- ・デザインCD-ROM
- ・インストラクションCD-ROM
- ・デザインおよびチュートリアルUSBスティック
- ・BSR システム
- ・キャリングバッグ
- ・スクリーンタッチ用ペン(スタイラス)

ポケット付きソフトキャリングバッグ

- ほこりや汚れから守ります。
- このカバーはミシンの運搬にも使用可能です。アクセサリ類は、付属のコンパートメントの中に収納できます。



A blue metal cabinet with its doors open, revealing internal shelves and drawers. The cabinet is shown from a front-three-quarter view, highlighting its sturdy construction and organized interior compartments.



❖ ボックスの底についているサポートレッグを、かちんと音がして止まるまで左右に開いて、アクセサリボックスを立てて置きます。

- ❖ 二つのアクセサリーボックスにも、大小一つずつの引出し、ポビン収納ホルダーが2つ、センサー付き押え金（C）用のハンガーが2つ、およびセンサー無しの押え金用ハンガーが一つ装着されています。
- ❖ 押え金用のコンパートメントは、ボックスの中に収納することが可能です。（コンパートメントおよび引出しは、別売りオプションがございますので、追加することも可能です。）
- ❖ ポビンをコンパートメントに収納します。
- ❖ ポビンを取り出すには、コンパートメントホルダー部Aを軽く押します。
- ❖ 押え金は、コンパートメントにつるします。
- ❖ 残りのアクセサリーは、写真に従って収納してください。

❖ ミシンと刺しゅう機を持ち運びするには、ローラー付きのキャリングケースがオプションでご用意されています。

- ・ボビン4個(プラス1個はミシンに装着されています)
- ・針 (130/705H) 1 セット
- ・シームリッパー
- ・小型スクリュードライバー
- ・特殊ドライバー
- ・ブラシ
- ・布ガイド
- ・フォームパッド3枚

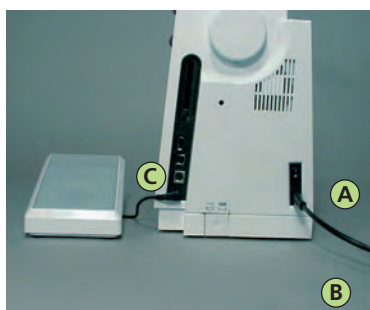
- ・ #1C スーパー模様押え
- ・ #2A オーバーロック押え
- ・ #3C ボタンホール押え
- ・ #3A 布ガイド付自動ボタンホール押え
- ・ #4 ファスナー用押え
- ・ #5 まつり縫い押え
- ・ #8 ジーンズ用押え
- ・ #18 ボタン付け用押え
- ・ #20C オープン刺しゅう押え
- ・ #40C 横送り縫い押え

- ・高さ調節板
- ・糸こまカバー3種類
- ・油さし
- ・USBコード

[illegible]

ミシンのセットアップ方法

電源コード



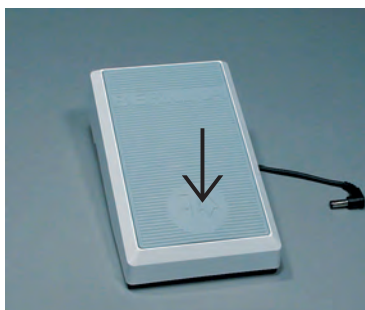
電源コード

- ・プラグAをミシンに接続します。
- ・プラグBを電源コンセントに差し込みます。

フットコントローラー用コード

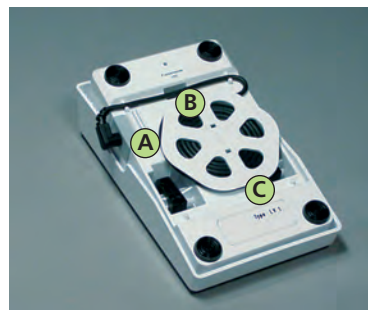
- ・プラグCをミシンに接続します。

フットコントローラー



ソーイングスピード

- ・ペダルの踏み加減でスピードを調整します。
- ・ペダルのかかと部分（矢印）を踏んで針の上げ下げが出来ます。

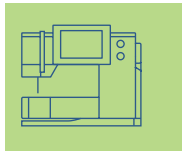


コードの収納方法

- ・裏側に時計方向に巻き取ります
- ・プラグはAの差込穴に差し込みます。

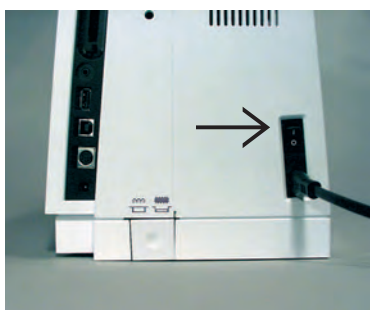
コードの長さの調整方法

コードを必要な長さだけ出して、B又はCのコードホルダーに止めます。



操作説明

電源スイッチ



電源スイッチ

電源スイッチは、ミシンの右側下（矢印）にあります。

1：スイッチはオン

0：スイッチはオフ

工場標準セッティングでは、ミシンをオンにすると照明ランプが点灯、オフで消灯するように設定されています。

！ 「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

膝押え上げレバー（フリーハンドシステム）



押え金の上下

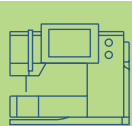
- ・レバーで押え金の上げ下げが出来ます。
- ・膝で右に押します。
- ・押え金上がり、同時に送り歯が下がります。
- ・縫い出すと、送り歯は自動的に上がります。

レバーの取り付け方

- ・レバーの差し込み口は、ミシンの土台の前下方右にあります。
- ・ミシンを正面にして、レバーが膝の右側に来るように座ります。

メモ：
レバーの角度は、調整可能です。最寄りのお買い上げ店にご相談下さい。

スライドオンテーブル



広い作業スペース

- ・作業スペースを広げます。
- ・テーブルがフリーアームになっているのでズボンの脚部やウエストバンドなどの大きな筒縫いが可能です。

取り付け方

- ・針と押え金を一番上の位置まで上げます。
- ・フリーアーム部に差し込み、強く止まるまで押し込みます。

取り外し方

- ・針と押え金を一番上の位置まで上げます。
- ・左方向に引いて、取り外します。



布ガイド

- ・テーブルの手前下の溝に沿って、右または左方向からスライドさせながら差し込みます。
- ・テーブルの幅一杯、どの位置にでも調節できます。

定規

テーブルの定規の《O》は、針基線の中央を基準としています。

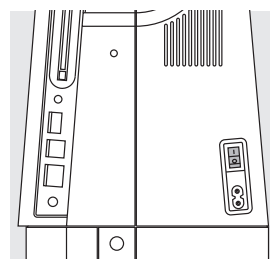
スクリーン操作



アーティストは外部操作ボタンとつまみ、及びタッチスクリーンの両方で操作します。

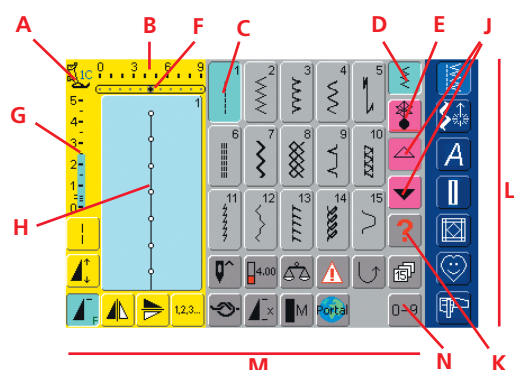
Welcome スクリーン

- ・スイッチを入れてオンにします。
- ・Welcome メッセージが約3秒間画面に表示されます。
- ・このスクリーンはセットアップ機能でメッセージを入れたり、消したりも出来ます。



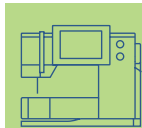
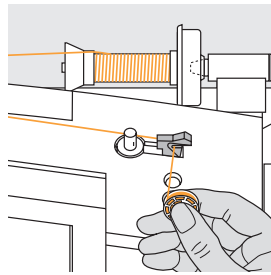
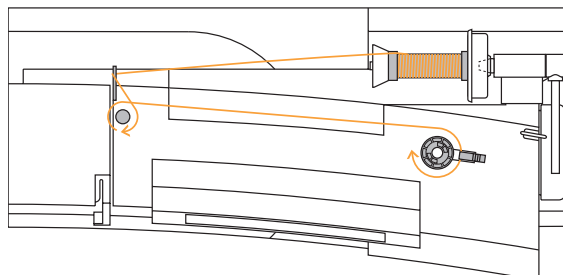
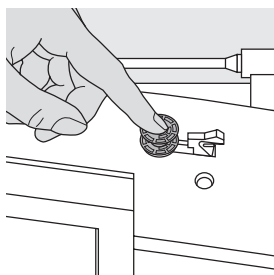
実用縫いスクリーン

Welcome メッセージが消えると実用縫いスクリーンが表示され、次の画面が表示されます。



- A 押え金の表示
- B 振り幅（基本セッティングが常に表示されます）
- C 選んだステッチとその番号
- D シングルモード
- E コンビモード
- F 針基線（11ポジション）
- G 送り長さ（基本セッティングが常に表示されます）
- H 選んだステッチのイラストおよび番号（ステッチ変更エリア）
- J 画面スクロール上下矢印
- K ヘルプのアイコン
- L メイングループのボタン
- M 機能
- N ステッチ番号入力アイコン

下糸の巻き方



下糸を巻く

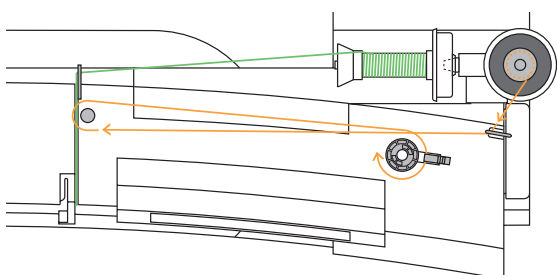
- ・電源スイッチをオンにします。
- ・空のボビンを糸巻き軸にセットします。

糸の通し方

- ・糸こまを、糸立て棒にセットします。
- ・糸を図中の矢印に従い時計回りに一巻きし、空のボビンに数回巻きつけます。
- ・ボビン押えをボビン側に倒します。
- ・下糸の巻取りが、自動的に開始されます。
- ・ボビンが一杯になれば、モーターは自動的に止まります。
- ・ボビンを外します。

糸切り

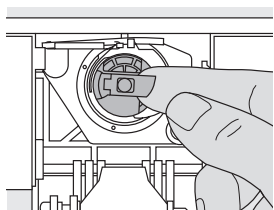
糸切りで糸を切ります。



ソーイングまたは刺しゅう中に下糸を巻くには

- ・糸こまを、垂直式の糸立て棒に立てます。
- ・糸を図中の矢印に従い時計回りに一巻きし、空のボビンに数回巻きつけます。
- ・下糸の巻取り方法については、上記のインストラクションをご覧ください。

ボビンケース

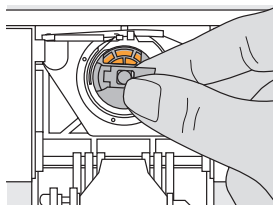


取り出し方

- ・針を上へ上げ、
- ・電源をオフ《○》、
- ・釜開閉カバーを開け、
- ・ボビンケースの爪の部分をつまんで、取り出します

注意

動く部品がありますので、ボビンの取出し、装着等の作業の前には必ず電源スイッチをオフにしてください。またソーイングの際には、釜開閉カバーは必ず閉じて下さい。

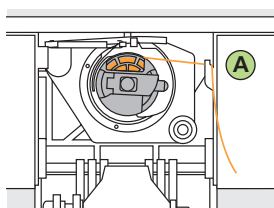


装着方法

- ・爪の部分をつまみ、
- ・ボビンケースの開口部を上にして、
- ・釜に装着します。
- ・開閉カバーを閉めます。

メモ：

通常は、下糸を持ち上げる必要なく、最適な下糸の長さで縫い始められます。

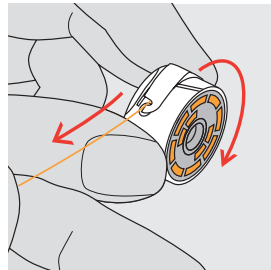
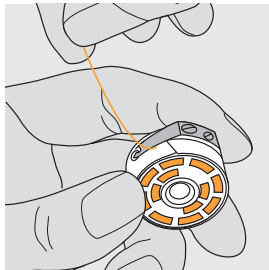
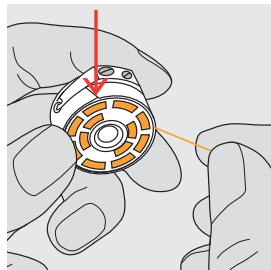
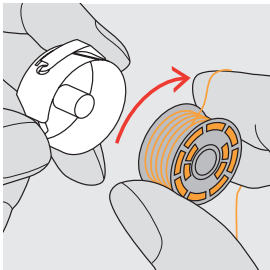


下糸切り

- ・ボビンケースを差し込み、
- ・Aのカッターで余分の糸を切ります。

ボビンの入れ方については、14ページをご参照ください。

ポビンをセットします



ポビンをセットします

- ・糸の巻き方向が時計回りになるように、注意してポビンをポビンケースにセットします。

糸を上糸案内に入れる

- ・糸を時計と反対方向に引きながら上糸案内の中に入れ、

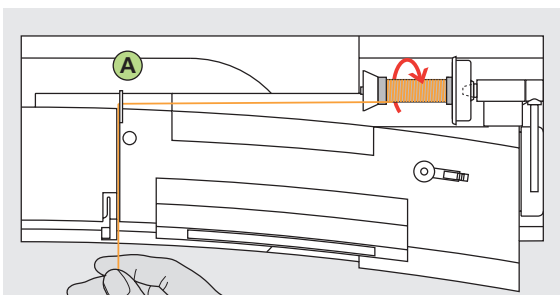
パネの下から糸を引っ張る

- ・パネの下を通して糸がパネの端のT字型溝を通して、だ円形の窓から出るまで引っ張ります。

ポビンが時計回りに回ることを確かめる

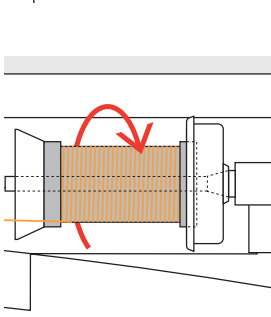
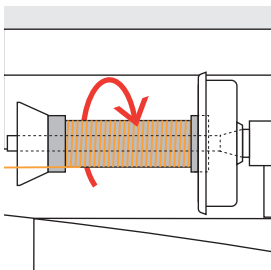
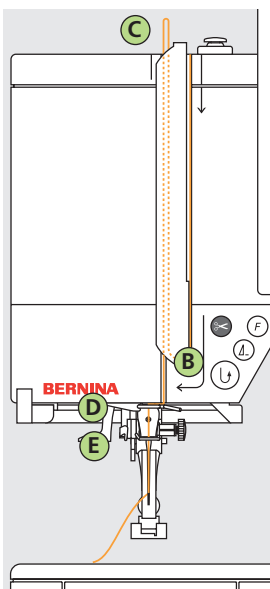
- ・糸の端を引っ張ると、ポビンが図のように時計回りに回ることを確かめて下さい。

上糸のかけ方



糸こまのセット

- ・針と押えを上げて、
- ・電源をオフ《O》にし、
- ・フォームパッドを取り付け
- ・糸が時計回りに回る方向に糸立て棒に糸こまをセットし、
- ・糸こまの直径に合った糸こま押えで固定します。
- ・Aの糸案内に糸を通し、
- ・次に、糸道に通します



下へ

- ・天秤カバーの右側に沿ってBへ、

上へ

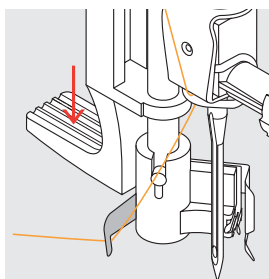
- ・天秤レバーに通しながら、天秤カバーの左側に沿ってCまで通し、

下へ

- ・最後にD、Eそれぞれの糸掛けに通します。

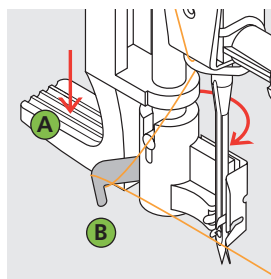
！「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

上糸系通し



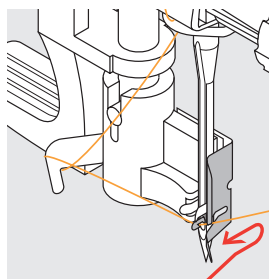
糸をフックに掛ける

- ・ 押え金を下げ、
- ・ 上糸をBのフックに軽くひっかけ、



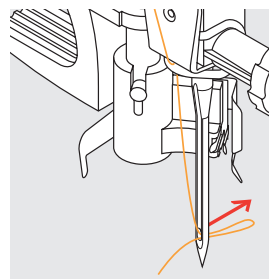
糸通し機のレバーを下げる

- ・ Aのレバーを押し下げ、同時に糸が、Bのフックを回って針の右に来るようにする。



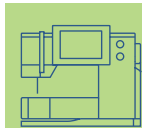
糸を針の前へ

- ・ 糸を正面からガイドの溝に沿って、フックにひっかかるまで押し込みます。

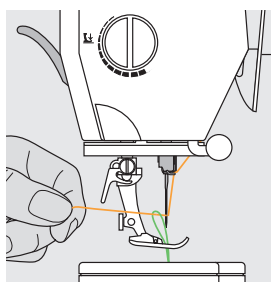


レバーを開放する

- ・ Aのレバーと糸を離せば完了です。
- ・ 輪になっている糸を後ろへ引くと糸が針穴に通ります。

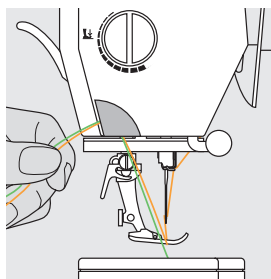


下糸の引き上げ方



- ・ 下糸を糸切りでカットしたときは、下糸を引き上げる必要はありません。
- ・ 上糸を手で持ったままで、
- ・ 一針だけ縫います。
- ・ 上糸を引くと、下糸が上がってきます。
- ・ 両方の糸を押え金の溝を通して、横に引き出し、
- ・ 糸切りで切ります。

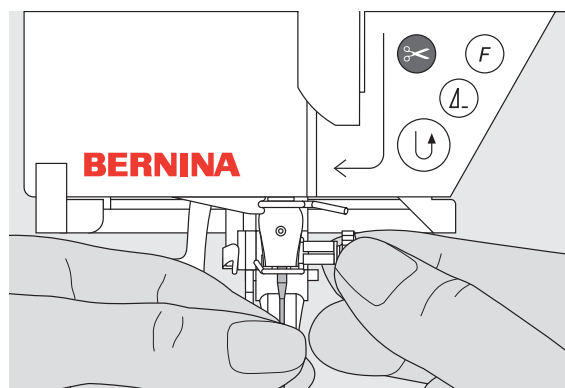
糸切り



- ・ 上糸と下糸両方を、前から後ろの方向へ引っ掛けるようにして糸を切ります。
- ・ そのままで縫い始めると、糸は自動的にはずれます。

注意
特殊な縫い方においては下糸を必ず引き上げることも必要です。

針の交換



針のとり外し方

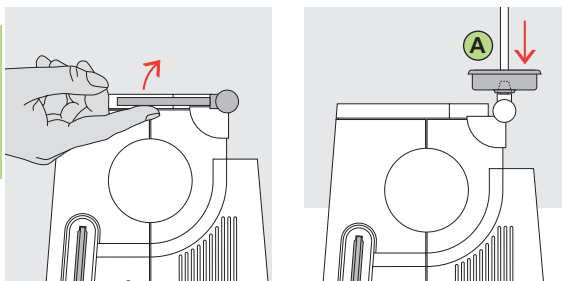
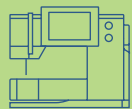
- ・ 針を上げ、
- ・ 電源をオフにしてから、
- ・ 押えを外します。
- ・ 針を下に引いて、外します。

針の取り付け方

- ・ 針の平らな側が後ろになるように持ち、
- ・ そのまま、一杯まで差し込んでから、
- ・ ネジをしめます。

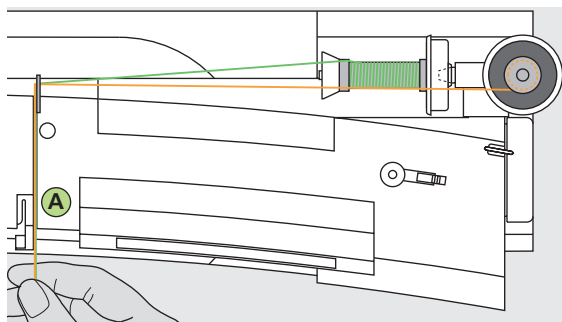
! 「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

補助糸立て棒（垂直式）



垂直式糸立て棒

- ・ビルトインタイプの垂直式の補助糸立て棒が標準で装備されています。
- ・セットの仕方は、図のように、糸立て棒を右に引っ張り出すようにして後ろへ起こします。
- ・戻し方は、糸立て棒を手前に倒すだけです。
- ・2本針など、2本以上の糸を使う時に使用します。



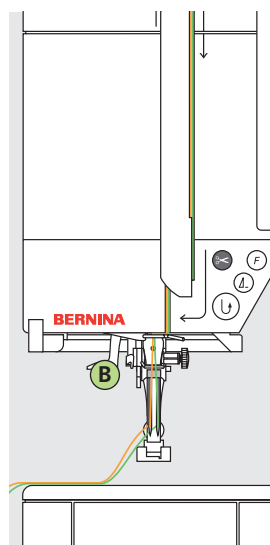
2本針の糸のかけ方

1) 1本目の糸を通すには

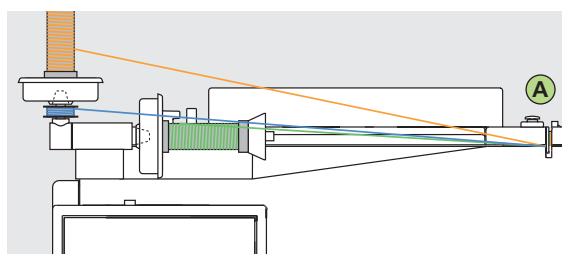
- ・糸立て棒（水平式）に、糸こまをセットします。
- ・上糸案内を通して、Aのテンションディスクの右側に糸をかけます。
- ・ミシンの糸かけは、通常の方法で行ないますが、Bの糸ガイドでは、糸を右側に持ってきて、右側の針に通します。

2) 2本目の糸を通すには

- ・補助糸立て棒に、糸こまをセットします。
- ・上糸案内を通して、Aのテンションディスクの左側に糸をかけます。
- ・Bの糸ガイドでは、糸を左側に持ってきて、左側の針に通します。
- ・途中で糸がからまらないように注意しましょう。



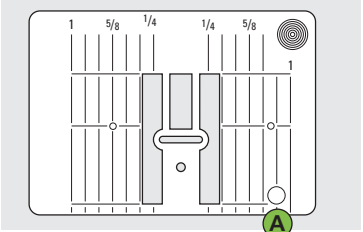
ノート
補助糸ガイド（オプション）を使えば、糸の送りがスムーズになって、糸の流れがスムーズです。



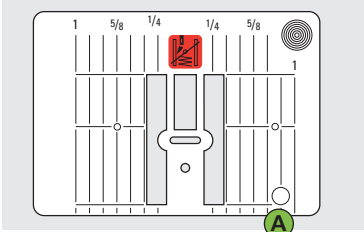
3本針の糸のかけ方

- ・糸立て棒2本と、糸を一杯に巻いたボビン一つ、使います。
- ・糸立て棒（水平式）に、糸こまをセットします。
- ・補助糸立て棒には、ボビンを立て、糸こまディスクで分けて、上にもう1本の糸こまを立てます。（2本の糸こまは、同じ方向に回ることになります。）
- ・Aのテンションディスクの左側に2本の糸が通るようにして、Bの糸ガイドの左側に2本の糸を通します。残り1本の糸は、ディスクの右側を通し、Bの糸案内の右側に通します。

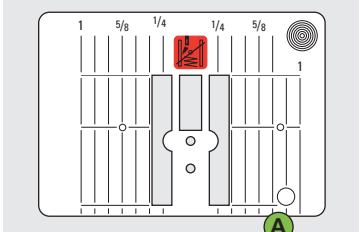
針板



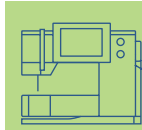
9mm針板



5.5mm針板
(オプション)



直線・刺しゅう用針板
(オプション)



針板上のマーキング

- 針板にはシームガイドラインがミリとインチの両方で表示されています。
- 手前の表示がミリで
- 後方がインチです。
- シームガイドラインは針が針基線センターにある状態で、針とシームガイドラインの距離を示します。

- 針が刺さる位置が針のゼロポジションです。
- 針の左右にミリとインチが表示されています。
- トップステッチなどを縫うときにこのシームガイドラインに沿って布端をガイドします。
- シームガイドラインに直角に引かれているガイドラインは、コーナーやボタンホールを縫うときに、布端の位置合わせに便利です。

針板のはずし方

- 電源スイッチをオフにします。
- 押え金と針を上上げます。
- 送り歯を下げます。
- 針板の右後ろコーナー部分を押し、跳ね上げます。
- 針板をはずします。



針板の取り付け方

- Aの穴をピンに合わせて、
- 針板の右側をまずミシンのベッドに当てながら、針板の左側をきちんと音がしてはまるまで押しつけます。

ご注意：

他の家電製品と同様、モーターおよび電気を使っている関係上、アーティスタ 730 も、使用中は熱く感じられる事がありますが、異常ではありませんのでご安心してお使いください。

針と糸に関する重要事項

針と糸を正しく組み合わせて使用すれば、美しい仕上がりが約束されます。

糸

- 糸は、用途にしたがって選びます。
- 糸は、土台布の種類に合わせて選ぶことがきれいな縫いあがりを得るために大切です。

コットン糸

- コットンは、コットン布を縫うのに使用します。
- シルケット加工されているコットン糸は、光沢があります。

ポリエステル糸

- ポリエステル糸は、ソーイング全般に使えます。
- 非常に丈夫で、色落ちもしません。
- 伸縮性のあるポリエステル糸は、伸び縮みする部分を縫うのに最適です。

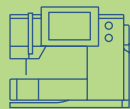
針、糸および布

針と糸の組み合わせには、注意が必要です。

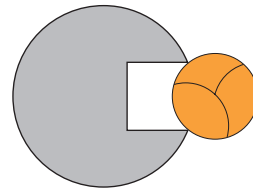
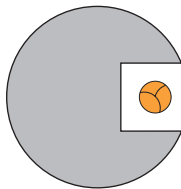
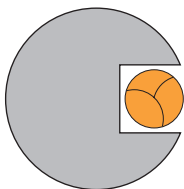
針のサイズは、使用する糸および布の種類によって決まります。布の厚みによって、糸の太さと針のサイズを決めます。

ガイドライン	針番号
薄手の布地には、細い糸（ダーニング用糸、刺しゅう用糸）	#70-#75
中くらいの布地には、ふつうの糸	#80-#90
厚手の布地には、太めの糸	#100,#110,#120

針と糸の組合せ



針と糸を正しく組み合わせるには、まず糸と針のサイズを合わせなくてはなりません。



針と糸の組み合わせが正しい場合

- ・ソーイングの際、糸が、針の後ろにある長い溝の中をスムーズに通じ、きれいな、糸しまりの良い針目となります。

針に対して糸が細すぎる場合

- ・糸が、針の溝の中で不安定な動きをしてスムーズに通じません。
- ・ステッチの仕上がりに大きく影響して、糸が切れる等の問題も生じます。

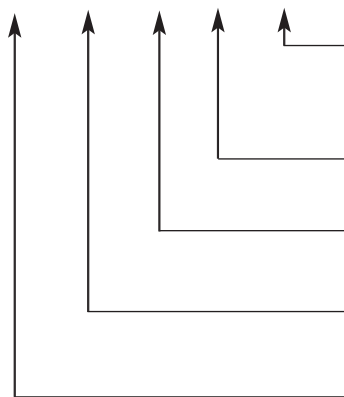
針に対して糸が太すぎる場合

- ・糸が針の溝の外側にはみ出て、針溝の角にこすれ、布地との摩擦などで布縮や縫い目の不揃いの原因になります。
- ・糸切れの原因にもなります。

針について

ベルナナでは、130/705Hの針システムを採用しています。この記号は、シャンクの形および針先の長さと形を意味します。

130/705 H S 70



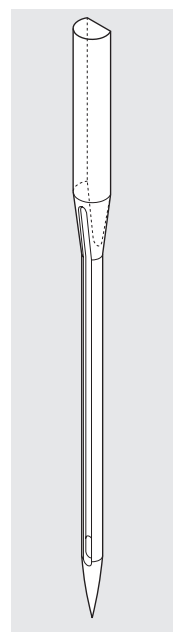
シャンクの直径
=0.7mm (針サイズ)

針先形状 S はミディアムのボールポイント

針のスカーフ

シャンクの形、平らであることを示します。

130 シャンクの長さ

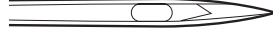
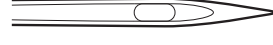
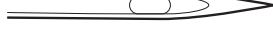
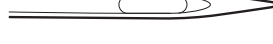
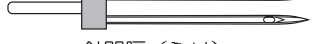


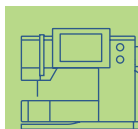
針の状態をチェックするには

- ・針の状態は定期的にチェックして、交換しましょう。
- ・状態の悪い針を使うと、ソーイングがうまくいかないだけでなく、ミシンの調子を悪くする原因にもなります。
- ・新しい作品にとりかかるときには、針を新しいものと交換しておきましょう。

186ページの「トラブルシューティング」もご参照ください。

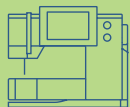
特殊な布ほど、布地に適した針を使い分けることにより、大変縫いやすくなります。

針一覧表針の記号	針先形状	用途	針のサイズ
標準針 130/705H	 通常少し丸みを帯びている	汎用針、化繊や天然繊維の織地、例えば、リネン、シフォン、人絹、オーガンジー、ウール、サテン、ベルベットなど、飾り縫い、刺しゅう	60-100
ジャージー、ストレッチ針 130/705H-S 130/705H-SES 130/705H-SUK	 ボールポイント	ジャージー地、伸縮性の強い生地	70-90
レザー針 130/705H-LR 130/705H-LL	 カッティングポイント	各種天然皮革、合成皮革、ビニールコーティング地、プラスチック	90-100
シーズ針 130/705H-J	 針先強度大	綾織、作業衣、麻、デニム、キャンバス地。目のつんだ生地。	80-110
マイクロテックス針 130/705H-M	 極細ポイント	マイクロ繊維生地およびシルク	60-90
キルティング針 130/705H-Q	 細ポイント	直線縫いおよびトップステッチ用	75-90
刺しゅう針 130/705H-E	 針穴の大きなボールポイント	汎用針、化繊や天然繊維の織地、例えば、リネン、シフォン、人絹、オーガンジー、ウール、サテン、ベルベットなど、飾り縫い、刺しゅう	75-90
メタフィル針 130/705H-MET	 針穴が大きい	メタリック系の刺しゅう用	75-90
コードネット針 130/705H-N	 針穴の縦長なボールポイント	太い糸でのトップステッチ用	80-100
ウイング針 130/705HO	 ウイング針	ヘムステッチ用	100-120
ダブルウイング針 130/705H-ZWI	 ウイング針	ヘムステッチで特殊効果を狙う場合に	100
二本針 130/705H-TWI	 針間隔 (ミリ) 1.1/1.6/2.0/2.5/3.0/ 4.0/6.0/8.0 ミリ	伸縮地のヘム縫いに、ピンタック、飾り縫い、キルティング	70-100
三本針 130/705H-TRI	 巾 3.0 ミリ	飾り縫い、キルティング	80



ベルニナ正規販売代理店では、様々な針を用途に合わせて取りそろえております。

押え金



ノート

押え番号の後の「C」とは、押えにコード化されている9mm ステッチ用のセンサーが取り付けられていることを示します。センサー付きの押え金でステッチを縫うと、振り幅は最大 9mm にプログラムされます。この C の文字は、押え金に印字されていないこともあり、また押え金アイコンでスクリーンに表示されることもありません。



#1C
スーパー模様押え
実用縫い、模様縫い



#2A
オーバーロック押え
オーバーロック縫い、布端かがり



#3C
ボタンホール押え
ボタンホール縫い



#3A
布ガイド付ボタンホール押え
フラットな部分でのボタンホール縫い、自動つくり縫い



#4
ファスナー押え
ファスナー付けに



#5
まつり縫い押え
まつり縫い、エッジ縫いに



#8
シーンズ押え
厚手の固い生地
に直線縫いを
するときに



#18
ボタン縫いつけ押え
ボタン、スナップ
等を縫いつ
けるときに



#20C
オープン刺しゅう押え
刺しゅう、ア
ppリケ、サ
テンステッチ
模様、文字、モ
ノグラム



#40C
横送り模様押え
横送り模様に

ベルニナ特殊押え

ほとんどのソーイングは標準押え金で可能ですが、キルティングや、伝統的な手法を使ったソーイング、クラフト、ホームデコレーション、洋服の仕立てなどの特殊な作業にはベルニナ仕様の特殊な押え金のご使用をお勧めします。最寄のベルニナ正規販売店で買い求めいただけます。

オプション押えの例

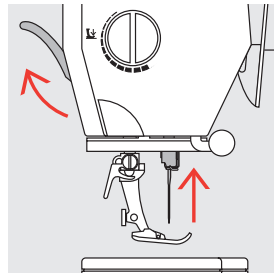


#50
ウォーキング押え
厚い生地や滑りやすい
生地を縫うとき、および
キルティングに最適



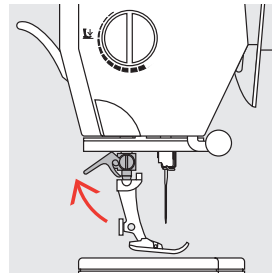
#9
ダーニング押え
ダーニング、モノグラミ
ング、フリーハンドキ
ルティングや刺しゅうに最
適

押えの交換



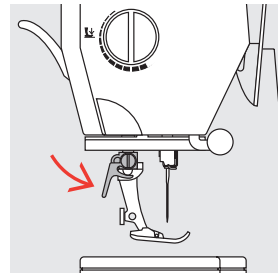
押え金の交換方法

- ・針と押え金を上げ、
- ・電源をオフ《O》にします。



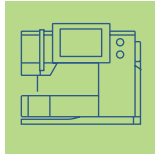
押え金止めレバーを上げる

- ・押え金止めレバーを持ち上げ、
- ・押え金を取り外します。



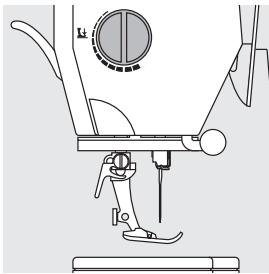
押え金の取り付け方

- ・押え金を上に一杯まで差し込み、
- ・押え金止めレバーを下げます。

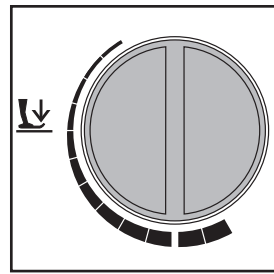


「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

押え圧力調節

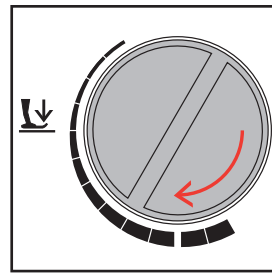


左側面に調節ノブがあります。



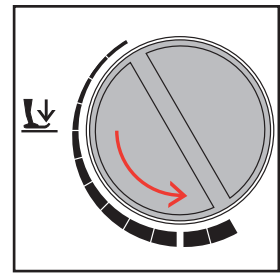
標準押え圧力

- ・通常のソーイング



圧力を下げる

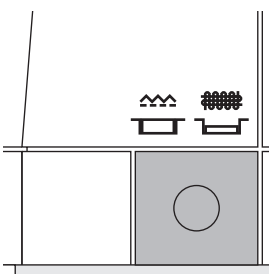
- ・ジャージーやソフトなニット地やキルティングなどに。
- ・生地が伸びるのを防ぎます。
- ・送りに影響を受けない程度に調節します。



圧力を強くする

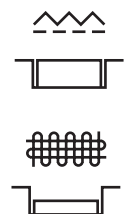
- ・薄地や、滑りやすい薄地やキルティングに。
- ・布送りを良くし、布縮みを防ぎます。

送り歯ドロップ機構

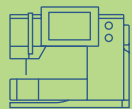


ドロップボタンは右側面にあります。

- ・ボタンの上がっている状態では送り歯は上にあり、普通縫い用の設定となっています。
- ・ボタンを押すと、送り歯が下がり、つくろい縫いや刺繍等、フリーハンド縫い用の設定となります。



送り歯および布の送り

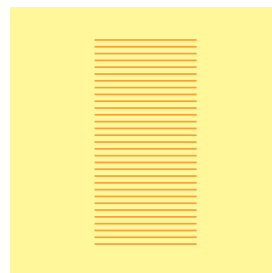


送り歯とステッチの長さ

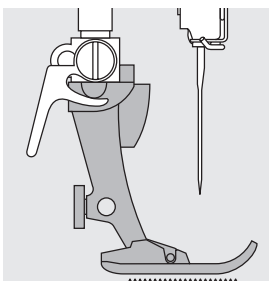
送り歯は、一針ごとにワンステップ進みます。このワンステップの長さは、送り長さで指定した値となります。送り長さを非常に短く設定すれば、送り歯の進みも短くなります。そのため、ボタンホールステッチおよびサテンステッチでは、フルスピードであっても、布の送りは、非常にゆっくりしたものとなります。

重要

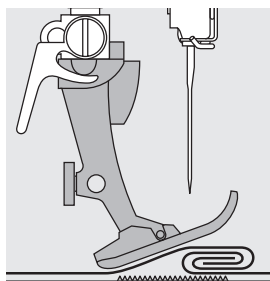
- 布が均等に進むようにしましょう。
- 布を押したり引いたりすると、縫い目が乱れてしまいます。



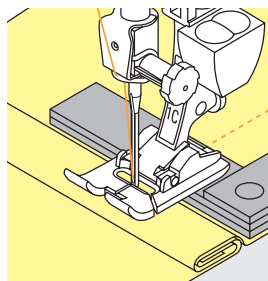
高さ調整板



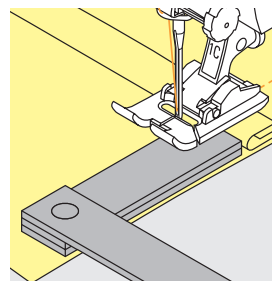
送り歯を正常に作動させるには、押え金全体で布を押さえるようにしてください。



厚手の布地の折り目部分等、押え金と布の間に角度ができてしまうと、送り歯は布をきちんととらえることができず、うまく送れなくなります。

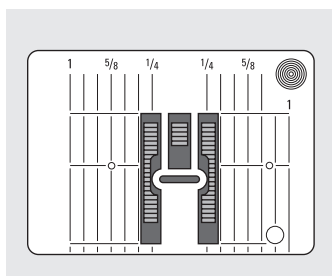


このような場合には、高さ調整用の板を使います。押え金の下、針が落ちる位置の後ろに当てます。必要に応じて、1枚でもそれ以上の枚数使ってもかまいません。

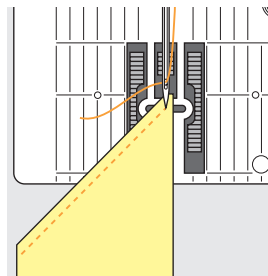


押え金の前方の高さを調整するには、調整板を押え金の右側、針が落ちる位置の横に当てます。押え金が平らになるところまで縫ったら、板ははずします。

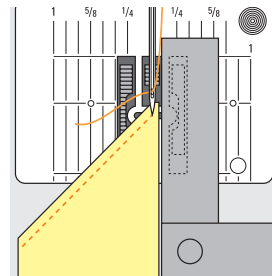
コーナー部分を縫うには



送り歯の間の溝は、針板の穴に合わせてあるため、大きめになっています。

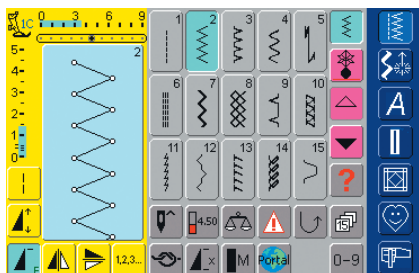


コーナー部分を縫うには、布のほんの少しの部分しか送り歯の上に乗らないので、布をきちんととらえることが難しくなります。



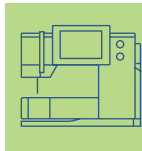
そのような場合には、必要な数の高さ調整板を、布の端にできるだけ近づけて置き、補正します。

模様の選び方、模様の表示、機能



模様の選択

- ・ 縫いたい模様アイコンをタッチして選びます。
- ・ 選んだ模様が青く強調されて表示されます。
- ・ ステッチ操作エリアに選んだ模様と模様の番号が表示されます。

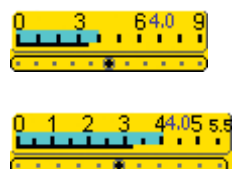


スクリーン・ディスプレイ

振り幅の調節方法

ミシンパネル右上の一番上のつまみを回します。

変更した振り幅は、2 種類の方法で表示されます。



- ・ 振り幅表示0-9（又は 0-5.5）は、横方向の黄色ゾーンに表示されます。
- ・ 変更した振り幅は、振り幅表示で見られます。（ブルーでハイライトされています）。
- ・ 基本セッティングは、変更後もいつでも見ることができます。（ここでは、3.5mmの黒いバー）。
- ・ 変更された模様のセッティングで表示されます。
- ・ 振り幅は0から9ミリの間で変換できます。
- ・ センサー付きの押え金を使用すると自動的に振り幅を最大9ミリにセットします。
- ・ センサーのついていない押え金を使うと自動的に最大振り幅が5.5ミリにセットされます。

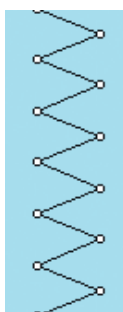
送り長さの調節方法

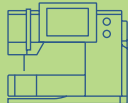
- ・ ミシンパネル右上の上から2番目のつまみを回します。
- ・ 変更した送り長さは、2種類の方法で表示されます。
- ・ 送り長さバー0-5は、黄色で表示されます。
- ・ 変更した送り長さは、送り長さバーで見られます。（ブルーでハイライトされています）。加えて、基本のセッティングは、青い数字で示されます。
- ・ 基本セッティングは、変更後もいつでも見ることができます。（ここでは、1.5mmの黒いバー）。
- ・ 送り長さは、特殊な場合を除いて、0mmから5mmの間で調整できます。



選んだ模様の表示

- ・ 選んだ模様の図が、画面左部分に表示されます。
- ・ 選んだ模様が変更された振り幅や送り長さと一緒に画面上に表示されます。





針基線の移動

- ・ 左<、または右>の針基線プッシュボタンを押します。
- ・ 一回押すたびに、針基線が一つずつ移動します。
- ・ 針の位置を早く移動したい場合には、ボタンを押したままにします。
- ・ バーの中心点は、黒でマークされています。
- ・ 基本のセッティングは、いつでも見ることができます。(グレーでボーダーされています。)



基本押え金表示

- ・ 模様に適した基本の押え金が、スクリーンに番号で表示されます。
- ・ 押え金のアイコンにタッチすると、その他お勧めの押え金が表示されます。
- ・ 押え金が上位置に上がっている場合には、矢印とともに表示されます。



clr

基本セッティングに戻す

- ・ 外部プッシュボタン«clr»を押します。
- ・ 模様などが基本セッティングにもどります。
- ・ 振り幅および送り長さバーの上にある、小さな数字を押しても、基本セッティングに戻すことができます。



機能の選択方法

- ・ 選びたい機能ボタンをタッチします。
- ・ 機能が起動してボタンが青くハイライトされて表示されます。(同時にいくつかの機能を起動することも出来ます。)

- ・ 機能については、29 ページから 33 ページをご参照ください。

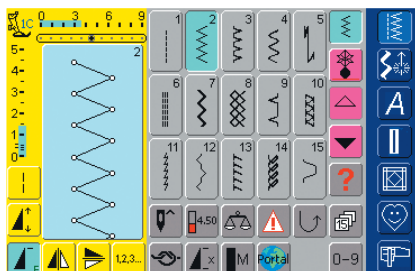
一時的に変更した模様のメモリー

送り長さ、振り幅、針基線等は、自動的に保存されます。ミシンの電源をオフにするか、クリアーボタンを押すと、変更は削除されます。

- ・ 詳しくは 39 ページをご参照ください。

変更したセッティングをずっと保存するには

ベルニナがプログラムした基本セッティングに変更を加え、メモリーに保存することができます。ミシンの電源を切った後でも、保存されたデータはそのまま残ります。その場合も、基本セッティングはいつでも見ることができます。



セッティング（送り長さ、振り幅、針基線、糸調子等）を変更するには

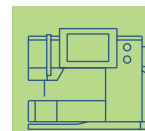
- ・ 変更を加えたい模様を選択します。



画面下の2本のバーについては、156ページ「パーソナルプログラム」をご参照ください。

基本セッティングを変更するには

- ・ 振り幅および送り長さを、外部のつまみで変更します
- ・ 針基線を、外部のボタンで変更します
- ・ ステッチ変更エリア（ブルー）をタッチ。
- ・ 特殊スクリーンが開きます。
- ・ 「セッティングを保存する」をタッチすると、すべての変更が保存できます。
- ・ 「セッティングをリセットする」をタッチすると、基本のセッティングに戻ります。
- ・ ESC をタッチすると、スクリーンは、何も保存も変更もしないままの状態で閉じます。

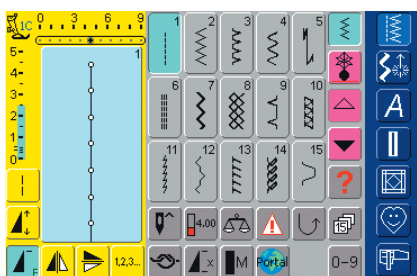


ご注意！

模様がない番号を入力すると、「この番号の模様はありません」のメッセージが表示されます。

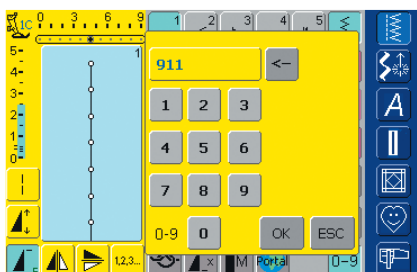
模様の選択方法

模様は、次に挙げるどちらかの方法で選択できます。



画面のスクロール方法

- ・ 画面右のスクロール用矢印▼を一回タッチして下さい。
- ・ 最上段の模様の行が消えて、下から新しい模様の行が現れます。
- ・ 今度はスクロール用矢印▲を一回タッチして下さい。
- ・ 最上段が再び現れて最下段がスクリーンから消えます。
- ・ 押し続けると画面上の模様が下から上に移動します。
- ・ スクロール機能は、模様を見ながら探すのに便利です。
- ・ ある特殊な模様を探している場合等にご利用ください。
- ・ 模様が見つかったら、タッチして選択します。

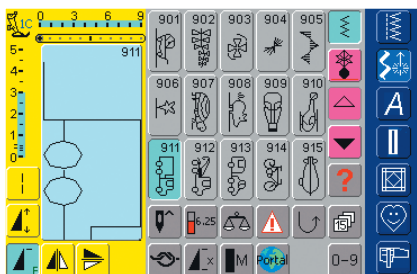


模様を番号で選ぶ方法

- ・ 画面下の機能ツールバーで模様番号選択アイコン《0-9》をタッチします。
- ・ 画面が模様番号選択機能の画面に変わります。
- ・ 選びたい模様の番号を数字ボタンで入力します。
- ・ 画面上に入力した番号が表示されます。

入力の訂正方法

- ・ 間違った番号を入れたり、番号を変更したい時は、右上のスクロール機能 [←] アイコンをタッチします。
- ・ 下の桁から一つずつ数字を消します。
- ・ 番号の表示されている部分をタッチすると、全部の番号が一時に消えます。
- ・ 正しい番号を入力します。



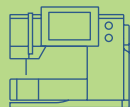
番号を確認して次の画面へ

- ・ 《OK》ボタンをタッチして確認します。
- ・ 選んだ模様がステッチ操作画面に表示されます。
- ・ 番号で選んだ模様が青く表示されます。

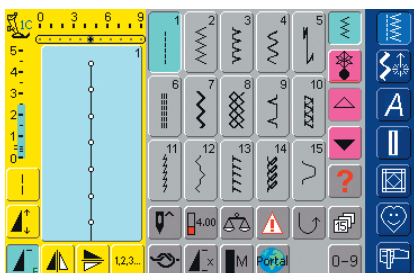
前の画面へ戻る

- ・ 《ESC》アイコンをタッチします。
- ・ 元の画面が現れます。
- ・ 番号で入力したあと《OK》をタッチして模様を確定します。
- ・ 《ESC》アイコンは模様選択のキャンセルを意味します。

模様を選んでみます



実用縫い



メイングループボタン

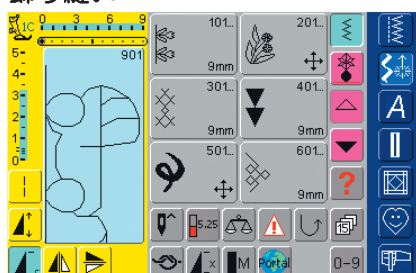
- ・ プッシュボタンを押します。
- ・ 模様画面が選択されました。
- ・ ステッチのパターンまたは全体像が表示されます。



実用縫いメニューボタン

- ・ 実用縫い模様画面が現れます。
- ・ 画面には15種類の模様が表示されます。
- ・ 他の模様を画面に表示するにはスクロール矢印をタッチします。

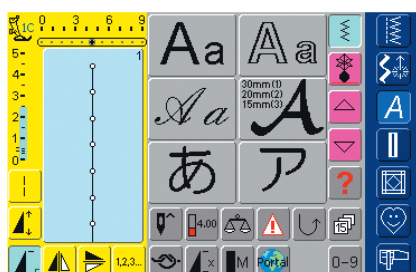
飾り縫い



飾り縫いメニューボタン

- ・ 飾り縫い模様メニュー画面が現れます。
- ・ 6種類のステッチグループが表示されます。
- ・ 他の模様グループを表示するには▲▼アイコンで画面をスクロールさせて下さい。
- ・ 他の模様グループを選べます。
- ・ 横送り模様グループでは十字の矢印マークが表示されています。
- ・ 模様グループアイコンをタッチして選びます。

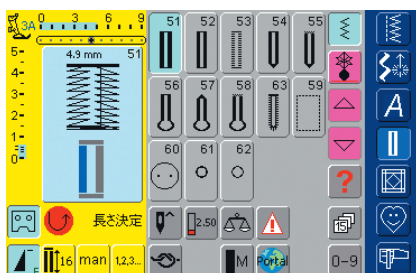
文字



飾り縫いメニューボタン

- ・ 飾り縫い模様メニュー画面が現れます。
- ・ 6種類のステッチグループが表示されます。
- ・ 他の模様グループを表示するには▲▼アイコンで画面をスクロールさせて下さい。
- ・ 他の模様グループを選べます。
- ・ 横送り模様グループでは十字の矢印マークが表示されています。
- ・ 模様グループアイコンをタッチして選びます。

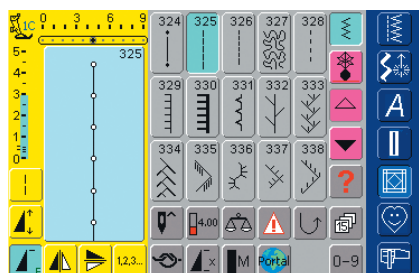
ボタンホール



ボタンホールメニューボタン

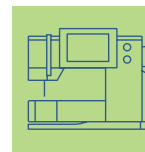
- ・ ボタンホールメニュー画面が現れます。
- ・ アイレットや、ボタン付けプログラムも含まれています。

キルトステッチ

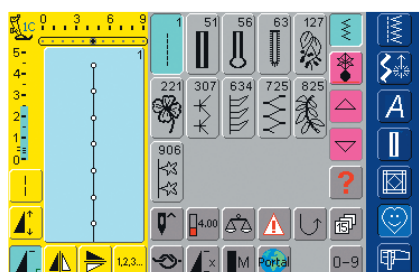


キルトステッチメニューボタン

- ・ キルトステッチの画面が現れます。
- ・ 縫いたい画面のボタンをタッチします。
- ・ 各グループの模様画面が現れます。



パーソナルプログラム



パーソナルプログラムボタン

- ・ パーソナル画面が表示されます。(セッティングが、カスタマイズされています)

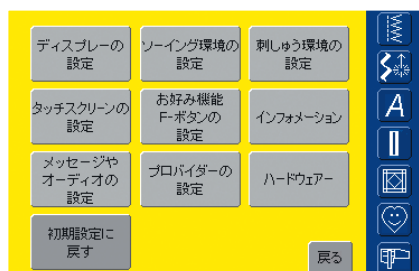
刺しゅうモード/ソーイングモード



刺しゅうモード/ソーイングモード切替ボタン

- ・ 刺しゅうからソーイングに、またはソーイングから刺しゅうにと転換できます。

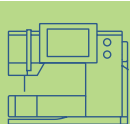
セットアップ・メニュー



セットアップ・ボタン

- ・ セットアップボタンを押します。
- ・ セットアップ・メニューが現れます。
- ・ 各機能をご利用し易いようにセットアップ機能を使って設定します。
- ・ パーソナルセッティングを恒久的に保存できます。
- ・ 必要な時にいつでも基本セッティングに戻せます。

外部機能ボタンの解説



針基線ボタン

- ・ 左、または右のボタンを押します。
- ・ 針基線が選んだ方向へ移動します
- ・ 速く操作したい場合には、ボタンを押したままにします。
- ・ 11の針基線が選択できます。(左右それぞれ5、中心1)



セットアップボタン

- ・ セットアップボタンを押します。
- ・ ご自分に使い易く、便利に機能やステッチをセット出来ます。
- ・ 電源を切ってもセットアップの状態は消えません。
- ・ いつでも基本のセッティングに戻すことも出来ます。



チュートリアル(説明書)ボタン

- ・ チュートリアルボタンを押します。
- ・ 操作説明、布、針またはテクニック等に関するアドバイスが表示されます。



ビルトイン自動糸切り

- ・ 糸切りの外部ボタンを押します。
- ・ 上糸と下糸の両方が、自動的にカットされます。

スクリーン外部機能

重要：
ビルトイン自動糸切りを操作する前に、針を最上点に上げてください。



クリエイティブコンサルタント

- ・ クリエイティブコンサルタントボタンを押します。
- ・ 布、針またはテクニック等に関するアドバイスが表示されます。

クリエイティブコンサルタントについては、181ページをご参照ください。



手元返し縫いボタン

- ・ 返し縫いしたい場所で針元にある「手元返し縫いボタン」を押します。
- ・ 縫い始めや縫い終りに止め縫いします。
- ・ 押している間返し縫いを続けます。
- ・ ボタンホールのサイズをプログラムしたり、自動つくろい縫いで長さをプログラムしたりするのに使います。
- ・ 自動直線止め縫い#5のステッチでもスイッチとして使います。
- ・ キルティング用の止め縫いプログラムは、#324です。
- ・ 刺しゅう機(オプション)を使うときは、スタートまたは、ストップボタンとして機能します。



《clr》クリアボタン

- ・ clr ボタンを押します。
- ・ 振り幅、送り長さ、針基線が基本セッティングに戻ります。
- ・ ほとんどの機能がリセットされます。
- ・ 安全に関する機能(針停止位置、セキュリティプログラムおよびソーイングスピード等)は、例外としてクリアボタンではキャンセルできません。



《F》(お気に入り機能)ボタン

- ・ このボタンはいかようにも、ご自分の好みの機能をプログラムして使うことが出来ます。
- ・ プログラムされた機能は、「F」のマークがついて表示されます。
- ・ キャンセルすることも、何度でもプログラムし直すことも可能です。



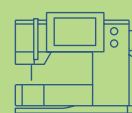
一模様縫いボタン

- ・ ソーイング中に押すと、その模様のパターンを縫い終った時点でミシンを自動的に止めます。
- ・ メモリーを使ったステッチの組合わせを一回だけ縫う時にも使えます。

詳しくは、170ページをご参照ください。

一般的な機能

以下の機能は、アーティスト730のほとんどのスクリーンおよびプログラムで使われるものです。どのプログラムにおいても、機能の内容および使い方は同じです。



スクリーン操作機能



シングルモード

- ・ ミシンの電源をオンにすると、いつでも自動的にアクティブ（ブルー表示）になります。
- ・ 選んだ模様のみを縫う機能です。



コンビモード

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ コンビモードがアクティブ（ブルー表示）になり、模様の組合せをプログラムすることができます。



上にスクロールする

- ・ 一回タッチするごとに画面が上にスクロールします。
- ・ 続けてスクロールさせるにはアイコンをタッチし続けてください。



下にスクロールする

- ・ 一回タッチするごとに画面が下にスクロールします。
- ・ 続けてスクロールさせるにはアイコンをタッチし続けてください。



《？》ヘルプ機能

- ・ ヘルプアイコンをタッチします。
- ・ 続けて知りたいアイコンをタッチします。
- ・ 選んだアイコンの説明が表示されます。
- ・ 《ESC（戻る）》を押すと、閉じます。

ご注意：《？》アイコンをタッチすると、ミシンは休止状態になります。再度縫い始めるには、画面をタッチしてください。



《ESC（戻る）》エスケープ機能

- ・ 《ESC（戻る）》アイコンにタッチします。
- ・ 機能の完了や画面の終了を指示します。
- ・ 以前の画面に戻ります。

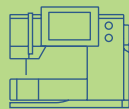


《OK》アイコン

- ・ 確認ボタンです。
- ・ いろんな機能や、指示命令を確認できます。

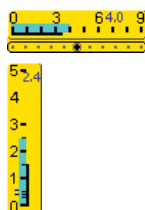
便利な機能

以下の機能は、アーティスタ 730 のプログラムの中でよく使われるものです。各プログラムの中で使用できる機能は、スクリーンの黄色い部分、またはグレーの部分の下2列に表示されています。



押え金アイコン

- ・ 選んだ模様の標準押え金の番号が、表示されます。
- ・ アイコンをタッチします。
- ・ その他に選んだステッチで使える押え金の番号が表示されます。
- ・ 押え金が上がっている場合には、矢印とともに表示されます。



振り幅または送り長さの表示

- ・ 振り幅バー、または送り長さバーをタッチすると、基本のセッティングに戻ります。



ロングステッチ

- ・ 機能をタッチして起動します。
- ・ ミシンは2針に一回縫います。(5ミリの送り長さの縫い目では10ミリで縫えます)。
- ・ いろんなステッチとの組み合わせが可能です。
- ・ コンビモードでプログラムして、ファイル引出しに保存することができます。

適用：

- ・ 直線縫いでしつけ縫いに。
- ・ トリプルステッチ直線と使ってトップステッチに。



パターンの拡大2-5倍

- ・ 一回、または何度かタッチします。
- ・ 選んだステッチによって2-5の数字が出ます。
- ・ 選んだステッチの長さを2-5倍に長くすることができます。
- ・ 拡大したステッチでメモリーにプログラムできます。

応用：

- ・ いろいろなステッチを拡大してみましょう。
- ・ ステッチを組み合わせしてみましょう。

メモ：

0-9 のステッチ番号入力アイコンとステッチヒストリーアイコン（最近使用した15のステッチの履歴）は、スクリーン上に常に表示されています。



模様頭出し

- ・ 模様を選択すると、このアイコンは自動的にブルーでハイライトされ、アクティブになります。
- ・ 縫い始めると、機能は解除されます。(黄色表示に戻ります)。
- ・ 機能ボタンにタッチして起動します。
- ・ 針目を模様やメモリーの内容の先頭に戻します。

適用：

- ・ 模様縫い、刺しゅう、ボタンホール縫い、コンビモードを使ったソーイングに。



左右反転

- ・ アイコンにタッチします。
- ・ 選んだステッチが左右の反転模様で縫えます。
- ・ コンビモードでプログラムして、ファイル引出しに保存することができます。

応用：

- ・ まつり縫いのシェルエッジに
- ・ 飾縫い
- ・ メモリーを使ったパターンの組合せ



上下反転

- ・ アイコンにタッチします。
- ・ 選んだステッチが上下の反転模様で縫えます。
- ・ コンビモードでプログラムして、ファイル引出しに保存することができます。

応用：

- ・ 装飾縫い
- ・ メモリーを使ったパターンの組合せ

1,2,3...

ステッチカウンター

- ・アイコンをタッチします。
- ・ボタンホールの1列目や直線縫い等で、希望の長さに達したら、手元返し縫いボタンを押します。
- ・表示が「auto」に変わります。(ボタンホールの場合は、2列目の長さまで手元返し縫いボタンで確定しなくてはなりません。)
- ・これで、一時的にプログラムすることができました。



保存 (セーブ)

- ・アイコンをタッチします。
- ・シングルステッチ、ステッチの組合せあるいは文字や数字を保存します。



削除

- ・アイコンをタッチします。
- ・カーソルの上にあるステッチまたは文字等が削除されます。
- ・ステッチの組合せを削除することもできます。
- ・引出しの内容を削除するのも、ここで行ないます。



組合せの分割 (1)

- ・アイコンをタッチします。
- ・組合せを、いくつかのパートに分割することができます。
- ・分割されたパートは、それぞれ一つの独立したモチーフとなります。



組合せの分割 (2)

- ・アイコンをタッチします。
- ・組合せを、指定したとおりにパートに分割することができます。
- ・一つのパートが完了したら自動でとまります。フットコントローラーを踏めば、そのまま次のパートを縫い始めることができます。



文字のサイズ

- ・文字モードを最初に選ぶと、サイズは9mmに設定されています。(アイコンの①のフィールドが青く表示されます。)
- ・アイコンをタッチします。
- ・サイズが、6mmに縮小されます。(②のフィールドが青く表示されます。)



モノグラムのサイズ

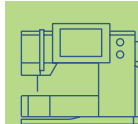
- ・モノグラムモードを最初に選ぶと、サイズは30mmに設定されています。(①のフィールドが青く表示されます。)
 - ・アイコンを一回、または2回、タッチします。
 - ・ブルーのフィールドに、選んだサイズが表示されます。
- ①=30mm (標準サイズ)
②=20mm
③=15mm



マルチ機能ボタン

(コンビモードのみで使用できます)

- ・アイコンをタッチします。
- ・特殊スクリーンが開きます。
- ・SAAでの組合せの削除
- ・組合せの保存
- ・組合せの反転
- ・プレビュー



長さを直接入力する (mm 単位)、またはオンスクリーンでのボタンのサイズ計測

- ・アイコンをタッチします。
- ・ボタンホールの長さ (mm 単位) は、振り幅つまみで直接入力できます。
- ・ボタンのサイズを計測するには、ボタンをスクリーンの左下コーナーに当てて、ボタンの長さを入力します。(表示されたブルーの○を、振り幅つまみを回して、ボタンのサイズに合わせます。)
- ・ボタンの厚みとして、2mmが、自動的にプラスされます。(ボタンのサイズ測定時のみ)



ボタンホールの長さをプログラムする

- ・ボタンホールを選択すると、アイコンが自動的にアクティブ (ブルー表示) になります。
- ・手元返し縫いボタンを使って、ボタンホールの長さを直接決めます。
- ・ボタンホールがプログラムされると、アイコンはオフ (黄色表示) になります。
- ・新しい長さをプログラムする場合には、アイコンをもう1度選択します。



マニュアルによる4ステップまたは6ステップボタンホール

- ・アイコンをタッチします。
- ・特殊スクリーンが開きます。
- ・ボタンホールをマニュアルで、4ステップ、または6ステップで縫います。(ボタンホールのタイプによって、ステップ数を選択してください。)



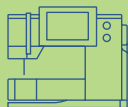
針上下停止位置表示

- ・針上下停止機能ブッシュボタンを押します。
- ・上または下向きの矢印が表示されます。
- ・矢印が下に向いていると、ミシンは常に針が下りた状態で止まります。
- ・もう一度押すと、矢印が反対に向きます。



大文字または小文字

- ・文字を最初に選択すると、大文字がアクティブになります。
 - ・アイコンをタッチします。
- 小文字に移りました。



一点止め縫い（4 針）

- ・ 縫い始める前にアイコンをタッチすると、ステッチの縫い始めを止め縫いできます。
- ・ ステッチの最中にタッチすると、ステッチの縫い終わりを止め縫いできます。
- ・ 組合せと一緒に使うと、各ステッチの縫い始めと縫い終りで止め縫いします。

適用：

- ・ 飾り模様を使ってモチーフを縫う時
- ・ 個々の文字を縫う時
- ・ 文字とステッチの組合せを縫う時



糸調子

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 糸調子のスクリーンが表示されます。
- ・ 糸調子は、変更可能です。
- ・ 選んだセッティングは、画面上の糸調子アイコンに表示されます。
- ・ 34 ページの詳細説明をご参照ください。



一模様縫い1-9

- ・ 繰返し縫う回数だけアイコンにタッチして、セットします。
- ・ 1 = 各ステッチパターン一回、または一組のステッチが終わるたびにミシンが停止します。
- ・ 2 ~ 9 = ステッチや一組のステッチが選んだ回数だけ繰り返された後にミシンは停止します。

応用：

- ・ 各モチーフを縫います。
- ・ 実用縫いと4方向縫いを組み合わせます。



バランス

- ・ アイコンにタッチしてバランス画面を開きます。
- ・ 前進と返し縫いのステッチバランスと縫いのステッチバランスを修正します。
- ・ 右側の画面に今縫えている状態を送りダイヤルと振り幅ダイヤルを使って再現すると、自動的にバランスを調整します。

応用：

- ・ たとえばネットステッチのような実用縫いのステッチを減らしたり増やしたりしてみましょう。
- ・ ちょっと変わった飾縫いを作ってみましょう。
- ・ 生地に合わせてボタンホールのバランスを変える事も出来ます。
- ・ 生地に合わせて横送り縫いのステッチを合わせてみましょう。



ソーイングスピード

- ・ アイコンを一回ずつタッチすると1/4、2/4、3/4、4/4 の表示が現れ、最高スピードを制御します。
- ・ 各スピード域でのトップスピードを、各225 針、450 針、675 針、900 針/分にコントロールします。

適応：

- ・ 刺しゅうなどの細かい複雑な作業での正確なスピードコントロールに。
- ・ フリーハンドキルティングなどに。
- ・ お子様の実習に。



セキュリティ（安全）プログラム

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 安全プログラムクリーンが表示されます。
- ・ ご使用の針板のアイコンを選ぶと、選んだ針の種類によって、振り幅が自動的に制限されますので、2本針等が押え金や針板に当たって折れてしまう事故を防ぐことができます。
- ・ 2本針または3本針についている番号は、針間の距離（mm 単位）を示しています。
- ・ 機能がオンになると、アイコンはスクリーン上で赤く表示されます。
- ・ 選んだ機能は、ミシンをオフにするまでアクティブのままです。
- ・ 選んだ安全プログラムをオンにするには、「OK」アイコンをタッチします。
- ・ 新しい針や針板を使う場合には、必ず事前のプログラムを選びなおして下さい。

適用

- ・ ピンタックまたはヘムステッチに。
- ・ ニットのヘム処理をするときに。
- ・ 飾り縫いに。
- ・ 特殊な布を縫うとき。



連続返し縫い

- ・アイコンにタッチします。
- ・連続して返し縫いで縫えます。
- ・もう一度タッチして終了します。

応用：

- ・直線縫いやランニングステッチで縫い縫いに便利です。
- ・袖やズボンに装飾縫いをしてみましょう。
- ・ギルティングにも使えます。



ステッチ・ヒストリー（履歴）

- ・アイコンをタッチします。
- ・最近使用した、15個までのステッチが、スクリーンに表示されます。
- ・すでにヒストリーに入っているステッチを、もう一回縫った場合には、上書きされます。
- ・同じステッチでも、セッティングの異なるものは、パーソナルプログラムに保存するようにします。
- ・必要なステッチを選択すると、ステッチ変更エリアに表示されます。
- ・ステッチを縫うと、必ずヒストリーに記録が残ります。
- ・ミシンの電源をオフにしても、消えません。

適用：

- ・一つの作品の中で入れ替わり立ち代りいろいろなステッチを同じセッティングで何度でも使うことが出来ます。



マイアーティスタポータル

- ・モデムまたはイーサネットカードを使います。
- ・アイコンをタッチします。
- ・最初のメッセージを「YES」で確定し、2番目のメッセージは「OK」で確定します。
- ・マイアーティスタポータルのサイトへ接続されます。

イーサネットカード

- ・ミシンが直接インターネットに接続します。
- ・接続が完了すると、マイアーティスタポータルのサイトが自動的に表示されます。

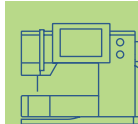


ステッチ番号入力

- ・アイコンをタッチすると、特殊スクリーンが表示されます。
- ・テンキーボードからステッチ番号を入力します。
- ・「OK」をタッチして、選択を確定し、ステッチを SAA に呼び出します。

応用：

- ・各ステッチをすばやく選べます。
- ・コンビモードでのステッチ組合せもすばやく処理できます。



メモリーボックス（メモリーファイル出し）

- ・アイコンをタッチします。
- ・引出しのスクリーンが開きます。

下糸の残量

- ・このアイコンは、下糸の残量が少なくなったときに表示されます。（5-6メートルを残す状態になったとき）。
- ・下糸をチェックし、必要ならば巻きます。
- ・下糸が空になってしまった場合には、ミシンは自動的に停止します。



送り歯センサー

- ・送り歯が下がっている場合には、このアイコンが、押え金表示の下に現れます。

糸調子

基本的な糸調子のセッティングはステッチやプログラムを選んだ時に、自動的に調節されています。

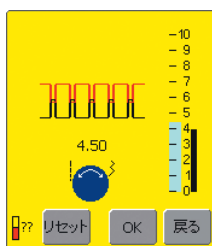
糸調子は工場ではポリエステル100/2の糸でベストの仕上がりになるようにセットされています。

当然刺繍糸のように特殊なタイプの糸を使えば糸調子も変わって来ますので、このような場合には布地とステッチの種類に合わせて調整する必要があります。



糸調子

- ・ アイコンをタッチします。



糸調子を変えてみよう

- ・ 糸調子の画面が現われる。
- ・ 完璧なステッチの形が画面左側に示されます。
- ・ 標準セッティングがブルーのバーで示されています。
- ・ 振り幅または送り長さつまみを回して、テンションを変えてみます。
- ・ 反時計方向＝糸調子を弱くします。
- ・ 時計方向＝糸調子を強くします。
- ・ 糸調子は、数値で糸調子スケールの左側に表示されます。
- ・ 上糸調子を強くすれば、下糸がより強く布の表面に引き出されるように画面に表示されます。
- ・ 上糸調子を弱めれば、上糸がより強く布の裏面に引き出されるように画面に表示されます。
- ・ 糸調子の調整は、選んだステッチのみに有効で、標準に戻したい場合には、「clr」ボタンを押します。また、ミシンの電源をオフにすれば、標準に戻ります。
- ・ テンション調整がビジュアルに画面上に表示されます。
- ・ 標準のセッティングは、常に画面上で黒いバーで表示されています。

一時的に保存して閉じるには

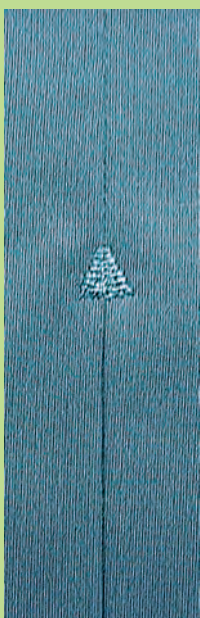
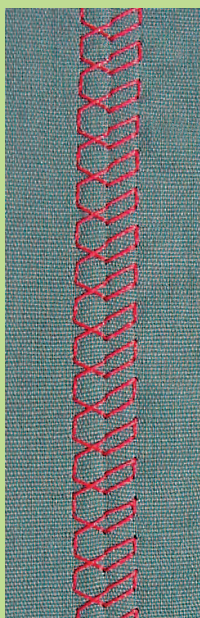
- ・ ≪OK≫アイコンにタッチして下さい。
- ・ 変更した状態で一時的なメモリーに保存され、画面は閉じます。
- ・ 電源を切るか、リセットするまでは変更した状態で縫います。

基本セッティングに戻す

- ・ ≪リセット Reset≫アイコンにタッチして下さい。
- ・ 「OK」アイコンにタッチして、確定します。
- ・ 変更はリセットされ、標準セッティングに戻ります。

調整しない場合

- ・ 画面を開いたけれど、何も調整しない時は、「ESC」アイコンをタッチします。
- ・ 糸調子は変更されずに、元の画面に戻ります。



実用縫いステッチについて 36

一般的な知識 38

ステッチメモリー 39

ロングステッチ 40

直線縫い 41

直線縫い1番 ・返し縫い5番 ・エッジステッチ
ファスナー付け ・トリプルステッチ
しつけ縫い

ジグザグステッチ 50

ジグザグステッチ2番 ・ジグザグシーム ・トリ
プルジグザグ

まつり縫い 52

ニットソーイング 53

ニットソーイングのアドバイス
ネットステッチ8番

・バリオーバーロック縫い3番

ダブルオーバーロック10番

スーパーストレッチステッチ11番 ・ストレッ
チオーバーロック13番

ジャージステッチとヘムステッチ 14番

バリオーバーロック縫い3番でリブ付け

2本針のヘムステッチ・リブの縫い方

布端の補強 62

ゴムひも付け、エラスティックシャ ーリング 63

ダーニング・生地補修 67

自動ダーニング ・マニュアルダーニング

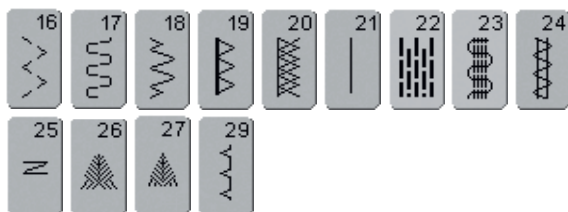
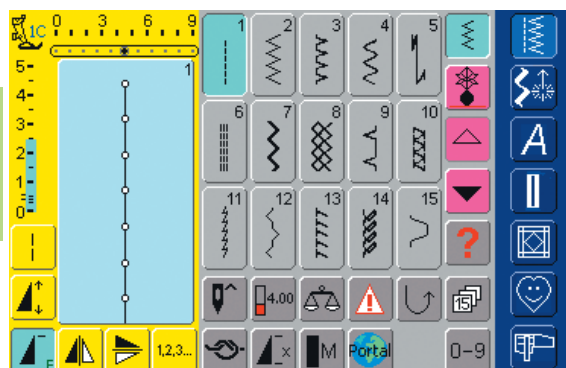
ニットおよびジャージーでパッチを縫う

フリーハンド刺しゅう 70

バータックプログラム、バータッ ク・フライステッチ 71

実用縫い

実用縫いのまとめ



テッチのまとめ

実用縫いの用途



1 直線縫い
伸縮性のない生地。すべての直線縫い



6 トリプルステッチ
厚くて丈夫な生地。補強縫いに



2 シグザグ縫い
あらゆる生地。薄地でのシグザグ縫いや、ゴムひもやレースの縫い付けなど



7 トリプルシグザグ
厚くて丈夫な生地。補強縫い、トリプルステッチ、やヘム縫い、飾りステッチ、カウチングなどに。



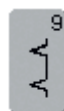
3 バリオーバーロック
主に薄地のジャージー等、伸縮地の縁かがりやオーバーロック縫い



8 ネットステッチ
インターロック地や滑らかな生地に。トップステッチやヘム縫いに。



4 ランニングステッチ
あらゆる生地。つくろい縫い、パッチの縫い付けや補強縫いなど



9 まつり縫い
あらゆる生地。くけ縫いやソフトなジャージー、薄地のシェルタック、飾り縫いなど



5 自動止め縫い
あらゆる生地。直線縫いの始めと終わりを自動的に止め縫いする



10 ダブルオーバーロック
あらゆるニット地。縫うと同時に縁の始末ができる

11 **スーパーストレッチ**
非常に伸縮性の強いニット地やライクラ地などの縫い合わせ

12 **ギャザリングステッチ**
あらゆる生地ゴムひもを使ったシャーリング、キルト綿等突き合わせ縫い

13 **ストレッチオーバーロック**
中厚地のニット地、タオル地その他腰のある生地に。

14 **ジャージーステッチ**
天然、混紡、あるいは化繊やデリケートなニット地。飾り縫い、縁かがり、繕い等に

15 **ユニバーサルステッチ**
フェルト等厚地の生地またはレザー等 突き合わせ、飾り縫い等

16 **二点シグザグ**
粗い目の生地、布端の補強に、エラストックや飾り縫いに。

17 **ライクラステッチ**
二方向伸縮性のニット地に、フラットな突き合わせ、縁縫い、下着などに

18 **ストレッチステッチ**
すべてのストレッチタイプの生地に、スポーツウェアなど。

19 **強化オーバーロック**
中厚地のニット地、ジャージー、タオル地や、固めの織物に

20 **ニットオーバーロック**
機械編みや、手編みのあらゆるニット地に縁かがりと縫い合わせを同時に仕上げます

21 **しつけ縫い**
しつけ縫い

22 **自動つくろい縫い**
薄地や中厚地の布の自動つくろい縫い

23 **自動強化繕い縫い**
厚地の自動繕い縫い

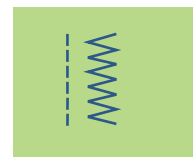
24 **自動かんぬき止め縫い**
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい個所やベルトループに

25 **自動かんぬき止め縫い**
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい個所やベルトループに

26 **フライステッチ（大）**
ポケットの端、ファスナー部分その他のあき止まりなど。中くらいから厚手の生地に。

27 **フライステッチ（小）**
ポケットの端、ファスナー部分その他のあき止まりなど。薄手の生地に。

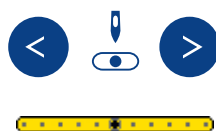
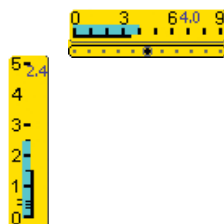
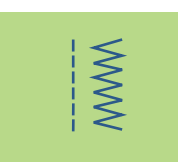
29 **ブラインドステッチ（狭幅）**
薄手の生地専用のブラインドヘム。



一般的な知識

個々の実用縫いステッチを調整する

布および使用目的によって、基本セッティングを調整する場合もあります



振り幅および送り長さを変えてみる

- ・布地によっては、振り幅および送り長さを変更する必要があります。
- ・ソーイングしながら修正していくことも可能です。
- ・振り幅および送り長さつまみを使います。

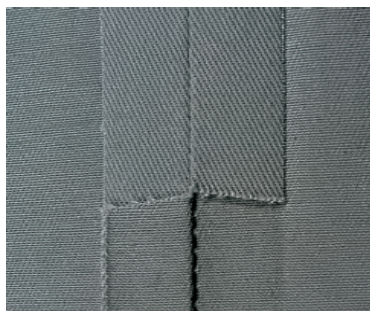
針基線を使う

- ・外部の針基線ボタンを押して、針基線を変更し、縫うべきところに正確に針が落ちるようにします。
- ・針基線は、11箇所から選択できます。(左側5箇所、右側5箇所、中心2箇所)。
- ・ボタンを押したままにすると、針基線を速く移動できます。

手元返し縫いボタンで止め縫いをする

- ・縫い始めと縫い終わりを止めます
- ・手元返し縫いボタンを押すと、ミシンが返し縫いをします。
- ・ボタンを放すと、ミシンは前に進みます。

実用縫いの縫い目



オープンシーム

アイロンで縫い代を割る縫い方です。

- ・縫い代は1.5cm程度取ります。
- ・縫い目は、平らになります。
- ・縫い目は、伸縮しません。

適したステッチ

直線縫い
幅の狭いジグザグ
スーパーストレッチ縫い
トリプルジグザグ等

適用

- ・厚手の織生地に。
- ・衣服、家庭用品、クラフト等に最適です。



クローズドシーム（オーバーロック）

アイロンで開けない方法

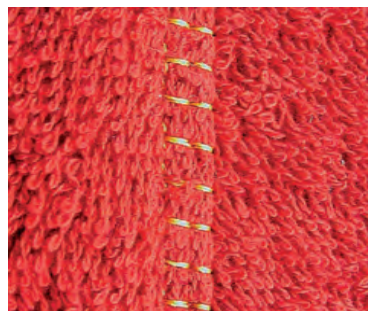
- 縫い方です。
- ・縫うだけで完成します。
 - ・狭い縫い代。

適したステッチ

バリオーバーロック縫い
ダブルオーバーロック
ジャージーステッチ等

適用

- ・ニットおよびジャージー地に。
- ・ニットの服、ランジェリーおよびベッドカバーに最適です。



フラットジョイント縫い

布端同士を重ねて、縫い合わせたもの。

- ・縫い代の上にステッチしていきます。

適したステッチ

ストレッチオーバーロック

適用

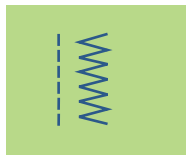
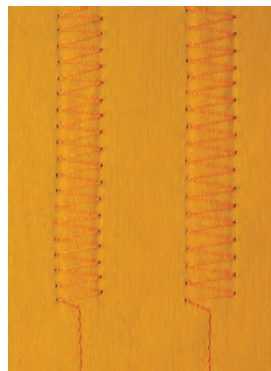
- ・タオルまたはライクラ等の生地に最適
- ・ビーチウェア、レジャー用服、ランジェリー等に最適です。

ステッチメモリー

ステッチ: 全てのステッチに標準の機能です。

一時的にステッチのプロパティーを変えてみる

- ・ ステッチの送り長さ、振り幅、針基線等の機能が、自動的に記憶されます。
- ・ 振り幅または送り長さを変更して、ステッチをお使いになる布に合わせます。
- ・ ステッチメモリーは、2つ以上の異なるステッチ、例えばジグザグとバリオーバーロックステッチの2種類を端縫いに使うときなどに便利です。
- ・ 必要に応じて、セッティングを自由に換えられます。新しく変えたセッティングがそのステッチに記憶されます。
- ・ 元のステッチに戻るとき、前に加えた変更はそのまま保存されています。



メモ:

メモリーには、機能を必要なだけ、いくつでも保存することができます。例えば、振り幅、送り長さ、針基線、反転、模様の拡大、ロングステッチ機能、糸調子、バランスおよび模様縫い1-9×等があります。

例

- ・ ジグザグステッチ2番を選択して、振り幅を9mmに変更、布端をオーバーロック縫いします。
- ・ 次に直線縫いを選択して、縫います。再び、ジグザグステッチ2番を選択して、もう一方の布端をオーバーキャストします。
- ・ 振り幅9mmの設定は、そのまま保存されていました。

基本セッティングに戻すには一ステッチメモリーの開放

- ・ 方法1: 「clr」ボタンを押します。(ステッチは、標準セッティングに戻ります。)
- ・ 方法2: 振り幅および送り長さバーをタッチするか、または調整つまみを回して、マニュアルで元に戻します。
- ・ 方法3: ミシンの電源をオフにします。これで、変更は保存されることなく、消去されました。

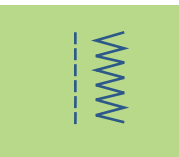
TIP

変更の保存は、マイプログラムに保存するか、またはそのまま保存したものをデフォルトとして保存します。

「マイプログラム」については、153-156 ページをご参照ください。

変更した内容で標準セッティングとして保存する方法については、24 ページをご参照ください。

ロングステッチ機能

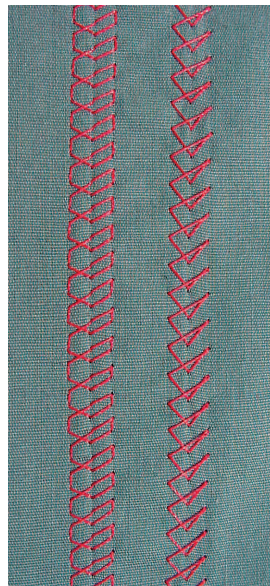


ロングステッチ機能

- ・ 1 針飛ばして、2 針に一回、縫う機能です。(送り長さを5mmに設定した場合の、10mmの縫い目が最大となります。)
- ・ 実用縫いでも、飾り縫いでも、使えます。
- ・ 長めのステッチが必要な場合に使います。
- ・ その他の変更を加えることも可能です。

ロングステッチ機能を使うには

- ・ 実用縫いまたは飾り縫いのステッチを一つ、選択します
- ・ ロングステッチ機能を選択します。変更を加えた後のステッチは、ステッチ変更エリアに表示されます。



TIP

コルドネットを使ったロングステッチ

- ・ トリプル直線縫いと一緒に使うと、トップステッチ用の飾り縫いに最適です。
- ・ コルドネット紐には100番から110番の針、またはコルドネット用針90番から100番を使用します。

TIP

ロングステッチでしつけ縫い

- ・ ロングステッチと直線縫いを組み合わせれば、しつけ縫いに使えます。

直線縫い



ステッチ： 直線縫い No1
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル
送り歯： 上
押え金： スーパー模様縫い押え #1C

直線縫い

- ・ ミシンの電源を入れると、実用縫い画面になり、直線縫いが縫える状態になっています。

ステッチの使い方

適用

- ・ 縫い方に合わせて適当な押え金を選びましょう。
- ・ スクリーン左すみ上の押え金アイコンをタッチすると直線縫いに適当な押え金が表示されます。

TIP

送り長を変えてみよう

生地タイプにより、送り長を変えてください。
例 デニム等は3-4mmで長めに、薄手のコットン等には、2mm程度で。

TIP

送り長を変えてみよう

糸や布に合わせて、送り長を変えてください。
例 トップステッチ用の太い糸では、3mm から 5mm 程度で。

TIP

針下停止を使いましょう

縫っている途中でミシンを止めたいときに、布地がずれて縫い目がゆがむのを防ぎます。

自動返し縫い付き直線縫い

ステッチ： 自動返し縫い付きの直線縫い No.5
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様縫い押え #1 C

返し縫い

- ・ あらゆる生地に使えます。
- ・ 縫い始めと縫い終わりを自動で返し縫いします。
- ・ 返し縫いは、縫い目の上を正確にたどって縫い、布縮みしません。

縫い始め

- ・ ミシンが自動的に縫い始めを止め縫いします。
(5針前進、5針後進)
- ・ その後、直線縫いを続けます。

縫い終わり

- ・ 手元返し縫いボタンを押して、すぐ放すと、ミシンが自動的に返し縫いをします。(5針後進、5針前進)
- ・ 止め縫いが完了すると、ミシンは自動的に停止します。

TIP

自動止め縫い機能は、あらゆる縫い合わせに、また長い距離を縫う場合に特に便利です。

縁縫い（コバステッチ）

- ステッチ： 直線縫い No.1
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸、トップステッチ用の太い糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え #1C
 まつり縫い押さえ #5
 または
 エッジステッチ用 #10（オプション）

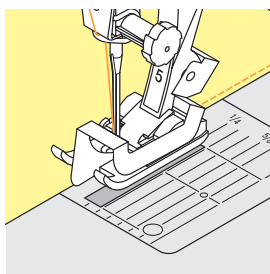
幅の狭いエッジ縫い

針基線

- ・ 外側に縫い目が来る場合は、左基線
- ・ 内側に縫い目がくる場合は、右基線

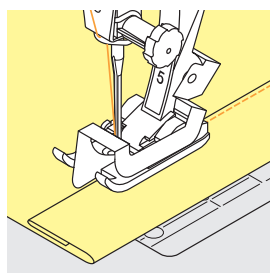
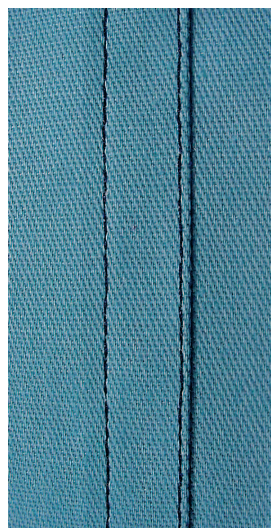
押え

まつり縫い押え5番



布端のエッジ縫い

- ・ 折り返した布端を押え金の布ガイドの左側に当てて置きます。
- ・ 端から縫い目までの距離に合わせて、左基線の針基線を決めます。

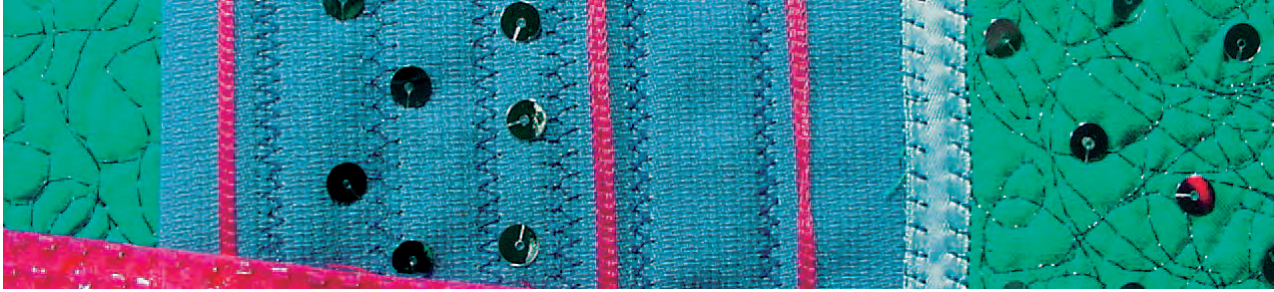


ヘム縫いの場合

- ・ 折り返した布端を押えの布ガイドの右側に当てて置きます。
- ・ 針基線を、折り返した布端の右寄りに選びます。

ご注意

- ・ 5番押えの場合、左側ではどの針基線でもOK、右側では布ガイド板が右側に膨れている箇所があるので、針基線を右端にして縫うことができます。
- ・ 10番押えの場合、左右どの針基線でも使えます。



幅の広い縁縫い

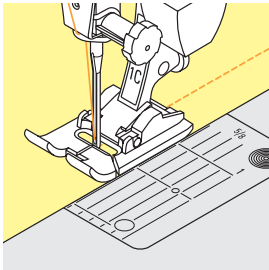
針基線

- ・ すべての位置で可能。
- ・ 針基線を変えることで、布端から距離を自在にとることができます。

押え金

- ・ スーパー模様縫い押え No.1 C

布のガイド方法

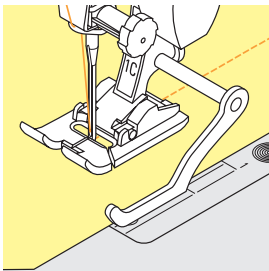


押え金をガイドとして使う

- ・ 押えの幅をガイドとして、布端に押えの左右いずれかの端を合わせます。

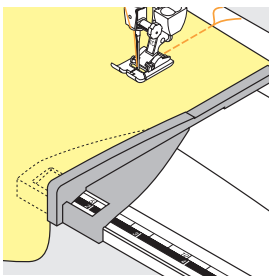
針板シームガイドラインを使う

- ・ 布端を針板のシームガイドラインに沿わせて縫います。



キルターガイドをガイドとして使う

- ・ 定規棒（シームガイド）を図の押えホルダーの穴に差し込み、
- ・ 好みの幅にして、ネジを締めます。
- ・ 定規棒に沿って、布の折り山をガイドしながら縫います。
- ・ 先に縫った線と平行にもう1本縫う場合には、定規棒が前の縫い線をなぞるように縫います。



ソーイングテーブルの布ガイドを使う

- ・ ソーイングテーブル用の布ガイドを、テーブル下の溝に取り付けます。
- ・ 押え金を、縫いたい位置に置きます。
- ・ 布をシームガイドに沿わせて、縫い進めます。

TIP

縁縫いと定規棒

平行線や碁盤の目状に縫うときに、大変役立ちます。

TIP

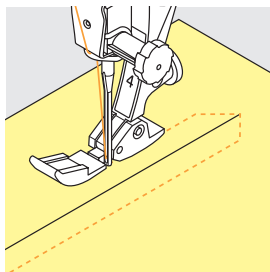
ファスナー用押え No.1 4の（オプション）を縁縫いに使うこともできます。

ファスナー付け

- ステッチ： 直線縫い No.1
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： ファスナー用押え #4
 またはガイド付ファスナー用押え #14（オプション）
 針基線： 左端または右端

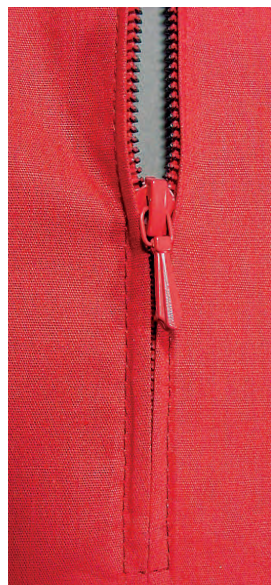
準備

- ・ 縫い代部分の布端の処理をきちんとしておきます。
- ・ 布端がファスナーの中心の上で合うように、しつけをかけておきます。



縫い方

- ・ ファスナーを少し開いておきます。
- ・ 左上部分から縫い始めます。
- ・ 針がファスナーの金具部分に沿って落ちるような位置に、押え金を置きます。
- ・ ファスナーのむしの手前で一時停止し（針は下位置で停止）、押え金を上げて、ファスナーを閉じます。
- ・ そのまま一番下まで縫い、針を下位置で停止した状態で、土台布を回転させて、右下に向って縫います。
- ・ もう一度、土台布を回転させ、今度はファスナーの右側部分を、下から上に向って縫います。



応用：ファスナーの両側を下から上に向って縫う方法

- ・ ベルベットのような毛足の長い布地に使います。
- ・ 上記の方法でファスナーを用意します。
- ・ まず片側を、下から上に向って縫います。
- ・ 次に、もう片側を、下から上に向って縫います。

TIP

ファスナーを飾りに使う

作品の中に、ファスナーを縫いこんで飾りに使いましょう。

ファスナーのむしの部分の縫い方

- ・ ファスナーを閉じた状態で、むしから5センチくらいのところまで縫います。
- ・ 針を下位置停止にしておいて、押え金を上げます。ファスナーを開き、むし部分を針に引っかからない位置まで引きます。押え金を下げ、縫いつづけます。

TIP

縫い始め

縫い始めは、糸を手でしっかりつかんで数針分のみ、生地をわずかに後ろに引き加減にするとよいでしょう。

針を選びましょう

ファスナーの生地は厚く固いので、均一なステッチのために、90番から100番の針を使用してください。

コンシールファスナー

- ステッチ： 直線縫い No.1
 針： #80-#90
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： コンシールファスナー用押え #35（オプション）
 オープン刺しゅう用押え#20C
 ファスナーの長さ： 開口部分プラス4センチの縫い代

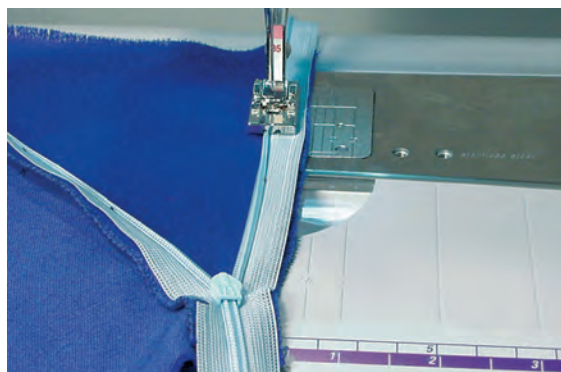


コンシールファスナー

- ・ 特殊なファスナーを使用します。縫いつけると、縫い代の中に隠れてしまい、見えなくなるようなファスナーのことです。
- ・ 衣服に使用すると、非常にエレガントな仕上がりになります。

ファスナーの片側を縫う

- ・ ファスナーの終わり部分に印をつけます。
- ・ ファスナーを全開します。
- ・ ファスナーの右側と布端の右側を合わせます。
- ・ ファスナーの片側に待ち針を打ち、しつけをかけます。
- ・ 金具部分が、押えの底の溝にはまるようにしてから、押えを下げます。
- ・ ファスナーの上から縫い始めて、下につけた印まで進みます。





ファスナーのもう一報を縫う

- ・ ファスナーを閉じ、もう一方の一番上部分を待ち針で止めます。
- ・ ファスナーを開いて、全体に待ち針を打ち、しつけをかけます。
- ・ 上から下にかけて、縫いつけます。ファスナーの金具部分は、押えの溝にはまっています。
- ・ ファスナーを閉めます。



縫い代を閉じる

- ・ オープン刺しゅう用押え #20C を取り付けます。
(押え金の前がオープンのため、ステッチの状態を確認しやすくなります。)
- ・ 待ち針を打ち、しつけをかけます。
- ・ できるだけファスナーの金具に沿うように縫っていきます。
- ・ 少し開いてしまったような場合には、ファスナー用押え #4 を使って、閉じます。(針基線は、適宜変更してください。)



TIP

ファスナーを短くする

ファスナーを短くした場合には、端は25番のバータックプログラムで縫いとめてください。

トリプル直線ステッチ



ステッチ： トリプル直線ステッチ No.6
 針： 80番から90番
 糸： ポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押え #1C
 または
 ジーンズ用押え #8

割縫い

- ・ デニム、コーデュロイ等の堅い生地に適した丈夫な縫い目です。
- ・ 普段着に最適です。



TIP

非常に強く目の詰まった生地

デニムやキャンバス地には、ジーンズ用針とジーンズ用押え#8をご使用ください。

TIP

飾り用トップステッチ

ステッチを長くして、デニムのトップステッチ用にも使えます。

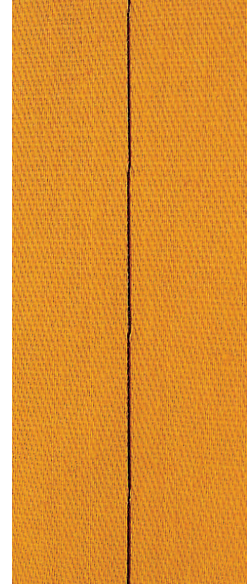


しつけ縫い

ステッチ： しつけ縫い No.21
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り長さ： 3.5—5mm
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え #1C

しつけ縫い

- ・ 直線縫いで、4針に1針を縫います。(ステッチの送り長さを5mmに設定した時、最長20mmです)
- ・ 長いステッチの必要な場所に。
- ・ すばやく、簡単にしつけ縫いできます。
- ・ 取り除きが簡単です。



TIP

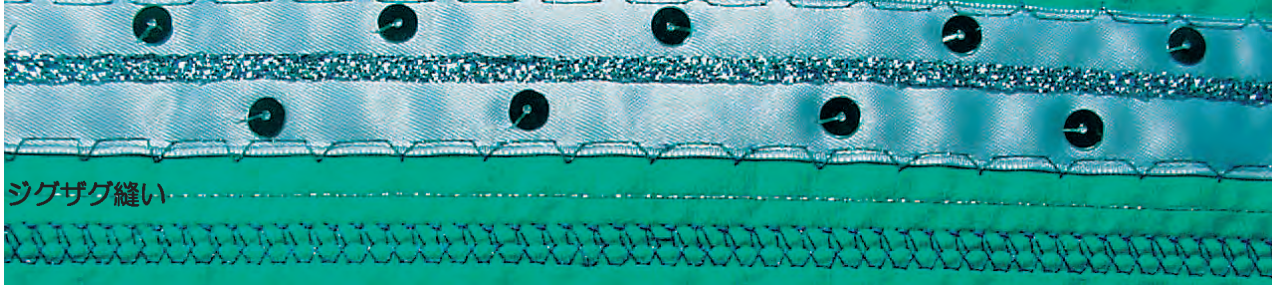
縫い始めと縫い終わりの止め縫い

- ・ しつけの縫い始めと終わりに直線縫いの標準セッティングで2〜3針縫っておくか、または止め縫い機能を使うと、しつけの途中で糸が抜けることがなく、便利です。

TIP

しつけ糸

縫いこまれてしまっても、取り除きやすいよう、細いダーニング用糸を使います。



ジグザグ縫い



ステッチ： ジグザグ No.2
針： 生地に合わせて選びます。
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え #1C

ジグザグ縫い

- ・ あらゆる生地に適用
- ・ 縁かがりの仕上げ
- ・ 伸縮性のある布地に
- ・ 飾り縫い

縁かがり

- ・ どんなタイプの布にも適する縁かがりです。
- ・ 布端を押えの中心に合わせます。
- ・ ジグザグの左側で針は布の上に、右側で針は布の外側端ぎりぎりに落ちるようにします。
- ・ 縁かがりをきれいに仕上げるには、振り幅や送り長さをあまり大きくしないようにします。
- ・ 薄手の布地には、ダーニング用糸を使いましょう。



A

B

C

Aー送り長さを変えて縫ったジグザグ
Bー振り幅を変えて縫ったジグザグ
Cー布端をジグザグでかがったもの



サテンステッチ

- ・ ジグザグを密にしてステッチする方法で、アップリケ、カットワーク、刺しゅう、飾り縫い等に効果的です。
- ・ 送り表示に、バーコードのように表示されているのが、サテンステッチの送り長さです。

ご注意

ミシンにサテンステッチ354番がプログラムされています。(詳しくは、143ページをご参照下さい)

TIP

ジグザグで縁かがり

- ・ 布端が丸く巻きこんでしまうときには、バリオーバーロックステッチと2A番の押えを使います。

TIP

サテンステッチの刺しゅう縫い

- ・ 振り幅を調整して、効果的な刺しゅうをしましょう。

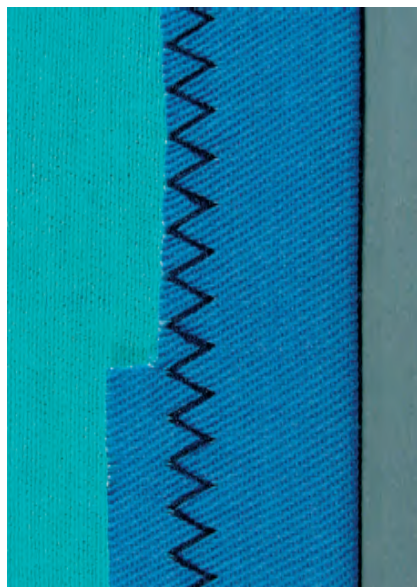
トリプルジグザグによる飾り用縁かがり



ステッチ： トリプルジグザグ No.7
 振り幅： 生地により、2.5～9くらい
 送り長さ： 標準設定
 針： 標準針またはシーンズ針
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え #1C

丈夫な飾り用ヘム縫い

- ・ デニムや目のつんだキャンバス地等の厚手の堅い布に適しています。



TIP

布端がほつれやすい生地に

よく洗濯するものの縁かがりでは、まず始めに布端をきちんとそろえ、その布端の上にミシンをかけておくと、ほつれなくなります。

TIP

厚地の硬い生地

厚手の堅い生地を縫う場合には、シーンズ用針を使うとスムーズに縫えます。

まつり縫い



- ステッチ： まつり縫い（幅広）No.9
まつり縫い（幅狭）No.29
- 針： 生地に合わせて選びます。
- 糸： コットン、ポリエステル、シルクまたはモノフィラメント
- 送り歯： 上
- 押え金： まつり縫い押え #5

幅広まつり縫いステッチ No.9

- ・ 中厚手の生地に、目立たない縁縫いをするのに使います。

幅狭まつり縫いステッチ No.29

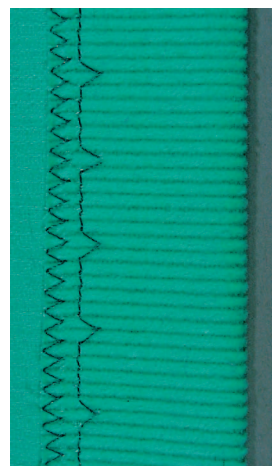
- ・ 薄手の生地に、目立たない縁縫いをするのに最適です。

準備

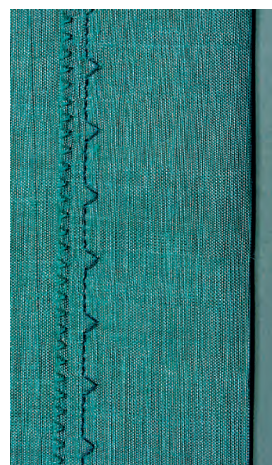
- ・ 布端を切り揃え、オーバーロック縫いします。
- ・ 布端の表を外にして折り、しつけ縫い、またはしつけピンを打ちます。
- ・ そのままで、布地を中表に折り、布端を右側に出します。
- ・ その後、図のように押え金の下に折り曲げた部分が押えのガイド板の左側にあたるように、生地を置きます。

縫い方

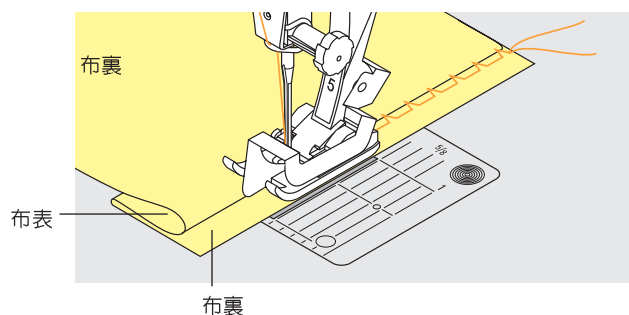
- ・ 手縫いの場合同様、針が折り目の端ぎりぎりをとるよう注意します。
- ・ 10cm くらい進んだら、生地裏表をチェックして、必要であれば振り幅を調整します。



幅広のまつり縫い



幅狭のまつり縫い



ご注意

小さなステッチが布の表に見えます。

TIP

振り幅の調節

- ・ 布に試し縫いをしてみます。針が、折り目部分の端ぎりぎりに落ちるように、布に合わせて振り幅を調整します。
- ・ 折り目の端を、押えのガイド金具に沿って進めると、仕上がりがきれいになります。

ニット地の縫い方

ニットを上手に縫うための大切なポイント

新しい針

- ・ 生地をいためないよう、先のつぶれたものを使わないで、できるだけ新しい針を使いましょう。

ストレッチ針130/705H-S

- ・ 針先が繊維を避けてすべるように縫うので、生地をいためません。

糸は、品質のよいものを使いましょう

- ・ 固い糸はニット地をいため、洗濯時の穴あきの原因になります。
- ・ 伸縮性の糸は、布をひきつらせますので、使いません。

しつけ用にしつけ糸を使う

- ・ 縫いこんでも、後で取り除くのが簡単で、便利です。

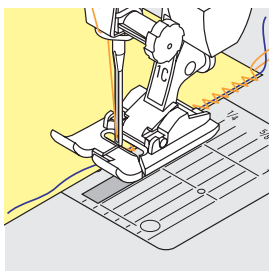
必要に応じて、試し縫いを

- ・ 最近の生地の伸縮性は様々ですので、生地に合わせて送りと振り幅の標準設定を調節してください。
- ・ 縫い目と生地の伸縮度は、同程度のものを選びます。
- ・ 伸縮のきつい生地には、送り長さを短く、振り幅を大きくすることで対応できますが、いずれか一つの調整で十分な場合もあります。

押え圧

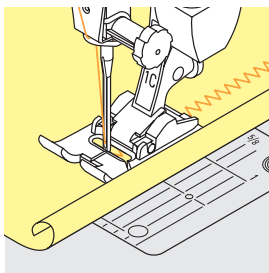
- ・ 柔らかい、目の粗いニット地は、しわになる可能性があります。
- ・ その場合は、しわができない程度まで、押え圧を弱めてください。
- ・ ただし、送り歯がきちんと生地を送らなくなるほど弱くしてはいけません。

ニット地の縫い方に関する問題点



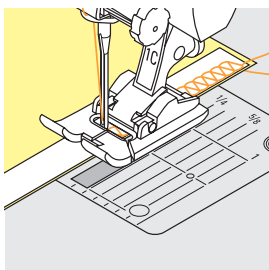
縫い目が波打ってしまう

- ・ しつけする際、ステッチの中にもう1本、糸を仕込んでおきます。
- ・ 縫い終わったら、糸を引いて、元の形状に戻すようにします。縫い目は、アイロンで平らに押さえます。



布端が丸まってしまう

- ・ 端部分ではなく、5mm ほど中に入った部分を縫いましょう。
- ・ ソーイングが完了したら、余った端部分はカットして処理します



縫い目が引きつれたり、伸びたりする

- ・ 縫い目をリボン（ショルダーリボン等）で補強しておきます。
- ・ ある程度伸縮性のあるリボンも売っています。これを使えば、縫い目をもっとしっかりさせることができます。

ネットステッチで仕上げる布端



ステッチ： ネットステッチ No.8
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え#1C

ネットステッチ

あらゆる種類のジャージー地（木綿、ウール、化繊および合繊）に適しています。

準備

- ・ 布端を1 cmほど、内側に折り込みます。
- ・ 必要に応じてアイロンをかけ、しつけをかけます。

縫い方

- ・ 押えを端から離して、表側から縫います。
- ・ 裏側で縫い目からはみ出た縫い代を切り取ります。

バランスで微調整を行なう

ネットステッチが広がってしまう場合、送りダイヤルを回しながら、画面上の操作でステッチの形を整えます。



バランス機能についての詳しい説明は、183 ページをご参照ください。

TIP

針下停止機能

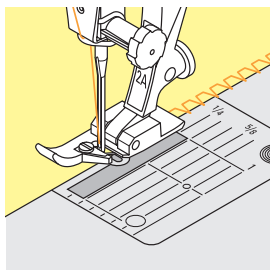
- ・ 襟縫いや袖縫いの途中でミシンを停止しても、針が生地に刺さったまま残るので、ずれがおこらず便利です。

オーバーロック縫い

バリオーバーロック縫い



ステッチ： バリオーバーロック No.3
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： オーバーロック押え #2A

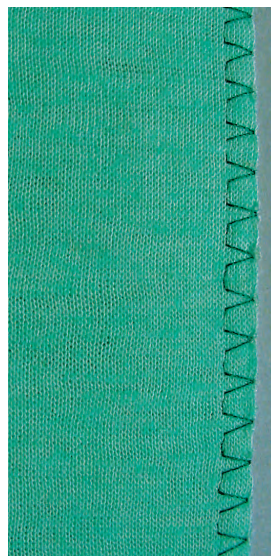


オーバーロック縫い

- ・ シルクニットやインターロック等の薄く柔らかい伸縮地に適しています。

縫い方

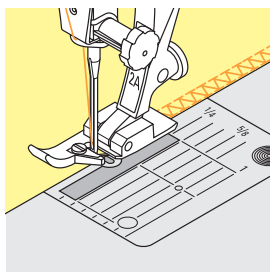
- ・ 裁ち目を押え下側のピンに沿わせるようにして進めます。
- ・ 布端が巻かないように縫うには、ピンを布端の外側に沿わせます。



ダブルオーバーロック縫い、ニット用オーバーロック縫い



ステッチ： ダブルオーバーロック No.10
またはニットオーバーロック No.20
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： オーバーロック押え #2A

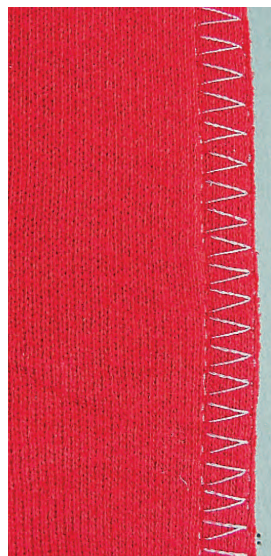


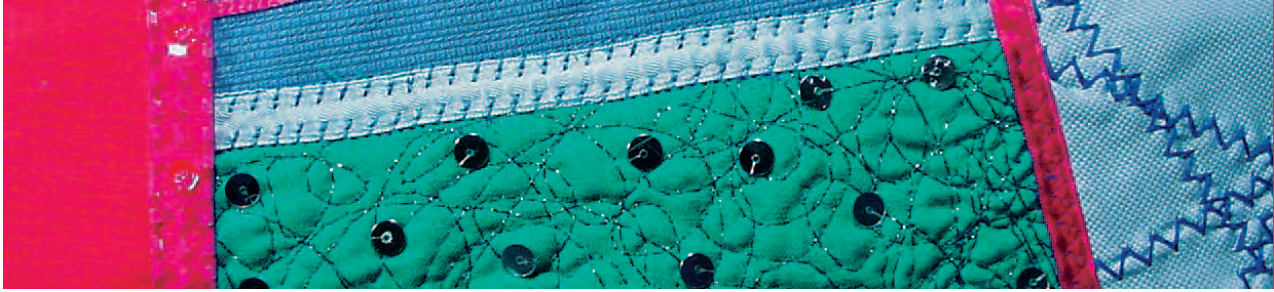
オーバーロック縫い

- ・ 目の粗いニット地やジャージーにオーバーロック縫いをします。

縫い方

- ・ オーバーロック押え下側のピンの部分に裁ち目を合わせるようにして、進めます。
- ・ 布端が巻かないように縫うには、ピンを布端の外側に沿わせます。





伸縮オーバーロック縫い、強化オーバーロック縫い



ステッチ： 伸縮オーバーロック縫い No.1 3
または強化オーバーロック縫い No.1 9
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え #1 C
またはオーバーロック押え #2 A

オーバーロック

目の粗いニットやソフトなニット地に最適。

縫い方

- ・ 布端にストレッチオーバーロックをかける。
- ・ 布端では針が布の外側に落ちるように縫います。



スーパーストレッチ縫い



ステッチ： スーパーストレッチ No.1 1
またはストレッチ No.1 8
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え #1 C

割縫い

- ・ スポーツウェアやレジャーウェア等の伸縮地に最適な、非常に伸縮性の高い縫い目です。
- ・ 縫い代がかさばらず、フラットに仕上がります。



TIP

布端が丸まってしまう等、縫いにくい生地を縫う際には、布端から1cmのところを縫うようにします。



フラットジョイント縫い



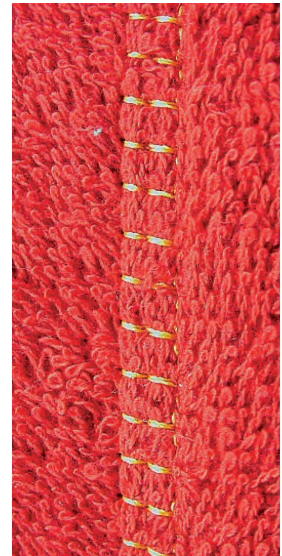
ステッチ： ストレッチオーバーロック No.13
 針： 標準針、ボールポイント針
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え #1C

フラットジョイント

- ・ 布端を重ねて、縫い代の上を縫います。
- ・ かさのある生地をフラットに、しっかりと縫うことができます。
- ・ タオル地、フェルト、レザーなどの厚地や、フリースのような弾力のあるふわふわの生地等に適しています。

縫い方

- ・ 布端を2センチくらいフラットに重ね、互いの布端に沿って、ステッチの直線部分を平行に、ジグザグが布端を押えるように縫います。



TIP

布地と糸

ふわふわの生地では、縫い目が目立たないように、共色の糸を使います。

TIP

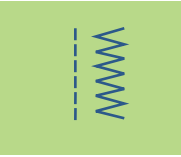
厚手の堅い生地を縫う場合

普通の直線縫いでは縫い目が緩みがちな厚手の生地に、最適です。



実用縫いを使った縁かがり

シャージステッチによる飾り用縁かがり



ステッチ： シャージステッチ No.14
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え #1C

伸縮地のヘム仕上げ

- ・ あらゆる種類のシャージ地（コットン、ウール、化繊および合繊）の縁飾りに適しています。

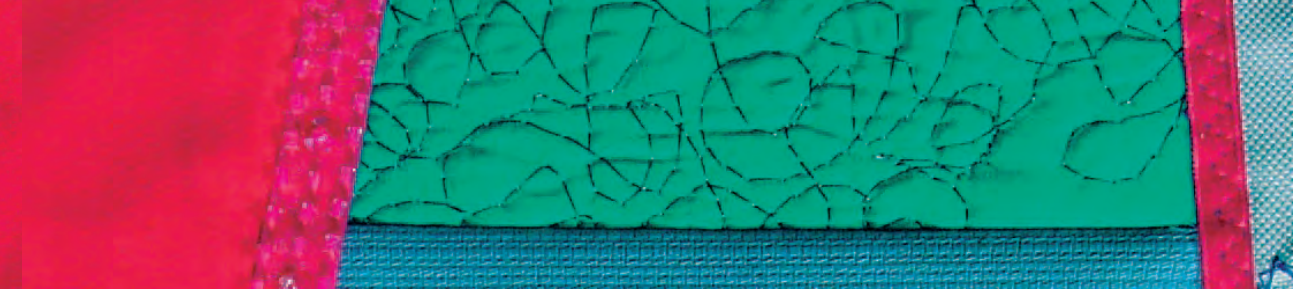
準備

- ・ 縁を折り、アイロンしておきます。必要ならば、しつけもかけます。

縫い方

- ・ 表から見て、効果的な位置に縫います。
- ・ 裏に残る余分な縫い代は、後で始末します。

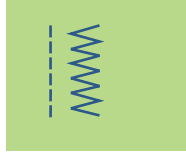




オーバーロックによる襟つけ

AAA

ステッチ： バリオーバーロック No.3
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： オーバーロック押え #2A



オーバーロック縫いを使った襟つけ

- ・ 薄手のジャージー地に適しています。



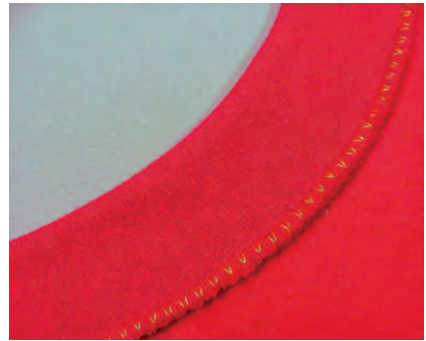
表側

準備

- ・ 襟の大きさは、出来サイズの2倍プラス縫い代2倍で取っておきます。
- ・ 襟周り（リブ）を半分に折り、表側に待ち針としつけをします。

縫い方

- ・ 布端にバリオーバーロックをかけます。
- ・ その際、布端を押えのピンに沿うようにガイドします。
- ・ 布端をフラットに仕上げるにはピンを、布端の外側に沿わせます。



裏側

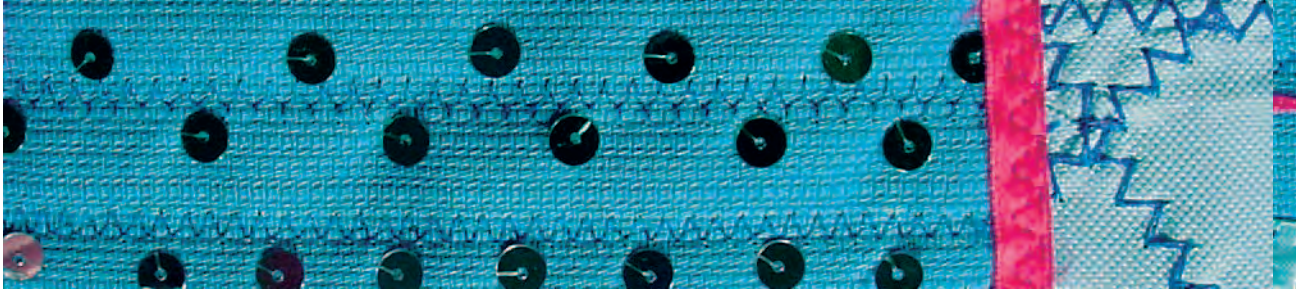
TIP

襟が波打ってしまうのを防ぐには、襟を少し短めにカットしておいて、待ち針を打つ際に、心持ち引っ張るようにするとよいでしょう。

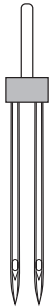
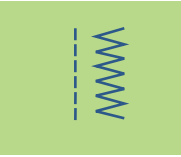
TIP

針下停止機能

- ・ 針下位置停止機能を使えば、襟周りを揃えたりするのに途中でミシンを止めても、針が生地に刺さったまま残るのでずれが起こらず、便利です。



2本針による縁かがり



ステッチ： 直線縫い No.1
針： 2本針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え #1 C

ニット地の縁飾り仕上げ

- ・ ニットには、伸縮性のある縁飾りを。
- ・ その他の縁縫いは、必要ありません。

準備

- ・ 布の裁ち目を裏に折り、必要ならばアイロンおよびしつけをかけます。
- ・ 2本針をセットして、糸を通します。(糸通しについては、16ページをご参照ください)
- ・ セキュリティプログラムで、使用する2本針および針板を選択します。(針間が4mmの2本針を使う際には、2本針の4.0ボタンを押します。)



縫い方

- ・ 布の表側から、縫い目ガイドに沿って縫います。表側には、2本の直線縫いが、裏側にはジグザグが見えます。
- ・ 2mm程度を残して、余分な縫い代を始末します。



TIP

正確に縫う

針板または縫い目ガイドを使えば、正確にまっすぐ縫うことができます。

TIP

送り長さの調節

布に合わせて、送り長さを調節します。

TIP

より伸縮性の高い縫い目にするには

毛糸に近いナイロンを下糸に使うと、より伸縮性のある縫い目になります。



袖口（リブ）の仕上げ方

リブ付けとは

- ・ 非常に実用的かつ見た目もきれいな布端の処理方法です。
- ・ スウェットスーツ、パジャマ等に適しています。



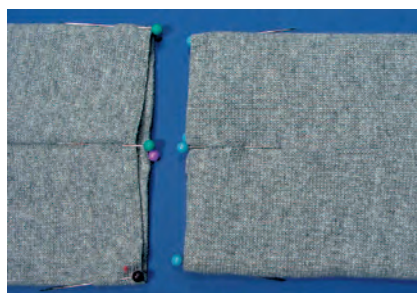
リブをカットする

- ・ 幅は、完成した状態の2倍プラス縫い代の2倍の寸法にします。
- ・ 長さは、完成した状態プラス縫い代の2倍の寸法にします。
- ・ リブを半分に折って、首、ウェストまたは足首周りに置いてみて、長さがよいかどうかチェックします。（首周りの場合は、頭が通る大きさかどうかを、必ず確認してください。）



準備

- ・ リブの端と端を合わせて、縫い代に沿って縫い合わせます。（布に合うオーバーロック縫いの種類を選択してください。）
- ・ 縫い代が内側にくるように、リブを半分に折ります。（端をしつけがけします。）
- ・ リブを均等に4つの部分に分け、印付けをします。（1番の印が、縫い代です。）
- ・ リブ仕上げをする服の方も、均等に4つの部分に分け、印付けをします。
- ・ リブと服を、印に合わせて、中表に待ち針でとめます。リブの縫い代は、背中または肩の縫い代に合わせます。
- ・ オーバーロック縫い（56ページ参照）をします。

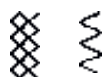


TIP

既製品のリブを使う

既製品のリブを使うと、自分でカットする必要がないので、便利です。

織地の縁を補強する



ステッチ： ネットステッチ No.8、ランニングステッチ No.4
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： 細手のかがり糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押え #1C

縁を補強

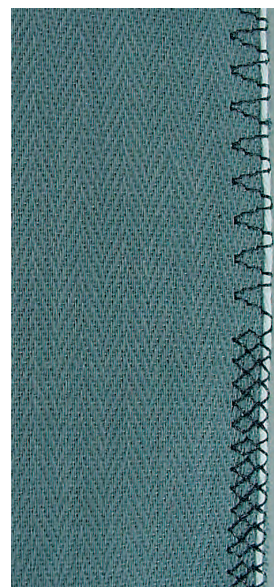
- ・ 作業布、テーブルリネン、タオル等に。
- ・ 共色の紐や糸を使って、縁を補強します。

適当な紐

- ・ パール紡ぎ糸
- ・ 細いレース糸
- ・ 丈夫な手縫い糸
- ・ 針金の入った飾り紐（注・ガーデニング用のものではありません）

縫い方

- ・ ネットステッチかランニングステッチで、縁をかがり縫いします。
- ・ 補強するために、縁に沿って紐をかがり縫いします。
- ・ 必要ならば、縁から少し内側にもう一列、紐を縫いつけます。



エラスティック（ゴムひも）付け、シャーリングおよびギャザリング

ギャザリング



ステッチ： ギャザリングステッチ No.1 2
針： 生地に合わせて選びます。
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： ボタンホール用押え #3C

シャーリング用エラスティックコード

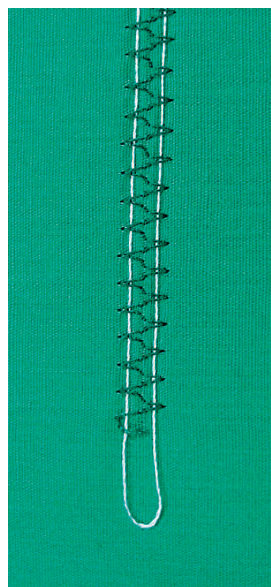
- ・ 広い範囲にギャザーを寄せたいときに適しています。子供服や人形用の服、クラフト等に使用します。

準備

- ・ ギャザーの倍の長さに、コードまたはゴム紐をカットしてから、半分に折ります。
- ・ ボタンホール押えの手前中央の突起に、コードまたはゴムの輪の部分をはっかけ、押えの下溝に沿って後方へ引きます。

縫い方

- ・ 数針縫ったら、コードまたはゴム紐の両端が押えの後ろ側に届くくらいまで手前に引っ張り、そのまま縫いつけます。
- ・ コードまたはゴム紐の上を縫わないように気をつけましょう。
- ・ 縫い終わったら、コードまたはゴム紐を引いて、ギャザーを寄せます。
- ・ ゴム紐の場合は、縫っている間、伸ばし加減にしておきましょう。強く伸ばすほど、ギャザーがたくさん寄ります。



TIP

始めと終わりを止め縫いする

- ・ 送り歯を下げて、数針返し縫いしてください。

TIP

押え圧

必要に応じて強くします。

TIP

広い範囲にギャザリングするには

コードまたはゴム紐を、1本だけでなく、2本使いましょう。

エラスティック（ゴムひも）付け、シャーリングおよびギャザリング

ゴム紐、コード付け



ステッチ：ユニバーサル No.15
振り幅：ゴムの幅に合わせる
針：生地に合わせて選びます。
糸：コットンまたはポリエステル
送り歯：上
押え金：スーパー模様押え #1C
または刺しゅう押え #6（オプション）

ゴム紐の縫い付け

- ・ 広い範囲にギャザーを寄せたい場合や、薄手の生地にフリルをつけたい場合に適しています。
- ・ 袖や襟部分にギャザーを寄せるのに、最適です。

準備

- ・ ゴム紐を適当な長さにカットしておきます。

縫い方

- ・ ゴム紐を縫いつける際、針がゴムに刺さらないように注意してください。
- ・ 縫い終わったら、ギャザーを手で調整して、均一に寄せ直します。



TIP

縫い始めと縫い終わりの始末

- ・ ゴム紐の縫い始めと縫い終わりは、直線縫いで数針ずつ止め縫いをしてください。

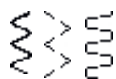
TIP

ヘム仕上げを簡単にすばやく

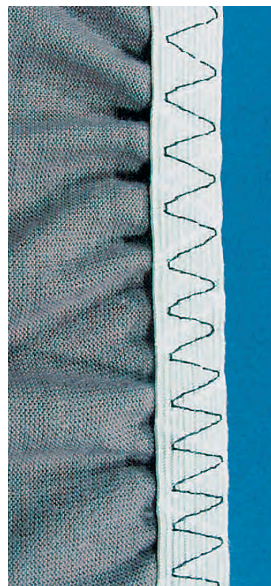
- ・ 子供服や人形のドレスに。
- ・ 脇縫いをする前の縁かがりのときに、ゴムと一緒に縫い付けてしまうという方法があります。

エラスティック（ゴムひも）付け、シャーリングおよびギャザリング

幅の広いゴムひも付け



- ステッチ： ランニングステッチ No.4
2点ジグザグ No.16
ライクラステッチ No.17
- 送り長さ： ゴムの性質によって調整してください。
- 針： 生地に合わせて選びます。
- 糸： コットンまたはポリエステル糸
- 送り歯： 上
- 押え金： スーパー模様押え #1C
- 針停止位置： 下位置停止



幅広のゴムひも

- ・ スポーツウェアや下着に最適です。

準備

- ・ ゴム紐を必要な長さに切り、
- ・ 生地とゴム紐をそれぞれ4分割して印をつけ、
- ・ 印を合わせて、待ち針で止めます。

縫い方

- ・ ゴム紐を引っ張り加減にして、縫ってください。
- ・ 縫い終わったら、はみ出た部分の布を始末します。

TIP

最初にギャザーを寄せておく方法

- ・ 5mmほどの間隔を置いて、2本の直線縫いを
- ・ 5cmほど、縫います。
- ・ 糸の始めは、結んでおきます。
- ・ 下糸を持って、引っ張るとギャザーが寄ります。
- ・ ギャザーの上からゴム紐を縫いつければ、ゴムを引っ張りながら縫う必要がないので、簡単です。

TIP

ゴム紐が伸び過ぎないように

- ・ 生地とゴム紐に合わせて押え圧を減らせば、ゴム紐が必要以上に伸びてしまうこともなくなります。

エラスティック（ゴムひも）付け、シャーリングおよびギャザリング

ゴム紐を使ったニット地の縁かがり



ステッチ： ジグザグ No.2
振り幅： 約5mm
送り長さ： 1～1.5mm
針： 生地に合わせて選びます。
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： スーパー模様押え#1C

シャーリングゴム紐を使ったニットの縁縫い

- ・ 布端の伸びや型崩れを防ぎます。

縫い方

- ・ 生地 の 2 倍 の 長 さ の ゴ ム 紐 を、 軽 く 引 っ 張 り 気 味 に 布 端 に 沿 わ せ ま す。
- ・ ジグザグステッチで、ゴム紐を縫い付けます。
- ・ ゴム紐を縫いこまないように、注意してください。
- ・ 縫い終わったら、ゴム紐を引っ張って生地を好きな形、サイズに整えます。



TIP

生地 の 伸 び を 防 ぐ

縫っている間に生地が伸びてしまうとき
生地に合わせて、押え圧を弱くすると、防げます。

自動つくろい縫い

かぎ穴や擦り切れた箇所を簡単に繕うには



- ステッチ： 自動つくろい縫い No.2 2
補強つくろい縫い No.2 3
針： 生地に合わせて選びます。
糸： 細手のかがり糸
送り歯： 上
押え金： 自動ボタンホール押え #3 A
またはスーパー模様押え #1 C (No.2 2の自動繕い縫いのみ)

No.2 2のステッチを使った簡単なつくろい縫い

- 縦方向の布目を補強します。

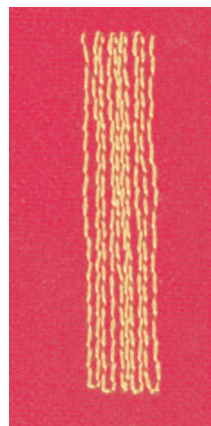
準備

1,2,3...

- スーパー模様押え#1 Cを使います。
- ステッチカウンターアイコンを、画面下のツールバーで選択します。
- 必要ならば、薄手の安定紙を、つくろい縫いしたい部分の下に当てておきます。

縫い方

- 最初の列を縫います。
- 必要な長さを縫ったら、手元返し縫いボタンを押して、一列目の長さをプログラムします。
- ミシンが自動的に停止するまで、縫います。



ご注意

No.2 2のステッチは、#3 Aの自動ボタンホール押えでも可能です。

No.23のステッチを使って補強つくろい縫い

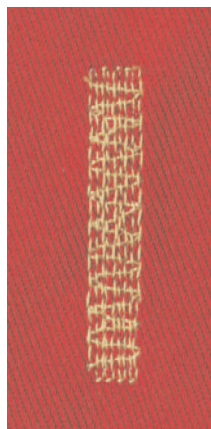
- 生地の縦と横の織り目に添って、傷みの激しい個所のつくろい縫いをします。

準備

- 自動ボタンホール押え#3 Aを使います。
- 必要ならば、薄手の安定紙を、つくろい縫いしたい部分の下に当てておきます。

縫い方

- 針をつくろう場所の左上に刺します。
- まず縦目を縫います。
- 手元返し縫いボタンを押して長さを記憶します。
- 縫いつづけます。終われば、自動的に停止します。



TIP

大きなほころび箇所をつくろう場合

押え金の下で生地を移動しながら、プログラムを繰り返します。(長さは記憶されています。)

TIP

ダーニングがゆがんでしまう場合

183ページのバランス機能についてをご参照ください

マニュアルで繕うには

ステッチ：直線縫い No.1
針：生地に合わせて選びます
糸：細手かがり糸
送り歯：下
押え金：ダーニング押え#9（オプション）

マニュアルでつくろい縫い

- 縦糸と横糸を足して、布地にできた穴や傷をつくろいます。生地の種類は問いません。

準備

- 布縮みを防ぐため、つくろい縫い用枠（オプション）に生地をセットします。
- ソーイングテーブルを使うと、作業がしやすくなります。

縫い方

- 刺しゅう枠を、滑らかに動かします。
- 左から右に縫います。その際、押え圧は0にしておきます。
- 縫い終わりで方向転換をするときは、滑らかなカーブを描くようにして動きます。急な方向転換は、穴が開いたり、針が折れたりする原因になります。
- 長さをいろいろ変えてつくろっていくと、糸が布のなかに紛れ込んで、目立たなくなります。

1. 穴の上にステッチをかける

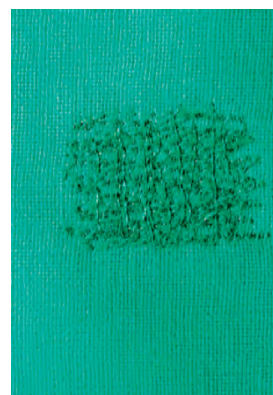
- 穴を覆うように最初の列を縫います。（間隔が狭すぎないようにご注意ください）
- 長さを、わざとまちまちに縫うようにしてみましょう。
- 生地を90度回します。

2. 最初の列をカバーする

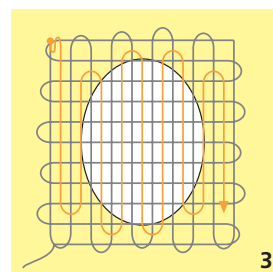
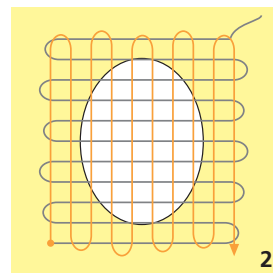
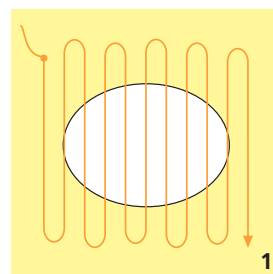
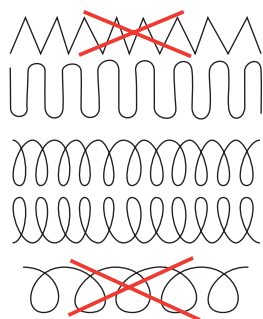
- 次に、最初の列をカバーするようにしながら縫います。あまり間隔を近づけると、仕上がりが堅くなるので、ご注意ください。
- 生地を180度回します。

3. 仕上げ

- 同じ方向にゆるく2列目を縫います。



メモ：
適当な当て布をつくろう
部分の下に当てて縫います



TIP 縫い目が乱れる

- 上糸が生地の表側でゆるむのは、針のスピードに対して、刺しゅう枠の動かし方が速すぎるからです。
- 生地の裏側に糸ループができるのは、刺しゅう枠の動かし方が遅すぎます。

TIP 糸が切れる

- 刺しゅう枠を滑らかに動かすようにしてください。

ニットやジャージのつぎあて



ステッチ： ジャージーステッチ No.1 4
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： 細手のかがり糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え #1 C



ほころびや磨耗個所のつぎあて

- ・ 伸縮する生地や、ランジェリーに最適です。

準備

- ・ いたんだ部分は、切り取らないでください。
- ・ あて布は、角張らないように丸くカットすると、全方向への伸縮性が残ります。
- ・ 待ち針を打ち、右側をしつけ縫いします。

縫い方

- ・ パッチをつぎ当て部分に使います。
- ・ 縁を縫います。
- ・ 必要があれば、最初に縫った内側をもう一列縫います。
- ・ いたんだ部分を切り取ります。

TIP

ニット地

- ・ ニット地をいためないように、新しいボールポイント針を使用してください。

TIP

伸縮する布を縫うには

- ・ 布の下に安定紙をあてましょう。
- ・ 必要ならば、ストレッチ針（130-705HS）を使うと、針の先端が繊維の間をすべるように縫うので、生地をいためません。
- ・ 生地が伸びたり、うねったりするのを防ぐため、押え圧を弱くしてください。

フリーハンド刺しゅう

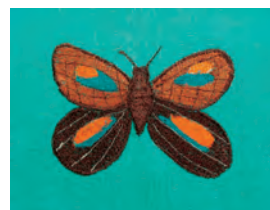


- ステッチ： 直線縫い No.1 または ジグザグ No.2
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： 刺しゅう糸。下糸は細手のポピン糸。
 送り歯： 下（ダーニング位置）
 押え金： ダーニング押え #9（オプション）
 または フリーハンド刺しゅう用押え #24（オプション）



フリーハンド刺しゅう

- フリーハンド刺しゅうは、オリジナルデザインを刺しゅうするときに使います。直線縫い No.1 とジグザグ No.2 を組み合わせて、布の表面に絵を描きます。
- 土台布には、薄手から中くらいの厚さのものを選びます。

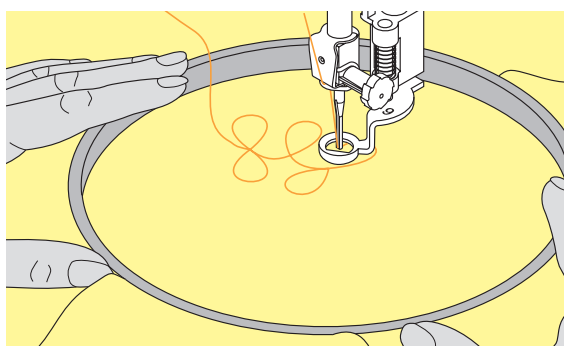


準備

- 鉛筆または布用マーカーで、生地にモチーフを下書きします。
- 生地の下に、安定紙を置きます。
- 土台布と安定紙と一緒に、木製刺しゅう枠（オプション）にセットします。
- ソーイングテーブルを使用します。

ご注意

太い飾り用糸を下糸に使う場合には、下糸テンションを調節するときのために、余分に一個ポピンケースをご購入ください。



縫い方

- 送り長さは0に、上糸調子を少しゆるくしておきます。
- 2番のジグザグステッチを使う際は、モチーフに合わせて、振り幅を調整してください。
- 1番の直線縫いは、直線を描くのに使います。
- 慣れるまで、円形を描くような動きの練習をするとよいでしょう。
- 刺しゅう枠を両手で持って、なめらかに動かします。上下の移動の方が、左右の動きよりは楽ですので、左右に刺しゅうする部分に来たら、90度回して、上下の動きにしましょう。
- ステッチの密度を考えながら、布の表面を埋めていきます。
- 刺しゅう枠を動かすスピードは、一定に保つようにしましょう。布の表面で糸がゆるむようなときは、刺しゅう枠の動かし方が速すぎます。また、裏側で糸ループができてしまうときは、動かし方がゆっくりすぎるのです。

TIP

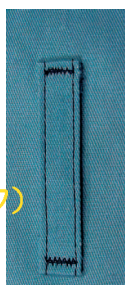
水溶性安定紙を使う

モチーフを水溶性安定紙の上に刺しゅうして、透過性の刺しゅうを作ることも楽しいです。必ずステッチ同士が重なるようにしてください。作業が完了したら、安定紙を洗い流して、モチーフを作品にアップリケします。

TIP

デザインの可能性を広げる

バラエティーに富んだ糸と布を使っても、試してみましょう



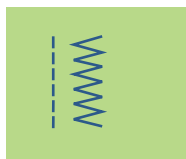
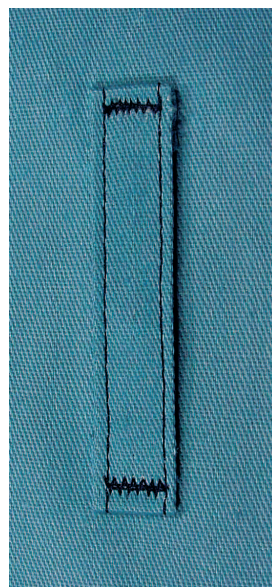
ステッチ： **バータックプログラム No.24 または No.25**
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押え#1C

バータックプログラム

- ・ ファスナー、ポケット、ベルト通し等の縫い終わりを補強する
- ・ リボンをキルトに飾りとしてつけるときに。

縫い方

- ・ ミシンは、左上から縫い始め、自動的に停止します。



TIP

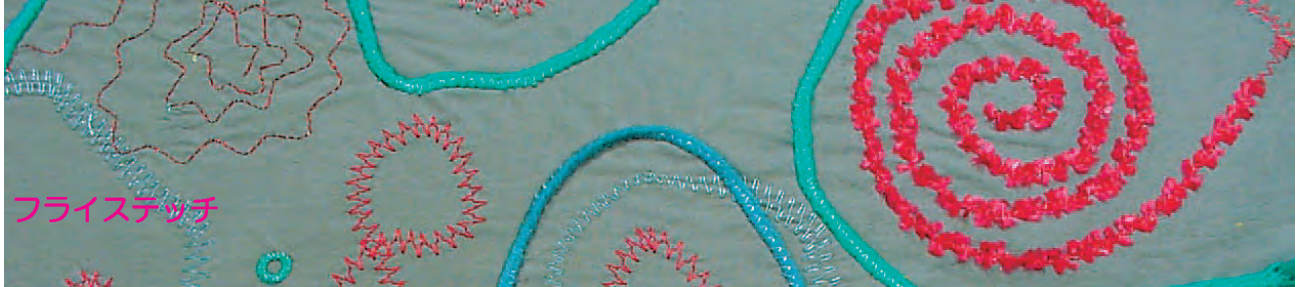
飾り縫いのバータック

- ・ ステッチの中さを長くして、飾り縫いの糸を使って、バータックをします。または、他のステッチと組み合わせて、小さな飾り縫いの四角形を作ります。

TIP

ファスナーを短くする

長すぎるファスナーは、短くカットした後、バータック No.25 を使って、補強します。



ステッチ： フライステッチ No.26、No.27
 針： 布に合わせて選択します。
 糸： コットン、刺しゅう糸またはポリエステル
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押え #1C
 または横送り縫い押え #40C



フライステッチ

フライステッチとは、縫い終わりに使用して、補強するものです。ポケットの端やスリットに使います。

- ・ No.26は、中厚手の布に。
- ・ No.27は、薄手から中くらいの布に。

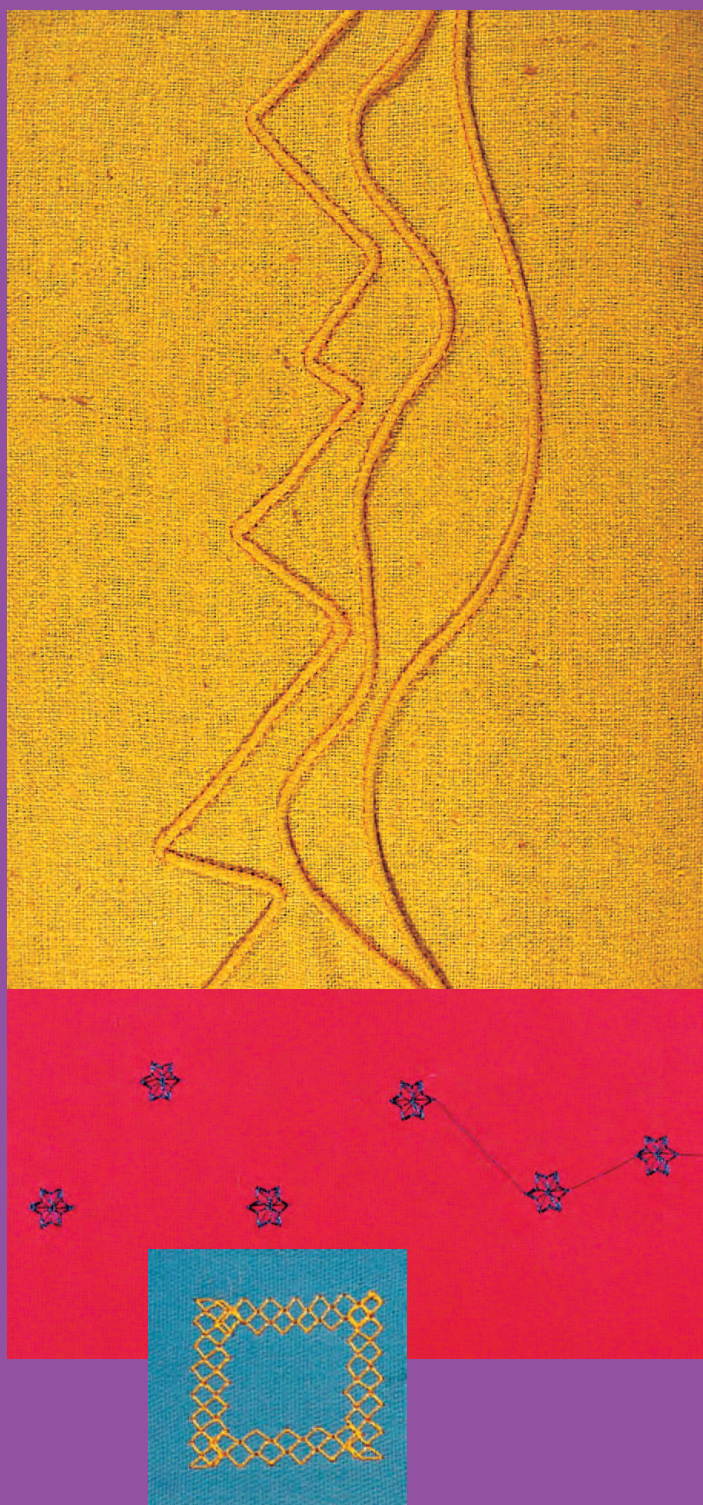
縫い方

- ・ 押え金#1Cを縫い目の中心、スリットの終わりまたはポケットの端に置きます。
- ・ フライステッチが、自動的に開始されます。(下から上へ)
- ・ ミシンは、自動的に停止します。



TIP
 手縫い風の効果
 手縫い風の効果を狙うのなら、フライステッチは、太い糸で縫いましょう。

TIP
 飾り縫いとしても使えます。



飾りステッチについて 74

飾りステッチを上手に縫う
ポイント 75

9ミリ幅の飾りステッチ 76

飾りステッチを便利な機能で縫う 77

実用縫いと飾りステッチを
組み合わせる 79

クロスステッチ 81

伝統的な手芸のテクニック
(エアルーム) 82

ヘムステッチ 83

ピンタック 84

布端にスカラップを縫う 87

紐で補強したスカラップ 88

横送りステッチ横送りステッチに
ついて 89
テンプレートを使う
16方向（パノラマ）縫いとの組み合わせ

16方向縫い（パノラマ縫い） 94

ステッチのつなぎ目 95

4方向縫い 96

飾り縫い



飾りステッチ

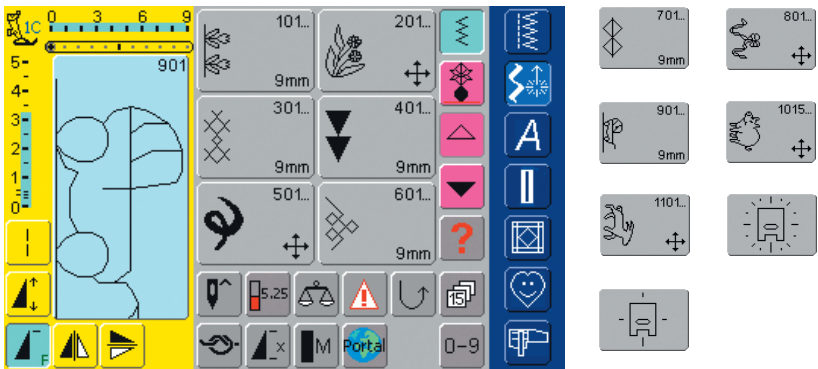
9mm、40mm、16方向縫いおよび4方向縫い



飾りステッチ
16方向と4方向飾りステッチボタン
・ 16方向・4方向ボタンを押してください



まとめ

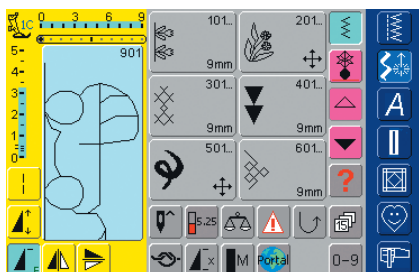


まとめ
・ 表示されるグループのリストです。

- | | |
|-------------|--------------------------------|
| グループ 101＝ | 「自然」をテーマとした9mmステッチ |
| グループ 201＝ | 「自然」をテーマとした40mmステッチ |
| グループ 301＝ | 9mmクロスステッチ |
| グループ 401＝ | 9mmホームデコレーションステッチ |
| グループ 501＝ | 40mmサテンスステッチとパッチワーク・キルティングステッチ |
| グループ 601＝ | ミシンによる飾りステッチ |
| グループ 701＝ | 9mm伝統的なステッチ |
| グループ 801＝ | 40mm伝統的なステッチ |
| グループ 901＝ | 「子供」をテーマとした9mmステッチ |
| グループ 1015＝ | 「子供」をテーマとした40mmステッチ |
| グループ 1101＝ | 星占いのシンボル |
| グループ 16方向縫い | |
| グループ 4方向縫い | |

ステッチの全リストは、268-271 ページをご覧ください。

飾りステッチに関する重要事項



飾りステッチを選択するには

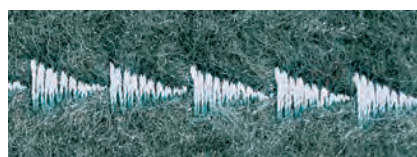
- ・ 飾りステッチのアイコンを押します。
- ・ 画面に一覧表が表示されます。
- ・ 101, 301, 401, 601, 701, 901＝9mmの飾りステッチグループ（振り幅9mmまでの飾りステッチ）
- ・ 201, 501, 801, 1015, 1101＝横送りステッチ（4つの矢印がついています）です。横送りステッチは、大きなステッチまたはアウトラインで描かれたデザインで、布を前後左右の4方向に送りながらステッチされます。
- ・ 4方向縫い、16方向縫いは、それぞれ、4方向、16方向に自動的に送って縫います。
- ・ アイコンをタッチして、まずグループを選んでください。
- ・ グループの中のステッチを選んでください。



飾りステッチの用途

布の種類により、シンプルなものにするか、凝ったものにするか決めて、布に縫ってみましょう。

- ・ 薄手の布地には、シンプルなデザインのステッチを使います。（飾りステッチ101番など）
- ・ 中くらいの厚さの布地には、シンプルかつ薄手のものよりは少し複雑なステッチを使うことができます。トリプルステッチや、一部にサテンステッチの入ったステッチがよいでしょう。（飾りステッチ107番等）
- ・ 厚手の布地には、サテンステッチで構成されたボリュームのあるデザインも使えます。（飾りステッチ401番等）



ステッチをきれいに縫い上げるには

- ・ 上糸と下糸は、同色にしましょう。
- ・ 布の裏側には、安定紙をあてましょう。
- ・ タオル、ウール、ベルベット等の毛足の長い布地を使う場合には、布表面に、水溶性安定紙をおいてからステッチしてください。

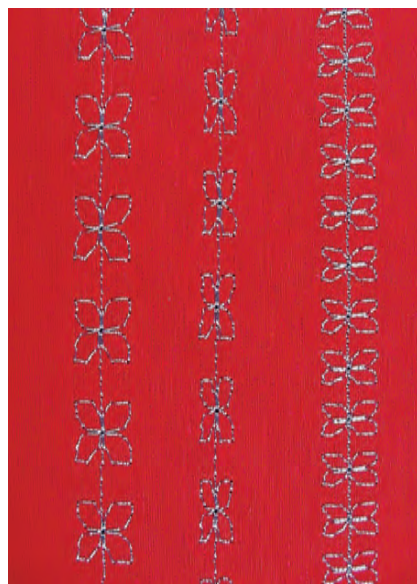
9mmの飾りステッチ

9mmステッチ

- ステッチ： 9mm幅飾りステッチ
針： 生地にあった刺しゅう針
糸： コットンまたはポリエステル、レーヨン等の刺しゅう糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押え#1C
オープン刺しゅう押え#20C

飾りステッチ

- ・ あらゆる生地に使えます
- ・ 布の飾りつけに最適です



1

2

アプリケーション

ステッチの選択

- ・ 飾りステッチ選択アイコンを押します。
- ・ メニューからステッチフォルダーを選びます。
(100番、300番、400番、600番、700番および900番台のグループが、9mmステッチです。)
- ・ ステッチを選びます。

画面表示

- ・ 選択したステッチの振り幅と送り長さは、ブルーで表示されます。
- ・ 基本設定は、変更可能です。



振り幅を変えてみる(1)

- ・ 飾り目的以外にも、例えば土台布の分厚い個所で、ステッチを調整することができます。
- ・ 幅を広くするには、外部の振り幅つまみを時計回りに回します。
- ・ 狭くするには、時計と反対回りに回します。
- ・ 基本のセッティングおよび変更後の状態は、画面に表示されます。
- ・ 元に戻すには、振り幅または送り長さバーをタッチするか、外部のつまみを回します。



送り長さを変えてみる(2)

- ・ 飾り目的以外にも、例えば土台布の分厚い個所で、ステッチを調整することができます。
- ・ 長くするには、送り長さつまみを時計回りに回します。
- ・ 短くするには、時計と反対回りに回します。
- ・ 基本のセッティングおよび変更後の状態は、画面に表示されます。
- ・ 元に戻すには、振り幅または送り長さバーをタッチするか、外部のつまみを回します。

TIP

基本のセッティングに加えた変更を保存するには

- ・ パーソナルプログラムに保存することができます。
- ・ または、基本のセッティング自体を変更して、いつでも今現在の変更した形で表示されるようにもできます。

パーソナルプログラムについては、154 ページをご覧ください。

基本のセッティング自体の変更については、24-25 ページをご覧ください。

飾りステッチと各種機能の組み合わせ

ステッチ： 9mm飾りステッチ
 針： 布に合わせて選びます。
 糸： コットン、デコラティブ
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え #1C
 またはオープン刺しゅう押え #20C

基本設定と様々な機能を組み合わせて、クリエイティブなステッチをお楽しみください。

方法

- ・ ステッチを選びます。
- ・ 機能を選びます。
- ・ 変更後のステッチが、画面に表示されます。
- ・ シングルステッチと、いくつかの機能を組み合わせることができます。

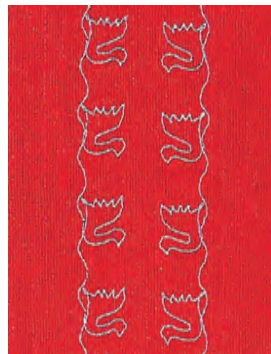
機能を削除するには

- ・ 外部のクリアーボタンを押すか、画面で各機能にタッチします。

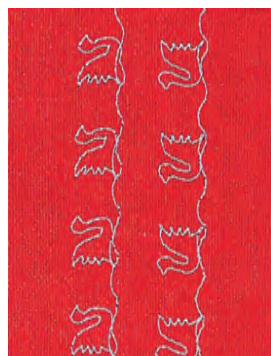


飾りステッチを反転させる

- ・ 左右の反転機能をタッチすると、ステッチは、左右反転した形に変更されます。



- ・ 上下の反転機能をタッチすると、ステッチは、上下に反転した形に変更されます。



- ・ 上下、左右両方の機能に同時にタッチすると、ステッチは、上下左右に反転された形に変更されます。



飾りステッチとロングステッチ機能を組み合わせる（１）

- ・ ロングステッチ機能を押します。
- ・ ２ステッチごとに１ステッチを縫うようになります。変更後のステッチが、画面に表示されます。



パターンの拡大機能で、飾りステッチを拡大する（２）

- ・ パターンの拡大機能を一回またはそれ以上タッチします。
- ・ 選択したステッチが、２倍から５倍の間で拡大されます。
- ・ ステッチのデザインによっては、３倍以上にはできないものもありますので、ご注意ください。



1



2

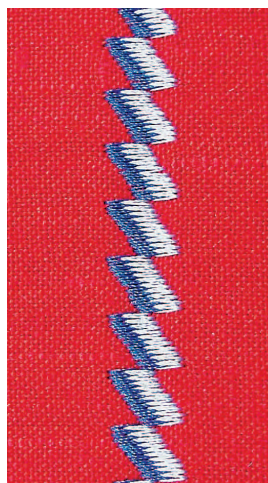


2本針、3本針、またはウィング針で縫ってみる（３）

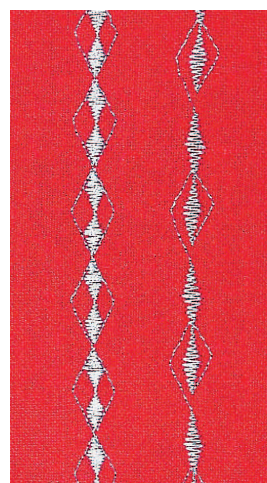
- ・ 特殊針を使う場合には、必ずセキュリティプログラムをオンにしてください。

セキュリティプログラムについては、32ページをご覧ください。

- ・ セキュリティプログラムをオンにしていれば、ステッチを選択したとき、針のタイプによって、振り幅が自動的に制限されます。
- ・ 特殊針を使う場合は、シンプルなパターンが効果的です。



3



4



バランス（４）

- ・ バランス機能をうまく使えば、いろいろなバリエーションを加えることができます。

バランス機能については、183 ページから184 ページをご覧ください。

TIP

「一模様縫い」機能を加えてみましょう

- ・ 針元の「一模様縫い」ボタンを押すと、今縫っているステッチを縫い終わると、または組合せ模様を一回縫い終わると、ミシンが自動的に停止します。
- ・ 一方、画面上の「一模様縫い1ー9×」アイコンをタッチすると、模様を指定した数（1 から9まで）だけ縫うと、ミシンは自動的に停止します。

組合せモードを使った実用縫いとお飾りステッチ

ステッチ： 9mmの実用縫いおよび飾りステッチ
 針： 布に合わせて選びます。
 糸： コットン、デコラティブ
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え #1C
 またはオープン刺しゅう押え #20C



- ・ 「組合せモード」アイコンをタッチします。
- ・ 組合せモードが開き、ステッチの組合せを作成できます。



ご注意

実用縫いおよび飾りステッチの内、ほとんどのステッチは組合わせることが可能ですが、例外もあります。

一点止め縫いプログラム No.3 2 4

ステッチの返し縫い No.5

しつけ縫い No.2 1

ダーニング No.2 2 および No.2 3

バータック No.2 4 および No.2 5

フライステッチ No.2 6 および No.2 7

アイコンホール用ステッチ各種 No.5 1 から No.6 3 まで

以上のステッチは、組合わせに使用することができません。



実用縫いとお飾りステッチを組み合わせる

- ・ ステッチを選びます。
- ・ 選択したステッチは、画面に表示されます。
- ・ もう一つのステッチを選びます。
- ・ 組合せが完成するまで、この作業を繰り返します。

組合せのプレビューについては、160 ページをご覧ください。



ステッチ組合せの例

- ・ ミシン飾りステッチ No.655 を一回タッチします。
- ・ 実用縫いのウィンドウを開き、直線縫い No.1 を一回、タッチします。
- ・ 飾りステッチのウィンドウを開き、ミシン飾りステッチ No.606 を一回タッチします。
- ・ 実用縫いのウィンドウを開き、直線縫い No.1 を一回、タッチします。
- ・ このパターンが、繰り返し縫えるようになります。



ステッチと各種機能の組合せの例

- ・ No.656 のステッチを一回、タッチします。
- ・ No.656 のステッチをもう一回タッチしてから、上下方向への反転のアイコンをタッチして、二番目に選んだステッチを反転させます。
- ・ これで組合せが出来上がりました。
- ・ 標準のステッチと反転されたステッチが繰り返し縫えます。

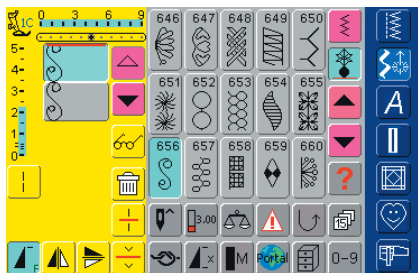


ステッチの組合せを一回だけ又は複数回縫う

- ・ ステッチ組合せをデザインします。
- ・ 「一模様縫い1ー9×」を1回、または複数回タッチして、繰り返しの回数を決めます。(指定した数が、表示されます。)
- ・ 指定の回数縫うと、ミシンが自動的に停止します。



組合せを修正する



ステッチを挿入するには

- ・ カーソルで指定した場所に、ステッチを加えることができます。
- ・ 組合せたステッチの最初に別のステッチを追加したい場合には、赤色のカーソルを、スクロール用の矢印を使って、上に移動します。
- ・ 挿入したい場所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- ・ 挿入するステッチを選びます。
- ・ これで、カーソルで指定した個所に、新しいステッチを挿入できました。



ステッチを削除するには

- ・ カーソルで指定したステッチを削除することができます。
- ・ 希望の個所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- ・ 「削除」をタッチします。
- ・ これで、ステッチの削除が完了しました。

組合せの保存については、158ページをご覧ください。



組合せ全体を左右に反転するには

- ・ マルチ機能アイコンをタッチします。
- ・ 「組合せを反転」アイコンをタッチします。
- ・ これで組合せ全体を左右に反転することができました。



留め縫い機能を追加するには (4針留め縫いします)

自動的に返し縫いする方法が、いくつかあります。

1. 「返し縫い」をタッチしてから、縫い始めます。組合せの最初に、返し縫いが入ります。
2. ステッチの最後に「返し縫い」をタッチします。組合せの最後に、返し縫いが入ります。

ステッチ組合せのプログラムに、返し縫い機能も組み込んでしまいます。そうすれば、指定したステッチを返し縫いするようにできます。

クロスステッチ

ステッチ： クロスステッチ No.301から No.314
針： 生地に合わせて選びます。
糸： コットン、デコラティブ
送り歯： 上
押え： スーパー模様縫い押え #1C
またはオープン刺しゅう押え #20C

- ・ クロスステッチは、伝統的なテクニックです。飾りステッチと組み合わせて、手軽にすてきなデザインを作ることができます。
- ・ クロスステッチを、麻のような質感の生地に縫うと、手刺しゅう風に仕上がります。

用途

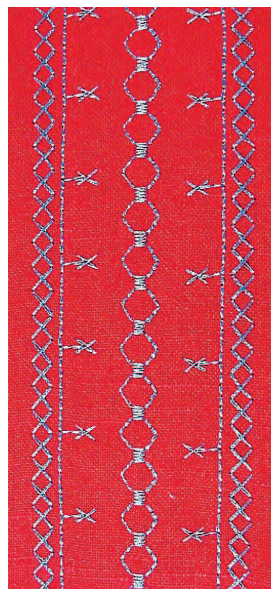
- ・ ホームデコレーションや小物に
- ・ 洋服のトリミングに
- ・ さまざまなものの飾りに

組合せ

- ・ 他の飾りステッチと同様、No.301 から No.309、No.314 のクロスステッチも、組み合わせて使えます。

縫い方

- ・ クロスステッチを選びます。
- ・ シームガイドまたはスライドオンテーブルのガイドを使って、一列縫います。
- ・ 2列目以下は、最初の一列をガイドにして、縫うので、最初の一列を直線上にまっすぐ縫うことが大切です。
- ・ 新しいステッチを選びます。
- ・ 押え金の端に1列目のステッチを揃えて、2列目をステッチします。（シームガイドを使ってもよいでしょう。）
- ・ 続けて縫っていきます。



TIP

クロスステッチにはコットンの刺しゅう用糸が最適

- ・ ステッチは通常よりボリューム感をもって仕上がります。

エアリュームテクニック・レースの縫い方

エアリュームとは

- ・ 古くから伝わる伝統的な針仕事のことで、
- ・ 白い木綿または麻にレース等の飾りを縫い付けて、ふだん使いの小物や服飾品を作ります。
- ・ エアリューム刺しゅうには、ヘムステッチのようなテクニック、レースを縫い付けたり、中に挟んだりするもの、およびサテンステッチでスキャロップを付けるもの等があります。

レースを縫い付ける、または中に挟む方法

- ステッチ： **ジグザグ No.2**
針： **布に適したもの**
糸： **コットンまたは飾り縫い用**
送り歯： **上**
押え： **スーパー模様押え #1C**
またはエッジステッチ用押え #10C（オプション）

準備

- ・ レースと同色の糸を使うこと
- ・ 事前に、レースにスプレーで糊付けして硬くしておくと、縫い易くなります。

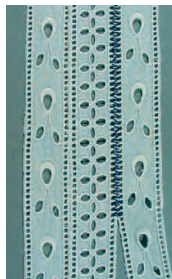


レースを縫い付ける

- ・ 布の表側にレースを置きます。その際、レースと布の端が1センチ以上重なるようにして（縫い代）、待ち針を打ちます。
- ・ レースの耳を布端に合わせてください。
- ・ 直線縫い No.1 で、レースを縫い付けます。
- ・ 縫い代を、布の裏側に折り返します。
- ・ 右側から、幅の狭いジグザグ（1.5 から 2.5mm、送り長さは 0.5mm くらい）で、レースを縫いとめます。レースの端をステッチするようにして、布端を始末してください。
- ・ 裏側から、余分な縫い代を始末します。

レースをレースに縫い付けるには

- ・ レース同士を隣り合わせにします。（その際、端はきっちりと合わせる）
- ・ 幅の狭目のジグザグ（1.5mm から 2.5mm、送り長さは 0.5mm くらい）で、レース同士を縫いとめます。ジグザグの振りは、正確に2本のレースの端をとらえるようにしてください。エッジステッチ押え #10（オプション）を使います。



レースを布の間に挟むには

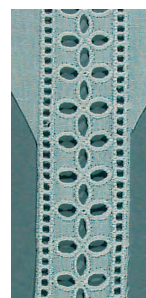
- ・ 布の上にレースを待ち針、またはしつけ縫いでとめます。レースの両側を、直線縫い No.1 で縫います。
- ・ レースを傷つけないように注意しながら、レースの下になっている布の中央をカットします。
- ・ 縫い代部分を布の裏側に折り返して、アイロンします。
- ・ 布の表側から、幅の狭目のジグザグ（1.5mm から 2.5mm、送り長さは 0.5mm くらい）をかけて、レースの端を綴じるようにします。
- ・ 裏側から、余分の縫い代を始末します。



アントレドゥ（フランス・レース）

アントレドゥを布に縫い付ける

- ・ アントレドゥを布の上に、右側の端を合わせるように置きます。
- ・ アントレドゥを布に、直線縫いで縫いつける。その際、エッジステッチ用押え金 #10（オプション）を使用、押え金の中央のガイドを、アントレドゥの縫い代に沿わせるように布を送ります。
- ・ 縫い代を3mmに揃えます。
- ・ アントレドゥおよび布の縫い目を、幅の狭目のジグザグ（ジグザグステッチ NO.2、振り幅 2mm、送り長さ 1.5mm）で縫います。



アントレドゥをレース等に縫い付けるには

- ・ アントレドゥの縫い代を、片側だけ始末する。
- ・ レースをレースに縫い付けるテクニックと同じように縫います。

エアールームテクニック・ヘムステッチ

- ステッチ： ヘムステッチ No.701、702、709-711、713、720
721、723、725、726、732、742
- 針： ウィング針、ウィング2本針
- 糸： コットンまたは飾り縫い用糸
- 送り歯： 上
- 押え： 標準押え金 #1C
またはオープン刺しゅう用押え #20C

ヘムステッチ

- ・ ウィング針を使えば、簡単に素晴らしい穴開きの効果が得られます。
- ・ 目の粗い布、薄手から中くらいまでのニット等、針で織りを押し分けることのできる布に最適です。
- ・ 家庭用小物および服飾品に最適です。

準備

- ・ 布の裏側にアイロンで接着できる安定紙をつけ、補強しておきます。
- ・ 布の種類および狙った効果により、安定紙を二重にしてもよいでしょう。
- ・ ウィング針または2本ウィング針を取りつけて、セキュリティプログラムの振幅制限を起動させておきます。

セキュリティプログラムについては、32ページをご覧ください。

ウィング針を使う(写真1)

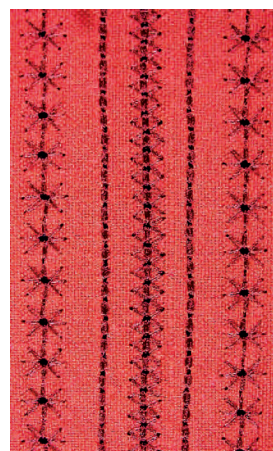
- ・ 通常のウィング針は、どんなヘムステッチにでも使えます。
- ・ ヘムステッチを選んで縫います。

ウィング2本針を使う(写真2)

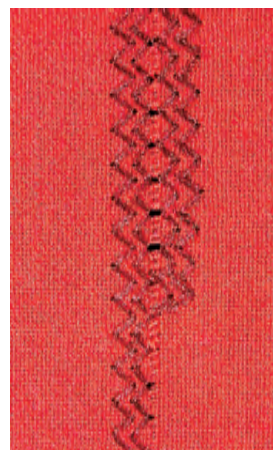
- ・ 2本針のうち、ウィング針になっているほうが、布に穴を開け、通常のウィング針の方は直線縫いをします。
- ・ ステッチを選び（ここではトリプルジグザグステッチ No.7）、最初の一行を縫います。
- ・ 布の向きを変え、2列目を縫います。針は、一列目の穴を刺すようにします。

糸を引き出す(写真3)

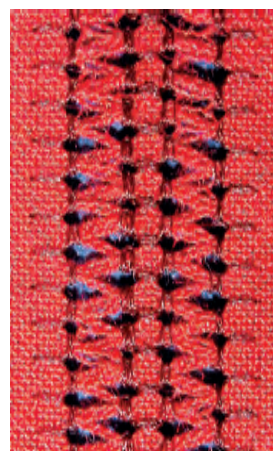
- ・ より手縫い的な感じに仕上げたい場合には、ヘムステッチを始める前に、布から一部の織り糸を抜き出しておきます。
- ・ ステッチを始める前に、スプレー糊で糊付けし、アイロンをかけておいてもよいでしょう。
- ・ 糸を抜いた隙間の横に、ヘムステッチができていきます。
- ・ 糸を束ねるようにするには、布と、糸を抜き出した隙間の両方を、交互に刺すようにします。



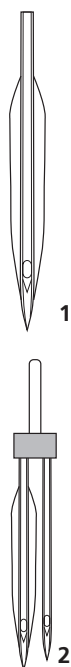
1



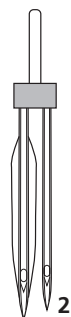
2



3



1

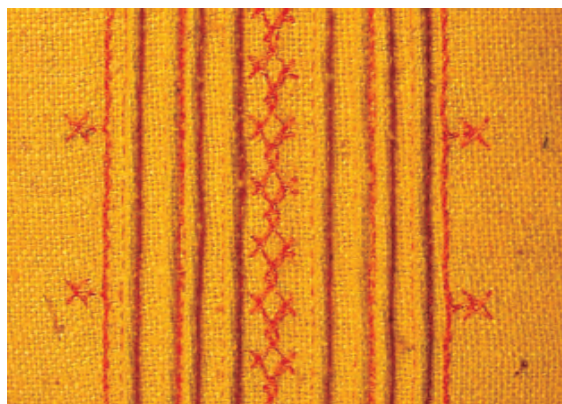


2



エアルームテクニック・ピンタック

- ステッチ： 直線縫い No.1
針： 2本針 1mmから4mm（ピンタック用押え金による）
糸： コットンまたは飾り縫い用糸
送り歯： 上
押え： ピンタック用押え#30（3列）、
ピンタック用押え#31（5列）、
ピンタック用押え#32（7列）
またはピンタック用押え#33（9列） これらすべてオプションです。



ピンタックを縫う

- ・ このテクニックを使うと、布のサイズが縮まりますので、大きめの布をご用意下さい。
- ・ ピンタックとは、布を少しつまんで、縫いとめたものです。通常、型紙に合わせてカットする前に、縫っておきます。
- ・ 飾り用に単独で、または他のエアルームテクニックと合わせて使います。

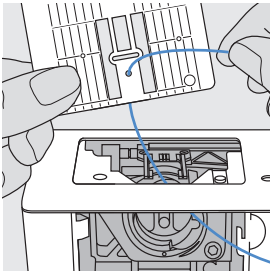
ピンタック用押え金

- ・ #30（3列）＝4mm 2本針、厚手の布用
- ・ #31（5列）＝3mm 2本針、中～厚手の布用
- ・ #32（7列）＝2mm 2本針、薄手～中くらいの布用
- ・ #33（9列）＝1mmまたは 1.6mmの2本針、非常に薄手の布用（コードの縫込みはできません）

コード芯入りピンタック

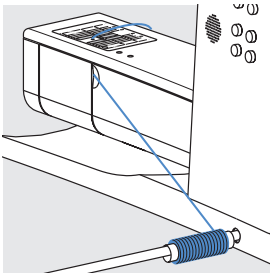
- ・ ピンタックをコード芯と一緒に縫うこともできます。
- ・ コード芯を使うと、立体感のある仕上がりになります。
- ・ 選んだピンタック用押え金の溝に合うコード芯を使用します。
- ・ コード芯は色落ちしない、縮まないものを選びましょう。

ご注意
ピンタックをすると、布の幅が狭くなります。十分な大きさの布をご用意下さい。



コード芯をセットする

- ・ 針板を外して、ポピンカバーを開きます。
- ・ 下側からコード芯を通し、ポピン部分を抜けて、針板の穴を通すようにします。
- ・ 針板を取りつけます。



- ・ ポピンカバーを閉じます。
- ・ コード芯は自由に送れるようにします。ポピンカバーの細いすきまをガイドに使いましょう。
- ・ コード芯の糸こまは、フリーハンドシステム（膝押え上げレバー）に通しておきます。
- ・ コード芯がスムーズに進むかどうか、チェックしておきましょう。

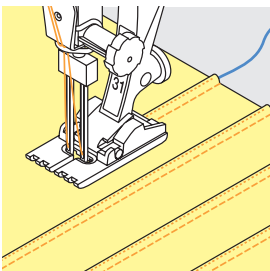
針に糸を通す

- ・ 2本針を取りつける。
- ・ セキュリティプログラムの2本針用の振り幅制限を起動させます。（使用する針のサイズをきちんと指定してください。）

セキュリティプログラムについては、32ページをご覧ください。

- ・ 2本の針に糸を通します。

2本針の糸通しについては、16ページをご覧ください。



ピンタックを縫う

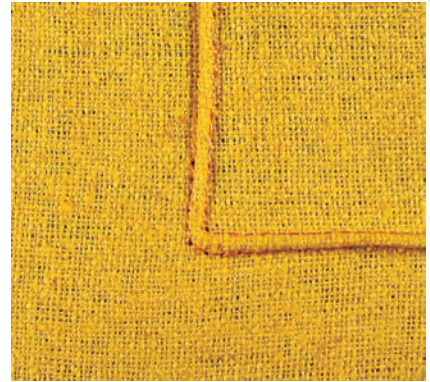
- ・ 最初のタックを縫います。最初にラインを描いておいてもよいでしょう。
- ・ コード芯は、自動的にピンタックの中に縫いこまれます。
- ・ 必要ならば、布の向きを変えながら進めます。
- ・ 最初のピンタックを、押え金の溝の一つに合わせます。（タック同士の距離を考えて、希望のものに合わせます）
- ・ 2列目を縫います。
- ・ これら2列のピンタックに合わせて、残りを縫っていきます。





コーナー部分をステッチするには

- ・ 2本針では、コーナー部分を正確に回ることができません。そのため、コーナー部分は数回に分けて縫うことになります。
- ・ 2本針を布に刺した状態で、はずみ車を回し、針が布の上ぎりぎりに来るまで上げます。（針穴が見えるが、針先はまだ布に刺さっている状態です）
- ・ 布を45度回転させて、一針縫い、針をまた元の位置に戻します（布のちょうど上まで）。
- ・ 布をもう45度回転させ、ステッチを続けます。
- ・ 角度のある部分に来たら、その角度になるまで、この手順を繰り返します。



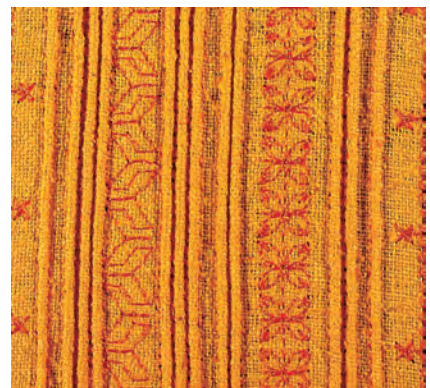
曲線のピンタック

- ・ 直線だけでなく、ピンタックを流線型にすることもできます。



飾りステッチとピンタックの組み合わせ

- ・ ピンタック間に飾りステッチをしたい場合には、スーパー模様押え#1Cを使って、ピンタックを縫う前に飾りをつけます。
- ・ 作品の下に安定紙をおいて、作業しましょう。安定紙は、飾りステッチが終了したら、外します。
- ・ ピンタックを、飾りステッチの両側に施します。



TIP

ヒント 縫い目ガイド

縫い目ガイドを使うと、ピンタックの幅を均一にできます。特に離れたものを何本か作る場合、便利です。

エアルームテクニック・エッジに沿ってスカロップを作る

ステッチ： パッティドサテンステッチ No.416
針： 選んだ布に合うサイズおよびタイプのもの
糸： コットンまたは刺しゅう糸
送り歯： 上（ソーイング位置）
押え： オープン刺しゅう押え #20C
または刺しゅう押え #6（オプション）

オープンスカロップ

- ・ 布端をレース状に仕上げます。
- ・ 服飾品およびテーブルクロスやベッドカバーに最適です。

準備

- ・ スカロップをレース状にするには、水溶性または破り取れるタイプの安定紙を布の下に、端から少しはみ出るようにセットします。
- ・ 安定紙を待ち針、またはしつけ縫いでとめます。
- ・ コード芯の糸こまを、膝押え上げレバーに取りつけます。（85 ページ参照）
- ・ コード芯は、スカロップを作る糸と同色、かつ色落ちしない、縮まないものを使いましょう。
- ・ コード芯を、針板の穴に下から通します。

コードの挿入に付いては、85 ページをご覧ください。

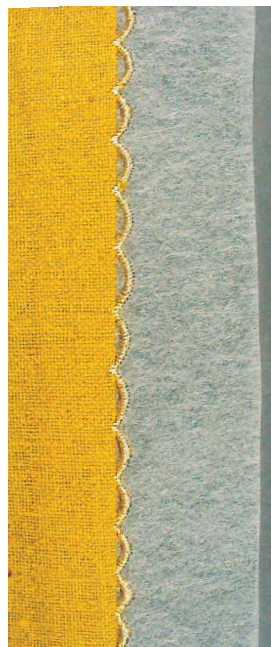
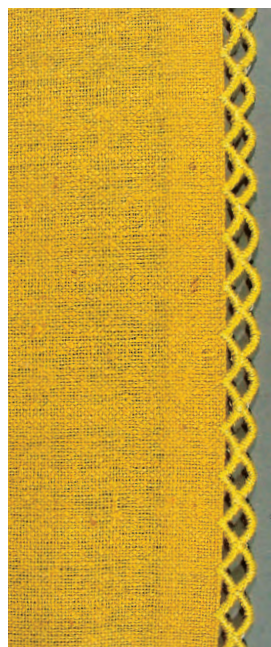
ステッチ

- ・ スカロップの一系列目をステッチします。
- ・ スカロップはいつも、布端から始まり、布端で終わるようにします。カーブ部分は、安定紙の上にはみ出します。
- ・ スカロップの始まりと終わりが布端から離れてしまうと、後で外れてしまいますので、ご注意ください。
- ・ スカロップを一系列だけでなく、2列、3列つけても面白いでしょう。
- ・ 2列、3列のスカロップを付ける場合には、前に作ったスカロップと、新しく作る列の始まりと終わりがきちんと重なっていることを確認しましょう。
- ・ ステッチが完了したら、安定紙を取り除きます。

TIP

完璧な仕上がりのために

パッティドサテンスカロップは、熟練が必要なテクニックです。練習して始めましょう。



エアールームテクニック・芯糸入りスキャロップ

- ステッチ： サテンスキャロップステッチ No.507、508
針： 選んだ布に合ったサイズおよびタイプのもの
糸： コットンまたは刺しゅう糸
送り歯： 上（ソーイング位置）
押え： 横送り縫い押え #40C
およびオープン刺しゅう押え #20C
または刺しゅう押え#6（オプション）

コード入りスキャロップ

- ・ 服飾品およびテーブルクロス、ベッドカバー用



芯糸入りスキャロップ

最初に

- ・ 布の端に安定紙を置きます。
- ・ #40Cの押え金をセットして、布端から1センチ程度のところにスキャロップをサテンステッチします。その際、まっすぐにできるよう、縫い目ガイドまたはスライド式テーブルの縫い目ガイドを使うようにしてください。

布端の始末

- ・ スキャロップが完成したら、余分の布を始末します。

芯糸入りスキャロップの上からもう一度ステッチします

- ・ #20Cの押え金をセットし、フリーハンドシステムのレバーにコード芯の糸こまを取りつける。
- ・ コード芯は、スキャロップを作る糸と同色のもので、色落ちしない、縮まないものを選ぶこと。
- ・ ジグザグステッチ No.2を使い（振り幅5、送り長さは大体2分の1から1）、スキャロップの上からもう一度ステッチします。その際、コード芯をステッチに沿ってガイドしてゆく。
- ・ 針が、交互にスキャロップのステッチとコードのすぐ横の布端を捉えるようにします。
- ・ スキャロップの終わり部分では、少しだけ振り幅を縮めるようにします。スキャロップの終わりの数針を縫ったら、布を少しだけ回し（針は刺したまま）、また数針を縫い、それから振り幅をまた広げて、広い部分を縫うようにします。



芯糸を入れて縫ったスキャロップ



芯糸入りオーバーキャスト
イングスキャロップ

横送り縫いについては、90ページをご覧ください。

TIP

スキャロップの上からもう一度ステッチするには

- ・ ソーイングスピードをゆるめ（モータースピード機能を使う）、
- ・ 針下位置停止機能を使うとよいでしょう。

TIP

サテンスキャロップの
端を補強するには

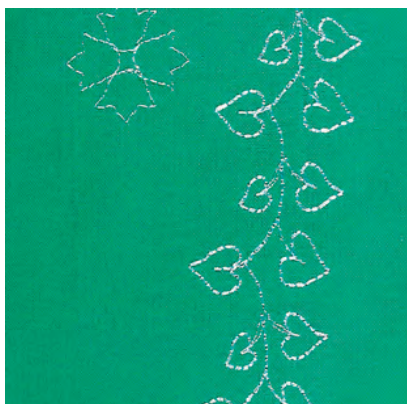
ダブルコードを使うと
よいでしょう。

横送り縫いについて



横送り縫い

- ・ 横送り縫いとは、布を前後だけでなく、左右にも送って縫う、大きなステッチのことです。
- ・ 選択するには、画面をタッチします。
- ・ 横送り縫いは、ステッチ変更エリアに、4つの矢印とともに表示されます。
- ・ 縫い始め（グリーンで表示）と、縫い終わり（赤で表示）を、ステッチ変更エリアで見ることができます。

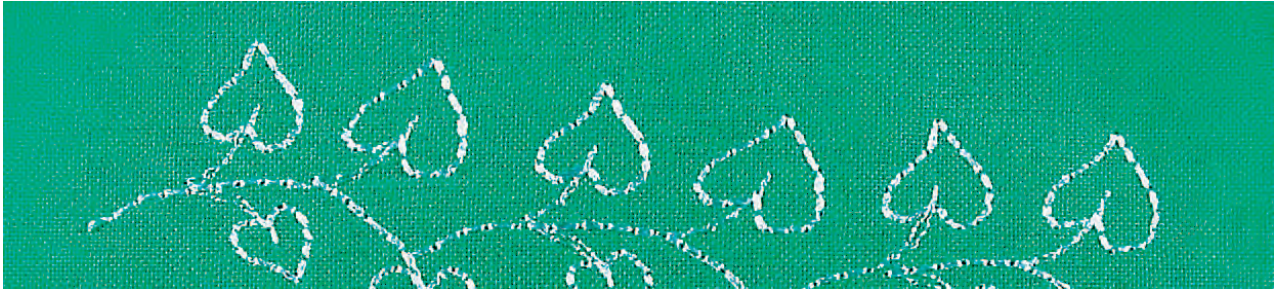


- ・ No.218 等のシングルモチーフでは、縫い終わるとミシンが自動的に停止します。
- ・ その他のステッチ（No.808 等）は、続けてステッチされます。

テンプレートについて

- ・ 取扱説明書の最後に、テンプレートが付いています。ステッチをレイアウトする場所を決めるのに、非常に便利です。
- ・ 横送り縫いのステッチは、すべて実物大でこのテンプレートに印刷されています。
- ・ 縫い始めは○、縫い終わりには+の印がついています。また、どちらの個所も、テンプレートに穴が開いています。（布に印付けをするのに、便利です。）
- ・ 縫い始めおよび縫い終わりは、画面のステッチ変更エリアにも表示されます。
- ・ ソーイングの方向は、押え金のシンボルおよび細いガイドラインで示されます。
- ・ 押え金は、ガイドラインに対して、いつでも平行になるようにしてください。
- ・ テンプレートを土台布に重ねて、縫い始めを印付けしてください。





横送り縫いをする

- ・ スライドオンテーブルを使うと、作業スペースを広げることができます。
- ・ 針を、縫い始めの個所に刺します。(テンプレートに表示された方向にご注意ください。)
- ・ テンプレート上のガイドラインが、押え金に対して平行になるように布を置き、テンプレートを外します。
- ・ 縫います。
- ・ 布が自由かつ均等に送られるように、ご注意ください。何かにぶつかったり、引っ張られたりすることのないよう、障害物は排除しておきます。
- ・ ミシンに「手助け」はいりません。布を押したり、引いたりするのはやめましょう。
- ・ 縫い始める前に、テンプレートのガイドラインを布に写しておくと、ステッチの方向が常にわかって、便利です。

横送り縫いと各種機能を組み合わせる

- ・ 横送り縫いは、画面上でアクティブになっている機能のどれとでも組み合わせることができます。(反転等)
- ・ 横送り縫いのモチーフは、サイズ変更できないものがほとんどです。(振り幅および送り長さの変更は、入力できない状態になっています。)



横送り縫いのバランス

- ・ 布地、安定紙、糸その他の要素により、ステッチの形に影響が出る場合があります。
- ・ そのような場合には、バランス機能を使って、調整を行ないます。

バランスについては、184ページをご覧ください。

TIP

試し縫い

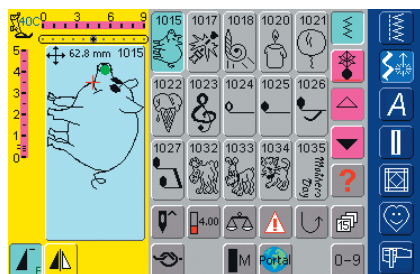
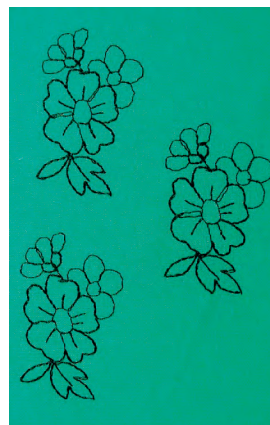
実際に使用する予定の布、安定紙および糸を使って、試し縫いをするをお勧めします。

テンプレートを使って横送り縫いを組み合わせるには

ステッチ： 横送り縫い
 針： 布に適したもの
 糸： コットンまたはデコラティブ
 送り歯： 上
 押え： 横送り縫い押え #40C

テンプレートを使って横送り縫いを配置する

- ・ 土台布にテンプレートを当てて、ステッチの配置を考えます。
- ・ 縫い始めの○を布に写します。



縫い方

- ・ スライドオンテーブルを使うと、作業スペースが広がります。
- ・ シングルモードのステッチを選択します。
- ・ 押え金を、針が縫い始めの点を刺す位置に、指定の方向に向けて下ろし、縫い始めます。

一模様縫い機能で連続縫い

- ・ 「一模様縫い1-9×」機能を1回タッチ（1の数字が表示されます）します。ミシンは、自動的に停止します。

テンプレートを使って、ステッチを追加する

- ・ 他のステッチを追加したい場合には、土台布にもう1度テンプレートを置き、縫い始め点を印付けします。押え金を下ろして、縫います。



自動糸カッター

横送り縫いは、縫い始めおよび縫い終わりが自動的に返し縫いされるので、自動糸カッター機能を使うと、非常に便利です。



1 6方向縫いと横送り縫いの組み合わせ

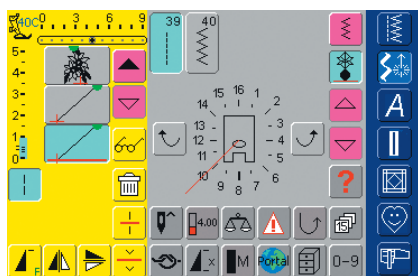
ステッチ： 横送り縫い
針： 布に合ったもの
糸： デコラティブ
送り歯： 上
押え： 横送り縫い用 #40C

横送り縫いを1 6方向縫いと自動的に組み合わせるには

- ・ コンビモードで、1 6方向縫いを指定すると、横送り縫いを様々な方ができます。

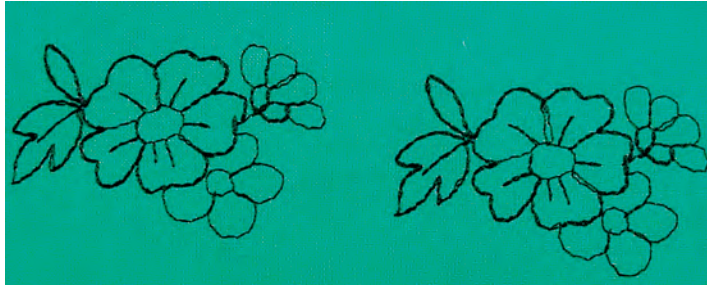
テンプレートを使ってスペースを決めるには

- ・ 最初の横送り縫い（ここでは No.2 0 5）のテンプレートを置きます。
- ・ 縫い始めおよび縫い終わりを印付けします。
- ・ 1 6方向のテンプレートを置いて、2 番目のステッチの位置を決めます（最初のステッチと同じ方向にしてください。）。
- ・ 押え金のアイコン（縫う方向を示しています）を、最初のステッチの縫い終わりに合わせてください。
- ・ 2 番目のステッチの縫い始めは、1 6方向のどれかの、スペースポイント（矢印）に合わせてるようにします。
- ・ ステッチの方向を間違えないように注意しましょう。また、ステッチ間のスペースを数えておきましょう。（矢印一つが9 mmです）。



横送り縫いとスペースをプログラムする

- ・ コンビモードで、横送り縫い（ここでは No.2 0 5）を選択します。
- ・ 「1 6方向縫い」を選択します。
- ・ 直線縫い No.3 9を選択し、送り長さ1の基本設定にします（3ステッチ＝3 mmごとに1回、縫います）。
- ・ オンスクリーンの矢印ボタンで、前と同じ方向を入力します。
- ・ ロングステッチ機能（9ステッチごとに1回縫う）を選択します。
- ・ 直線縫い No.3 9の（送り長さ1）をロングステッチ機能に組み合わせたので、9 mmのスペースができます。
- ・ 直線縫いのステッチ数（これがステッチのつなぎになります）を入力します。数は、必要なスペース（1スペース＝9 mm）と同数に設定します。
- ・ ロングステッチ機能を削除することを忘れないようにしてください。
- ・ 2 番目の横送り縫いを選択します。
- ・ シングルリピートで連続縫いするには、「一様縫い1－9×」機能を選択しておきます。（画面に「1」が表示されます。）



ステッチのコンビネーションを縫う

- ・ 横送り縫い用押えを、テンプレートにしたがって布の上にご下ろします。このとき、針が縫い始めの印を刺す位置にあることを確認してください。
- ・ ミシンは、まず最初のステッチを縫い、それから自動的にステッチのつながぎに移ります。そして、2番目のステッチを縫った後、自動的に停止します。
- ・ 横送り縫いは、自動的に返し縫いされるので、ステッチのつながぎはそのまま始末してください。



コンビネーションを訂正する



ステッチを挿入するには

- ・ カーソルで指定した場所に、ステッチを加えることができます。
- ・ ステッチコンビネーションの最初に別のステッチを追加したい場合には、カーソルを、スクロール用の矢印を使って、上に移動します。
- ・ 希望の箇所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- ・ 新しいステッチを選択します。
- ・ これで、カーソルで指定した箇所に、新しいステッチを追加できました。



ステッチを削除するには

- ・ カーソルで指定したステッチを削除することができます。
- ・ 希望の箇所を指定します。ステッチ変更エリアで選択するか、または矢印のスクロールで指定します。
- ・ 「削除」をタッチします。
- ・ これで、ステッチの削除が完了しました。

コンビネーションの保存については、158 ページをご覧ください。



コンビネーションのプレビューについては、160 ページをご覧ください。

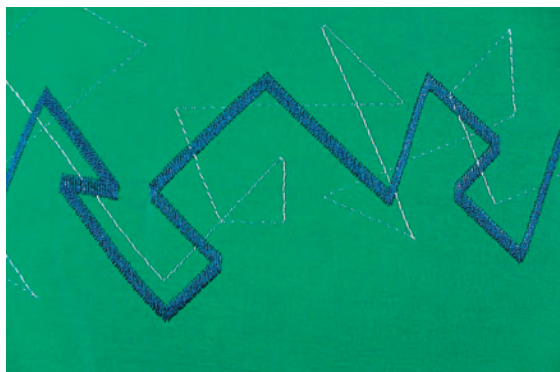


自動糸カッター

横送り縫いは、縫い始めおよび縫い終わりが自動的に返し縫いされるので、自動糸カッター機能を使うと、非常に便利です。

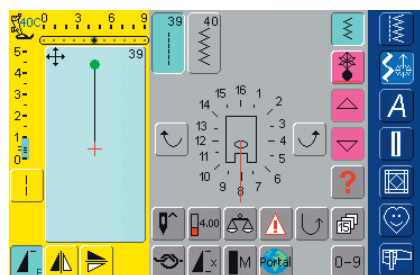
16方向縫い

ステッチ： 直線縫い No.39、シグザグ縫い No.40
 針： 布に適したもの
 糸： コットン、刺しゅう糸
 送り歯： 上
 押え： 横送り縫い用押え #40C



16方向縫い

- ・ 自動的に16方向縫いをします（布を動かす必要はありません）。
- ・ 飾り用に最適です。
- ・ 布を動かすことなく、キルティングができます。



画面の表示

- ・ 16方向縫いの画面表示を選択します。
- ・ 直線縫いまたはシグザグをタッチします。
- ・ 16方向への矢印に囲まれた押え金のシンボルが、画面中央に表示されます。
- ・ 左右への矢印のオンスクリーンボタンを使って、1回にワンステップずつ移動することができます。

直線縫い No.39

- ・ 3ステッチに1回、縫うステッチです。
- ・ 基本のセッティングは、送り長さ1=3mmですが、0から1（=0~3mm）の範囲で変更できます。
- ・ これに加えて、ロングステッチ機能を選択すると、ミシンは9ステッチに1回縫うようになります。（送り長さの基本セッティングは、1=9mmとなります。）



シグザグ No.40

- ・ 送り長さはサテンスステッチの設定となっており、0から1mmの範囲で変更できます。
- ・ 振り幅は、0~9mmの範囲で調整できます。

縫い方

- ・ ステッチを選択します。
- ・ 必要な場合には、振り幅および送り長さを調整します。
- ・ 矢印のオンスクリーンボタンをタッチして、縫う方向を指定します。
- ・ これで、選択したステッチを、指定した方向に縫うことができます。

方向を変更するには

- ・ 必要な長さを縫い終わったら、ミシンを止めます。
- ・ 矢印のオンスクリーンボタンをタッチして、方向を変更します。
- ・ 続けて縫います。

ステッチのつなぎ（ロングステッチ機能と直線縫いの組み合わせ）

ステッチ： 直線縫い No.39
針： 布に適したもの
糸： コットン、刺しゅう糸
送り歯： 上
押え： 横送り縫い用押え #40C

16方向を直線縫いでつないで縫う

- ・ モチーフを、広い範囲にばらばらに配置したいときに使います。
- ・ モチーフや横送り縫い、モノグラムの文字等をつなげて縫います。
- ・ 縫い終わったら、直線縫いの長い部分の糸は切り取ります。

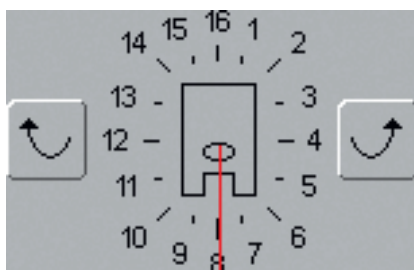


ロングステッチ機能と直線縫いの組み合わせ

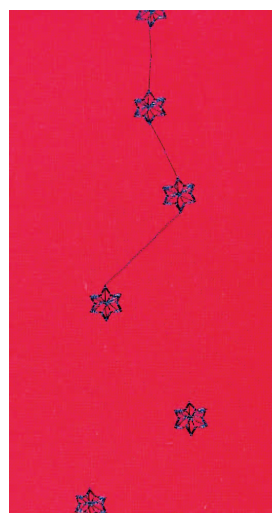
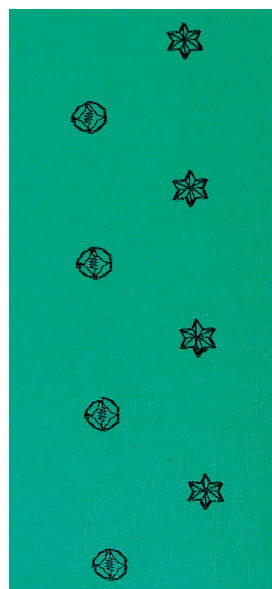
- ・ 39番の直線縫いを選択し、送り長さ1の基本設定にすると、3ステッチ=3mmごとに1回、縫うことができます。
- ・ ロングステッチ機能（9ステッチごとに1回縫う）を追加すると、9mmのスペースができます。
- ・ ステッチの長さは、変更可能です。

自由に方向を決めて縫うには

- ・ 飾りステッチを選択して、1回縫います。（一模様縫い1-9×の機能ボタンを、1回タッチしておきます）。
- ・ 直線縫いNo.39を選択します。
- ・ 矢印のオンスクリーンボタンを使って、縫う方向を指定します。
- ・ ロングステッチ機能をタッチします。
- ・ ステッチのつなぎを縫います。（ミシンが自動的に指定の方向に指定したつなぎを縫います）。
- ・ 外部の一模様縫いボタンを押します。
- ・ 縫い終わると、ミシンが自動的に停止します。
- ・ ロングステッチ機能を削除しておくことを、忘れないようにしてください。



- ・ 次の飾りステッチを選択して、1回縫います。（一模様縫い1-9×の機能ボタンを、1回タッチしておきます）。
- ・ 直線縫いNo.39を選択、矢印のオンスクリーンボタンを使って、縫う方向を再度指定します。（前の方向とは違ってかまいません）。ロングステッチ機能をタッチして、ステッチのつなぎを縫います。この手順を繰り返します。



コンビモードでコンビネーションをデザインする

- ・ 自由に方向を決めて縫っていく代わりに、コンビモードで、ステッチとつなぎを合わせてプログラムしてしまうこともできます。
- ・ ステッチのプログラムは、横送り縫いやモノグラムの文字の組み合わせと同様の方法で行ないます。

ご注意

モチーフの縫い始めと縫い終わりを返し縫いするため、返し縫い機能をオンしておきます。ステッチのつなぎを始末した後、モチーフがほつれるのを防ぐことができます。



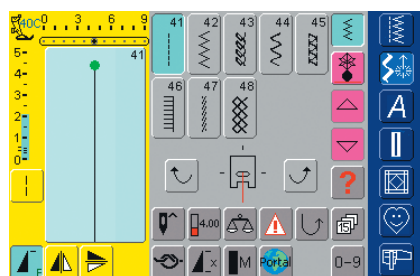
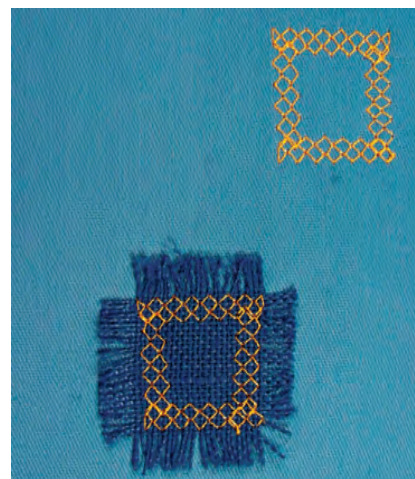
- ・ 連続横送り縫いについては、92ページ
- ・ モノグラムの文字の連続については、105ページ
- ・ コンビネーションの保存については、158ページを、それぞれご覧ください。

4方向縫い

ステッチ： 模様縫い No.41-48
針： 布に合わせたもの
糸： コットン、刺しゅう糸
送り歯： 上
押え： 横送り縫い用押え #40C

4方向縫い

- ・ 土台布を回さずに、4方向縫いします。
- ・ 飾り縫いで四角形を作りたいとき、
- ・ 四角形をアップリケするとき、
- ・ 継ぎ当て（特にズボンや袖など）するときに、最適です。



画面の表示

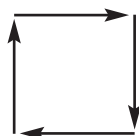
- ・ 4方向縫いのスクリーンを選択します。
- ・ 8種類の中から選ぶことができます。
- ・ No.41 直線縫い
- ・ No.42 シグザグ縫い
- ・ No.43 トリコットステッチ
- ・ No.44 ランニングステッチ
- ・ No.45 ダブルオーバーロックステッチ
- ・ No.46 ボタンホールステッチ
- ・ No.47 スーパーストレッチステッチ
- ・ No.48 ネットステッチ

- ・ 4方向の押え金の表示が画面中央に現われます。
- ・ 矢印を用いて方向を選択してください。
- ・ これらのステッチの幅は、変えることは出来ませんが、送り長さは、返し縫いおよび前進するときの両方とも、変更可能です。

準備

- ・ 布の上に四角形のパッチを配置し、必要ならば待ち針を打って、しつけをかけします。
- ・ パッチは、まず両面接着芯で布に固定しておきます。

両面接着芯については、143 ページ「アップリケの準備」をご覧ください。



四角形の縫い方

- ・ ステッチを選択します。
- ・ 四角形は、時計回りに縫っていくのがよいでしょう。
- ・ 一边を振り縫い（四角形の内側と外側ぎりぎりを交互に縫う）します。
- ・ 矢印のオンスクリーンボタンをタッチして、方向転換します。
- ・ 次の一边を縫います。同様の手順を繰り返します。



BERNINA

レタリング 98

レタリングに関する重要事項 99

レタリングの組合せ (9mm) 100

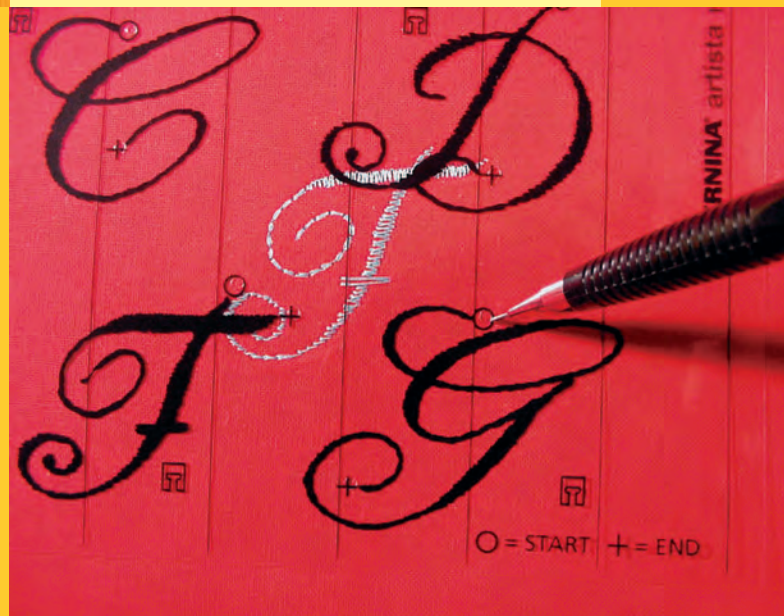
モノグラムについて (横送り縫い) 103

モノグラム・サイズ1 104

モノグラム・サイズ2および3 107



G



レタリング

アーティスト 730 のレタリング

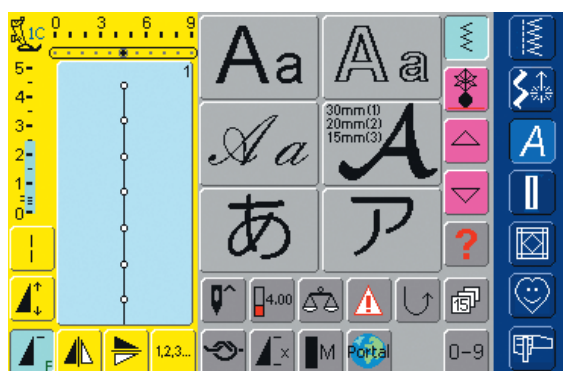


文字

レタリング選択ボタンを押します

A

まとめ



レタリングメニュー

・ レタリングメニューが表示されます

-  ブロック体
-  ダブルブロック体
-  イタリック体
-  ひらがな
-  カタカナ
-  漢字
-  モノグラム
30/20/15mm、
(横送り縫い)

フルステッチサマリーについては、272 ページから 273 ページをご覧ください。

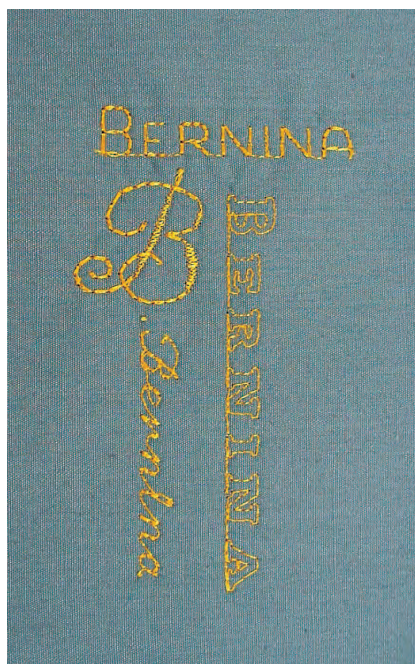
レタリングを上手に縫うポイント

レタリング ・ 文字、数字、特殊文字

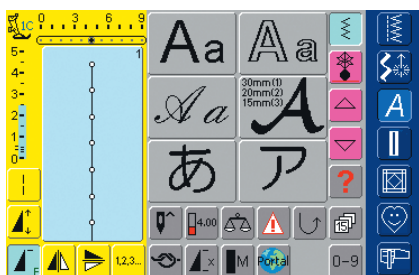
- ・ 7種類の字体があります。
- ・ モノグラム以外の字体は、2種類のサイズで縫うことが可能です。(小文字も同様です)
- ・ モノグラムは、3サイズあります。

使い方

- ・ 名前、モノグラム、住所の刺しゅう用に
- ・ 単語または文章の刺しゅう用に
- ・ キルト作品のラベル作りに

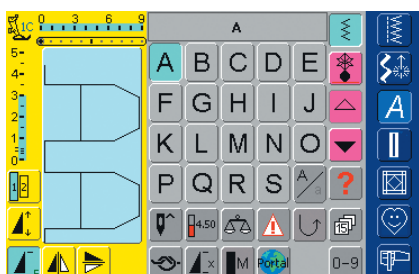


A



文字の選択

- ・ 文字ボタンを押します。
- ・ 文字メニューが画面に表示されます。
- ・ ブロック体（9mm）
- ・ ダブルブロック（中抜き文字）体（9mm）
- ・ イタリック体（9mm）
- ・ ひらがな【9mm】
- ・ カタカナ【9mm】
- ・ 漢字【9mm】
- ・ モノグラム30/20/15mm（横送り縫いによる）
- ・ 各文字をタッチすると、選んだ文字が左画面に表示されます。



スクリーン上での文字の選び方

- ・ 大文字、数字、句読点および特殊文字は、画面をスクロールすれば見られます。
- ・ 画面上で、「A/a」アイコンをタッチすれば、サイズを縮小して縫えます。

ステッチを完璧に仕上げるには

- ・ 上糸、下糸を同色にします。
- ・ 作品の裏側に安定紙を置いて補強します。
- ・ タオル地や毛足の長い布（ウール、ベルベット等）の場合は、刺しゅうするサイズに合わせた水溶性安定紙を上下にあてて布をはさみます。
- ・ 薄手の布地には、単純な形の文字（ダブルブロック体等）を、直線縫いでプログラムし、厚手の布地には、モノグラム等のサテンステッチを使ったレタリングを適用すると、効果的です。

レタリングの組合せ (9mm)

ステッチ： 9mmレタリング
針： 布に合ったもの
糸： コットン、刺しゅう糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押え #1 C

9mmのレタリング

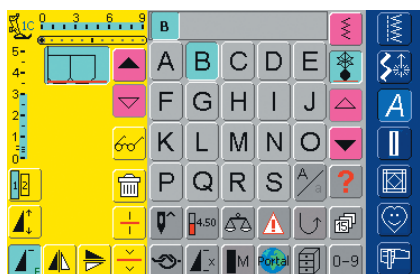
- ・ 一つ一つの文字、および同じ字体の同じ文字を連続する場合には、シングルモード、
- ・ 名前、住所、言葉等を刺しゅうするには、組合せモードを使います。



A

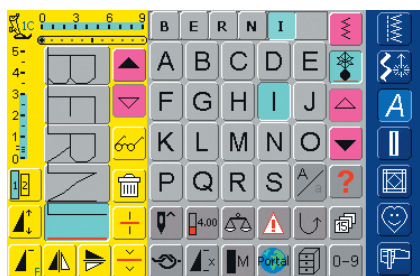
アプリケーション

組合せモードのレタリング



文字を組合せるには

- ・ 組合せモードを開き、必要な文字を選びます。
- ・ 文字は、ステッチ操作エリアの、文字メニュー上のバー部分に表示されます。
- ・ カーソルは、文字の下に表示されます。

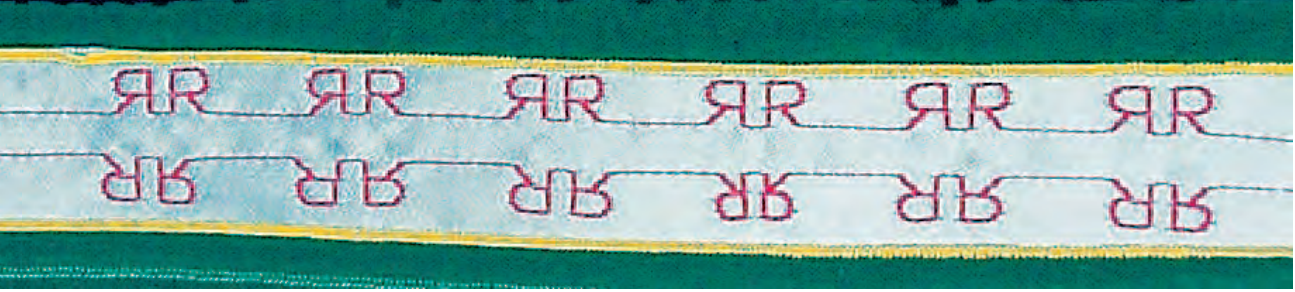


続けて、

- ・ 次の文字を選んで、ボタンをタッチします。
- ・ 2番目の文字が、ステッチ操作エリアに表示されます。



組合せのプレビューについては、160 ページをご覧ください。



レタリングと各種機能を組合せる



サイズ変更

- ・ レタリングのプログラムをする前に、機能を選んでおきます。
- ・ 文字のサイズボタンをタッチすると、2番のフィールドが青く表示されます。
- ・ 文字サイズは、6mmに縮小されました。
- ・ 文字サイズをもう一度タッチすると、大きなサイズに戻り、1番のフィールドが青く表示されます。



小文字を選択する

- ・ レタリングのプログラムをする前に、機能を選んでおきます。
- ・ 大文字小文字ボタンをタッチします。
- ・ フィールドが青く表示されるのは、小文字が選択されている状態です。
- ・ もう一度、大文字小文字ボタンをタッチすると、大文字に戻ります。



レタリングを反転する

- ・ 「左右の反転」をタッチすると、ステッチは左右に反転されます。
- ・ 特殊効果を狙う場合には、「上下の反転」を選んでよいでしょう。

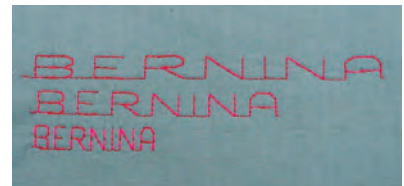


左右反転組合せについて、詳しくは、162 ページをご覧ください。



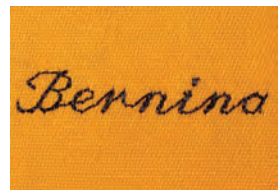
拡大機能を使って、レタリングを引き伸ばす

- ・ 「拡大」を、一回以上タッチします。
- ・ ステッチまたはパターンを、2倍から5倍の範囲で引き伸ばすことができます。



レタリングと各種機能を組合せた例

- ・ 「組合せモード」を開いて、イタリック体を選んで、大文字のBをタッチします。
- ・ 大文字の「B」が、ステッチ操作エリアに表示されます。小文字機能を選んで、ernina を小文字で選びます。
- ・ ステッチ操作エリアには、Bernina の文字列が表示されます。



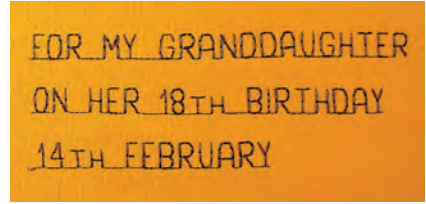
繰り返しのパターン組合せ

- ・ パターンの組合せを作成します。
- ・ 「一模様縫い」ボタンを、一回から9回までの間でタッチします。(1 から9までの数字が表示されます。)
- ・ ミシンは、指定の回数だけパターンを縫って、自動的に停止します。



組合せの分割機能（サブディバイダー）

- ・ 組合せの分割機能は、住所等のテキストを、スペースを入れて並べて刺しゅうしたい場合に使用します。
- ・ 「分割機能」を、必要な個所に挿入して、縫います。ミシンは、最初の切れ目で自動的に停止します。
- ・ 布を置き直します。
- ・ 再度縫い始めると、ミシンは2番目の切れ目で再度停止します。
- ・ 同じ手順を繰り返します。



ご注意

レタリングを均一なスペースで並べるために、布にガイドラインを引いておくといでしょう。センタリングされたテキストに関しては、まず試し縫いをして間隔を測り、それからガイドラインを引くようにします。

A

組合せを訂正するには



文字を挿入する

- ・ カーソルで指定した個所に、文字を追加できます。
- ・ レタリングの始めに文字を追加するには、カーソルを上にもスクロールします。
- ・ ステッチ操作エリアの文字を選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- ・ 新しい文字を選びます。
- ・ これで、新しい文字がカーソルの上に挿入されました。

文字を削除する

- ・ カーソルで指定している文字を削除できます。
- ・ ステッチ操作エリアの文字を選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- ・ 「ごみ箱」アイコンをタッチします。
- ・ これで文字を削除できました。



組合せの保存に関しては、158 ページをご覧ください。

TIP



返し縫い機能（小さく4ステッチ）を
プラスするには

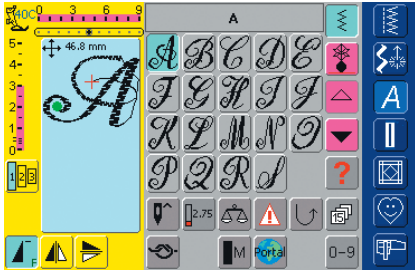
自動返し縫いには、いくつか方法があります。

1. 縫い始めに返し縫いをするには、先に、機能ボタンをタッチしておきます。
2. 縫い始め、縫い終わりのそれぞれに返し縫いをするには、組合せの中に機能をプログラムしておきます。



モノグラムについて

横送り縫い



モノグラム（横送り縫い）

- ・ 横送り縫いとは、布を前後と同時に左右にも送りながら縫われる、大きなステッチのことです。
- ・ 横送り縫いは、ステッチ操作エリアの4本の矢印で選択できます。
- ・ 開始地点（緑のポイント）および終点（赤の十字）は、ステッチ操作エリアで確認できます。



モノグラムのサイズについて

- ・ レタリングサイズの1番は、30mmです。
- ・ モノグラムのプログラムを起動すると、通常、1番のサイズが適用されます。
- ・ サイズの1番は、1文字用なので、1文字刺しゅうするごとに返し縫いをして、ミシンが自動的に停止します。
- ・ マニュアルに添付されているテンプレートは、1番のサイズのモノグラムです。

レタリングサイズ2番は、20mmです。

- ・ 文字サイズボタンをタッチすると、2番のフィールドが青く表示されます。
- ・ サイズの2番は、水平に連続して刺しゅうされます。

レタリングサイズ3番は、15mmです。

- ・ 文字サイズボタンをタッチすると、3番のフィールドが青く表示されます。
- ・ サイズの3番は、水平に連続して刺しゅうされます。

横送り縫いを縫う

- ・ スライド式テーブルを使って、作業スペースを広げましょう。
- ・ 布が自由に、均一に動くようにします。布が何かにぶつかったり、引きずられたりしないように注意します。
- ・ 布を押したり、引いたり、押え付けたりしないようにしましょう。



バランス

- ・ 布の種類、安定紙、糸の質等によって、ステッチのパターンが多少変わってしまうことがあります。
- ・ ステッチの調整には、バランス機能を使用します。



A

ご注意

サイズ1番のモノグラムは、サイズ2番、3番とは違った手順で処理されます。サイズ1番については、104 ページから 106 ページを、サイズ2番と3番については、107 ページから 108 ページをご覧ください。

TIP

試し縫い

本番前に、使用する布、安定紙、糸と同じものを使ってテストするのがよいでしょう。

モノグラム・サイズ1

ステッチ：モノグラム・サイズ1
針：布に合ったもの
糸：コットン、刺しゅう糸
送り歯：上（ソーイング位置）
押え：横送り縫い用押え #40C



サイズ1のモノグラム

- ・ サイズ1のモノグラムは、1文字用なので、1文字刺しゅうするごとに留め縫いをして、ミシンが自動的に停止します。
- ・ モノグラムの位置を決めるのに、テンプレートが便利です。
- ・ モノグラムのレイアウトおよび組合せは、テンプレートを使っても可能ですが、自動的に16方向のいずれかに並べることもできます。



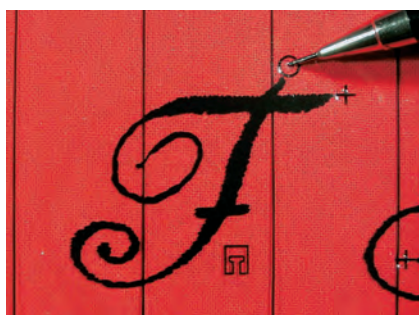
A



テンプレートを有効に使う

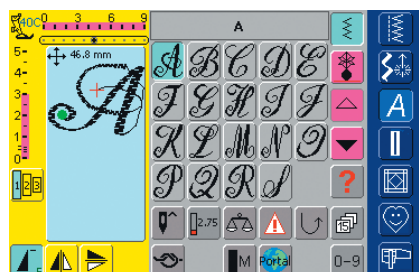
- ・ 取扱説明書に添付されたテンプレートは、布のどの位置にステッチをするかを決めるのに便利です。
- ・ モノグラムのサイズ1はすべて、実物大でテンプレートに印刷されています。
- ・ 画面上で縫い始めは青い○印で、縫い終わりは赤い+印で示されています。どちらもテンプレートに穴の開いた状態になっているので、布にマークすることができます。
- ・ 縫い始めおよび縫い終わりは、画面上でも見ることができます。
- ・ 縫い進む方向は、押え金のシンボルおよび細いガイドラインで示されます。
- ・ 押え金は、ガイドラインに対して常に平行に進めるよう布を軽く指でガイドします。

テンプレートを使って、モノグラムの文字をマニュアルで組合せる



テンプレートを使って、モノグラムの文字を組合わせる

- ・ テンプレートを使って、文字を好きな位置に配置します。
- ・ 縫い始めを、布にマークしておきます。



縫い方

- ・ シングルモードで文字を選びます。
- ・ 横送り縫い用押えを、テンプレートに従って布の上にセット、針が縫い始めの個所を刺すようにします。
- ・ 文字を刺しゅうします



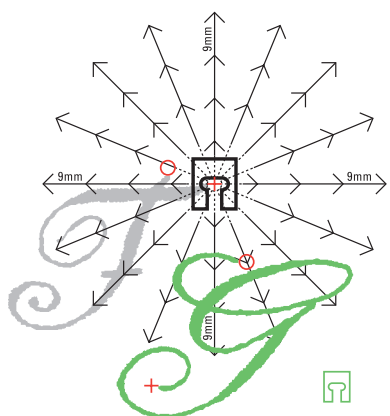
テンプレートを使って文字を追加する

- 縫い始めをマークして、文字を選んで、押え金をセット、刺しゅうする、という手順を繰り返します。



モノグラムの組合せを、自動的に16方向へつなげるには

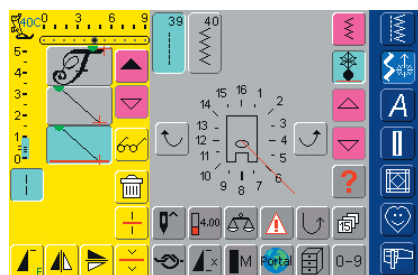
モノグラムの文字を一文字ずつ組合せる代わりに、テンプレートと16方向へのソーイング機能を使って、自動的につなげます。



テンプレートを使って、スペースを決める。

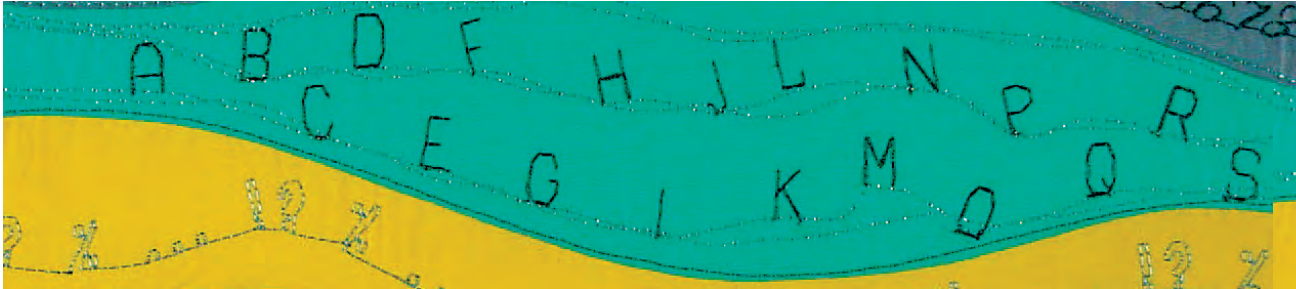
- モノグラムの最初の文字（ここでは「F」）の上から、テンプレートを置きます。
- 縫い始めと縫い終わりをマークします。
- 16方向へのソーイングテンプレートを使って、モノグラムの2番目の文字（最初の文字と同方向を向いたもの）を配置します。
- 押え金のアイコンの方向（進む方向を示すもの）は、最初の一针の終わり部分に合わせておきます。
- 2番目の文字（ここでは「G」）の縫い始めは、16方向の一つおよび矢印のスペース用ポイントの一つに重なるようにしてください。
- 次のステッチの方向を確認して、間にあるスペースの数を数えます。（9mm）

A



モノグラムとスペースをプログラムする

- 組合せモードで、必要な文字を選びます（ここでは「F」）。
- 16方向縫いを、飾りステッチのカテゴリーで選びます。
- 39番の直線縫いを、送り長さの基本セットアップ1番（3ステッチごとに、3mm縫う）にセットアップします。
- 進む方向を選びます。
- ロングステッチ機能（9ステッチごとに、一回縫う）を起動させます。
- 39番の直線縫い（送り長さ1番）をロングステッチと組合せると、9mmのスペースを置くことができます。
- 数えておいたスペースの数により、つなぎに必要なステッチ数をプログラムします（ステッチのつなぎ）。
- ここで、ロングステッチ機能を解除してください！
- 2番目の文字を選びます。（ここでは「G」）
- 一文字ごとに縫い進めるには、一模様縫い機能を起動しておきます。（1番が表示されます。）



モノグラムを縫う

- ・ 横送り縫い押えをテンプレートにしたがって布の上に置き、針が文字の縫い始めを刺すようにします。
- ・ まず最初の文字（F）を刺しゅうし、それから自動的にステッチのつながぎを縫い、そして2番目の文字（G）を刺しゅうした後に、ミシンは自動的に停止します。
- ・ モノグラムは自動的に返し縫いされるので、ステッチのつながぎは、カット処理することができます。



A

組合せを訂正する



ステッチを挿入する

- ・ カーソルで指定した個所に、ステッチを挿入できます。
- ・ 例えば、レタリングのトップにステッチを追加するには、赤い線のカーソルを一番上までスクロールします。
- ・ 挿入したいステッチがある画面を出します。
- ・ 新しいステッチを選びます。
- ・ これで、新しいステッチがカーソルの上に挿入されました。



ステッチの削除

- ・ カーソルで指定しているステッチを削除できます。
- ・ ステッチ操作エリアの削除したいステッチを選びます。
- ・ 「ゴミ箱」アイコンをタッチします。
- ・ これでステッチを削除できました。



組合せのプレビューについては、160 ページをご覧ください。

組合せの保存に関しては、158 ページをご覧ください。



自動糸カッター

横送り縫いは自動的に返し縫いされるので、ステッチのつながぎは、自動糸カッターで処理すると便利です。

サイズ2番および3番のモノグラム

ステッチ： サイズ2番および3番のモノグラム
針： 布に合ったもの
糸： コットン、刺しゅう糸
送り歯： 上（ソーイング位置）
押え： 横送り縫い用押え #40C



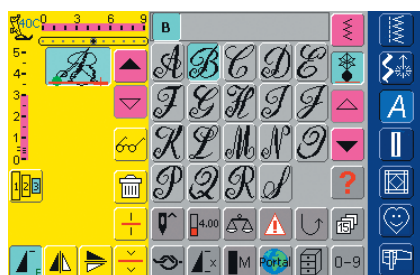
サイズ2番および3番のモノグラム

- ・ サイズ2番および3番のモノグラムは、連続して横方向に縫い進みます。
- ・ サイズ2番および3番のモノグラムは、9mmのレタリングと同様の方法で処理されます。



A

組合せモードでのサイズ2番および3番のモノグラム



サイズ2番と3番のモノグラムを組合せるには

- ・ 組合せモードを開き、必要な文字を選びます。
- ・ 選んだ文字は、ステッチ操作エリアに表示されます。
- ・ カーソルは、文字の後方に表示されます。



さらにプログラムしてゆきます

- ・ 次の文字を選んで、ボタンをタッチすると、ステッチ操作エリアに表示されます。

ご注意：

日本語をメモリーに入力する場合には、アルファベットのように入力した文字を画面最上段に表示しませんが、縫いには影響ありません。



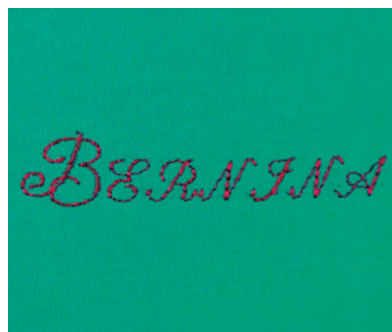
組合せのプレビューについては、160ページをご覧ください。



サイズ2および3のモノグラムと各種機能を組合せるには

レタリングと各種機能を組合せた例

- ・ 「組合せモード」を開いて、Bをタッチします。
- ・ 「B」が、ステッチ操作エリアに表示されます。
- ・ サイズ2番のモノグラムを選んで、「E」をタッチします。
- ・ サイズ3番のモノグラムを選びます。
- ・ 続けて、R、N、I、N、Aの順番に選んでいきます。
- ・ ステッチ操作エリアには、BERNINA の文字列が表示されます。



A



繰り返しによるパターン組合せ

- ・ 組合せを作成した後、「一模様縫い」ボタンを、一回から9回までの間でタッチします。（1から9までの数字が表示されます。）
- ・ 選んだ回数だけ、パターンを刺しゅうすると、ミシンが自動的に停止します。

組合せを訂正する



ステッチを追加する

- ・ カーソルで指定した個所に、ステッチを追加できます。
- ・ レタリングの始めにステッチを追加するには、カーソルを上スクロールします。
- ・ ステッチ操作エリアのステッチを選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- ・ 新しいステッチを選びます。
- ・ これで、新しいステッチがカーソルの上に挿入されました。



ステッチの削除

- ・ カーソルで指定しているステッチを削除できます。
- ・ ステッチ操作エリアのステッチを選んで、必要な個所を指定するか、そこまでスクロールしていきます。
- ・ 「ごみ箱」アイコンをタッチします。
- ・ これでステッチを削除できました。

組合せの保存については、158 ページをご覧ください。



組合せのプレビューについては、160 ページをご覧ください。

ボタンホール 110

ボタンホールの各種機能 111

ボタンホールを上手に縫うには 112

芯糸を入れたボタンホール 114

自動ボタンホール 116

ボタンホールに長さを入力して縫う方法
ボタンのサイズに合わせて縫う方法

ボタンホールをメモリーに記憶しておく 118

自動でボタンホールを縫う 119

標準ボタンホールとストレッチタイプのボタンホール

ラウンドエンド、はと目、手縫い風のボタ
ンホール 121

ステッチカウント方式で縫
うボタンホール 123

マニュアルで 4-6 ステップ
で縫うボタンホール 125

直線ボタンホールを縫う 127

玉縁ボタンホールを縫う 129

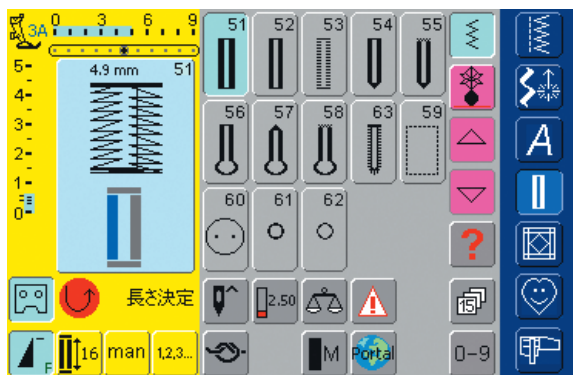
飾りボタンホールを縫う 131

ボタンを縫い付ける 132

アイレットを縫う 133

ボタンホール

ボタンホール



まとめ

ボタンホール縫いと用途



標準ボタンホール

薄手から中厚手の生地。ブラウス、シャツ、ズボン、ドレス、寝具等に



標準ボタンホール（幅小）

薄手から中くらいの厚さの生地 ブラウス、シャツ、幼児服等



ストレッチボタンホール

木綿、化繊、シルクウールのあらゆる伸縮性ある生地。



ラウンドエンドボタンホール（標準バータック）

中、厚地に最適、洋服、ジャケット、コート、レインコートなどに



ラウンドエンドボタンホール（水平バータック）

中、厚地に最適、洋服、ジャケット、コート、レインコートなどに



標準鳩目ボタンホール

厚地、伸縮性のない生地。ジャケット、コート、ズボン、レジャーウェア等に。



鳩目ボタンホール（ポイントバータック）

伸縮性のない堅い生地。ジャケット、コート、レジャーウェアに。



鳩目ボタンホール（水平バータック）

厚地で伸縮性のない生地。ジャケット、コート、ズボン等



手縫い風ボタンホール

薄手から中くらいの厚さの生地 ブラウス、レジャーウェア、ベッドカバー等



直線縫いボタンホール

ボタンホールの準備縫いに、ポケットの開口部に、レザーやウルトラスエードなどに。



ボタン付け

二つ穴、または四つ穴のボタン付けに。



ジグザグ・アイレット

紐穴や、リボンやバンド穴、飾り縫いに。



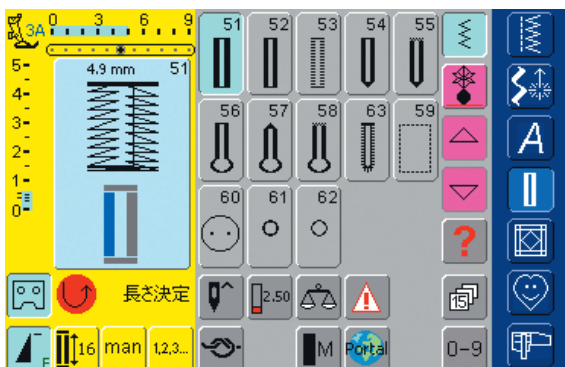
直線縫いアイレット

鳩目穴、細ひもやリボンの挿入口に。

ボタンホールについて

ボタンホールは装飾的な効果にも使うことができる実用的なステッチです。アーティスト 730 では、幅広い選択肢をご用意いたしました。

すべてのボタンホールは、さまざまな方法でプログラムして縫うことも可能です。



ボタンホール／ボタン付けプログラム／アイレット



- ・ ボタンホール用のボタンをおします。
- ・ 画面にはボタンホールとアイレットの全種類の概観が表示されます。

ボタンホール／ボタン付けプログラム／アイレットの選択

- ・ 選んだボタンホールをタッチします。
- ・ 選んだボタンホール、アイレットまたはボタン付けプログラムが起動します。
- ・ No.51 から No.63 のステッチのいずれかが起動している場合、使用できるすべての機能は、機能ツールバーに表示されます。

- ・ ボタンホールの使い方については、116 ページから133 ページをご覧ください。

ボタンホールプログラム機能

No.51-59,そして No.63 のいずれかのボタンホールが選ばれている場合には、下記の機能が画面下に表示されます。



ボタンホールの長さをプログラムする

- ・ ボタンホールを選択している場合、シンボルは自動的に青くハイライトされています。
- ・ 手元返し縫いボタンで、ボタンホールの長さを直接決定します。
- ・ プログラムが完了すると、ハイライトは消えて、シンボルの表示は黄色くなります。
- ・ 新しい長さをプログラムする場合には、シンボルをもう 1 度選択してください。



ボタンホールの長さを、直接mm単位で入力する、またはオン画面ボタンで計測する

- ・ シンボルをタッチすると、特殊画面が開きます。
- ・ ボタンホールの長さ（mm単位）を、振り幅または送り長さ調節つまみで入力します。
- ・ ボタンのサイズを測りたい場合には、ボタンを画面左下に合わせます。
- ・ 送り長さまたは振り幅の調節つまみを回して、画面に表示されている青い○の大きさを、ボタンのサイズに合わせます。
- ・ 計測した値に、2mm（ボタンの厚み）が、自動的に加算されます。

使い方

- ・ ボタンサイズを直接、mm単位で入力したり、画面でボタンのサイズを計測できるので、とても便利です。



手動でボタンホールを縫う

- ・ シンボルをタッチすると、特殊画面が開きます。
- ・ 手動のボタンホールを4ステップ、または6ステップで縫います。（どちらにするかは、ボタンホールのタイプによってちがいます。）

使い方

- ・ 手動で一つ一つボタンホールを縫う場合ボタンホールの修理をしたい場合に、適しています。

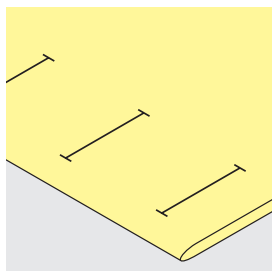


ステッチカウント式ボタンホール

- ・ ボタンホールを選択します。
- ・ シンボルをタッチして、ステッチカウント式ボタンホールを起動します。
- ・ ボタンホールの最初の一行が、必要な長さに達したら、外部の手元返し縫いボタンを押します。
- ・ 続いて、2番目の列の長さを同様の方法で決定すると、「自動ステッチカウント式」の画面に変わります。
- ・ ボタンホールのプログラムが完了しました。

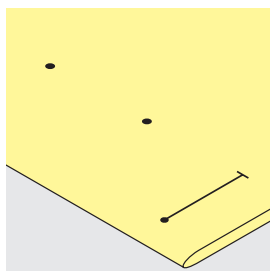
ボタンホールに関する重要事項

ボタンホールの印をつける



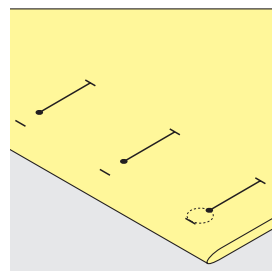
マニュアル（手動）で縫うボタンホールの場合

- ・ ボタンホール押え #3C を使います。
- ・ マニュアルで縫うボタンホールの場合は、特に布にきちんと印をつけておく必要があります。



自動ボタンホールの場合

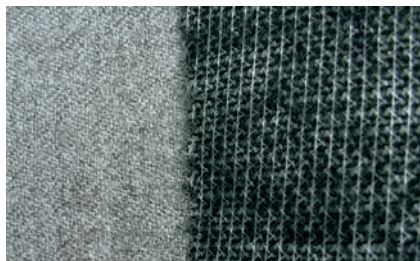
- ・ 自動ボタンホール押え #3A を使います。
- ・ 最初のボタンホールの位置に、長さの印をつけます。
- ・ 最初のボタンホールを縫うと、次々自動的にボタンホールがプログラムされます。
- ・ 2番目からは、ボタンホールを縫い始める位置のみ、印付けをします。
- ・ ボタンホールの長さとは、ボタンホールの開き部分を指します。（mm単位）



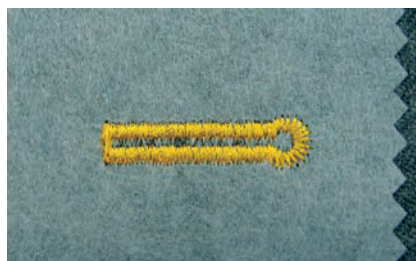
キーホール型ボタンホールの場合

- ・ ボタンホールの長さの印のみをつけます。
- ・ ボタンホールを縫うとき、適切なサイズのキーホールも一緒に縫われます。

ボタンホール用の安定紙について



1



2

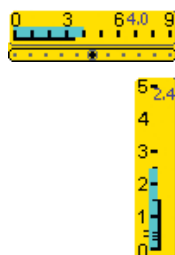
自動ボタンホール

- ・ 必ず安定紙を使いましょう。（1）仕上がりがきれいになります。
- ・ 安定紙は、布のタイプに合ったものを選びます。
- ・ 分厚く、毛羽立ったタイプの布には、刺しゅう用の安定紙を使います。（2）布の送りが、スムーズになります。

ボタンホールを縫う

試し縫い

- ・ 必ず、同じ布、同じ芯地を使い、同じ種類のボタンホールを縫います。
- ・ ボタンホールを縫う方向も、同じにしてください。（織り目に対して、順目か逆目かをよく確認しましょう。）



調節

- ・ ピッチ幅の調節は、振り幅で行ないます。
- ・ 穴かがりの縫い目の数は、送り長さで調節します。
- ・ 送り長さの変更は、自動であっても、手動であっても、常に左右両方に適用されます。（縫い目を密、または粗くします）。

糸調子

- ・ ボタンホールを選択すると、糸調子は自動的に最適の状態にセットされます。
- ・ 上糸は、少しゆるく自動調節されます。
- ・ この糸調子で縫うと、表側で丸みを帯びた形に縫いあがり、非常にきれいに仕上がります。

ボタンホールのバランスについて



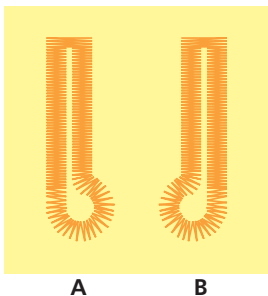
標準ボタンホールの長さを直接入力する場合のバランス

- ・ バランスの調整をすると、左右両方の縫い目に影響します。

ご注意

長さを直接入力して、マニュアルでボタンホールを縫う場合には、ボタンホール一つ一つにバランス調整をすることが可能です。

ステッチカウント方式のボタンホールでは、左右どちらか一方の縫い目のみの調整を行なうことが可能です。調整を行った場合、鳩目部分も同様に変更されます。



A

B

長さを直接入力した丸型とキーホール（鳩目）ボタンホールのバランス

- ・ バランスの調整をすると、左右両方の縫い目に影響します。
- ・ 丸型およびキーホールのバランスは、以下のような手順で調整します。
 - 1) キーホールまたは丸型部分に来るまで、直線縫いをし、ミシンを止めます。
 - 2) 「バランス」をタッチして、バランス画面の右側に表示された図を、送り長さの調節つまみを回して、好きなように調整します。
- ・ キーホールが右に向ってゆがんでしまった場合（A）には、送り長さ調節つまみを時計回りに回します。
- ・ 左に向ってゆがんだ場合（B）には、送り長さ調節つまみを時計と反対回りに回します。
 - 3) 「OK」をタッチして、ボタンホールを完成させます。



A



B

ステッチカウント方式ボタンホールのバランス

- ・ バランスの調整は、左右の縫い目それぞれに、違うように作用します。
- ・ 左側のステッチが密すぎる場合（A）には、送り長さ調節つまみを時計と反対回りに回します。左側の送り長さは長く、右側は短くなって、調整されます。
- ・ 左側のステッチがまばらな場合（B）は、送り長さ調節つまみを時計回りに回します。左側は短く、右側は長くなります。
- ・ バランスの調整後は、ボタンホールのプログラムをやり直してください。

マニュアル（手動）の標準ボタンホールのバランス

- ・ バランスの調整をすると、左右両方の縫い目に影響します。

マニュアルのキーホールまたは丸型ボタンホールのバランス

- ・ バランスの調整は、左右の縫い目それぞれに、違うように作用します。
- ・ キーホールまたは丸型部分は、以下のように調整します。
- ・ キーホールが左側にゆがんでしまった場合には（B）、送り長さ調節つまみを時計と反対回りに回します。
- ・ キーホールが右側にゆがんでしまった場合には（A）、送り長さ調節つまみを時計回りに回します。

お勧め

- ・ 実際の布地に試し縫いをしてみましょう。



clr

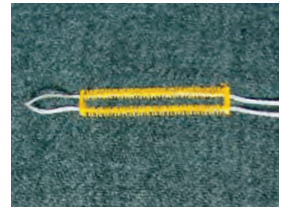
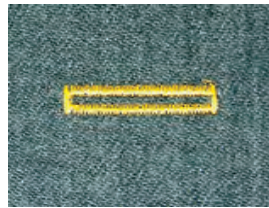
バランスをクリアーするには

- ・ バランスの特殊画面で「リセット」をタッチするか、外部の「クリアー」ボタンを押します。ただし、「クリアー」は、プログラムしたボタンホール自体を消去してしまうので、ご注意ください。

芯入りのボタンホール

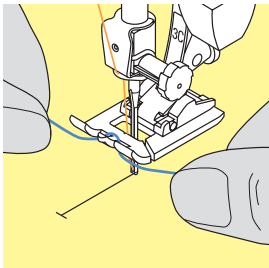
芯糸

- ・ 芯糸はボタンホールを補強し、きれいに仕上げます。
- ・ 芯糸の輪の部分、もっとも力のかかるボタンホールの端に来るように考えて、
- ・ 押えの位置を決めます。
- ・ 芯糸は、標準ボタンホールおよび伸縮ボタンホールに使うと、非常に効果的です。



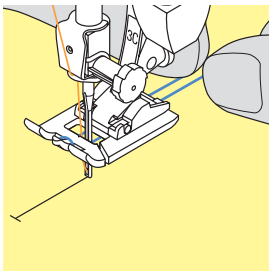
芯糸用には

- ・ パールヤーンの8番
- ・ 太く丈夫な手縫い糸
- ・ 細い鈎針編みの毛糸



ボタンホール押え#3Cの突起部分に芯糸をかける

- ・ ボタンホールの縫い始めに針を刺します。
- ・ 押えを上げます。
- ・ 押えの前方中心にある突起に芯糸をひっかけます。



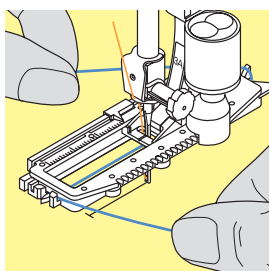
- ・ 芯糸の端は2本そろえて、押えの下の方の溝を通して後方に引きます。
- ・ 押え金を下げます。

縫い方

- ・ ボタンホールを縫い始めます。芯糸は、強く引っ張らないようにご注意ください。
- ・ 芯糸を包むようにボタンホールが縫われ、芯糸は見えなくなります。

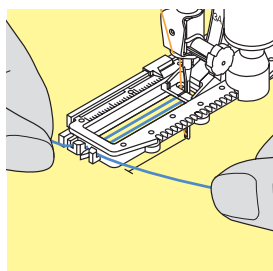
TIP

押え金 #3C を使って、キーホールおよび丸型ボタンホールに芯糸を入れることも可能です。



布ガイド付き自動ボタンホール押え#3Aを使った芯糸のかけ方

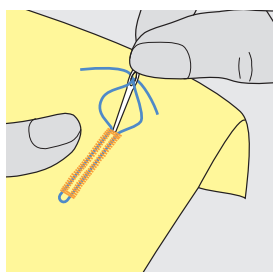
- ・ ボタンホールの縫い始めに針を刺します。
- ・ 押え金を上げます。
- ・ 芯糸を両手に持って、押えの後ろにある突起に上からかぶせるように、芯糸を引っ掛けます。
- ・ 両方の芯糸を押えの下を通して、手前に持ってきます。



- ・ 芯糸の両端を両手で持って、自動ボタンホール押えの前に持ってきます。
- ・ 両方の芯糸を、左右の芯糸止めに、それぞれ引き込みます。

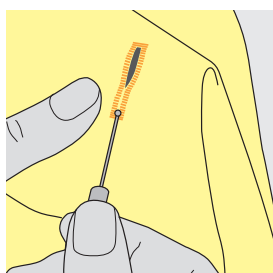
縫い方

- ・ ボタンホールを縫い始めます。
- ・ ソーイング中は、芯糸を持たないようにご注意ください。
- ・ 芯糸を包み込むようにボタンホールが縫われます。



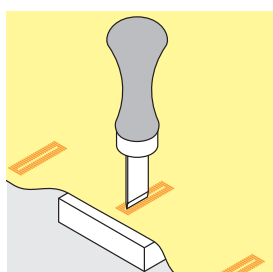
芯糸の始末

- ・ 芯糸のループが隠れるまで、両方の芯糸の端をボタンホールに沿って引きまします。
- ・ 手縫いの針を使って、芯糸を布地の裏側へ通し、結びます。



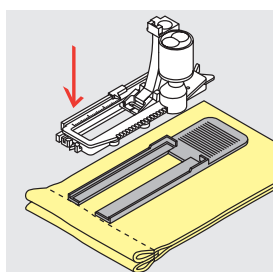
ボタンホールを開ける

- ・ リッパー、またはボタンホールカッターとブロックを使って、両端から中心に向かって切りこみます。
- ・ 短いボタンホールの場合、端部分を誤ってカットしてしまわないように、待ち針を打っておきましょう。



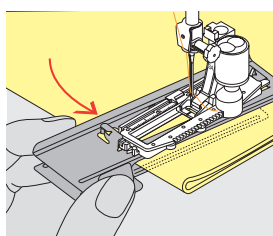
ボタンホールカッターとブロック（別売りオプション）

- ・ 布を木片（ブロック）の上に置きます。
- ・ カッターを、ボタンホールの中心に入れます。
- ・ ハンドルを手で押し込むか、または金づちで叩いて、穴を開けます。



ボタンホール用高さ調整板（別売りオプション）

- ・ 自動ボタンホール押え#3A を使って、縫い目の重なり部分等、平らでない部分にボタンホールを縫う場合は、高さ調整板を使います。
- ・ 布と押えの間に板を入れ、厚みのある部分につくまで押し込みます。
- ・ これで高さが調整されました。押えをなめらかに進めることができるので、非常にきれいな仕上がりになります。



段差があって送りの難しい部分で自動ボタンホール押えを使うときは、ボタンホール用高さ調節板のご利用をお勧めします。

自動ボタンホール（一般） 長さをダイレクトに入力する



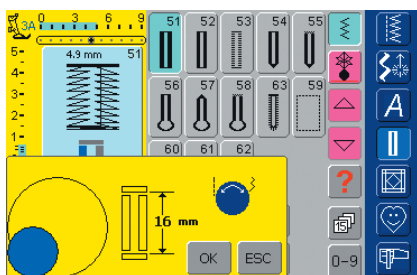
- ・ ステッチの送り長さ、または振り幅の調節つまみを使って、ボタンホールの長さ（ホールの開き・単位mm）を直接入力します。
- ・ 4 mmから最大値までのサイズのボタンホールすべてに適しています。



ボタンホールの長さを入力する

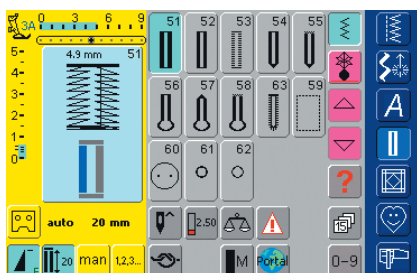
- ・ ボタンホールは、自動ボタンホール用押え金 #3A で、一定の長さに縫うことができます。
- ・ ボタンホールのタイプを選択します。
- ・ ダイレクトエントリー機能をタッチします。

アプリケーション



ボタンホールの長さを決める

- ・ 特殊画面が表示されます。
- ・ ボタンホールの長さを振り幅または送り長さの調節つまみで入力します。
- ・ プログラムされた長さは、2本の矢印の間に表示されます。



- ・ 希望の長さを「OK」で確認すると、画面は自動的に転換します。
- ・ 「自動 auto」を指定すると、プログラムされた長さがmm単位で表示されます。
- ・ ボタンホールの長さとは、ボタンホールの穴の長さをいいます。（mm単位）

訂正

- ・ 上記の方法で、新しい値を入力します。

ボタンホールメニューに戻る

- ・ ESC をタッチすると、ボタンホール画面に戻ります。



保存してあるボタンホールを削除するには

- ・ 外にある clr ボタンを押すか、recording 記録をタッチします。
- ・ auto が消えて、recording 記録が表示されます。
- ・ 新しいボタンホールの長さがプログラムできます。

自動ボタンホール（スタンダードおよびストレッチ） 画面上でボタンのサイズを測るには

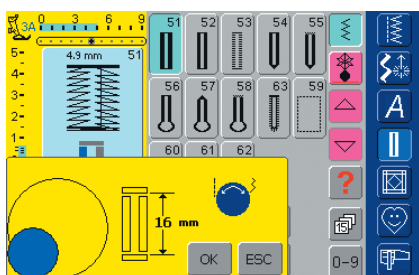


ボタンホールのサイズは、画面上でボタンを測って決めます。長さは、ステッチの振り幅および送り長さの調節つまみで決定します。



ボタン計測を開くには

- ・ ボタンホールを選択します。
- ・ 「ダイレクトエントリー」機能をタッチします。



ボタンのサイズを決める

- ・ 特殊画面が表示されます。
- ・ ボタンを、画面の左下角に向けて持ちます。
- ・ 外付きの振り幅または送り長さ調節つまみを使って、色付きの○部分がボタンの周囲にフィットするサイズになるようにします。
- ・ ボタンのサイズは、mm単位で表示されます。(例では、16 mm)
- ・ 正しいサイズを「OK」で確認すると、画面は自動的に変わります。

ボタンホールメニューに戻る

- ・ ESC をタッチして、ボタンホール画面に戻ります。オリジナルのセットアップがそのまま残っています。

ボタンホールサイズ

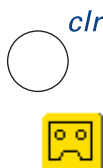
- ・ 計測したボタンのサイズを元に、ミシンがボタンホールのサイズを自動的に計算します。
- ・ ボタンの厚みを考えて、実際のサイズに2 mm足したものとなります。

特別に厚いボタンの場合

- ・ 球形等のボタンの場合は、ボタン計測の画面で、色付きの○を実際のサイズより1 mmから4 mm程度大きく広げて指定してください。

テストボタンホール

- ・ ハギレと芯の端を使って、試し縫いします。
- ・ ボタンホールをカットして開きます。
- ・ ボタンが入るかどうか、テストします。
- ・ 必要ならば、サイズを訂正します。



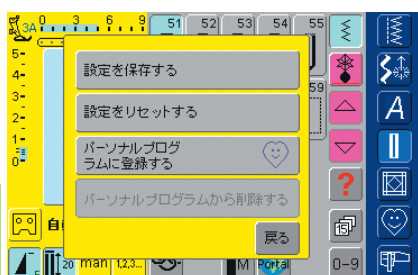
保存してあるボタンホールを削除するには

- ・ 外付きの clr ボタンを押すか、recording をタッチします。
- ・ auto が消えて、recording が表示されます。
- ・ 新しいボタンホールの長さをプログラムできます。

ボタンホールを長期保存するには



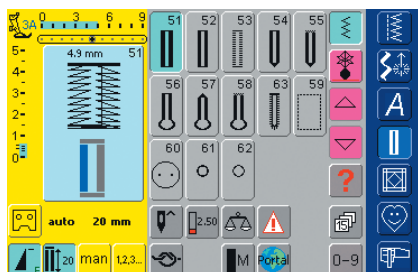
auto で指定した長さのボタンホールに限り、プログラムを長期間保存することができます。



ボタンホールを保存する

- ・ ステッチ変更エリア（画面左側）に表示されたボタンホールをタッチします。
- ・ 追加のメッセージが表示されます。
- ・ 保存機能にタッチすると、ボタンホールは長期間保存されるモードになります。

希望通りの自動ボタンホールをプログラムする方法については、116-117 ページを参照のこと。



保存してあるボタンホールを呼び出す

- ・ ボタンホールのタイプを選択します。
- ・ オン画面のダイレクトエントリーボタンに、ボタンホールの長さが表示されます。
- ・ ダイレクトエントリー機能をタッチして、「OK」で画面に表示された保存してある長さを確定します。
- ・ auto を押すと、画面に長さがmm単位で表示されます。

保存してあるボタンホールを変更する

- ・ ボタンホールのタイプを選択します。
- ・ ダイレクトエントリー機能をタッチします。
- ・ 画面上で保存されているボタンホールの長さを変更し、OKで確定します。
- ・ 上記の方法で、新しいボタンホールを保存します。
- ・ 新しいボタンホールをプログラムした場合、前のデータは上書きされて、消失します。

保存してあるボタンホールを削除する

- ・ ボタンホールのタイプを選択します。
- ・ ダイレクトエントリー機能をタッチして、新しい長さをプログラムするか、ステッチ変更エリアに表示されたボタンホールをタッチします。
- ・ 追加のメッセージが表示されます。
- ・ 「リセット」をタッチすると、保存されているボタンホールのデータは削除されます。
- ・ 新しいボタンホールの長さをプログラムできます。

自動ボタンホール（標準とストレッチボタンホール）

（ステッチカウント方式は除く）

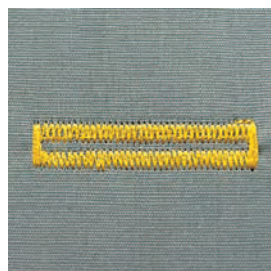


- ステッチ： 自動ボタンホール No.5 1、No.5 2、No.5 3
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル系
送り歯： 上
押え： 自動ボタンホール押え #3A



自動ボタンホール

- ・ ボタンホール押え#3A についてのセンサーで、ボタンホールの長さを自動的に読み取り、完成させます。
- ・ 4mmから最長の長さまで、振り幅または送り長さの調節つまみを使ってセットできます。



ご注意

左右両方の穴かがりを、同じ方向に縫います。ボタンホールの長さとは、カットした穴の長さを指します。



自動ボタンホールの縫い方

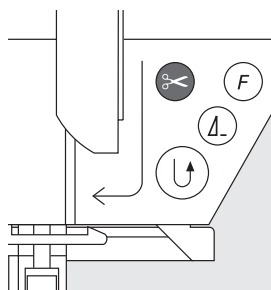


最初の穴かがりを縫う

- ・ 縫う順番がステッチ変更エリアに表示されます。
- ・ 最初の穴かがりを前進で縫い、止めます。

ボタンホールをプログラムする

- ・ 手元返し縫いボタンを押します。
- ・ 「auto」と長さ（mm単位）が表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。



自動ボタンホール

ミシンで自動的に縫うことのできるものは、以下のとおりです。

- ・ 直線縫いを返し縫いで
- ・ 最初の環止め部分
- ・ 2つ目の穴かがり
- ・ 2番目の環止め部分
- ・ 返し縫いが終わると、ミシンは自動的に停止し、次のボタンホールを縫い始められる状態になります。

それ以降に縫うボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。（手元返し縫いボタンを押す必要はありません。）



重要・やり直したい場合

- ・ 「模様頭出し」機能をタッチします。
- ・ ミシンは、ボタンホールの縫い始めの状態に戻ります。



clr

保存してあるボタンホールを削除するには

- ・ 外部の「クリアー」ボタンを押すか、<<recording 記録>>をタッチします。
- ・ <<auto>>が消えて、<<recording>>が表示されます。
- ・ これで、新しいボタンホールの長さをプログラムすることができます。



正確に反復ソーイング

- ・ 自動機能を使うと、ボタンホールの長さも見た目も、まったく同じものを縫うことができます。

印をつける

- ・ ボタンホールの縫い始めにだけ、印をつけます。実に簡単です。



美しいボタンホールを縫うために

- ・ ボタンホールを縫うスピードを一定にすると、穴かがりの目の大きさにばらつきが出ず、非常にきれいに仕上がります。必要ならば、モータースピード機能で、スピードが出ないように調節しておきましょう。

丸型、キーホール型および手縫い風自動ボタンホール ステッチカウント方式は除く

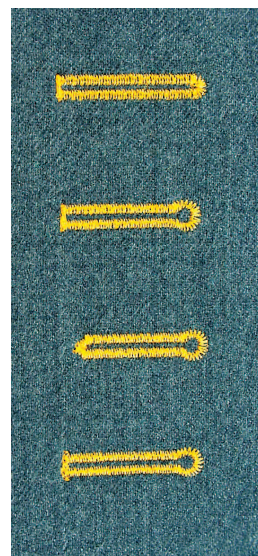


ステッチ： 丸型および手縫い風ボタンホール No.54、No.55、
No.63、キーホール型ボタンホール No.56-58
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル系
送り歯： 上
押え： 自動ボタンホール押え #3A



自動ボタンホール

- ・ ボタンホール押え#3A についたセンサーで、ボタンホールの長さを読み取り、自動的に完成させます。

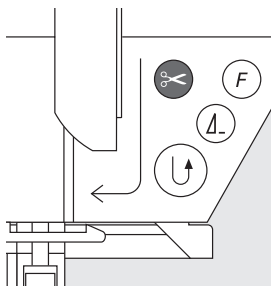


ご注意

左右両方の穴かがりを、同じ方向に縫います。ボタンホールの長さとは、カットした穴の長さを指します。



丸型およびキーホール型のボタンホールの縫い方



直線縫い

- ・ 縫う順番がステッチ変更エリアに表示されます。
- ・ 直線縫いで前進し、必要な長さで停止します。



ボタンホールをプログラムする

- ・ 手元返し縫いボタンを押します。
- ・ 「auto」と長さ(mm単位)が表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。

自動ボタンホール

ミシンで自動的に縫うことのできるものは、以下のとおりです。

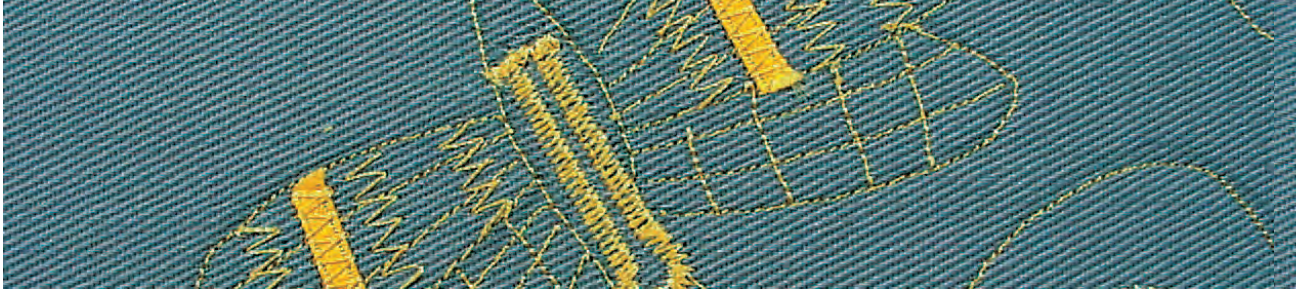
- ・ ボタンホールの丸、あるいは鳩目部分
- ・ 最初の環止め部分を返し縫いで
- ・ 直線縫いを前進で
- ・ 2つ目の穴かがりを返し縫いで
- ・ 2番目の環止め部分
- ・ 返し縫いが終わると、ミシンは自動的に停止し、次のボタンホールを縫い始められる状態になります。

それ以降に縫うボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。(手元返し縫いボタンを押す必要はありません。)



重要：途中で失敗したときには

- ・ 模様頭出し機能アイコンをタッチします
- ・ ボタンホールの最初から縫いだします



手縫い風ボタンホール63番



最初の穴かぎりの長さ

- ・ 必要な長さまで縫ったら、
- ・ ミシンを止めます。



ボタンホールをプログラムする

- ・ 手元返し縫いボタンを押します。
- ・ 「auto」と長さ（mm単位）が表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。



自動ボタンホール

ミシンで自動的に縫うことのできるものは、以下のとおりです。

- ・ 丸型または鳩目の部分
- ・ 2つ目の穴かぎりを返し縫いで
- ・ 上の環止め部分およびその止め縫い。終了すると、自動的に停止します。
- ・ 返し縫いが終わると、ミシンは自動的に停止し、次のボタンホールを縫い始められる状態になります。

それ以降に縫うボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。（手元返し縫いボタンを押す必要はありません。）



clr

保存してあるボタンホールを削除するには

- ・ 外部の「クリアー」ボタンを押すか、recording 記録をタッチします。
- ・ auto が消えて、recording が表示されます。
- ・ これで、新しいボタンホールの長さをプログラムすることができます。



TIP

鳩目ボタンホールの二度縫い

- ・ 厚い布地には、鳩目ボタンホールを二度縫いすると、仕上がりがしっかりします。
- ・ 最初のボタンホールを縫い終わった後、そのまま押え金も生地も動かさず、フットコントローラーを踏み込むだけです。

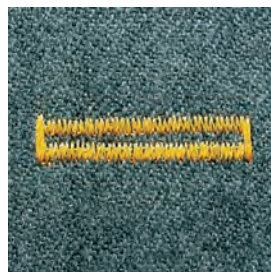
TIP

美しい仕上がりのために

- ・ 必ず安定紙、または芯を使うようにしましょう。
- ・ 芯系を入れると、ボタンホールが見栄えよく仕上がります。

ステッチカウント式ボタンホール（全種類）

ステッチ： ボタンホールステッチすべて
 針： 布に適したもの
 糸： コットン、ポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： ボタンホール押え #3C
 または自動ボタンホール押え #3A

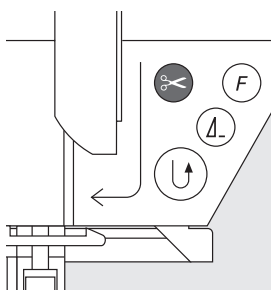


ステッチカウント式ボタンホール

- ・ ボタンホールを選択します。
 1,2,3... ステッチカウント・アイコンをタッチすると、ステッチカウント式ボタンホールプログラムが起動します。
- ・ ボタンホールの長さは、ステッチカウント式によって設定する準備が出来ました。

ご注意

最初、左側の穴かがりは前進で、次に右側は後進で縫います。
 ステッチカウント式で縫ったボタンホールのサイズは、電源をオフにすると消去されます。



ステッチカウント式ボタンホールの縫い方

- ・ 一定のスピードで縫うようにします。



最初の穴かがり縫い

- ・ 最初の穴かがり縫いを縫い、
- ・ ミシンを停止します。



- ・ ≪手元返し縫い≫ボタンを押します。



環止め、次の穴かがり縫い

- ・ 下の環止めを縫い、続いて後進で次の穴かがり縫いをします。
- ・ 最初の穴かがり縫いの一針目にきたら、ミシンを止めます。
- ・ ≪手元返し縫い≫ボタンを押します。



環止め、止め縫い

- ・ 上の環止めを縫ったら、自動的に止め縫いをします。
- ・ ミシンは自動的に停止します。
- ・ 自動≪a u t o≫（プログラムされた長さがmm単位で）および「スッチカウント式」が画面に表示されます。
- ・ ボタンホールがこれでプログラムされました。
- ・ 続いてすべてのボタンホールをプログラム通りに自動で縫います。



clr

一時記憶したボタンホールを削除するには

- ・ ミシンパネル上の<<clr クリアー>>ボタンを押すか、レコードアイコンをタッチします。
- ・ <<auto>>の文字が画面上で消えて、<<recording>>が表示されます。
- ・ これで、新しいボタンホールの長さを新規にプログラムすることができます。



修正

- ・ ステッチの長さ、幅、バランスを変更した時は、ボタンホールのプログラムをやり直して下さい。

ご注意

別の布地でボタンホールをプログラムする時は、

- ・ ステッチカウント式ボタンホールは生地の種類が変われば見た目も異なります。
- ・ 使用する生地で新たにプログラムし直して下さい。
- ・ 実際に縫う布地で試し縫いをして下さい。

TIP

押え金#3Cを使うと、ボタンホールがより簡単に縫えます

- ・ 自動ボタンホール押え#3Aが使えないサイズのボタンホールに最適です。

TIP

きれいなボタンホール

- ・ 縫い目が揃うように、スピードは一定に保ってください。
- ・ 多少スロースピードで縫うと、きれいに仕上がります。必要ならば、モータースピード機能で、スピードを制限しておきましょう。

TIP

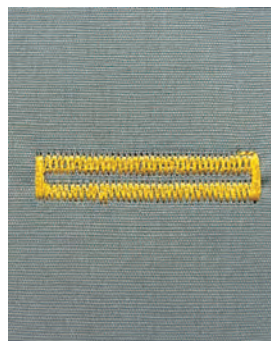
印をつける

自動機能を使う場合には、ボタンホールの縫い始めにだけ、印をつけます。実に簡単です。

4ステップ、または6ステップ・マニュアル・ボタンホール

(全てのボタンホールで使えます)

ステッチ： ボタンホールステッチすべて
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル糸
送り歯： 上
押え： ボタンホール押え#3C、
または自動ボタンホール押え#3A



ご注意

マニュアル・ボタンホールは一つだけ縫う時やボタンホールの修繕に便利です。

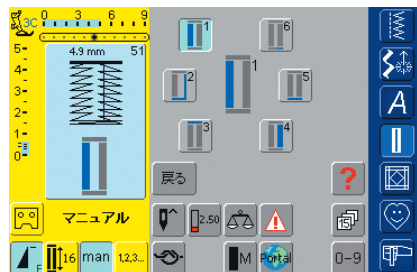
選んだボタンホールのタイプによりステップの数が決まります。

マニュアル・ボタンホールはメモリーに記憶させることは出来ません。



ボタンホールの画面を選びます

- ・ ボタンホールタイプを選択します。
- ・ 画面下の《man》アイコンをタッチします。



各ステップの画面表示

- ・ 選んだボタンホールの各ステップが画面に表示されます。
- ・ 「1」が起動されます。
- ・ 標準ボタンホール = 6ステップ
- ・ ラウンドボタンホール = 4ステップ
- ・ 鳩目ボタンホール = 4ステップ
- ・ 手縫い風ボタンホール = 4ステップ
- ・ 今現在の進行状況が、画面中央に表示されます。

TIP

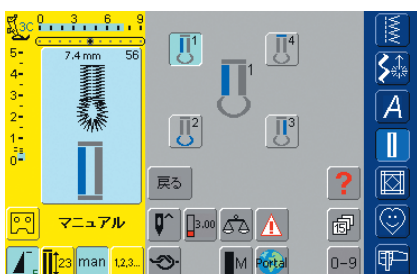
ボタンホールの修繕

- ・ 手順は省略することができます。
- ・ 擦り切れた部分を修繕するのに必要な手順のみ、使います。

4ステップ・ボタンホールを縫う

ラウンド・はと目ボタンホール

4ステップボタンホールを縫う



ご注意
画面の表示は、ラウンド、はと目いずれのボタンホールでも同じです。

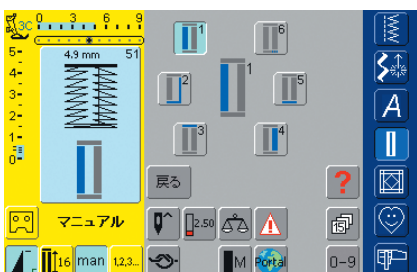
- ・ 《1》にタッチ
- ・ 適当な長さまで左側の穴かがりを縫います
- ・ ミシンを止めます
- ・ 《2》にタッチ
- ・ ミシンは円形の環止めあるいは、はと目を縫います。
- ・ 《3》にタッチ
- ・ 後進で右側の穴かがりを縫います
- ・ 縫い初めの位置で止めます
- ・ 《4》にタッチ
- ・ 上部の環止めを縫い、自動的に返し縫いします。
- ・ 各ステップの針数はご自分で自在に決められます。
- ・ 環止め、はとめ部分および返し縫いは、プログラムされます。

マニュアル・ボタンホール縫いを終える

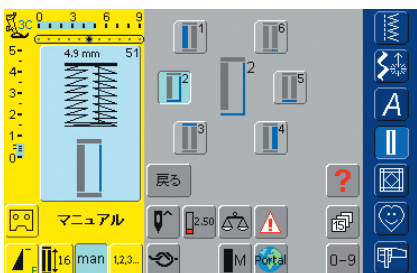
- ・ 画面上の《戻る》にタッチ
- ・ ボタンホールの画面に戻ります

戻る

6ステップのボタンホールを縫う



- ・ 画面の《1》にタッチします。
- ・ 最初に左の穴かがりを縫います
- ・ 適当な長さまで縫ってミシンを止めます。



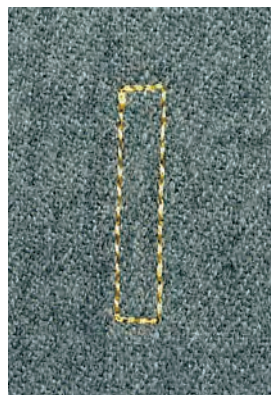
- ・ 《2》にタッチします。
- ・ ミシンは自動的に直線縫いで後進します
- ・ 左側の穴かがりのスタート位置でミシンを止める
- ・ 《3》にタッチする
- ・ ミシンは上の環止めを縫い、自動的に停止します。
- ・ 《4》をタッチ
- ・ 右の穴かがりを前進縫いします
- ・ ミシンを止めます。
- ・ 《5》にタッチ
- ・ 下の環止めを縫い、自動的に停止します。
- ・ 《6》にタッチ
- ・ 止め縫いをして、自動的に停止します。
- ・ 左右の穴かがり、環止めそして止め縫いの針数はご自分で自在に決められます。
- ・ 環止め、丸部分および返し縫いは、プログラムされます

ご注意
環止めは、自動的に6針縫われます。もし6針以上縫いたい場合には、フットコンローラーをもう1回踏んで、もう1度縫ってください。

直線縫いボタンホール



ステッチ： 直線縫いボタンホールステッチ No.59
 針： 布に適したもの
 糸： コットン、ポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： ボタンホール押え #3C、
 または自動ボタンホール押え #3A



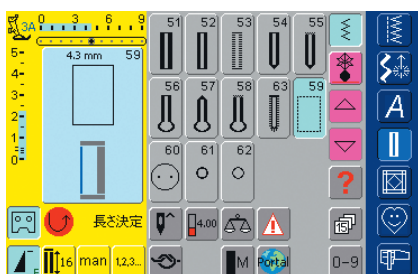
自動ボタンホール押え#3Aを使った自動ボタンホール

ボタンホール押え#3Aについたセンサーで、ボタンホールの長さを読み取り、自動的に登録しますので、まったく同じものをいくつも縫うことができます。

ご注意

直線縫いステッチ（あるいは仮縫いステッチ）のボタンホールは特にウールのような柔らかで織の粗い布地や擦り切れやすい場所に縫うボタンホールなどに良く使います。

直線縫いボタンホールはまた、皮、人工皮革、ビニールやフェルトにボタンホールを縫う場合の補強にも使われます。



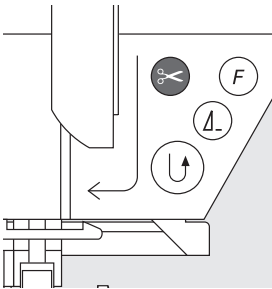
直線縫いボタンホール

ステッチ No.59を選びます。



穴かがり幅を変える

- ・ 左右の穴かがりの間隔が狭すぎる、又は広すぎる場合には振り幅調節ダイヤルで左右の穴かがりの幅を変えて調節出来ます



直線縫いボタンホールを縫う

自動ボタンホール押えを使って縫う

- ・最初のラインを直線縫いで、必要な長さまで縫います。
- ・手元返し縫いボタンを押します。
- ・画面に「auto」表示がされ、長さが記憶されました。
- ・このあと、自動的にボタンホールを縫います。
- ・次に続くボタンホールは、自動的に同じ長さに縫われます。（手元返し縫いボタンを押す必要はありません。）
- ・左右の縫い目の幅は、振り幅調節ダイヤルで調節します。



ボタンホール押え #3Cを使ったボタンホール縫い

- ・ステッチカウント式のボタンホールの機能を選択します。
- ・ボタンホール押え #3C のセンサーが、ボタンホールのステッチ数を読み取り、記録します。

ステッチカウント式ボタンホールの縫い方

- ・最初、左側の穴かがりを縫い、正確な位置で止めます。
- ・手元返し縫いボタンを押します。
- ・環止めを縫い、返し縫いで右側の穴かがりを縫っていきます。
- ・左側の穴かがりの縫い始めの位置で止め、
- ・手元返し縫いボタンを押します。
- ・ミシンは、水平に縫い進めて返し縫いをし、自動的に停止します。
- ・「auto」が表示され、プログラムされた長さが、mm単位で表示されます。
- ・あとは、同じ長さで記憶されたボタンホールを縫います。

TIP

直線縫いボタンホールは、皮、人工皮革、ビニールやフェルトにボタンホールを縫う場合の補強にも使われます。

バウンド（玉縁）ボタンホール

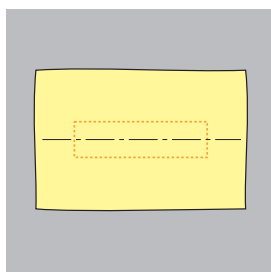


ステッチ： ボタンホール用直線縫い No.59
 針： 80から100
 糸： コットン、ポリエステル
 送り歯： 上（ソーイング位置）
 押え： ボタンホール用押え #3C
 または自動ボタンホール用押え #3A
 トップステッチには、直線縫い用押え #53（滑り底付き・オプション）

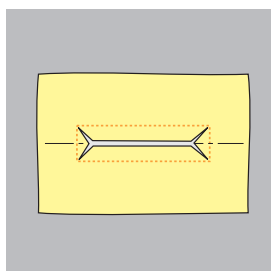
バウンドボタンホールに適した素材

- ・ 人工皮革
- ・ 皮革
- ・ アルカンタラ
- ・ ビニールコートされた布地

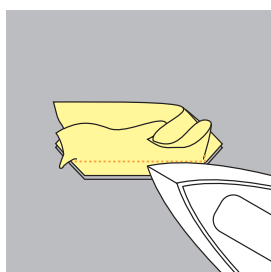
バウンドボタンホールを縫う



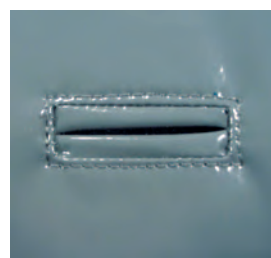
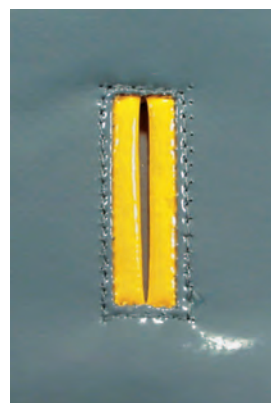
1. ボタンホールのサイズを決めます。
 - ・ ボタンホールサイズプラス横3センチ、縦4センチの大きさの長方形に、布をカットします。これが、後ろからのぞく部分になります。
 - ・ これを元布に、中表に重ねます。折り返し部分があれば、それも考慮してください。
 - ・ ステッチの振り幅9mmで、59番のボタンホール用直線縫いをします。



2. ボタンホールをカットして開きます。
 - ・ 先のとがったハサミ等で、中央を切り開く。その際、両側5mmずつ残してください。
 - ・ 角部分では、縫い目に対して45度の角度になるようにカットします。縫い目まで切ってしまうないように注意してください。

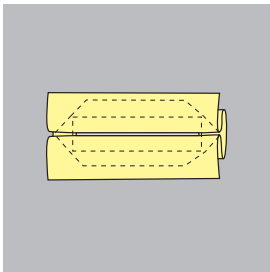
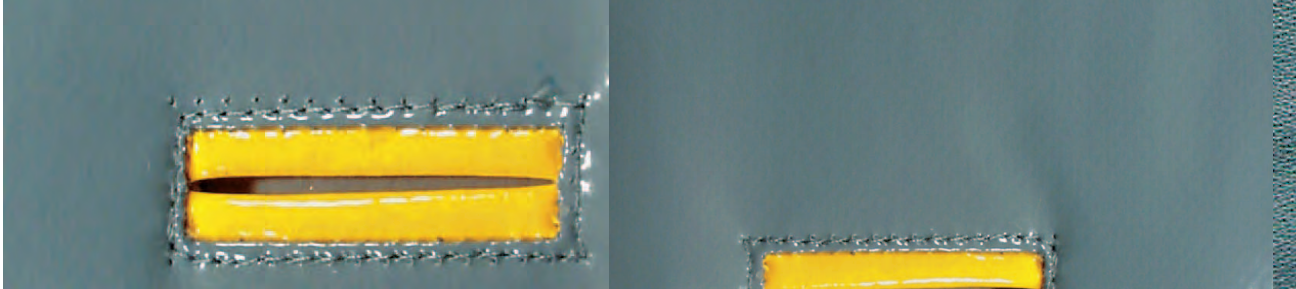


3. ボタンホールをひっくり返します
 - ・ 裏側からボタンホールを返します。
 - ・ 端を外側に向けてアイロンがけします。



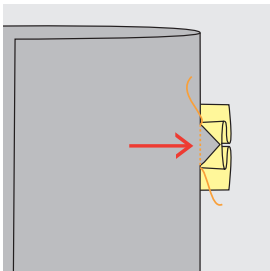
TIP

人工皮革や皮革の場合、当て布をしてから、中くらの温度で注意してアイロンしてください。



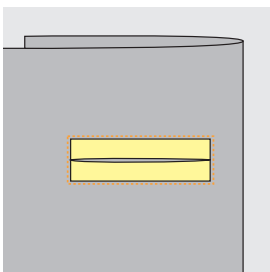
4. のぞく部分をアイロンします。

- ・ ボタンホールに、図のように端ミシンをかける。
- ・ 折り返し部分は、裏側に折ります。



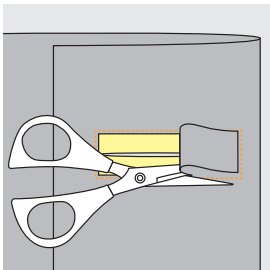
5. 端ミシンをかける。

- ・ テフロン加工のすべりやすい底がついた53番の押えで、表側から、折り返し部分ごと縫います。



6. トップステッチで押さえる

- ・ 裏側の折り返し部分を長方形に切り取り、ボタンが通るようにします。



7. レザーの余分を処理します。

- ・ 表から見たとき、均一な2本のバー状になるように、裏側からアイロンがけするか、またはしつけ縫いしておきます。

TIP

他の素材でバウンドボタンホールを作るには

- ・ 1から7の手順で、ボタンホールを縫います。
- ・ 最後に、端は手縫いでしっかりと止め縫いします。

飾りボタンホール

- ステッチ： ボタンホール用ステッチ（全てに対応）
 針： 布に合ったサイズおよびタイプのもの
 糸： コットン、ポリエステルまたは刺しゅう用糸
 送り歯： 上（ソーイング位置）
 押え： スーパー模様押え #1C（トップステッチ用）、
 ボタンホール押え#3Aまたは#3C

飾りのついたボタンホール

- ・ どんなボタンホールにも使えます。
- ・ 作品の飾りの一部分としてボタンホールを使いた
いときに最適です。

縫い方



スケッチした「トカゲ」の模様をステッチします

- ・ 布にスケッチで描いたトカゲの模様を写すか、または細い鉛筆、チャコペンまたは消えるマーカーを使って絵を描きます。（先に試し書きをしておいてください）。
- ・ 線に沿って、トカゲを直線縫いでステッチします。トカゲの背中の模様は、ジグザグステッチを使います。（図参照のこと）。
- ・ #3A、または#3Cの押え金を使って、ボタンホールを縫います。



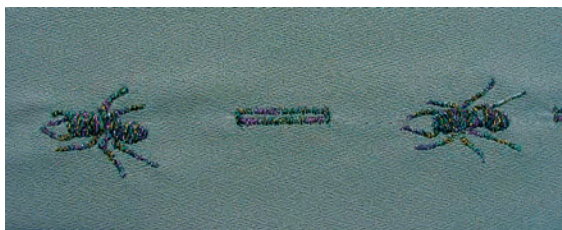
飾り縫いと組み合わせたボタンホール

- ・ #3A、または#3Cのボタンホール用押え金を使って縫います。
- ・ ボタンホールを、No.107の飾りステッチで飾り、更にNo.708のステッチも加えます。

TIP

ボタンホールと刺しゅうを組み合わせる

ボタンホールを縫って、アーティストのパソコン用刺しゅうソフトで、オリジナルの刺しゅう柄を取りこみ、組み合わせてみましょう。



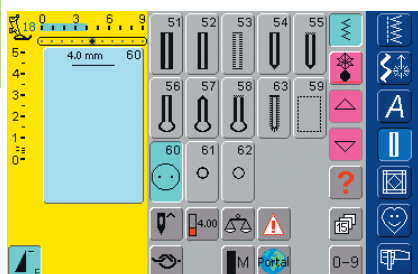
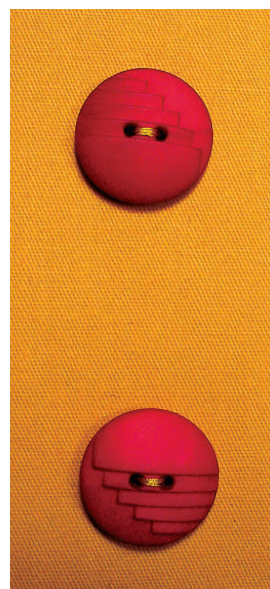
ボタン付けプログラム



ステッチ： ボタン付けステッチ No.60
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル糸
送り歯： 下（ダーニング位置）
押え： ボタン付け用押え #18



押えの #18を使うと、二つ穴、又は四つ穴のボタン付けが出来ます。
ボタンから布までの距離（糸足）は、自由に決められますので、実用ではなく、飾り用にボタンを縫いつける場合には、糸足なしで強く縫いつけることも可能です。



ボタン付けプログラム

- ・ステッチ No.60 を選択します。

ボタン付けの方法

二つ穴のボタン

- ・画面で60番のステッチを選択します。
- ・はずみ車を回して穴の間隔を測り、必要ならば振り幅を調整します。
- ・縫い始めは、2本の糸を手にとってください。
- ・縫い始めます。
- ・プログラムが終ればミシンは自動的に止まり、すぐに次のボタンを縫いつけることができます。

四つ穴のボタン

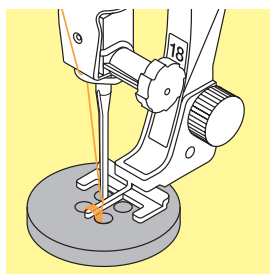
- ・最初に手前の二つ穴を縫います
- ・注意してボタンを手前に引きます。
- ・次に後ろの二つ穴を縫います
- ・プログラムが終ればミシンは自動的に止まります

糸の始めと終わり

- ・糸は返し縫いされているので、切り取るだけで始末できます。

返し縫いの仕上げについて

- ・下糸を引っ張って、上糸を布裏に引き込みます。
- ・下糸を切ります。（必要に応じて、玉結びをして下さい。）



TIP

ミシンでボタンを縫いつける

シャツやブラウスなどのように、同じボタンをいくつも縫うときには、特に時間を節約できます。

洗濯の回数の多い衣服のボタン付けは、プログラムを2回繰り返すようにするとよいでしょう。

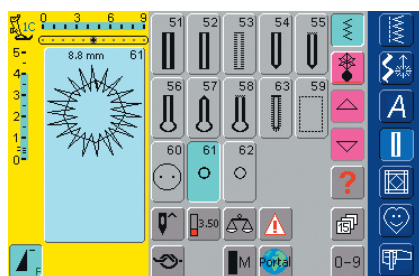
ジグザグまたは直線アイレット縫い



ステッチ： 幅の狭いジグザグアイレット No.6 1、
または直線アイレット No.6 2
針： 布に適したもの
糸： コットン、ポリエステル糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押え #1 C

ご注意

アイレットは、紐や細いリボンを通す穴に最適です。また、子供服や手芸品に使う模様としてもよいでしょう。ただし、ステッチコンビネーションでは使用できません。



アイレット（鳩目）

- ・ アイレットを選ぶ
- ・ No.6 1 ジグザグアイレット
- ・ No.6 2 直線縫いアイレット

アイレットを縫う

- ・ 生地を押えの下に準備して、縫います。
- ・ プログラムが終ればミシンは自動的に止まります
- ・ サテンステッチをもっと密にしたい場合には、もう1回縫います。

アイレットに穴を開ける

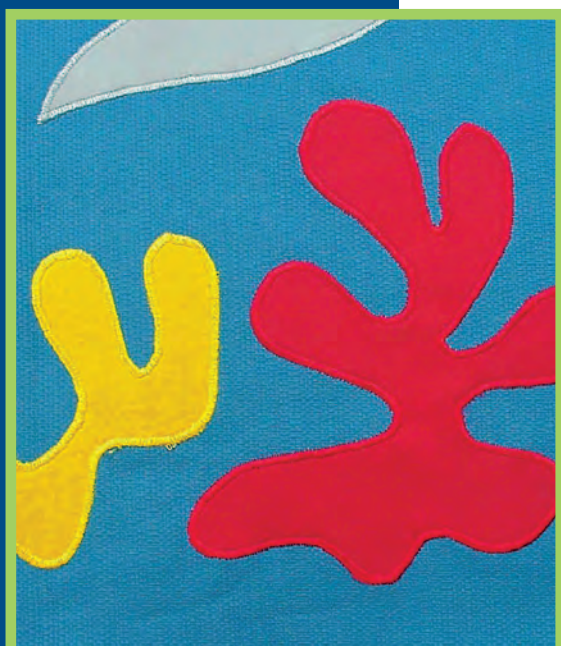
- ・ 突ききりを使ってアイレットの穴を開けます



TIP

アイレットを飾り付けに使う

ぬいぐるみや人形の目を刺しゅうできます。飾り糸を使って、素敵な模様を作ってもよいでしょう。



パッチワーク・キルティ
ング・ステッチ 136

いろんなテクニック 137

キルター用留め縫いプログラム 138
ステッチ #324

ピーシング用直線縫い 139
ステッチ #325

ピーシング用ステッチ、直線縫い 140
ステッチ #326

手縫い風キルトステッチ 141
ステッチ #328、#346-#350

飾りキルトステッチ 142
ステッチ #327、#332-#345、#351

サテンステッチ 143
ステッチ #354

ブランケットステッチ 145
ステッチ #329、#330、#352、#353

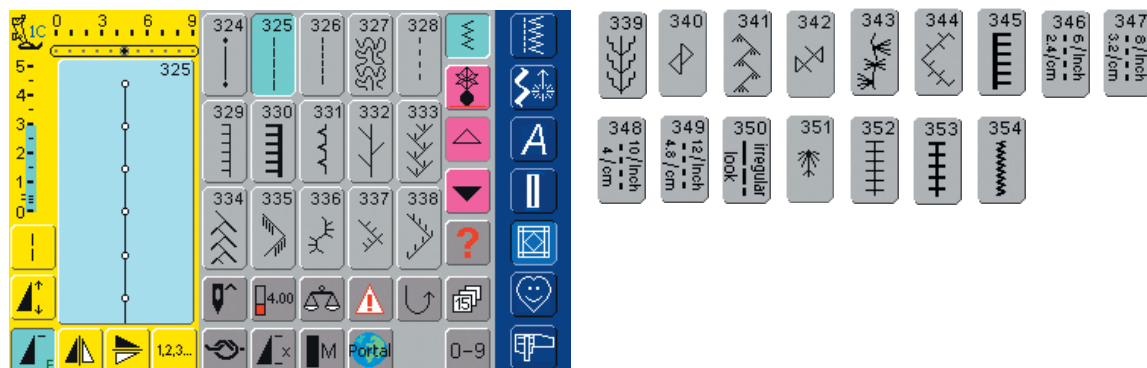
端を折りこんだアップリケ 146
アップリケステッチ #331

フリーハンドキルティング 148
ステッチ #325

BSR でフリーハンドキルティング 149
BSR:ベルニナスステッチレギュレーター
直線キルティング #1
ジグザグキルティング #2

パッチワークキルティング

パッチワーク・キルティングステッチ



各種ステッチ

キルティング用、パッチワークまたはアップリケ用に使用できるステッチには、以下のようなものがあります。

- No.324 キルト返し縫いプログラム
- No.325 ピーシング用直線縫い
- No.326 ピーシングステッチ、直線縫い
- No.327 ステップリングステッチ
- No.328 手縫い風キルトステッチ
- No.329 ブランケットステッチ
- No.330 ダブルブランケットステッチ
- No.331 アップリケステッチ
- No.332 フェザーステッチ
- No.333からNo.338 フェザーステッチのバリエーション
- No.339からNo.345、No.351キルト用飾りステッチ
- No.352 ブランケットステッチ（二重）
- No.353 ダブルブランケットステッチ（二重）
- No.354 サテンステッチ

選んだステッチにタッチすると

- ・ ステッチが起動します。
- ・ スクリーン上にすべての情報が表示されます。
- ・ 振り幅および送り長さを変更、お好みのセッティングを選べます。

いろんなテクニック

パッチワーク、アップリケおよびキルティング

パッチワーク

- ・ 異なる色、形、模様の布を縫い合わせて、布団、壁掛け、服飾品等を作ることができます。
- ・ パッチワークのデザインには、基本的な定型の組み合わせがもっとも使いやすい形です。（正方形、長方形、三角形等）

パッチワーク用のステッチ

- ・ No.326 のピーシング用直線縫い

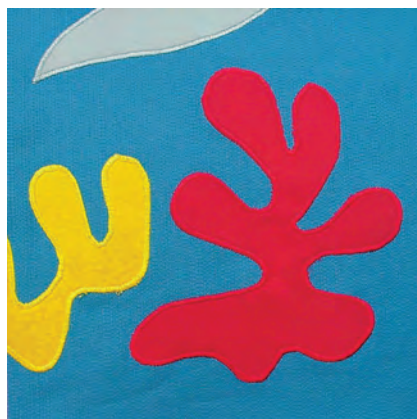


アップリケ

- ・ 土台布にハギレを縫いつけるか、刺しゅうでハギレの周りを囲むようにして縫いつけるテクニックをいいます。
- ・ 飾り以外にも、破れた箇所をカバーするために使える方法です。

アップリケ用のステッチ

- ・ No.354 サテンステッチ
- ・ No.329、No.330、No.352、No.353 のブランケットステッチ
- ・ No.331 ブラインドステッチ



キルティング

キルトは、三つの層で構成されています。

- ・ 装飾的なトップ（通常はパッチワーク）
- ・ 真中の層は、キルト芯
- ・ 裏地は、無地の布。
- ・ 三枚の布をサンドイッチした後、待ち針を打ち、しつけ縫いしてから、いろいろなステッチで縫います。この作業をキルティングといいますが。

以下のステッチは、キルティング用となります。

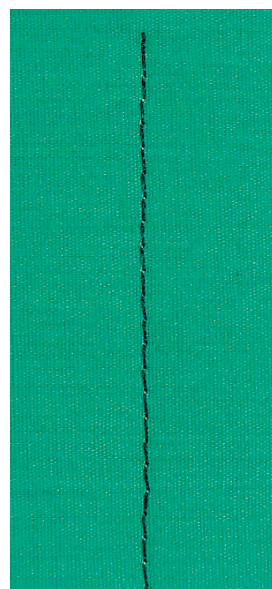
- ・ No.324 キルト用返し縫いプログラム
- ・ No.325 ピーシング用直線縫い
- ・ No.328、No.346 から No.350 までは、手縫い風キルトステッチ（手縫い風）。
- ・ No.327、No.331 から No.345、No.351 までは、飾りキルトステッチ。
- ・ BSR機能を使ったフリーハンドキルトステッチ



キルティング留め縫いプログラム

・

- ステッチ： キルト用返し縫いプログラム No.324
針： 布に適したサイズおよびタイプのもの
糸： コットン、飾り縫い糸またはモノフィラメント
送り歯： 上（ソーイング位置）
押え： スーパー模様押え #1C
またはウォーキング押え #50（オプション）



アプリケーション

キルト用返し縫いプログラム

- ・ あらゆる布、キルトに適しています。
- ・ 縫い始めと終わりを返し縫いします。

準備

- ・ キルトサンドイッチを作ります（中央に芯を入れます）。
- ・ 待ち針を打ち、しつけ縫いをします。

縫い始め

- ・ ミシンが自動的に返し縫い（小さく6針）します。
- ・ 終わり近くまで縫いつづけます。

縫い終わり

- ・ ヘッドフレーム上の手元返し縫いボタンを押して、離します。ミシンが自動的に、小さく6針返し縫いしてから、停止します。



ご注意

よく着るもの、またはよく洗濯するものに関しては、返し縫いは#5のステッチを使います。

TIP
完璧な縫い目のためには：
分厚い布を使う場合には、ステッチの送り
長さを長くします。

TIP
針下位置停止機能
大変効率よく作業でき、
便利です。

直線縫いキルティング

- ステッチ： 直線縫いキルティングステッチ No.325
 針： 布に合ったサイズおよびタイプのもの
 糸： コットン、飾り縫い糸またはモノフィラメント
 送り歯： 上（ソーイング位置）
 押え： スーパー模様押え#1C
 またはウォーキング用押え#50（別売りオプション）

直線縫いキルティング

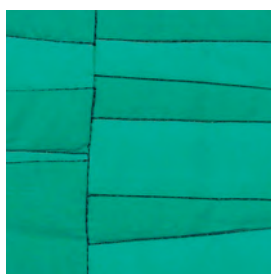
- ・ ミシンキルティング用に、針目を長めにセットアップされた直線縫いです。
- ・ どんな布やどんなキルトにも適しています。

準備

- ・ キルトサンドイッチを作る（中央に芯を入れます）。
- ・ 待ち針を打ち、しつけ縫いをします。

アウトラインキルティング（エコーキルティング）

- ・ 作品にちょっとしたアクセントをつけることができます。
- ・ パッチワークの縫い目または、モチーフの周囲から、一定の距離でステッチしていく方法です。



シャドーキルティング

- ・ ピースを縫い合わせただけの作品にアクセントを加えるのに最適です。
- ・ キルトステッチで、作品の縫い目のラインに沿って、直接縫いつけます。

TIPS

綺麗な縫い目を出すには:

分厚い布を使う場合には、送り長さを長くします。

縫い目を隠すには

モノフィラメントの糸を使うと、縫い目が見えなくなります。

針下位置停止機能

大変効率よく作業でき、便利です。



ピーシング用直線縫い

- ステッチ：ピーシング用直線縫い No.326
 針：布に合ったサイズおよびタイプのもの
 糸：コットン
 送り歯：上（ソーイング位置）
 押え：スーパー模様押え#1C、
 またはパッチワーク用押え#37（オプション）
 またはガイド付パッチワーク用押え#57（オプション）

ピーシング用直線縫い

- ・ これは送り長さの短い直線縫いです。
- ・ パッチワークのピーシングに最適です。

縫い方

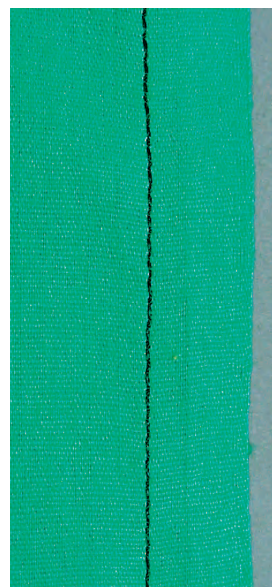
ハギレを合わせて待ち針を打ち、縫い合わせます。

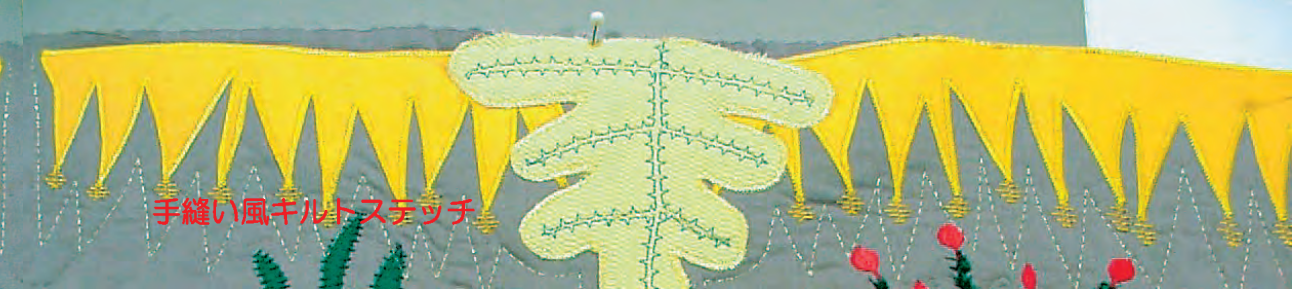
1,2,3...

ステッチカウンター機能を使って縫い合わせる

同サイズの何枚かのハギレを組み合わせたパッチワークの場合、ステッチカウンター機能を使うと便利です。

- ・ シンボルをタッチすれば、ステッチカウンターが起動します。
- ・ 必要な長さまで縫います。
- ・ 手元返し縫いボタンを押す。
- ・ 先に縫ったステッチの数が、一時的にプログラムされます。
- ・ ログラム後は、同じステッチ数で、同じ長さまで縫い、自動的に停止します。





- ステッチ： キルティングステッチ No.328、No.346-350
 針： 布に合わせたもの
 上糸： モノフィラメント
 下糸： 30番-50番程度のコットン、又はレーヨン、ポリエステル刺しゅう糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え#1C、
 またはウォーキング押え#50（別売りオプション）

手縫い風キルトステッチ

- ・ 手縫いのような縫い目を可能にしたものです。手縫いに見せたい作品に最適です。

試し縫い

- ・ 下糸が表面に交互に出るように縫います。
- ・ 上糸は、モノフィラメントなので、下糸が一目おきに目立つようになり、手縫いの効果を出します。

上糸調子

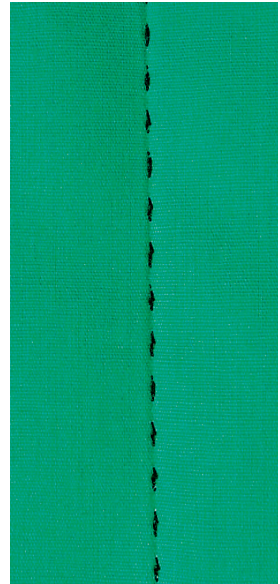
- ・ 自動でセットされます。
- ・ 布のタイプにより、必要ならば調節してください。

バランス

- ・ 必要に応じて調節してください。

縫い方

- ・ 針基線は、どこでも縫えます。



TIP

コーナー部分をきれいに仕上げるには

- ・ 一模様縫い機能および針下位置停止機能をオンにして、縫い始めます。
- ・ 必ず針が布に刺さっている状態で、布を回しましょう。

TIP

モノフィラメントの扱い方

- ・ よく糸切れするような場合には、縫う速度をゆるめるか、上糸テンションを少しゆるめましょう。

飾り模様のキルトステッチ

- ステッチ：キルトステッチ No.3 27、332-345、No.3 51
 針：布に合わせたもの
 糸：コットン、飾り縫い糸
 送り歯：上
 押え：スーパー模様押え#1C、
 またはオープン刺しゅう押さえ#20C

飾りキルトステッチ

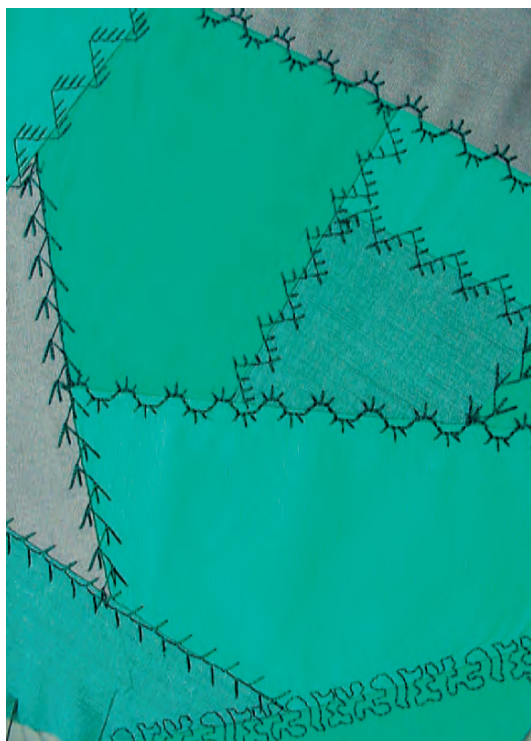
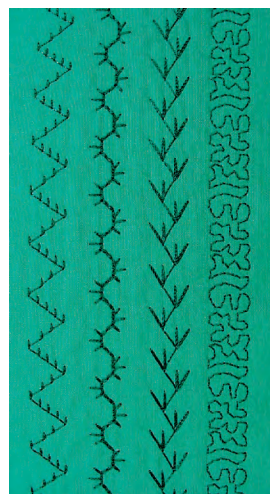
- ・ あらゆる布、キルトに使えます。
- ・ 特にクレージーキルトに最適です。

準備

- ・ キルトサンドイッチを作ります（中央に芯を入れます）。
- ・ 待ち針を打ち、しつけ縫いをします。

縫い方

- ・ キルトステッチを選択して、縫います。
- ・ クレージーキルトの場合には、ステッチがパッチの上に来るようにします。
- ・ キルトステッチはすべて、コンビモードで組み合わせることができます。



TIP

完璧な縫い目のために

- ・ 分厚い布を使う場合には、送り長さを長くします。
- ・ 必要ならば、バランス機能でステッチの調整をします。

TIP

コーナーをきれいに仕上げるには

一模様縫い機能および針下位置停止機能をオンにしてから、布を回すようにします。

TIP

327番・スティップリングステッチ

横送り縫いの No.515、または No.516 を使うと最大 3cm の幅でスティップリングが可能です。

サテンステッチ



- ステッチ： サテンステッチ No.354
 針： 布に合ったもの
 糸： コットン、ポリエステル、飾り縫い糸
 送り歯： 上（ソーイング位置）
 押え： アププリケ用押え #23（オプション）、
 スーパー模様押え #1C
 またはオープン刺しゅう用押え #20C



サテンステッチ

- ・ 飾りのアププリケなどに最適です。
- ・ ほとんどの布に使えます。

ご注意

両面接着芯のかわりに、スプレー式の布接着剤を使ってもよいでしょう。

1



アププリケの準備

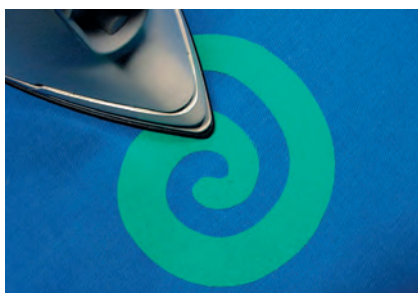
- ・ 土台布にモチーフを固定して、シワにならないようにするには、両面接着芯が便利です。
- ・ モチーフをオリジナルサイズでデザインします。
- ・ モチーフの反転型を、接着芯の紙の側に写し取り、大まかに切り取る。
- ・ 接着芯を、糊のついた側を布につけるようにして、アイロンがけします。（写真1参照）

2

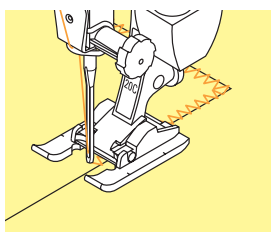


- ・ 線に沿って、モチーフを切り取る。（写真2参照）
- ・ 紙をはがす。（写真2参照）

3



- ・ モチーフを土台布の上に置く（写真3参照）
- ・ 必要ならば、土台布の下に安定紙を置き、補強します。（刺しゅう用安定紙等がよいでしょう）。



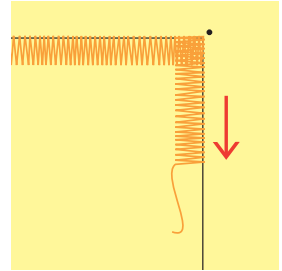
アププリケを縫う

- ・ アププリケの端を縫って、留めておきます。
- ・ 針が右に振れるとき、アププリケの端をほんの少し越えて、土台布に刺さるような位置でステッチします。（必要ならば、針基線を変更します）。



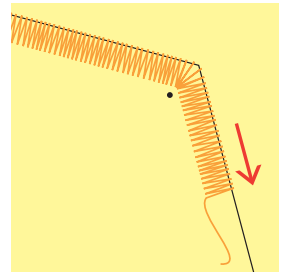
直角のコーナーを縫う

- ・ 布の外側の端を、3、4針縫います。
- ・ モチーフの端にかけて、ステッチします。針基線は下、縫いながら布を回していきます。
- ・ 縫い続ける。コーナー部分は、2回縫う形になる。



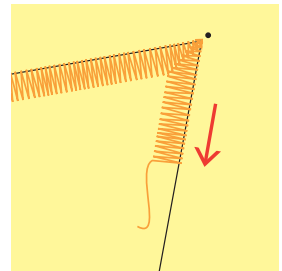
100度程度のゆるやかな角を縫う

- ・ 針がモチーフの内側の中間点に達するまで、縫います。
- ・ 日光のような放射状に、コーナー部分を縫います。その際、針が落ちる位置は常に一定であるよう気をつけながら、布を少しずつ回していきます。2針縫ったら、回す、といった感じで。



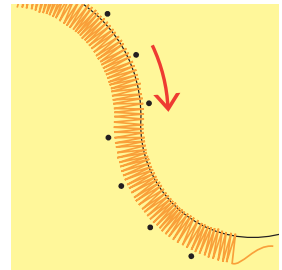
鋭角を縫う

- ・ コーナー部分手前1センチくらいまで縫います。
- ・ 縫いつけながら、サテンステッチの振り幅を少しずつ減らして、0に近づけていきます。
- ・ コーナーの中心点まで縫い進めます。針基線は下（モチーフの外側に落ちるようにします）で、布を回転させながら縫います。
- ・ 縫いつけながら、振り幅を少しずつ元の1センチまで戻します。



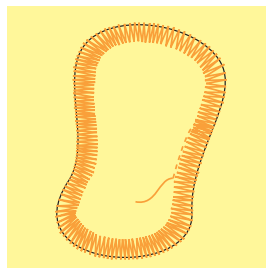
カーブを縫う

- ・ ゆっくり、何回も止まりながら縫い進めます。
- ・ 内側のカーブ（1番）では、針基線をカーブの内側にして、止まる。
- ・ 外側のカーブ（2番）では、針基線をカーブの外側にして、止まる。
- ・ 布を小刻みに動かしながら、縫い進めます。
- ・ 以上の手順を繰り返す内に、美しい均一なカーブが刺しゅうできます。



留め縫い

サテンステッチの内側に、直線縫いを数針だけします。



針下位置停止機能

布を回すときにも針が刺さっているので、位置が変わらず便利です。

ソーイングスピード

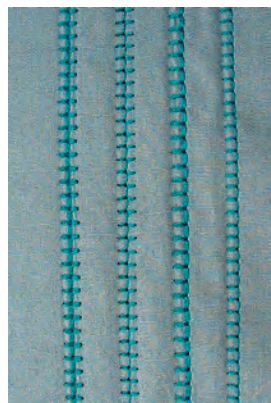
スピードをゆるくすると、仕上がりがきれいになります。

完璧なステッチのために：

布の性質によって、振り幅と送り長さのセットアップを微妙に調整する必要があります。

ブランケットステッチ

- ステッチ： ブランケットステッチ、No.329、330、352、353
 針： 布に合ったもの
 糸： コットン、飾り縫い糸
 送り歯： 上（ソーイング位置）
 押え： スーパー模様押え #1C
 またはオープン刺しゅう押え #20C



ブランケットステッチ

- ・ No.329 および No.352 のステッチは、薄手から中くらいまでの布用です。
- ・ No.330 および No.353 のステッチは、中くらいから厚手の布用です。

No.329 または No.330（ダブルブランケットステッチ）で縫う

- ・ アップリケに最適です。
- ・ アップリケ用のモチーフを用意して、土台布に置きます。
- ・ アップリケの周囲を縫います。
- ・ ステッチの垂直部分は、アップリケの端に沿った部分に、平行な部分は、アップリケの上にかかるようにします。



アップリケの縫い方については、146 ページから 147 ページをご覧ください。

No.352 または No.353 のブランケットステッチ（いずれも二重縫い）で縫う

- ・ アップリケ、リボンを縫いつける、布ストリップを縫い合わせる、または飾り糸や毛糸をカウチングする場合に最適です。
- ・ 作品を準備します。
- ・ アップリケやリボンの端を正確に押さえるように縫います。
- ・ ステッチの垂直部分は、アップリケまたはストリップの端に沿った部分に、平行な部分は、上にかかるようにします。



TIP

手縫い風の効果

- ・ 手縫い風に見せるには、ステッチの送り長さおよび振り幅を布地によって変更します。
- ・ シングルのブランケットステッチでは、90番の針に2本の糸を通すと、手縫い風に仕上がります。（2本のスプールの糸をまとめて、一緒に針穴に通します）

端を折り返した（ターンドエッジ）アップリケ

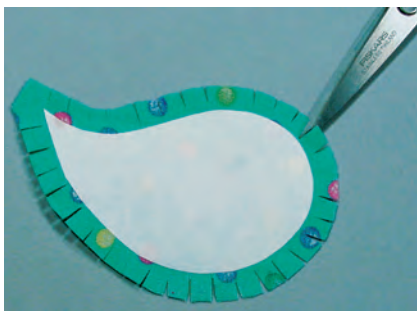


ステッチ： ブラインドステッチ No.331
 針： 布に合ったもの
 糸： モノフィラメント
 送り歯： 上（ソーイング位置）
 押え： スーパー模様押え #1C



ターンドエッジアップリケ

- ・ 端を折り返したモチーフを土台布に縫いつける方法です。
- ・ モノフィラメント糸を使うと、縫い目はまったく目立ちません。



準備

- ・ モチーフの反転型を、接着安定紙の糊のついていない側に描きます。
- ・ 安定紙を、ハサミまたはロータリーカッターで、型に沿ってカットします。
- ・ アップリケ用布地の裏側に、切り取った安定紙をアイロン接着します。（きちんと接着したか確認すること）
- ・ 6mm程度の余分を残して、アップリケをカットします。
- ・ 余分に、5mm間隔でハサミを入れます。（カーブ部分では、もう少し細かく）。
- ・ カットした余分を、裏側（安定紙側）に折り返します。安定紙の形のアップリケが完成したら、指で端をスムーズになるよう、調整します。
- ・ アイロンをかけします。必要ならば、形の崩れを修正します。

縫い方

- ・ モチーフを土台布の上に置き、待ち針かスプレー糊で止めます。
- ・ アップリケの周囲を、時計回りにブラインドステッチしていきます。
- ・ ステッチの左部分が少しだけ、アップリケ用モチーフにかかっているような形で縫い進めます。



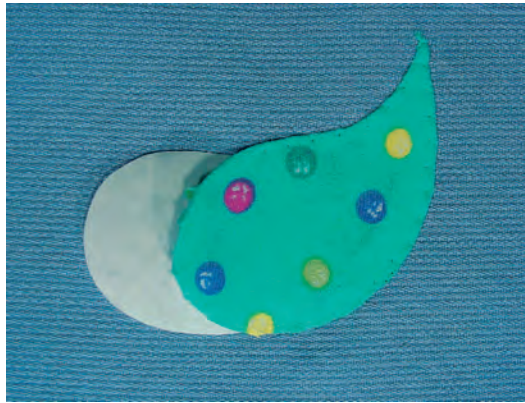


バリエーション

アイロン接着芯でなく、紙のテンプレートでもよいでしょう。

- ・ テンプレートには、厚手の紙も使えます。
- ・ 縫う前に、テンプレートを取り出すので、アップリケはソフトな感じに出来あがります。(カバー、クッション等に最適です)。
- ・ モチーフを厚手の紙に描き、それに合わせて、6mmの余分を残して布をカット、余分は紙の端に沿って折り返しておきます。
- ・ アイロンがけをしたら、紙を取り除きます。
- ・ モチーフを待ち針で土台布に固定し、ミシンをかけます。

フリーザーペーパー



- ・ フリーザーペーパーは、アイロン接着の安定紙の代わりとして、広く知られています。
- ・ スプレー糊を使って、フリーザーペーパーを布に固定し、アップリケをカットします。
- ・ つやのある面に、アップリケの周囲の余分をアイロン接着します。
- ・ そのまま縫います。終了前に、一旦停止して、ペーパーを取り出してから、再び縫って完成させます。



フリーハンドキルティング

- ステッチ： キルティング用直線縫い No.325
 針： 布に合ったもの
 糸： モノフィラメント、コットン、飾り縫い糸
 送り歯： 下（ダーニング位置）
 押え： ダーニング用押え#9、
 またはキルティング用押え#o.29
 （別売りオプション）

フリーハンドキルティング

- ・ あらゆるフリーハンドキルティングに使えます。

準備

- ・ トップの布、キルト芯、裏布を重ねます。
- ・ キルトサンドイッチを待ち針でとめるか、しつけがけをします。

作品の持ち方

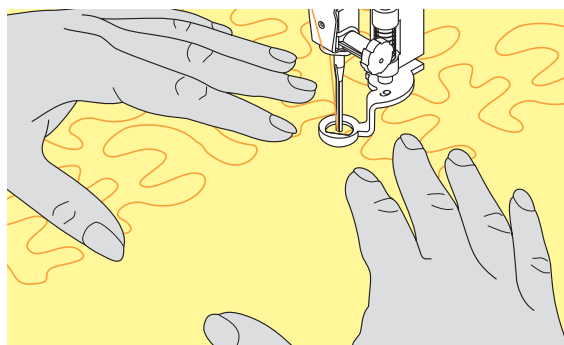
- ・ 両手を刺しゅう枠のように使って、布をしっかり押さえ、ガイドしていきます。
- ・ 布の中心から外側へ向けて、縫っていきます。

キルトラインを縫う

- ・ 選んだキルトパターンを縫うコツは、滑らかに丸く布を回して動かすことです。（フリーハンドの場合も、テンプレートを使う場合も同様です。）

スティップリング・キルティング

- ・ キルトの表面全体を、ステッチで埋める方法です。
- ・ ステッチのラインは、角のない丸みのあるカーブの連続です。縫い目が交差することのないよう、注意して縫い進めます。



TIP

フリーハンドキルティングとつくろい縫い
 共に基本的な縫い方は同じです。

TIP

モノフィラメントの糸切れ

モノフィラメントが切れやすい場合は、縫うスピードをゆるめるか、または上糸調子を少しゆるめるとよいでしょう。

TIP

ステッチの形が悪い場合

- ・ 布の動かし方が速すぎると、糸のループができてしまいます。
- ・ 裏に結び目ができてしまう場合は、布の動かし方がゆっくり過ぎます。
- ・ 刺しゅう枠を使えば、動かすのが楽になります。

TIP

糸切れ

- ・ 手をいきなり速く動かしてしまった場合等に、よく起こります。布は、滑らかに均一のスピードで動かすようにしましょう。

BSRを使ったフリーハンドキルティング

- ステッチ： 直線縫い No.1、またはジグザグステッチ No.2
 針： 布に合ったもの
 糸： モノフィラメントまたはコットン、刺しゅう糸、ポリエステル糸
 送り歯： 下（縫い縫いの位置）
 押え： BSR押え#42（押えの底は、クローズトウ、オープントウ、透明底等と交換可能）



BSR（ベルニナ・ステッチ・レギュレーター）機能とは

BSR押えが、押えの下にある布の動きに反応して、ミシンの縫うスピードを自動的に調整します。

布の動かし方が速ければ、それに合わせてミシンのスピードも上がります。布の動かし方が速過ぎる場合には、警告のブザーが鳴ります。ブザーは、BSRスクリーンでオンオフの操作ができます。

BSR機能（直線縫い1）

特殊な押え金を使い、最大 4mmまでのあらかじめ設定した送り長さで、直線フリーモーションキルティングまたはソーイングができます。

あまりにも速すぎたり、遅すぎたりしなければ、布の動かし方にかかわらず、均一な針目で縫うことができます。

BSR機能（ジグザグ縫い2番）

ジグザグ縫いは、スレッドペインティングや布のデコレーション等に使用します。

設定した送り長さは、ジグザグ縫いの場合、均一に維持されることはありません。ただし、BSR機能を使えば、ジグザグ縫いがより簡単に使いやすくなります。

警告

BSR機能がオンになっている場合、ミシンは減速されたスピードで連続縫いをするか（モード1、標準）、または一針縫いをしていきます（モード2）。BSR押えが赤く点灯している間は、糸通しや針交換等の作業は決して行わないで下さい。ミシンはBSRモードで動いているため、うっかり布を動かしたりすると、針が動き出しますので、大変危険です。

布が約7秒間静止状態にあると、BSRモードはオフになり、赤いランプも消えます。

詳しくは、「安全にお使いいただくために」をご参照下さい。



BSR機能は、2種類のモードのいずれかで使います。

BSR 1

BSRモード1

- ・ BSRの標準設定は、モード1です。
- ・ フットコントローラーを踏み込むか、手元返し縫スイッチを押すと、ミシンは、減速されたスピードで連続して縫い続けます。
- ・ 押えの下で布を動かすと、そのスピードにつれてミシンのスピードも速くなっていきます。
- ・ 針は連続して動いているので、ある1ヶ所で留め縫いをする事が可能です。他のボタンを押す必要はありません。

BSR 2

BSRモード2

- ・ 「BSR2」のボタンを押すと、BSRのモード2になります。
- ・ ミシンは、フットコントローラーを踏み込むか、または手元返し縫いスイッチを押すと押え金の赤いセンサーが点灯しオンになりますが、同時に布を動かさない限り、針は動きだしません。
- ・ 布を動かすスピードによって、ソーイングスピードが決まります。
- ・ 留め縫いをするには、「留め縫いボタン」を押します。
- ・ 「BSR1」のボタンを押すと、BSRのモード1に切り替えられます。

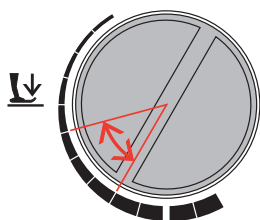
ご注意

最初の一針から均等な縫い目で縫い始めるためには、フットコントローラーを使って、踏み込むと同時に布を動かします。ポイント部分を縫ったり、丸く直線縫いする場合も同様です。

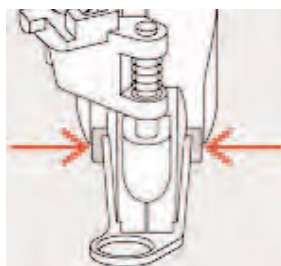
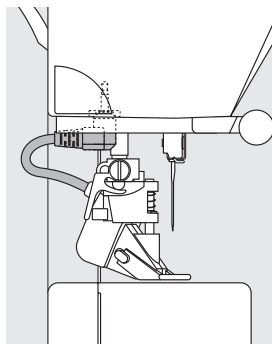
BSR機能をオフにした後、ミシンの電源を切らないでまた BSR 機能をオンにした時は、オフにする直前に設定されていたモードがそのまま引き継がれます。

準備

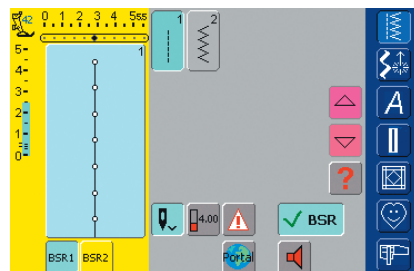
- ・ 送り歯を下げます。
- ・ 押え圧力をゆるめて下さい。
- ・ スライドオンテーブルを使用して下さい。



- ・ 目的に合った押えの底を、BSR押えに取り付けます。
- ・ 押えの底を取り外すには、矢印のように両側から押えを指で挟みこむように押し込み、
- ・ 底を、溝に沿って手前に引っ張り出します。
- ・ 押えの底を取り付けるには、溝に沿って押し込み、かちんと音がするまではめ込みます。



- ・ BSR押えをミシンに取り付け、コードをグリーンのソケットに、かちんと音がするまで差し込みます。ソーイングテーブル装着時には、覗き込まなくても反射する映像の中に緑色のソケットを見つけることが出来ます。



- ・ <<BSR>>スクリーンが自動的に開きます。
- ・ 標準モードのBSR 1 が起動します。
- ・ 送り長さの基本セッティングは2mmです。
- ・ お好みの送り長さにセットします。
- ・ 小さな形や、スティッピングを縫う場合には、送り長さは1mmから1.5mmがよいでしょう。

BSRモードで以下の機能を使う場合

針下位置停止機能（標準設定）

- ・ 画面上で、矢印が下を向いて表示されます。フットコントローラーを放すと、ミシンは、針が布を刺している状態で停止します。

針上位置停止

- ・ 針上位置停止ボタンを押します。（矢印が上を向きます。）フットコントローラーを放すと、ミシンは、針が上上がった状態で停止します。

針を上げる、または下げる

- ・ フットコントローラーのかかとの部分を踏むと、針を上下することができます。

- ・ 手元返し縫いボタンを押してBSRモードを再スタートし、縫い続けます。

留め縫い機能（モード2のみ）

- ・ 「留め縫い機能」ボタンを押します。
- ・ フットコントローラーを踏み込むか、手元返し縫いボタンを押します。
- ・ 布を動かすと同時に、短い送り長さで数針、留め縫いされます。留め縫いが完了すると、留め縫い機能は自動的に解除され、送り長さは元のセッティングの値に戻ります。

手元返し縫いボタンで留め縫い（モード1のみ）

- ・ フットコントローラーのプラグを抜きます。
- ・ 押え金の下に布を置き、押え金を下げます。
- ・ 上糸および下糸をびんと張るように持ちながら、手元返し縫いボタンを押して、BSR機能を起動します。
- ・ 5、6針、留め縫いします。
- ・ 手元返し縫いボタンを押して、BSRモードを停止します。
- ・ 余分の糸をカットします。

BSRを使わずにフリーハンドキルティングをするには

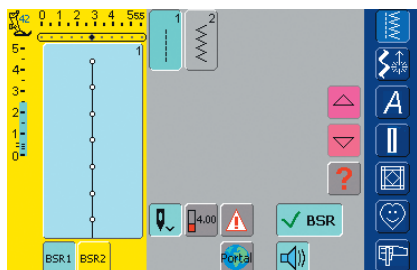
- ・ 画面左側に表示されているBSRボタンを押します。
- ・ BSRモードが解除され、画面左側の「BSR 1」および「BSR 2」のボタンが消えます。
- ・ これで、BSR押えを使って、通常のフリーハンドキルティングをすることができます。自動的にステッチの送り長さを均一にする機能は動きません。

ご注意

布を速く動かしたり、送り長さは均等になりません。中速で一定した動かし方が縫い目を綺麗に仕上げるコツです。

BSR押え金の底にあるレンズが、指紋等で汚れていないことをご確認ください。レンズは、柔らかい濡れ布巾で、定期的にクリーニングするようにしましょう。

BSR 警告ブザー（電子音）のオンオフについて



警告ブザーをオンまたはオフにするには

- ・ 画面のスピーカーのアイコンを1回、タッチします。
- ・ アイコンが青くなれば、ブザーはオンです。
- ・ アイコンがグレーでスピーカーが赤く表示されれば、ブザーはオフです。

BSRのソーイング機能を起動する

1. フットコントローラーを使う方法

- ・ フットコントローラーを接続し、
- ・ 押えを下げます。
- ・ フットコントローラーを踏み込んでBSRソーイングを始めます。
- ・ 押えの上に、赤いセンサーが点灯します。
- ・ フットコントローラーはオン、オフスイッチの動きをするだけで、スピード調節には関係ありませんが、縫っている間は、ずっとフットコントローラーを踏み込んでおく必要があります。
- ・ ミシンのスピードは、布の動きに合わせて調整されます。
- ・ フットコントローラーを放すと、BSRモードは停止します。

2. 手元返し縫いボタンを使う方法

- ・ フットコントローラーのコンセントをミシンから抜きます。
- ・ 押えを下げます。
- ・ 手元返し縫いボタンを押すと、BSRモードがスタートします。

- ・ 押えの上に、赤いセンサーが点灯します。
- ・ ミシンのスピードは、布の動きに合わせて調整されます。
- ・ 手元返し縫いボタンをもう一度押すと、BSRモードは停止します。

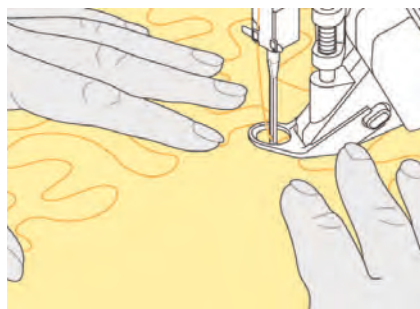
BSR機能を解除するには

モード1

- ・ 布を7秒間、静止状態にすると、BSR機能は自動的に解除され、押え金の上の赤いセンサーも消えます。

モード2

- ・ 縫い終わって布を動かさずにいると、針基線に従い、もう1針縫って解除されます。ミシンの針は、上位位置で停止します。画面の針停止位置の矢印が下を指していても、関係ありません。



作品の持ち方

- ・ 両手を刺しゅう枠のように使い、布を軽くホールドして、ガイドしていきます。
- ・ 布の動かし方が均一でないと、多少針目が揃わないことがあります。
- ・ 押えの下で、布をできるだけ連続して滑らかに動かすことが、きれいにキルティングをするコツです。
- ・ 布を一定方向に動かすと、きれいに仕上がります。
- ・ 布は回さずに、同じ方向に持ったままで、キルティングラインを描きます。

使い方の実例

ジグザグ縫い2番を使ったBSR

- ・ ジグザグ縫いは、スレッドペインティングまたは布の装飾等に使えます。
- ・ 広い範囲を塗りつぶすことができるので、絵を描くことが可能です。



BSR機能の解除

- ・ BSR押え金の接続をミシンから抜きます。BSR機能を起動する前に選んでいたステッチが、再びオンになります。
- ・ BSR押え金を取り外します。

プログラム用スクリーン 154

ステッチの選択 155

ステッチの削除 155

ステッチの変更 156



マイプログラム

マイプログラムを登録する

よく使うステッチを、マイプログラムに登録しましょう。

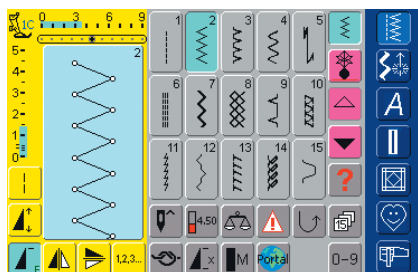
ある目的（洋服用等）のためのステッチをまとめておいてもよいし、ただ好きなステッチやアルファベットを集めておいてもよいでしょう。

マイプログラムには、ステッチのバリエーションすべてを登録することができます。

ご注意

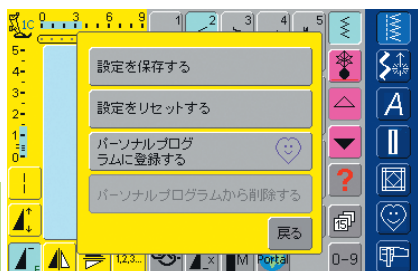
ステッチとともに登録できるのは、以下の機能です。

- ・ 振り幅
- ・ 送り長さ
- ・ 針基線
- ・ 糸調子
- ・ 左右、上下反転
- ・ 拡大
- ・ ロングステッチ
- ・ バランス
- ・ ソーイングスピード

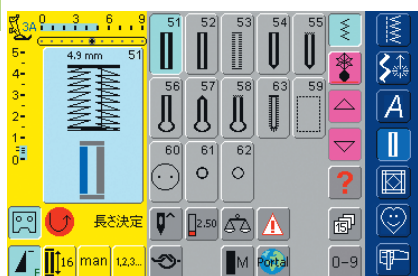


最初のステッチを登録する

- ・ 例えば、実用縫いモードで、ジグザグ縫い#2を選びます。
- ・ （必要ならば、変更を加えます。）
- ・ ステッチ操作スクリーン（ライトブルー部分）をタッチします。



- ・ 操作メニューが表示されます。
- ・ 3段目の「マイプログラムに追加(ハート印)」のバーをタッチします。
- ・ これでジグザグ縫いを、変更とともに登録することができました。
- ・ 操作メニューは、閉じます。



2番目のステッチを登録する

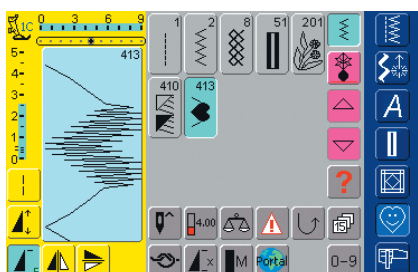
- ・ ボタンホールモードを選びます。
- ・ 標準ボタンホール#51を選びます。
- ・ ステッチ操作スクリーン（ライトブルー）をタッチします。
- ・ 最初のステッチと同様の方法で登録します。
- ・ 以下、同様にしてステッチを登録してゆきます。

マイプログラムに登録されたステッチを選択するには



マイプログラムを起動させる

マイプログラムボタン（ハート印）をタッチします。



マイプログラム

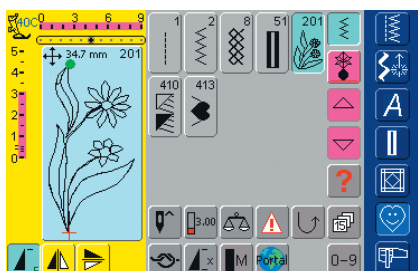
- ・ マイプログラムでは、登録されたステッチが表示されます。
- ・ 15個以上のステッチが登録されている場合には、矢印を使って、スクロールして、ステッチを閲覧します。

マイプログラムに登録されたステッチを削除するには



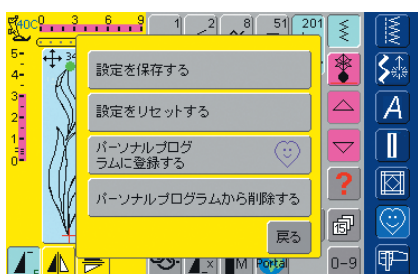
マイプログラムを起動させる

マイプログラムボタンを押します。

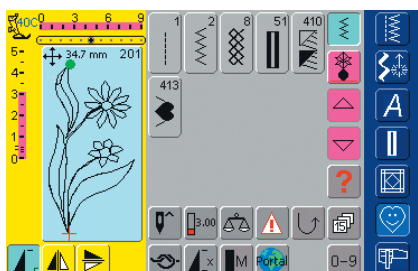


マイプログラム

- ・ 削除したいステッチを選びます。
- ・ ステッチ操作スクリーンをタッチします。



- ・ 操作メニューが表示されます。
- ・ 「マイプログラムから削除」のバーをタッチします。



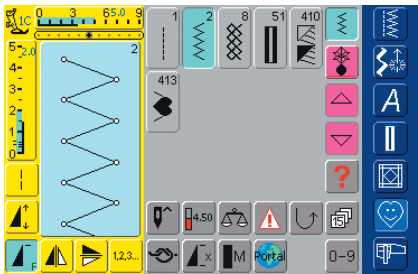
これでステッチは削除されました。

- ・ 操作メニューは閉じます。
- ・ 選んだステッチは削除され、残りのステッチがすべて一つずつ繰り上がります。

ステッチを変更する



マイプログラムを起動する
マイプログラムボタンを押します

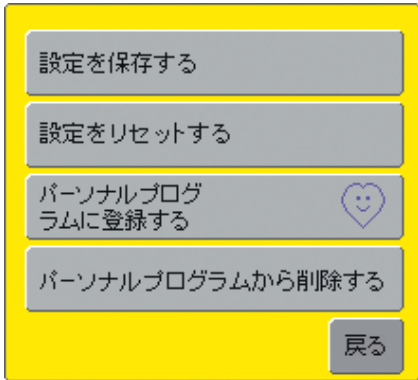


マイプログラムスクリーン

- ・ 変更を加えるステッチを選びます。(ジグザグ等)
- ・ 振り幅および送り長さは、フロントパネル上の調節つまみで調整します。
- ・ 基本セットアップと並んで、変更を加えたものが表示されます。
- ・ ステッチ操作スクリーン (ライトブルーの部分) をタッチします。



- ・ 操作メニューが表示されます。
- ・ 「セットアップを保存」をタッチすると、加えた変更がすべて保存され、操作メニューは閉じます。

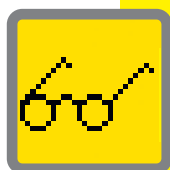


操作メニュー

- ・ 「セットアップを保存」、ステッチの振り幅、送り長さ等に関するすべての変更が保存できます。
- ・ 「セットアップをリセット」、基本セットアップに戻すときに使います。
- ・ 「マイプログラムに追加」、選んだステッチが、マイプログラムに保存されます。
- ・ 「マイプログラムから削除」、選んだステッチを、マイプログラムから削除します。
- ・ ESC にタッチすると、何も保存せずにスクリーンが閉じます。

TIP

基本セットアップに加えることのできる変更は、それぞれのカテゴリーの中でも変更して保存しておくことが可能です。



プログラミングと保存 158

はじめに
コンビネーション・ステッチ
保存したコンビネーション・ステッ
チを開く

保存した内容を変更するには 161

削除
コンビネーション・ステッチにステ
ッチを追加
コンビネーションを分割（サブディ
バイド）



メモリーを使う

はじめに

ステッチ、文字および数字は、組み合わせて、メモリーに保存することができます。ミシンには大容量のメモリーが用意されており、ソーイングと刺しゅうの2種類のメモリー、およびマイプログラム用のメモリーがあります。

メモリーの容量は共通なので、空きのある限り、ステッチのコンビネーションを大量に保存する等も可能ですが、あまり多くのステッチやステッチのコンビネーションを保存することで、メモリーが一杯になり、刺しゅうデザインやマイプログラムが使えなくなることもあります。

メモリーは、長期間保存されるものです。保存した内容は、削除されるまで、残されます。電源をオフにしても、保存したプログラムには影響ありません。

メモリーを使う

ステッチの組合わせを保存する



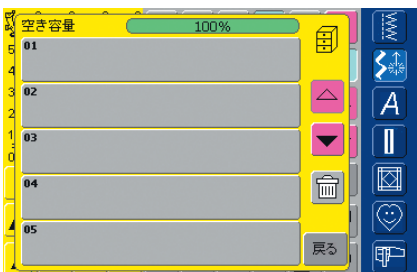
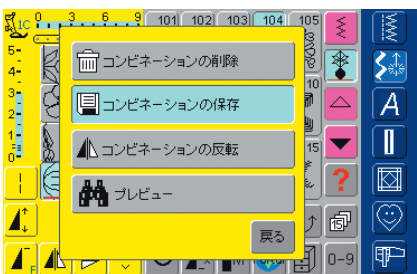
ステッチのプログラムおよび保存



- ・ コンビモードを選びます。
- ・ ステッチ操作スクリーンが、その機能とともに表示されます。
- ・ ステッチを選びます。
- ・ 必要ならば、送り長さ、振り幅、針基線を変更します。または反転等の機能を加えます。

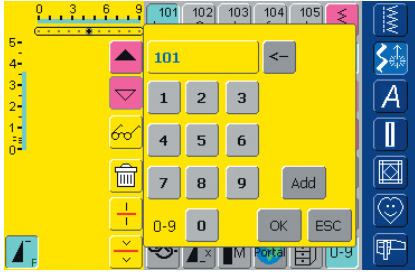


- ・ マルチ機能ボタンをタッチします。
- ・ 「Save Combination コンビネーションの保存」をタッチします。



保存する<<メモリー引き出し>>をタッチして選びます。メモリーの空き容量が、スクリーンの上部に、パーセンテージで表示されます。

ステッチ番号を使ってプログラミングと保存を実行する



- ・ コンビモードを選びます。
- ・ スクリーン右下の「0-9」のステッチ番号入力ボタンをタッチします。
- ・ 選びたいステッチ番号を入力します。
- ・ 入力した数値を一桁削除するには、左向きの矢印を一回タッチします。
- ・ 入力した番号を取り消すには、番号が表示されたボックスをタッチします。
- ・ 「Add 追加」をタッチして、次のステッチを選べます。
- ・ 全てのステッチ番号の入力を終わったら、OKをタッチします。
- ・ マルチ機能ボタン（めがねアイコン）をタッチします。
- ・ 「コンビネーションを保存」機能をタッチします。
- ・ コンビネーション・ステッチを保存するメモリー引出しを選びます。

ステッチ操作スクリーンをクリアーする

- ・ 前回コンビモードを使用してから、電源を切っていない場合、ステッチ操作スクリーンに、前回のコンビネーション・ステッチが表示されています。
- ・ そういう場合は、コンビネーションを削除してステッチ操作スクリーンを空にするか、または、空のメモリー引出しを開いて、新しいコンビネーションをプログラムします。



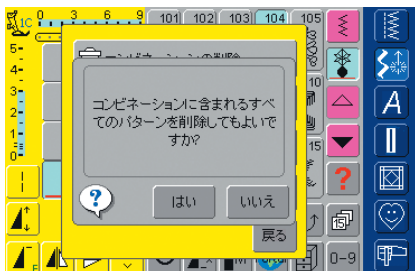
ステッチ操作スクリーンを、一つ一つ空にするには

- ・ 削除したいステッチの上にカーソルを置く。
- ・ 「削除」機能をタッチして、ステッチ操作スクリーンを空にします。



ステッチ操作スクリーンを、一回で空にするには

- ・ マルチ機能ボタンをタッチします。
- ・ 「コンビネーションを削除」を選択。
- ・ 「イエス」をタッチして、メッセージを確認します。
- ・ ステッチ操作スクリーンが空になりました。新しいコンビネーション・ステッチをプログラムできます。



ご注意

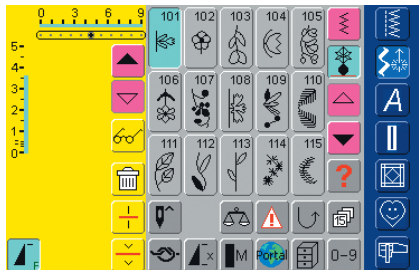
削除の作業を行っても、すでに保存されて、残っている他のコンビネーション・ステッチに影響することはありません。





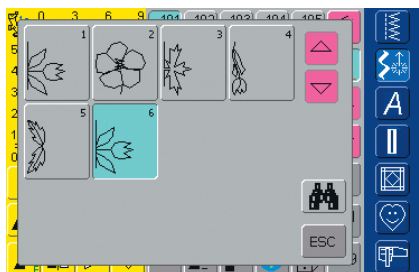
空のメモリー引出しを開くには

- ・ 「メモリー引出し」アイコンをタッチします
- ・ メモリー引出しスクリーンが表示されます。
- ・ 空のメモリー引出しをタッチして選びます。
- ・ メモリーの空き容量が、メモリー引出しスクリーンの上のバーにパーセンテージで表示されます。



- ・ ステッチ操作スクリーンが空になったので、新しいコンビネーション・ステッチをプログラムできます。
- ・ 必要ならば、コンビネーション・ステッチを保存します。

メモリー引出しの内容を確認するには



- ・ コンビネーション・ステッチをプログラムします。
- ・ 関連するコンビネーション・ステッチは、ステッチ操作スクリーンで見ることができます。
- ・ マルチ機能ボタンをタッチします。
- ・ 「プレビュー」を選択。
- ・ コンビネーション・ステッチが、スクリーンに表示されます。
- ・ ステッチはそれぞれ直接選べます（変更を加えることもできます）。
- ・ ステッチを選択すると、自動的にSAAが表示されて、選んだステッチに変更を加えることができます。
- ・ コンビネーション・ステッチの中を移動するには、矢印をスクロールします。
- ・ 双眼鏡のアイコンを使って、プレビュースクリーンを表示すると、組合わせたステッチを一覧できます。
- ・ ESC をタッチすると、プレビュースクリーンは閉じます。



保存してあるコンビネーションを開く

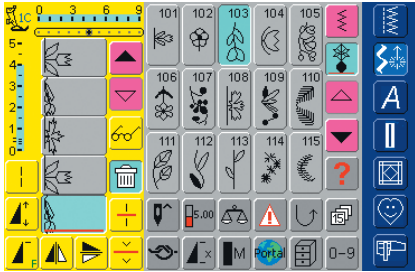


保存したコンビネーション・ステッチを開くには

- ・ 「メモリー引出し」をタッチします
- ・ 保存した内容が表示されます。
- ・ 必要ならば、使いたいメモリー引出しが表示されるまでスクロールします。
- ・ メモリー引出しにタッチします。
- ・ 選んだコンビネーションが、ステッチ操作スクリーンに表示されます。



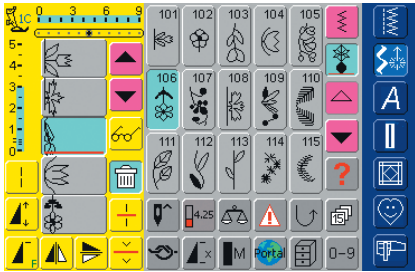
コンビネーション・ステッチを修正する



最後にプログラムしたステッチを削除する

- ・ 「削除」をタッチします
- ・ これで削除完了です。

ご注意
カーソルの上にあるエリアはすべて変更されます。



コンビネーションの中に含まれるステッチ一つを削除するには

- ・ 矢印のスクロールで、カーソルを削除したいステッチの下まで移動するか、ステッチを直接選びます。
- ・ 「削除」をタッチします。
- ・ カーソルの上のステッチが削除されます。
- ・ ステッチは、削除したものを除いて、自動的にまた組み合わせられます。

訂正や変更するには



ステッチを挿入するには

- ・ 必要な部分をアクティブにするには、カーソルをスクロールするか、または必要なステッチを直接選択します。
- ・ 新しいステッチを選択。
- ・ 選んだステッチの後に、新しいステッチが挿入されます。



- ・ ステッチをコンビネーションの先頭に挿入したい場合には、スクロール矢印を使って、カーソルを1番始めの部分まで移動します。
- ・ 新しいステッチは、カーソルの上に挿入されます。



コンビネーション・ステッチを変更するには

- ・ 必要な個所を起動するには、カーソルをスクロールするか、または必要なステッチを直接選びます。
- ・ 必要な機能を選びます。(反転等)

ご注意
すでに保存されているコンビネーション・ステッチも、同様の方法で変更または修正できます。変更または修正を保存したい場合には、そのコンビネーションを再度保存することになります。





コンビネーション全体を反転したい場合

- ・ マルチ機能ボタンをタッチします。
- ・ 「コンビネーションを反転」をタッチします。
- ・ コンビネーション全体が、左右に反転されます。

コンビネーションを分割するには

- ・ コンビネーションを分割するには、「コンビネーション分割2」の機能を使用します。(名前、住所等を刺しゅうするのに便利です)
- ・ 最初の部分を縫うと、ミシンが自動的に停止します。
- ・ 布を置き直して、フットコントローラーを踏むと、次の部分を続けて縫い始めます。
- ・ 「コンビネーション分割1」機能を使用すると、カーソルの置かれている部分のみを縫いますので、たくさんのコンビネーション・ステッチを一つのメモリー引出しにプログラムすることが可能になります。「コンビネーション分割1」機能では、各文節を一つの独立したファイルとして使います。

メモリー引出しのデータを削除する



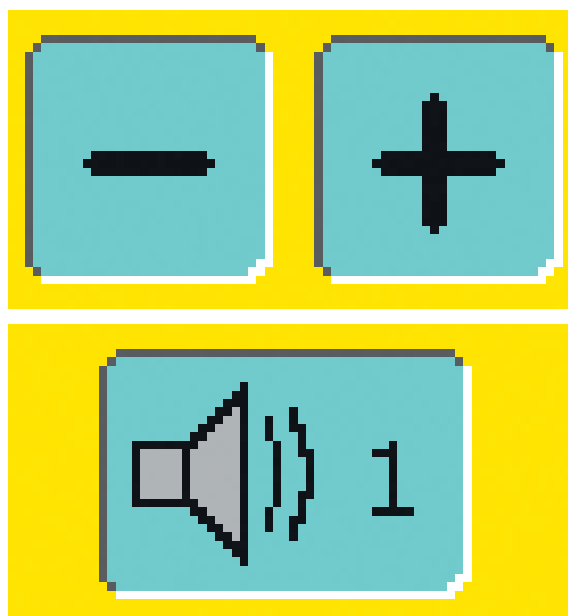
方法その1： 上書きする

- ・ 新しいコンビネーション・ステッチをプログラムします。
- ・ マルチ機能ボタンをタッチします。
- ・ 「保存」ボタンをタッチします(メモリー引出しスクリーンが表示されます)。
- ・ 上書きしたいメモリー引出しを選択。
- ・ メッセージに「イエス」と答えて確定します。
- ・ 新しいコンビネーション・ステッチが、このメモリー引出しに保存されました。

方法その2： 削除する

- ・ 「メモリー引出しをファイルする」ボタンをタッチします。
- ・ 保存されたコンビネーションが表示されます。
- ・ 「削除」をタッチします。
- ・ メッセージが表示されるので、削除したいコンビネーションを選びます。
- ・ メモリー引出しをタッチします。
- ・ 「はい」を選択してメッセージを確定、コンビネーションを削除します。
- ・ ESC をタッチして、メモリー引出しスクリーンを閉じます。





はじめに 164

スクリーン 165

ソーイングのセッティング 166

刺しゅうのセッティング 167

タッチスクリーンの感度リセ
ット 169

お気に入りボタンのカスタマ
イズについて 170

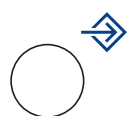
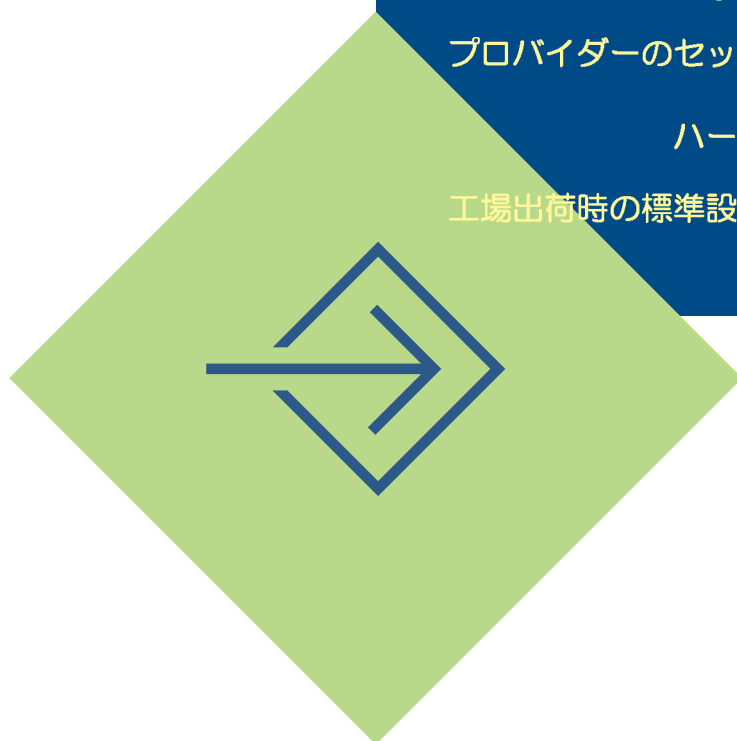
ソフトウェアおよび言語 170

メッセージとシグナル音のセ
ッティング 172

プロバイダーのセッティング 174

ハードウェア 175

工場出荷時の標準設定にリセ
ットする 175



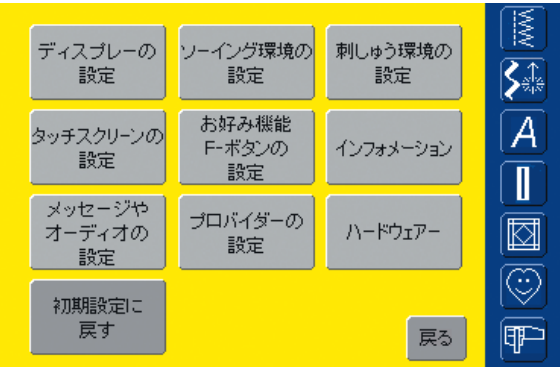
セットアップ・プログラム

まえがき

セットアッププログラムでは、必要に応じて、お好みのセッティングに仕様を変更できます。
それと同時に糸調子等の基本セッティングを恒久的に変えたり、針元にある「お気に入り F ボタン」をプログラムし直すことも可能です。
変更された内容は、恒久的に保存され、スイッチを切ってもそのまま残ります。
また、ミシンを工場出荷時の基本設定に戻すのも、簡単です。

ご注意
基本設定に含まれる刺しゅう用ステッチを削除、または上書きしてしまった場合には、付録の USB フラッシュメモリースティックをミシンにダウンロードすれば、回復できます。

-  **セットアッププログラムを開く**
- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
 - ・ セットアップのオプション付きメニューが表示されます。



- メニュー**
メニューには、変更可能な事項がリストアップされます。
- ・ スクリーン
 - ・ ソーイングのセッティング
 - ・ 刺しゅうのセッティング
 - ・ タッチ（スクリーンの反応）
 - ・ お気に入りボタンのカスタマイズについて
 - ・ ソフトウェアおよび言語
 - ・ メッセージとオーディオのセッティング
 - ・ ポータブルプロバイダーのセッティング
 - ・ 工場出荷時の基本設定にリセットする

変更は、ミシンをオフにしても保存されます。
変更は、いつでもプログラムし直すことができます。

-  **セットアッププログラムを閉じる**
- ・ ESC をタッチします。
 - ・ セットアッププログラムが閉じ、前スクリーンに戻ります。

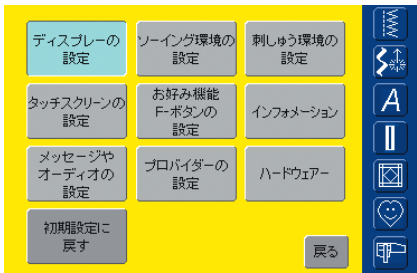
-  **次ページへ**
- ・ 「次ページへ」をタッチします。
 - ・ 次のスクリーンが表示されます。

-  **前ページへ**
- ・ 「前ページへ」をタッチします。
 - ・ 前のスクリーンが表示されます。

-  **保存して閉じる**
- ・ 「OK」をタッチします。
 - ・ 変更が保存され、スクリーンが閉じてメニューに変わります。

-  **スクリーンを閉じる**
- ・ 「ESC」をタッチします。
 - ・ スクリーンが閉じて、変更は基本のセッティングに戻り、メニューが表示されます。

ディスプレイ



セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「ディスプレイ」をタッチします。
- ・ スクリーン上で可能なセットアップが描かれた「ディスプレイ セットアップ」スクリーンが表示されます。

ディスプレイセットアップ



コントラスト

- ・ 「+」または「-」をタッチします。
- ・ スクリーンのコントラストが変化します。

明るさ

- ・ 「+」または「-」をタッチします。
- ・ スクリーンの明るさが変化します。
- ・ 変更は、バーに表示される数字および、「+」または「-」のブルーの背景によって示されます。
- ・ 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。

ウェルカムスクリーン

- ・ テキストバーにタッチします。
- ・ キーボード付きのスクリーンが表示されます。



ウェルカムスクリーンのテキスト

- ・ ウェルカムスクリーンのテキストをお好みに変更できます。
- ・ オンスクリーンの「ABC」ボタン（大文字）が、自動的にアクティブ（青）になります。
- ・ ≪abc≫アイコンを押すと、小文字に転換します。
- ・ 「AAA」、「aaa」および「@#」ボタンは、特殊文字の大文字、小文字を起動します。
- ・ ≪1,2,3≫アイコンを押すと、数字キーボードに転換します。
- ・ キーボード下のバーは、スペースバーで、単語間または文字間にスペースを入れたいときに使います。
- ・ プログラムしたテキストは、キーボード上のテキストバーに表示されます。
- ・ このテキストバーにタッチすると、プログラムされたテキストは、完全に削除されます。
- ・ テキストバーの右側の矢印にタッチすると、入力されたテキストは右から左の方向で1文字ずつ削除されます。

OK

保存および閉じる

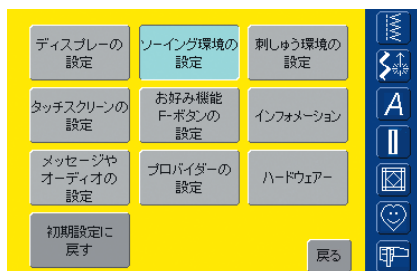
- ・ 「OK」をタッチします。
- ・ 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

戻る

スクリーンを閉じる

- ・ 「ESC」をタッチします。
- ・ スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。オリジナルのセットアップは、そのまま保存されます。

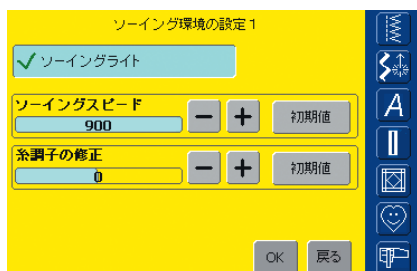
ソーイングのセットアップ



セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「ソーイングのセットアップ」をタッチします。
- ・ 「ソーイングセットアップスクリーン1」が表示されます。

ソーイングセットアップスクリーン1



ソーイングライト

- ・ バーがアクティブ（ブルー表示）のときは、ミシンの電源がオンになっている限り、ソーイングライトもオンの状態です。
- ・ バーが「×」状態のときは、ミシンがオンであっても、ソーイングライトは点灯しません。

ソーイングスピード

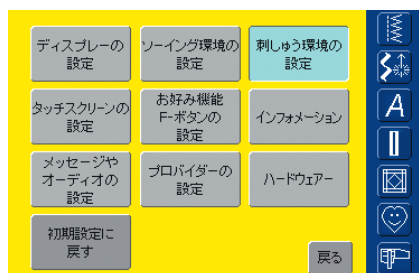
- ・ 「+」または「-」をタッチすると、最高スピード（4/4）が変更されます。10ステッチ単位で、スピードを増減します。
- ・ バーの数字が、1分間のステッチ数を示します。
- ・ 最高スピードの変更は、4つすべてのスピード（1/4-4/4）に影響します。（どのレベルのスピードも、この変更によって、速くなったり、遅くなったりします）
- ・ 「デフォルト」ボタンで、基本セットアップに戻ります。

糸調子の修正

- ・ 「+」または「-」をタッチすると、上糸のテンションを、基本セットアップの「0」から、20パーセントずつ増減することができます。
 - 0＝基本セットアップ（工場出荷時のセットアップ）
 - 1＝＋10パーセント
 - 2＝＋20パーセント
 - 1＝－10パーセント
 - 2＝－20パーセント
- ・ 糸のウェイト等により、テンションの基本セットアップ微調整が必要なときに、行ないます。
- ・ バーに表示された数字および「+」または「-」のブルーの背景が、どのような変更が為されたかを示します。
- ・ 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。
- ・ テンションの調整は、すべてのステッチに影響します。そして、ミシンの電源をオフにした後も、保存されます。



刺しゅうのセットアップ



セットアッププログラムを開く

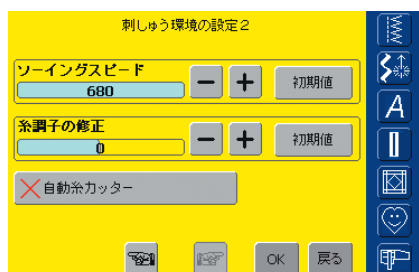
- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「刺しゅうのセットアップ」をタッチします。
- ・ 「刺しゅうセットアップスクリーン1」が表示されます。刺しゅう枠の調整は、ここで行ないます。

刺しゅうセットアップスクリーン1



- 「リファレンス位置の調整」では、針を刺しゅう枠の中央に置くように、計測を行ないます。刺しゅう機が取り付けられている場合のみ、調整が可能です。リファレンス位置の調整を行なうと、すべての刺しゅう枠に関して変更が適用されますので、一回のみでけっこうです。
- ・ 刺しゅう用テンプレートに刺しゅう枠を挿入します。
 - ・ 「チェック」をタッチします。
 - ・ 刺しゅう枠の位置が読みこまれ、針は中央に位置されます。(テンプレートの中心点を刺す位置に来ます)。
 - ・ うまくいかない場合には、矢印で調整します。
 - ・ 「OK」をタッチします。
 - ・ 調整を保存すると、スクリーンは閉じ、メニューが表示されます。

刺しゅうセットアップスクリーン2



- ・ 「次ページへ」をタッチします。
- ・ 「刺しゅうセットアップスクリーン2 番」が表示されます。

ソーイングスピード

- ・ 「+」または「-」をタッチすると、スピードを、10ステッチ単位で増減できます。
- ・ バーの数字が、1分間のステッチ数を示します。
- ・ 最高スピードの変更は、4つすべてのスピード(1/4-4/4)に影響します。(どのレベルのスピードも、この変更によって、速くなったり、遅くなったりします)

自動糸カッター

- ・ バーがアクティブ(ブルー)のとき、上糸および下糸は自動的にカットされます。
- ・ バーが「X」状態のときは、自動糸カッターはオフとなります。
- ・ この機能のオンオフは、「自動糸カッター」のバーをタッチすることで行ないます。

糸調子の修正

- ・ 「+」または「-」をタッチすると、上糸のテンションを、基本セットアップの「0」から、20パーセントずつ増減することができます。
 - 0=基本セットアップ(工場出荷時のセットアップ)
 - 1=+10パーセント
 - 2=+20パーセント
 - 1=-10パーセント
 - 2=-20パーセント
- ・ 糸の番手により、テンションの基本セットアップ微調整が必要なときに、行ないます。
- ・ バーに表示された数字および「+」または「-」のブルーの背景が、どのような変更が為されたかを示します。
- ・ 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。
- ・ テンションの調整は、すべてのステッチに影響します。そして、ミシンの電源をオフにした後も、保存されます。





次ページへ

- ・ 「次ページへ」をタッチします。
- ・ 次スクリーンが表示されます。



前ページへ

- ・ 「前ページへ」をタッチします。
- ・ 前スクリーンが表示されます。



保存および閉じる

- ・ 「OK」をタッチします。
- ・ 変更が保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

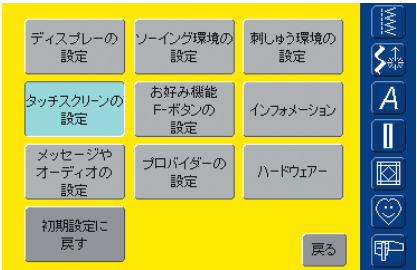


スクリーンを閉じる

- ・ 「ESC」をタッチします。
- ・ オリジナルのセットアップは保存されたまま、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。

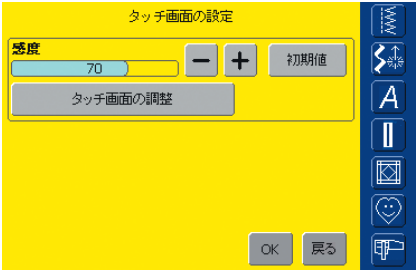


タッチセンサー感度の調整



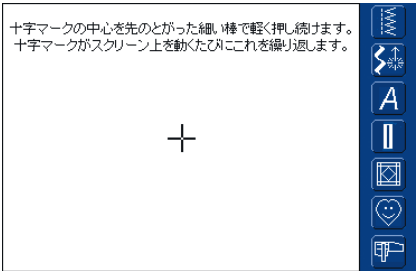
セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「タッチセンサー」ボタンをタッチします。
- ・ 「タッチセンサーのセットアップ」スクリーンが表示され、スクリーンのタッチの感度を設定できます。



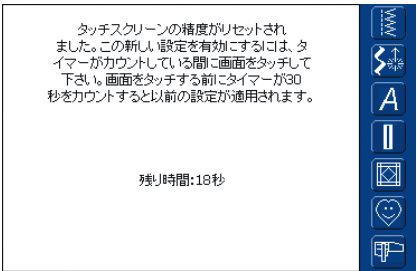
タッチ感度のセットアップスクリーン

- ・ 「+」または「-」ボタンをタッチします
- ・ タッチの感度を変更できます。
- ・ バーに表示された数字および「+」または「-」のブルーの背景が、セッティングの状態を示します。
- ・ 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セッティングに戻せます。
- ・ 感度を変更した後、「スクリーン感度」バーをタッチします。
- ・ 次のスクリーンが表示されます。



タッチ2

- ・ 新しくスクリーン感度をセッティングするには、スクリーン上の指示に従ってください。
- ・ 新しいスクリーンが表示されます。



タッチ3

- ・ 新しくセットアップしたデータを保存するには、スクリーン上の指示に従ってください。
- ・ 「タッチ感度のセットアップ」スクリーンが、再表示されます。



保存および閉じる

- ・ 「OK」をタッチします。
- ・ 新しいセッティングが保存され、スクリーンは閉じてメニューが表示されます。

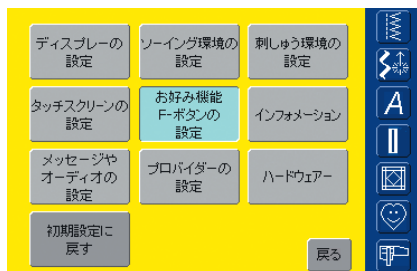


作業をキャンセルしてスクリーンを閉じる

- ・ 「ESC」をタッチします。
- ・ 従来のセッティングのまま、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。



お気に入り機能 F ボタンを設定する



セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「お気に入りの機能ボタンをカスタマイズする」をタッチします。
- ・ 「お気に入りの機能ボタンをカスタマイズする」のスクリーンが表示されます。



お気に入りの機能ボタンをカスタマイズする

- ・ お気に入り機能の基本セットアップは、「パターンピギン」(Fバーでアクティブになっているのが見える機能です)。
- ・ オンスクリーンの機能ボタンのサマリーから、他の機能を加えて選択することもできます。(ソーイングスピード等)



- ・ F ボタンに指定した機能が、画面上に表示されます。
- ・ プログラムした機能は、「F」で表示されます。



保存および閉じる

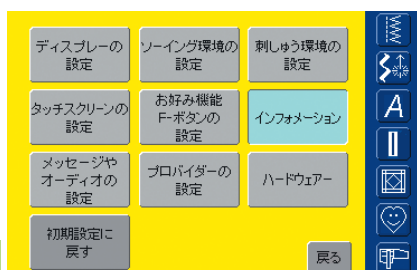
- ・ 「OK」をタッチします。
- ・ 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。



スクリーンを閉じる

- ・ 「ESC」をタッチします。
- ・ オリジナルのセットアップは保存されたまま、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。

インフォメーション



セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「ソフトウェアおよび言語」をタッチします。
- ・ 「ソフトウェアおよび言語」のスクリーンが表示されます。ソフトウェアのバージョンおよび今現在使用している言語については、ここで見ることができます。

ソフトウェアのバージョン

- ・ 今現在のミシンおよび、ミシンに取りつけられた状態の刺しゅう機の、ソフトウェアバージョンを見ることができます。

言語

- ・ 今現在使用している言語が表示されます。
- ・ 「次ページへ」をタッチします。



ディーラー・インフォメーション 1

代理店名
代理店オーナー姓
代理店オーナー名
通り
番地

OK 戻る

- ・ 「代理店情報 1」の画面が開きます。
- ・ グレーの項目を押して、それぞれの情報を入力します。
- ・ 店名
- ・ 名前
- ・ 名字
- ・ 町名
- ・ 番地
- ・ 「次ページへ」をタッチします。

ディーラー・インフォメーション 2

郵便番号
都道府県・市
国
代理店電話番号
代理店携帯電話番号

OK 戻る

- ・ 「代理店情報 2」の画面が開きます。
- ・ グレーの項目を押して、それぞれの情報を入力します。
- ・ 郵便番号
- ・ 都市名
- ・ 国名
- ・ 固定電話番号
- ・ 携帯電話番号
- ・ 「次ページへ」をタッチします。

ディーラー・インフォメーション 3

ファックス番号
Eメールアドレス
ウェブサイト

OK 戻る

- ・ 「代理店情報 3」の画面が開きます。
- ・ グレーの項目を押して、それぞれの情報を入力します。
- ・ ファックス番号
- ・ Eメールアドレス
- ・ ホームページアドレス
- ・ 「次ページへ」をタッチします。

ポータル・インフォメーション

ポータルURL
http://www.berninausa.com/myartista/ma_intro.jsp
パターンURL
http://www.berninausa.com/myartista/ma_embdownload.jsp
ステッチURL
http://myartista.bernina.com/sew/index.xml

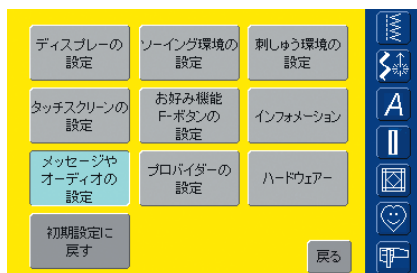
OK 戻る

- ・ 「ポータル情報」の画面が開きます。
- ・ 「マイアーティスタ」ポータルに接続すると、ミシンはこれら3個のアドレスを元にインターネットに接続します。
- ・ ベルニナによってこれらのアドレスが変更された場合には、それぞれグレーの部分を押すだけで、最新の情報に更新されます。
- ・ これらのインターネットアドレスは、パソコンからはご利用できません。

ご注意
これらのインターネットアドレスは、ベルニナから新しいデータが提供された場合を除いて、絶対に変更しないで下さい。



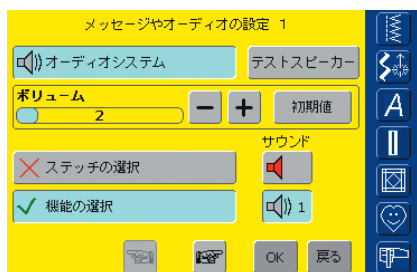
メッセージおよびオーディオのセットアップ



セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「メッセージおよびオーディオのセットアップ」をタッチします。
- ・ 「メッセージおよびオーディオのセットアップページ第1ページ」のスクリーンが表示されます。

メッセージおよびオーディオのセットアップ1



オーディオシステム

- ・ このバーで、サウンドのオンオフができます。
- ・ ブルーの背景およびグレーのスピーカーのシンボルは、スピーカーがオンであることを示しています。
- ・ グレーの背景および赤いスピーカーのシンボルは、スピーカーがオフであることを示しています。

スピーカーのテスト

- ・ このオンスクリーンのボタンで、スピーカーの機能をチェックできます。
- ・ ボタンをタッチしてから、離す。
- ・ オーディオシステムがオンになっている場合、サウンドが聞こえるはずです。

ボリューム

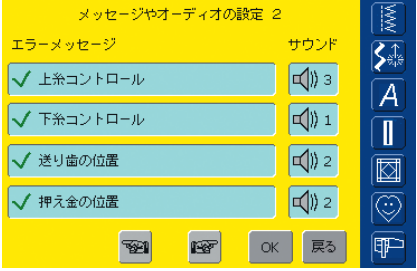
- ・ 「+」または「-」をタッチすると、ボリュームが変更できます。
- ・ バーに表示された数字および「+」または「-」のブルーの背景が、どのような変更が為されたかを示します。
- ・ 「デフォルト」ボタンを押すと、基本セットアップに戻ります。

ステッチの選択・選択機能

- ・ ステッチおよび機能の選択を、音で示します。
- ・ 「機能選択」バー、またはサウンドボタンをタッチすると、サウンドを選ぶことができます。
- ・ 1から5のサウンドチョイスがオンとなり、バーおよびサウンドボタンの表示はブルーになります。選んだサウンドは、サウンドボタンの中に、1から5の番号で表示されます。
- ・ サウンドボタンを数回タッチすると、5種類のサウンドが聞こえます。(1番から5番の順に進みます)。
- ・ サウンドの消去は、以下の方法で行ないます。
- ・ 「ステッチの選択」バー、または「機能の選択」を、必要な回数タッチします。
- ・ バーはオフ状態(グレー)になり、オンスクリーンの「サウンド」ボタンにあるスピーカーのシンボルは赤くなります。

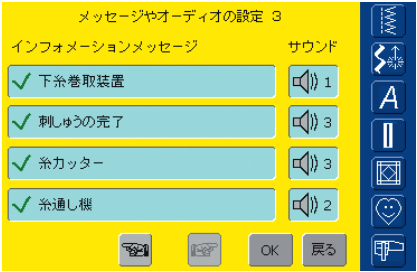


メッセージおよびオーディオセットアップ2



- ・ 「次ページへ」をタッチします。
- ・ 「メッセージおよびオーディオセットアップ2」が表示されます。
- ・ 以下のメッセージは、オンにすることもオフにすることも可能です。また、1番から5番までの希望のサウンドを使うことができます。
- ・ 上糸コントロール、下糸コントロール、送り歯の位置、押え金の位置
- ・ メッセージおよび選んだサウンドは、それぞれ片方だけをオンオフすることができます。(メッセージのサウンドをなくして、表示のみにする、等)
- ・ 背景がブルーの場合、そのバーまたはボタンはオンになっています。
- ・ グレーの場合は、オフです。

メッセージおよびオーディオセットアップ3



- ・ 「次ページへ」をタッチします。
- ・ 「メッセージおよびオーディオセットアップ第3ページ」が表示されます。
- ・ 以下のメッセージは、オンにすることもオフにすることも可能です。また、1番から3番までの希望のサウンドを使うことができます。
- ・ 下糸自動巻取装置、刺しゅうの完了、糸カッター、糸通し
- ・ メッセージおよび選んだサウンドは、それぞれ片方だけをオンオフすることができます。(メッセージのサウンドをなくして、表示のみにする、等)
- ・ 背景がブルーの場合、そのバーまたはボタンはオンになっています。
- ・ グレーの場合は、オフです。



次ページへ

- ・ 「次ページへ」をタッチします。
- ・ 次スクリーンが表示されます。



前ページへ

- ・ 「前ページへ」をタッチします。
- ・ 前スクリーンが表示されます。



保存および閉じる

- ・ 「OK」をタッチします。
- ・ 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

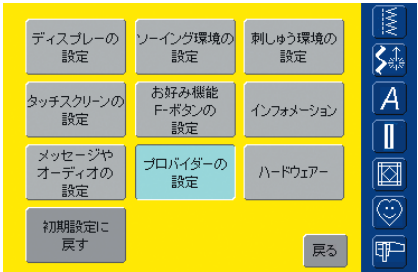


スクリーンを閉じる

- ・ 「ESC」をタッチします。
- ・ オリジナルのセットアップは保存されたまま、スクリーンが閉じます。メニューが表示されます。

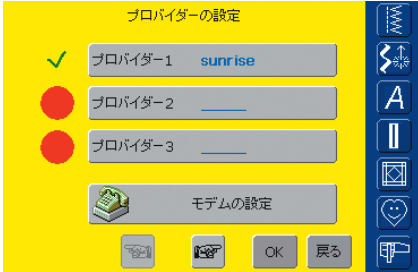


ポータルプロバイダーのセットアップ



セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「ポータルプロバイダーのセットアップ」をタッチします。
- ・ 「ポータルプロバイダーのセットアップ」のスクリーンが表示されます。



セットアッププログラムを開く

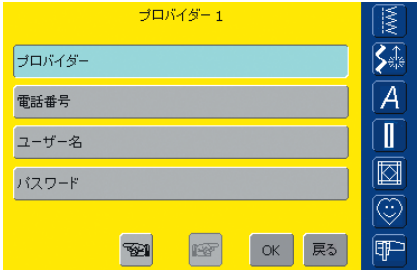
- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「ポータルプロバイダーのセットアップ」をタッチします。
- ・ 「ポータルプロバイダーのセットアップ」のスクリーンが表示されます。

ご注意：
モデムをセッティングするには、
モデムに添付された説明書をご
参照下さい。



プロバイダー1番

- ・ すでに登録したプロバイダーがあれば、左の画面のように「プロバイダー1番」のスクリーンに、プロバイダーの名前が表示されます。
- ・ 新しいプロバイダーのセットアップは、以下の手順で行います。
- ・ 「ポータルプロバイダーのセットアップ」スクリーンで、空のプロバイダースペースを選びます。（ここでは、プロバイダー3番）



プロバイダー3番

- ・ 「プロバイダー3番」のスクリーンが表示されます。
- ・ 「プロバイダー」のバーにタッチします。

ご注意
モデムからポータルプロバイダーまでのコネ
クションの立ち上げ方については、193 ペー
ジ参照のこと。



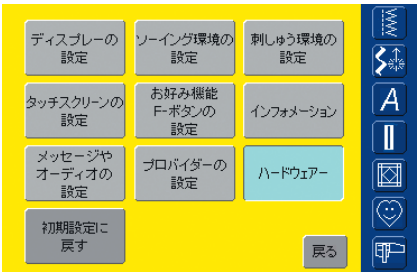
- ・ アルファベットキーボードが表示されます。
- ・ 必要な情報を入力します。
- ・ 入力が終わったら「OK」をタッチします。
- ・ 入力した情報は保存され、スクリーンは閉じて、「ポータルプロバイダー3番」スクリーンが再度表示されます。
- ・ どのバーも、同じ方法で書きこみます。



保存および閉じる

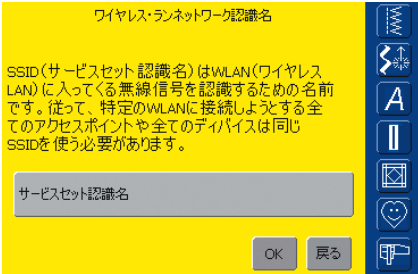
- ・ 「OK」をタッチします。
- ・ 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

ハードウェア



セットアッププログラムを開く

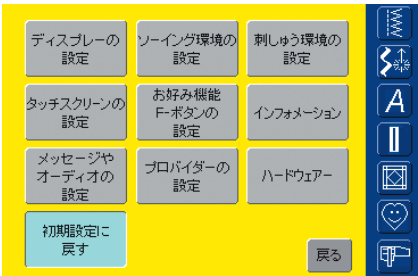
- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「ハードウェア」をタッチします。
- ・ 「SSID」のスクリーンが開きます。



SSID (サービスセットアイデンティファイヤー)

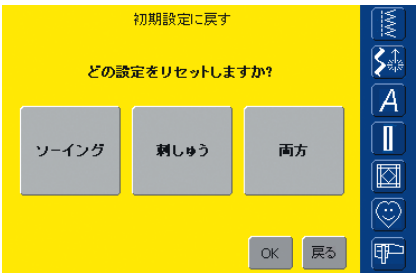
- ・ SSID バーにタッチします。
- ・ スクリーンにキーボードが表示されます。
- ・ お近くのアクセスポイントの SSID を入力してください。
- ・ この作業は、ワイヤレス接続の場合のみ必要です。

工場出荷時の基本セッティングにリセットする



セットアッププログラムを開く

- ・ フロントパネル上のセットアップボタンを押します。
- ・ メニューが表示されます。
- ・ 「工場出荷時の基本セッティングにリセット」をタッチします。
- ・ 「工場出荷時の基本セッティングにリセット」のスクリーンが表示されます。



リセットするには

- ・ 3種類の方法があります。
 - ・ ソーイング
 - ・ 刺しゅう
 - ・ すべて
- ・ これらの内、標準仕様にしたいものを選んで、「工場出荷時の基本セッティングにリセット」ボタンをタッチします。

保存および閉じる

- ・ 「OK」をタッチします。
- ・ 変更は保存され、スクリーンが閉じて、メニューが表示されます。

作業をキャンセルしてクリーンを閉じる

- ・ 「ESC」をタッチします。
- ・ 従来のセッティングのままですクリーンが閉じます。メニューが表示されます。

ご注意

工場出荷時の刺しゅう用デザインが削除または上書きされている場合、これらのデータを回復するには、ミシンに同梱の USB フラッシュメモリースティックを使って、刺しゅうデータを本体にダウンロードすることが出来ます。



ヘルプ 178

チュートリアル 179

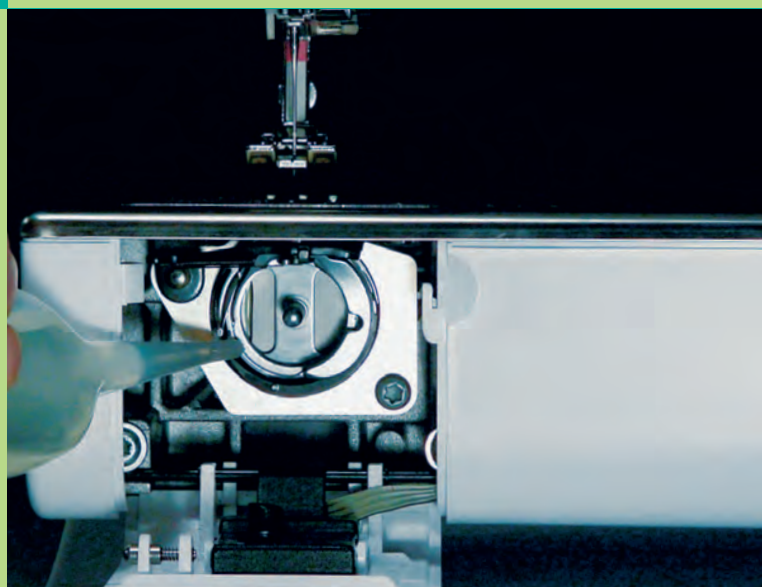
クリエイティブコンサルタント 181

バランス 183

- ・ 実用縫いおよび飾り縫いのバランス
- ・ 横送り縫いのバランス

クリーニングおよびメンテナンス 185

トラブルシューティング 186



ソーイングおよび
ソーイングコンピューターに関するサポート

ヘルププログラムについて

ヘルププログラムは、ステッチおよび機能に関する情報を、画面に表示するものです。情報の内容は、取扱説明書と同様のものですが、画面上で検索の方が時間の短縮になり、便利です。

どの画面が表示されていても、ステッチおよび画面の機能に関するヘルプを開くことができます。《ESC》をタッチすれば、元の画面に戻ります。

ご注意

ソーイングまたは刺しゅうモードで《?》マークをタッチすると、モーターを停止させ、ミシン全体が休止状態になるので、ミシンから離れても危険を防止します。作業を再開するには、スクリーンのどこか1ヶ所をタッチすれば、休止状態を解除し、ソーイングを再開できます。《?》マークは、ミシンの電源をオンオフすることなく、ミシンを休止状態にする機能です。ステッチパターン、刺しゅうデザインや各種機能も、このボタンから操作できるので、マルチ機能ボタンといってよいでしょう。



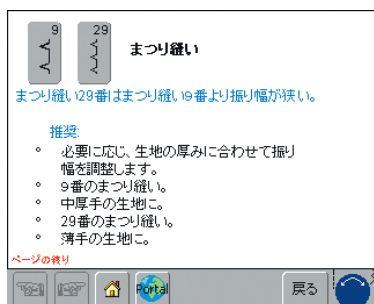
ヘルプを開く

- ・ ヘルプ《?》をタッチ。
- ・ 必要なステッチまたは機能をタッチ。

ヘルプ

ご注意：

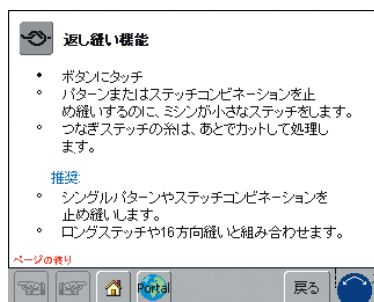
何時の時点でヘルプを開いても、進行中の作業には全く影響ありません。



ヘルプ画面・ステッチ用

画面には、以下の情報が表示されます。

- ・ ステッチの名称
- ・ 適した布の種類
- ・ どんな作業に使用するかに関する簡単な説明



ヘルプ画面・機能用

画面には、以下の情報が表示されます。

- ・ 機能の名称
- ・ 機能の説明
- ・ どんな場合に使用するかに関する簡単な説明



テキストをスクロールする

- ・ このアイコンは、振り幅または送り長さのダイヤルを回すことで、画面上のテキストがスクロールできることを示しています。

戻る

前画面に戻る

- ・ 《ESC》をタッチ。
- ・ ヘルプが閉じ、前画面が表示されます。

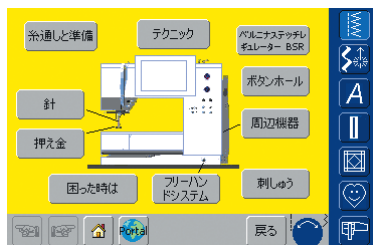


チュートリアルを開く

- ・ フロントパネル上の《チュートリアル》ボタンを押す。

ご注意

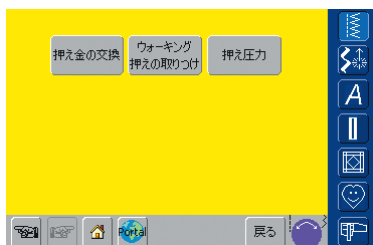
コンピューター用語では、チュートリアルとは、《セルフヘルプ》を意味します。チュートリアルを使うと、ミシンに関する様々な事項の説明を画面上で見ることができます。説明の内容は、取扱説明書と同様です。



項目

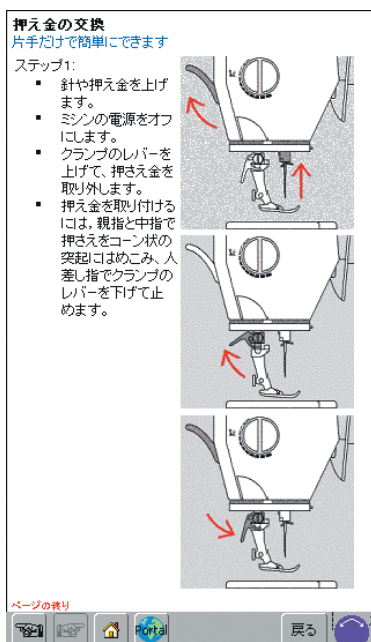
- ・ 主な項目は、以下のものとなります。
- ・ ミシンの糸通しについて
- ・ ソーイングテクニック
- ・ ベルニナスタッチレギュレーター BSR
- ・ ボタンホール
- ・ 周辺機器について
- ・ 刺しゅう機
- ・ フリーハンドシステム (FHS)
- ・ トラブルシューティング
- ・ 押え金
- ・ 針
- ・ それぞれのシンボルにタッチしてください。(ここでは、押え金)

チュートリアル

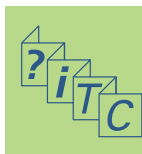


押え金の項目が表示されます。

- ・ 必要な項目を選択します。(ここでは、押え金の交換について)



選んだ項目に関する情報が表示されます。





前ページへ、次ページへ

- ・ スクロール用矢印で、前、または次ページに進むことができます。



項目に戻る

- ・ 《ホーム》のシンボルをタッチ。
- ・ チュートリアル最初の画面（項目）が表示されます。



《マイアーティストポータル》

- ・ モデムまたはイーサネットカードを接続します。
- ・ シンボルをタッチ。

モデムの場合

- ・ 最初のメッセージを《イエス》で確定し、2番目のメッセージに《OK》します。
- ・ これで、《マイアーティストポータル》への接続が完了しました。

イーサネットカードの場合

- ・ ミシンがインターネットへの接続を探します。
- ・ 接続が完了すると、《マイアーティストポータル》のスクリーンが自動的に開きます。



映像ガイダンスによるチュートリアル

- ・ 《映写機》アイコンをタッチ。
- ・ 選択した項目のデモンストレーションが、映像ガイダンスで再生されます。



前画面に戻る

- ・ 《ESC》をタッチ
- ・ チュートリアルが閉じ、前画面が表示されます。



テキストをスクロールする

- ・ このアイコンは、振り幅または送り長さのダイヤルを回すことで、画面上のテキストがスクロールできることを示しています。

ご注意

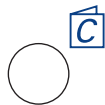
ヘルプを開いても、作業中の機能には影響ありません。



クリエイティブコンサルタントでは、ソーイングに必要な様々な情報およびヘルプを見ることができます。布の種類および使いたいテクニックを入力すると、針、押え金、送り歯の位置、安定紙、押え金のプレッシャー等についてのアドバイスが表示されます。お勧めの押え金が特殊アクセサリーである場合は、最寄りのお買い上げ店にご相談ください。

選択した作業のタイプによって、クリエイティブコンサルタントは自動的にセッティングを開始します。

- ・ 糸テンション
- ・ ステッチの振り幅
- ・ ステッチの送り長さ
- ・ バランス
- ・ 針位置
- ・ 針の停止位置（上または下）
- ・ 選択したテクニックに最適のソーイングスピード



クリエイティブコンサルタントを開く

- ・ 外部クリエイティブコンサルタント・ボタンを押します。

クリエイティブコンサルタント

薄地	中厚地	厚手の固い生地
シルス、シルギーポリエステル	コットンの織地	厚手のデニム
レーヨン	ウール	ウール
光沢のある織地	生成りのシルク	ドレイパリー
ブラウス用リネン	スーツ用リネン	家具の布張り用
バティスト	サンドウオッシュシルク/レーヨン	コーデュロイ
カイト用生地	ベルベット	タオル
一重のニット、ジャージー	コットンベルベッティーン	キャンバス地
薄地リブニット	ライクラ	ウルトラレザー、プラスチック
ネット	二重のコットンニット	ビニール
レース	スウェットシャツ用ニット、フリース	フリース
	二重のポリエステルニット	レザー、ウルトラスエード
	ビニール	人工皮革

布のメニュー

- ・ 布のタイプが、3列に表示されます。
- ・ 薄手の布地
- ・ 中くらいの布地
- ・ 厚手の布地
- ・ 一般的に多く使われる布地の名称が表示されます。
- ・ 使いたい布地がリストにない場合には、1番近いと思われる性質のものを選択してください。
- ・ 選択するには、布地の名称をタッチします。（ここではジャージー）

テクニックのメニュー

- ・ 画面上に、ソーイングテクニックの名称がいくつか表示されます。

縫い合わせ オーバーロック縫い トップステッチ

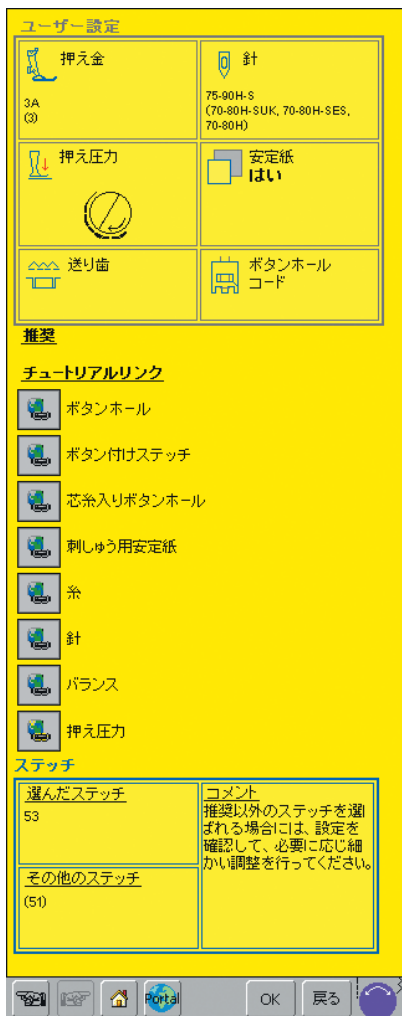
まつり縫い ボタンホール ファスナー付け

コンシールファスナー 飾り縫い ミシンキルト
フリーモーションミシン ヘムステッチ アププリケ
キルト 横送り縫い

- ・ 使いたいテクニックをタッチする。（ここではボタンホール）。
- ・ 使いたいテクニックがリストにない場合には、1番近いものを選択します。
- ・ 選択した布地に、そのテクニックが適さない場合には、フィールドがオフになります（グレーに変わります）。

シーミング	オーバーキャストイング	エッジステッチ
まつり縫い	ボタンホール	ファスナー
コンシールファスナー	飾り縫い	ミシンキルト
フリーモーションミシンキルト	エアローム/ヘムステッチ	アププリケ
横送り縫い		





説明と特記事項

- ・ 3番目の画面には、選択した布地およびテクニックに関するセッティングおよびアドバイスが表示されます。
 - ・ 押え金の番号
 - ・ 針（サイズおよびタイプ）
 - ・ 押え金のプレッシャー
 - ・ 安定紙が必要かどうか
 - ・ 送り歯の位置
 - ・ ボタンホールコード
- ・ «押え金»および«針»については、いくつかの選択肢がある場合もあります。
- ・ 1番お勤めの押え金が、1番最初にリストされ、その他使えるものについては、かっこ付きで表示されます。
- ・ お勤めリストの中には、そのテクニック専用のものもあります。標準アクセサリーではない場合、最寄のお買い上げ店にご相談ください。
- ・ 押え金および針を、選択します。
- ・ 安定紙が必要な場合には、その旨が表示されます。
- ・ ボタンホールの補強が必要な場合には、«ボタンホールコード»が表示されます。
- ・ それ以上のアドバイスについては、«レコメンデーション»に表示されます。
- ・ «チュートリアルコネクション»は、ここでアドバイスされた機能に関する詳細な説明にリンクしています。
- ・ «ステッチ»には、プログラムされたステッチおよび他の選択肢が、説明付きでリストされています。



前ページへ、次ページへ

- ・ スクロール用矢印で、前、または次ページに進むことができます。



プログラムされたステッチ

- ・ «OK»をタッチ
- ・ プログラムされたステッチに関する画面が、自動的に表示されます。



布メニューに戻る

- ・ «ホーム»のシンボルをタッチ。
- ・ クリエイティブコンサルタントの最初の画面（布メニュー）が表示されます。



前画面に戻る

- ・ «ESC»をタッチ
- ・ チュートリアルが閉じ、前画面が表示されます。



«マイアーティスタポータル»

- ・ モデムまたはイーサネットカードを接続します。

モデムの場合

- ・ 最初のメッセージを«イエス»で確定し、2番目のメッセージに«OK»します。
- ・ これで、«マイアーティスタポータル»への接続が完了しました。

イーサネットカードの場合

- ・ ミシナがインターネットへの接続を探します。
- ・ 接続が完了すると、«マイアーティスタポータル»のスクリーンが自動的に開きます。



テキストをスクロールする

- ・ このアイコンは、振り幅または送り長さのダイヤルを回すことで、画面上のテキストがスクロールできることを示しています。

ノート
クリエイティブコンサルタントを開いても、作業中のものには影響ありません。

製品の工場出荷時に、ステッチバランスはすべて入念にチェックされ、調整済みの状態になっています。

異なる種類の布地、糸、安定紙および芯等を使うことにより、プログラムされたステッチが、均一にならず、重なってしまったり、離れすぎてしまったりということも起こり得ます。

そのような場合には、バランス機能を使って調整を行ないます。

実用縫いおよび飾り縫い（9mm）のバランス

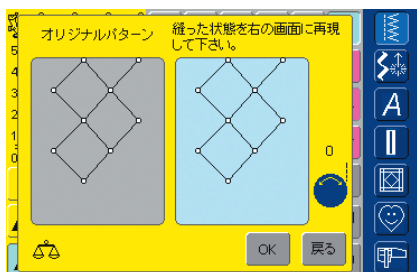
ジャージーやトリコット等の柔らかい素材を縫う場合、布地が押え金の下で伸びてしまい、結果的にステッチも伸びてしまうことがあります。例えば、ハニーコムステッチなどは、広がって伸びてしまうことが多いです。逆に、分厚い布地の場合、縫い目が重なって、詰まってしまうこともあります。これらの問題点は、バランスの調整を行なえば、簡単に解決できます。



バランスを開く

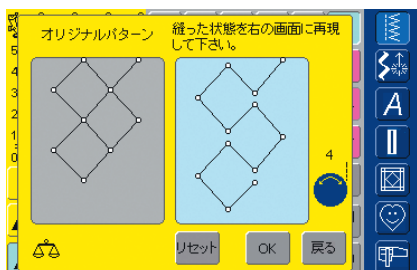
- ・ 《バランス》機能のボタンをタッチ。

バランス



バランス画面

- ・ バランスの特殊画面が開く。
- ・ 左半分には、ステッチのオリジナルフォームが表示されています。
- ・ 右側には、修正後のステッチの状態が表示されます。
- ・ ステッチの修正は、ソーイングしながらでも可能です。（画面は開いておく）。



修正

- ・ 作業中のステッチ（ここではハニーコムステッチ）が、広がった状態になっている場合。
- ・ ステッチの送り長さダイヤル（画面上に、紫色でシンボルが表示されています）を回して、画面右側に表示されたステッチの状態を、現状に近づけます。

OK

保存および画面を閉じる

- ・ 《OK》をタッチ。
- 修正は保存され、バランス画面が閉じます。

リセット

修正を削除する

- ・ 《リセット》をタッチ。
- 選択したステッチに関する修正が、削除されます。

戻る

画面を閉じる

- ・ 《ESC》をタッチ。
- ・ バランス画面が閉じて、前画面に戻ります。



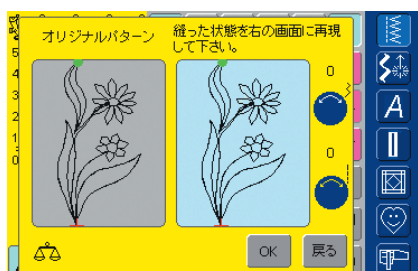
横送り縫いのバランス

布地、糸、安定紙および芯によっては、横送り縫いに影響が出ることもあります。そのような場合には、バランスを調整します。



バランスを開く

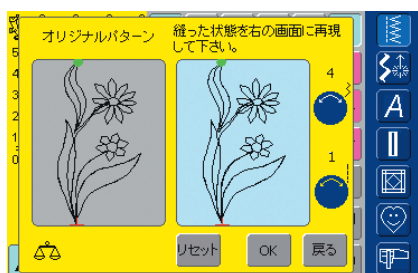
- ・ 《バランス》アイコンをタッチ。



バランス画面

- ・ バランスの特殊画面が開く。
- ・ 左半分には、ステッチの基本形が表示されています。
- ・ 右側には、修正後のステッチの状態が表示されます。
- ・ ステッチの修正は、ソーイングしながらでも可能です。(画面は開いておく)。

ステッチ（ここでは、201番）は、縦横それぞれの方向にゆがんでいます。



縦方向の修正

- ・ ステッチの送り長さダイヤル（画面上に、紫色でシンボルが表示されています）を回して、画面右側に表示されたステッチの状態を、現在作業中のゆがんでしまった形に近づけます。

横方向の修正

- ・ ステッチの振り幅ダイヤル（画面上に、紫色でシンボルが表示されています）を回して、画面右側に表示されたステッチの状態を、現在作業中のゆがんでしまった形に近づけます。



保存および画面を閉じる

- ・ 《OK》をタッチ。
- ・ 修正は保存され、バランス画面が閉じます。



画面を閉じる

- ・ 《ESC》をタッチ。
- ・ バランス画面が閉じて、前画面に戻ります。



修正を削除する

- ・ 《リセット》をタッチ。
- ・ 選択したステッチに関する修正が、削除されます。



クリーニングの方法

ミシンを極端に気温の低い部屋においている場合、使用の1時間位前から通常の気温の部屋に移しておいて下さい。



クリーニング

ご使用後、針板の下にたまった糸の毛羽やくすを掃除してください。

- ・電源をオフにし、
- ・押えと針を外して、
- ・開閉カバーを開きます。
- ・針板の右後ろ隅を人差し指で強く押さえて針板を浮かせます。
- ・持ち上げて外します。
- ・ブラシで掃除し、
- ・針板をもとに戻します。

！安全にご使用いただくために” をご参照下さい。

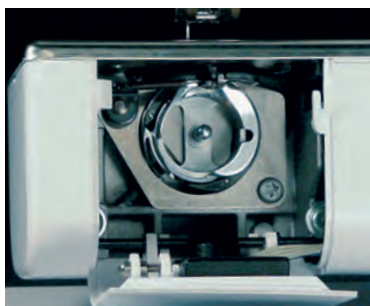
スクリーンの掃除

- ・濡れたソフトクロスで拭きます。

ご注意

ベルニナ社は、環境保護を大変重要と考えております。そのため、当社製品はなるべく環境への影響を少なくするよう、製品デザインおよび製造技術の向上に努めています。ミシンを廃棄する際には、日本国の方針に従い、環境問題に配慮した方法を取るようになってください。家庭用ゴミと一緒に出すことは、避けてください。ご質問等ございましたら、最寄りのベルニナ正規代理店にお問い合わせください。

クリーニングとメンテナンスの方法

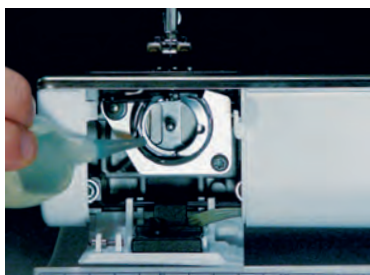


釜の掃除

- ・電源をオフにし、コードをコンセントから抜いてください。
- ・ボビンケースを取り出します。
- ・中がま押えカバーといっしょに黒い樹脂の中がま押えを手前に倒します。
- ・大がまレース（溝）の回りをブラシや布で掃除します。その際、金属などの尖ったもので釜に傷をつけないように。
- ・ボビンケースを戻します。

ミシンのクリーニング

- ・濡れたソフトクロスで拭きます。
- ・汚れがひどい時は中性洗剤を溶かした水をソフトクロスに浸して拭きます。



注油について

当ミシンは、注油を必要としない新システムのかま機構を採用しています。生地に油シミのつく可能性がありますので、注油は控えめに。上質のミシンオイルをご使用下さい。

重要

絶対にシンナー等の溶剤の入った洗剤等は使わない事

ソーイングランプの交換



- ・アーティスタ 730 にはインバーター蛍光灯ソーイングランプが取り付けられており、長時間蛍光灯を交換することなくご使用いただけます。

ご注意

ソーイングライトの交換に当たっては、必ず正規販売代理店にご相談ください。



トラブルの原因と対策

故障かな？と思ったら次の要領でまずお調べ下さい。

チェックポイント

- ・ 上糸、下糸が正しくかかっていますか。
- ・ 針が正しくとりつけられていますか。（平らな部分を後ろ側にします。）
- ・ 針は、18ページの針と糸の一覧表を見て、正しいものを使用して下さい。
- ・ ミシンをきれいに掃除し、糸くずを取り除いて下さい。外がまの掃除も忘れずに。
- ・ 上糸テンションディスクの間や、ポビンケースの糸みちのごみを取り除いて下さい。

トラブルシューティング

上糸切れの原因

- ・ 上糸テンションが強すぎる。
- ・ 針の品質が良くない。（ベルニナ正規販売代理店でお買い求め下さい。）
- ・ 針が正しくセットされていない。（平らな部分を後ろ側にして下さい。）
- ・ 針先がつぶれている、または曲がっている。
- ・ 糸の品質が良くない。（こぶがあったり、ささくれていたり、古くて乾燥しすぎている等）

解決方法

- ・ 正しいサイズの糸こま押えを使う。
- ・ 針板の糸穴やかまのけん先に傷がついている。このような場合には、ベルニナ正規販売代理店にご相談下さい。

下糸切れの原因

- ・ 下糸テンションが強すぎる。
- ・ ポビンケースの中で、糸がからまっている。ポビンを取り出し、チェックしてください。
- ・ 針板の針穴に、傷がついている。このような場合には、ベルニナ正規販売代理店にご相談下さい。
- ・ 針先がつぶれている、または曲がっている。

画面の測定

測定スクリーンを直接開くには、以下の手順に従ってください。

- ・ 針基線ボタンを左右両方同時に押し、そのまま押し続ける。
- ・ ミシンの電源をオンにする。
- ・ 測定スクリーンが開いたら、ボタンを放します。
- ・ スクリーンの測定については、169ページをご覧ください。

目飛びの原因

- ・ 針が正しくない。ベルニナ純正の 130/705H サイズの家庭用ミシン針を使用して下さい。
 - ・ 針先がつぶれているか、曲がっている、または正しくセットされていない。（針は一杯まで差し込んで止めて下さい。）
 - ・ 品質の悪い針を使っている、または針がさびている
 - ・ 布地に合った針を使っていない。
- 幅の狭いステッチを縫う場合には、穴の小さな針板（5.5mm、別売りオプション）を使いましょう。

針折れの原因

- ・ 針の止めネジの締め方が十分でない。
 - ・ 縫い終わった後、布を手前へ引いてしまった。
 - ・ 厚地を縫っていて、針が布地に刺さっている状態で布を押してしまった。シーズ用押え No.18 を使いましょう。
- 針については、19ページをご覧ください。

縫い目が乱れる原因

- ・ テンション皿に糸くずが残っている。そのような場合には、薄い布を半分に折り、織り目の部分をテンション皿にはさんで、上下に動かして掃除します。
- ・ ポビンケースのテンションばねの内側に、糸くずが残っている。
- ・ 上糸、下糸の糸通しを再確認してください。
- ・ 糸こま押えのサイズが正しくない。
- ・ 回転釜を掃除して、注油する。（ミシン油は純正品のみをご使用ください。詳しくは185ページをご覧ください。）

厚い布地が縫えない

- ・ 針と糸の組み合わせが正しくない。（針に対して、糸が太すぎる。）
- ・ 高さ調整板を使うと、縫い目の厚い部分を押さえることができる。

ミシンが回転しないか、高速にならない原因

- ・ 電源コンセントが正しく入っていない。
- ・ 電源スイッチがオフになっている。
- ・ 室温が低すぎミシンが冷え切って十分に機能しない。
- ・ ミシンを再スタートして下さい。

ミシンが前進送りしない原因

- ・ 機能選択ボタンの《連続返し縫いボタン》がオンのままになっている。



ソーイングライトが点灯しない

- ペルニナ正規販売代理店にご相談ください。

周辺機器のトラブル

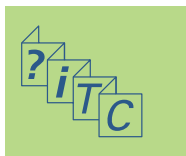
- 接続がきちんとされていない。コンセントをきちんと入れ直す。
- ミシンを再起動させてみる。

下糸センサー

- 釜カバーが閉じていない。
- セットアッププログラムで、センサーをオンにしていない。
- ポピンケースの糸くずを掃除する。

上糸センサー

- セットアッププログラムで、センサーをオンにしていない。



スクリーンメッセージ

メッセージが画面に表示される場合があります。選択したアプリケーションや機能に関する、確認や注意です。

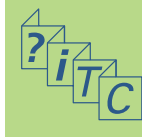
スクリーンメッセージ	説明
• 警告機能がオンになっています。縫う前に、オフにしてください。	必要ならば、オフにします。
• この番号は存在しません。セットアッププログラムでセッティングを確認してから、再試行してください。	他のステッチ番号を入力してください。
• このパターンはコンビモードでは使えません。	ステッチパターンが無効（番号がグレイで表示）なので、コンビモードでは選択できません。これらの無効なパターンを選択しても、ミシンは反応しません。
• 送り歯をソーイング位置に戻してください。	《送り歯を下げる》ボタンを押します。送り歯が下がれば、メッセージは自動的に消えます。
• 上糸および下糸が切れたり、ポビンが空になっていないかチェックしてください。	上糸および下糸をチェックしてください。
• 下糸をチェックしてください。ポビン回りの糸くずを清掃してください。ポビンが空の場合は巻いてください。	スクリーン上の指示に従ってください。
• 押えを下げてください。	押え金を下げれば、メッセージは自動的に消えます。
• 押えを上げてください。	押え金を上げれば、メッセージは自動的に消えます。
• 押えを下ろすと、糸通しがしやすくなります。	押え金を下げます。
• 針が針板または押えを通過します。	安全プログラムのスクリーンで、セッティングを確認してください。
• ミシン又は刺しゅう機が正常に機能していません。アーティスト 730 正規販売代理店にご相談ください。	問題解決のため、最寄りのベルニナ正規代理店にご連絡ください。
• スタートアップでエラーが生じました。ミシンを再起動してください。この状態が続く場合には、アーティスト 730 正規販売代理店にご相談ください。	ミシンの電源を一旦オフにし、再度オンに戻してください。
• ベルニナモデムを認識できません。モデムをセットして、もう1度トライしてください。	モデムが認識できません。一旦はずして、再度取りつけてください。
• ダイヤルできません。電話回線への接続をチェックして、もう1度ダイヤルしてください。	セットアッププログラムでセッティングを確認してから、再試行してください。

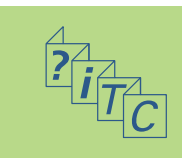


スクリーンメッセージ

説明

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">• プロバイダーの認証に失敗しました。ユーザーネームおよびパスワードを確認してください。 | <p>セットアッププログラムでセッティングを確認してから、再試行してください。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• プロバイダーとの接続に失敗しました。あとでもう1度トライするか、別のプロバイダーをご利用ください。 | <p>接続に問題が生じました。他のプロバイダーを選択するか、または再試行してください。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• モデムに何らかの問題が生じました。もう1度トライしてください。 | <p>モデムを一旦はずして、再度取りつけてください。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• マイアーティスタポータルファイルに保存したり、または削除したりできません。 | <p>《マイアーティスタ》ポータルでは、ヒントやニュースを見ることができます。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• マイアーティスタポータルに接続できません。もう1度トライしてください。 | <p>《マイアーティスタ》ポータルに、再度接続してください。必要ならば、モデムを一旦はずして、再度取りつけてください。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• ミシンのオーナー定期点検の時期が来ました。糸をはすし、針板の下と送り歯周辺の糸くずを掃除してください。詳しくは取扱説明書の185ページをご参照ください。 | <p>このお知らせは、およそ18万ステッチを縫うごとに表示されます。クリーニングおよび注油を完了したら、スクリーン上の《OK》をタッチしてください。この表示は、《ESC》をタッチすれば、一時的にクリアーすることができますが、ミシンの電源を入れたとき、また表示されます。3回、《ESC》でクリアーすると、次に18万ステッチを縫うまで表示されなくなります。ミシンをベルニナ正規取扱店に定期点検に出してください。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• ディーラー定期点検の時期になりました。アーティスタ730正規販売代理店に定期点検をお申し込みください | <p>このお知らせは、およそ730万ステッチを縫うごとに表示されます。定期点検後、ベルニナ正規取扱店では、ステッチカウンターを《0》に戻してお返しします。この表示は、《ESC》をタッチすれば、一時的にクリアーすることができますが、ミシンの電源を入れたとき、また表示されます。3回、《ESC》でクリアーすると、次に200万ステッチ（前回と合計で400万ステッチ）を縫うまで表示されなくなります。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• ディーラー定期点検がまだ完了していません。このメッセージは、次の定期点検が発生するまで表示されません。 | <p>定期点検を行わない場合、ミシンの正常な動作は保証できません。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• チュートリアル映像ガイダンスのUSBフラッシュメモリースティックをセットして、《OK》を押してください。 | <p>さまざまなソーイングテクニックやトピックに関するビデオチュートリアルの収録された、USBフラッシュメモリースティックをミシンに接続してください。</p> |
| <ul style="list-style-type: none">• メインモーターに問題が生じました。釜関係をチェックしてください。 | <p>釜開閉ふたを開きます。釜およびボビンケース周辺の糸くずを取り除いてください。</p> |

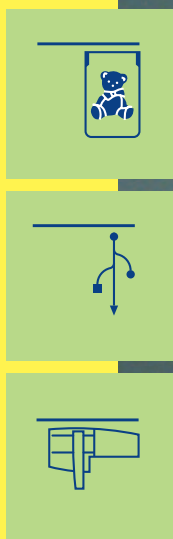




ベルニナコンピューターシステム 192

周辺機器 192

周辺機器の接続について 194



周辺機器を接続する

ベルニナコンピューターシステム

周辺機器（別売りオプション）を接続すれば、アーティスタ 730 は、ミシンからコンピューターシステムに変身します。趣味の手芸が、独創的な芸術へと昇華する瞬間です。

マイアーティスタポータル（アーティスタウェブサイト）とダイレクトに接続すれば、ミシン専用で作成されたポータルサイトを見ることができますが、それに加えて、ベルニナ USB フラッシュメモリースティックを使えば、映像ガイダンスによるチュートリアルを見することも可能です。また、刺しゅう機を接続すれば、ミシンが刺しゅう機になります。

詳しくは、ベルニナ正規販売代理店へお問い合わせください。

周辺機器

アーティスタ 730 には、以下の周辺機器を接続することが可能です。

- ・ 刺しゅう機
- ・ ベルニナモデム
- ・ ベルニナイーサーネットカード
- ・ 刺しゅうカード
- ・ ベルニナ USB フラッシュメモリースティック

ご注意

周辺機器はすべて別売りオプションで、国によって異なります。詳しくは、ベルニナ正規販売代理店にお問い合わせください。

刺しゅう機

刺しゅう機があれば、ミシンがよりすばらしいものとなります。アイデアをそのまま、刺しゅう作品に生かすことができます。

ご注意

この取扱説明書の後半には、刺しゅう機の説明書が用意されています。

モデムおよびイーサーネットカード（マイアーティスタポータルへのアクセスができます）



ベルニナモデムまたはイーサーネットカードがあれば、マイアーティスタポータル（情報源）に直接アクセスすることができます。ミシン専用プログラムされたページを、アーティスタ 730 のスクリーンに呼び出すことができます。





モデムの接続方法

- ・ モデムを接続します。
- ・ ≪ポータル≫をタッチします。
- ・ 接続に関するメッセージを≪イエス≫で確定します。
- ・ プロバイダーへの接続が完了したら、表示されるメッセージを≪OK≫で確定します。
- ・ マイアーティストのポータルサイトの目次が表示されます。
- ・ 必要なページを指定します。

イーサネットカードの接続方法

- ・ イーサネットカードを接続します。
- ・ ≪ポータル≫をタッチします。
- ・ ミシンがインターネットへの接続を探します。
- ・ 接続が完了すると、≪マイアーティストポータル≫のサイトが自動的に表示されます。

マイアーティストのポータルページの内容は、逐次アップデートされています。

ご注意

ベルニナモデムおよびイーサネットカードの取扱に関しては、同梱された取扱説明書をご参照ください。

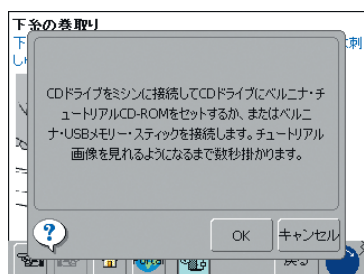
ビデオチュートリアル用 USB フラッシュメモリースティック



USB フラッシュメモリースティックのビデオチュートリアルを開いて、ミシンのスクリーンで見ることができます。



このアイコンがツールバーに表示されているときには、スクリーン上に表示された項目に関する映像ガイダンスが用意されています。



- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 指定したビデオチュートリアルがない場合には、左記のメッセージが表示されます。
- ・ ビデオチュートリアル用 USB フラッシュメモリースティックを接続します。
- ・ ≪OK≫をタッチすると、ビデオチュートリアルが開始されます。
- ・ ≪ESC≫をタッチすると、ビデオチュートリアルは閉じます。



周辺機器の接続（ミシン対応機器）



周辺機器の接続

- ・ 外部装置の電源プラグを、ミシンの右側にあるソケットに接続します。

ご注意

ベルニナアーティスト 730 には、ベルニナ製の周辺機器のみをご使用ください。市販のものは周辺として認識しません。



1. ベルニナモデム
イーサネットカード
刺しゅうカード



2. ベルニナ USB フラッシュメモリースティック



3. ベルニナ刺しゅう機
4. パソコン



パソコン用インストラクションCD-ROM

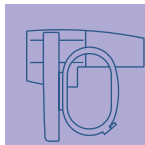
こちらのCDに収録されたインストラクションで、ベルニナアーティスト 730 のソーイングおよび刺しゅうのハイライトを見るバーチャルな旅に出てみませんか？

こちらのCDロムは、パソコンでご使用ください。アーティスト 730 のすべてをご覧いただくことができます。

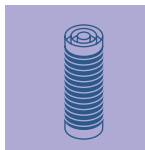


第2章 刺しゅうの部

刺しゅうマシン
195-214



刺しゅうを綺麗に仕上げるポイント
215-222



刺しゅうについて
223-246



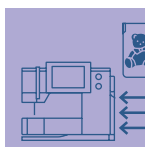
デザインの保存および削除
247-252

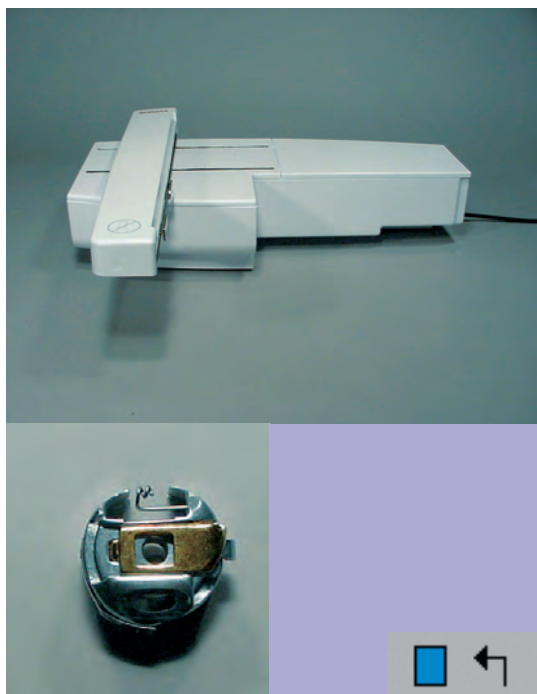


刺しゅうに関するサポート
253-258



周辺機器およびアクセサリー
259-264





刺しゅう機のセッティング 196

詳細
標準アクセサリー
特殊アクセサリー
別売りオプション

刺しゅう機を取りつける 199

ミシンに刺しゅう機を取り付ける
刺しゅう機を埃から守るには
フリーアーム刺しゅう用のアダプターの接
続

操作説明 201

刺しゅうの準備をする
上糸、下糸をかける

刺しゅう用のデザインを選択する 202

ウェルカム画面
刺しゅう機に収録された刺しゅうデザイン
刺しゅうカードに収録されたデザイン
CD-ROMに収録されたデザイン
マイアーティスタポータルにあるデザイン

刺しゅうを始める 204

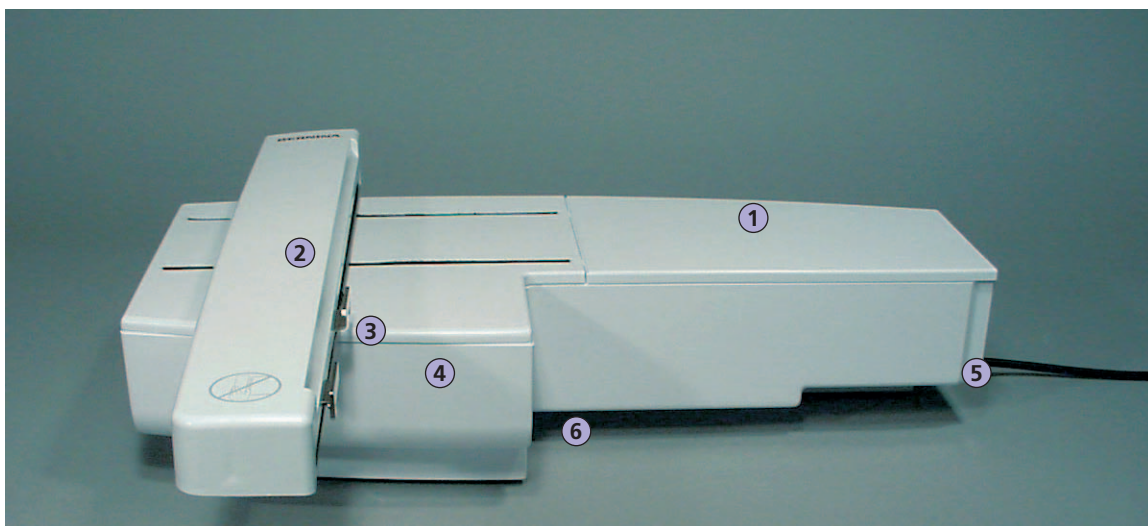
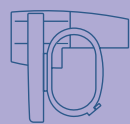
刺しゅう枠を選択する
刺しゅう枠を取り付ける
デザインを刺しゅうする

オンスクリーンの機能およびデ ィスプレイ 206

デザインモード選択画面
デザインメニュー編集 1 および 2 に共通の
機能およびディスプレイ
デザインメニュー編集 1
デザインメニュー編集 2
刺しゅうメニュー（準備完了）

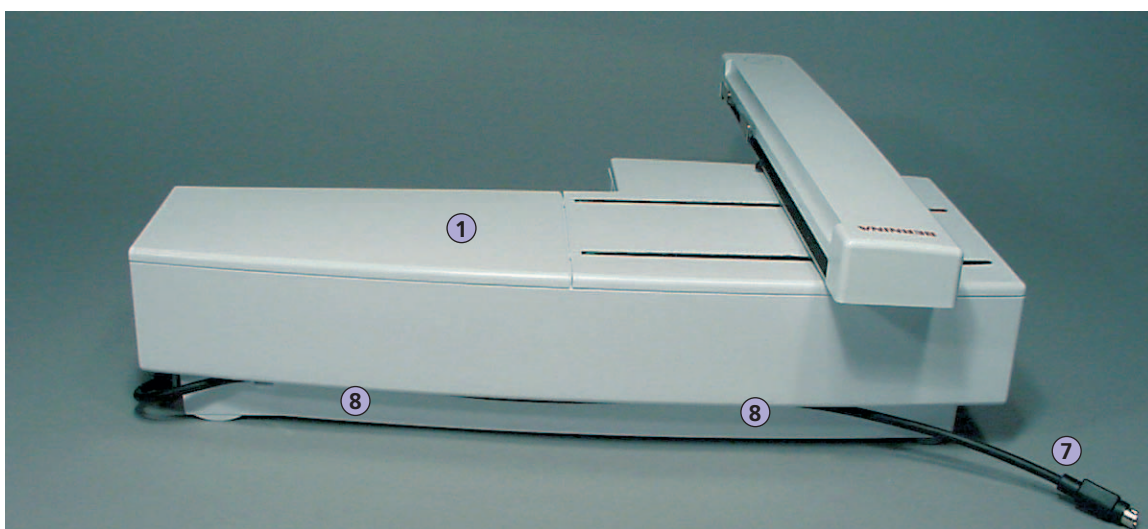
外部の機能 213

刺しゅう機の各部名称



前面

刺しゅう機を準備する

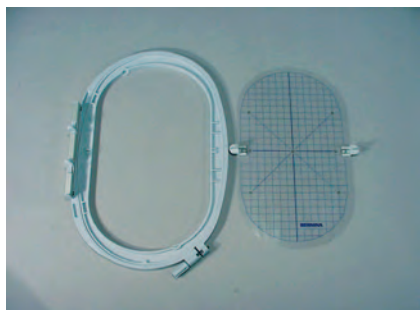


背面

ご注意
ミシンの側面（はずみ車側）には、刺しゅうカードやモデム接続用のスロット、コード接続用ソケット等があります。詳しくは、ミシンの取扱説明書9ページをご覧ください。

- 1 刺しゅう機上面
- 2 刺しゅうアーム
- 3 刺しゅう枠取り付け金具
- 4 アクセサリー用ボックス
- 5 右側接続用ラグ
- 6 中央接続用ラグ
- 7 ミシンとの接続コード
- 8 コード収納ホルダー

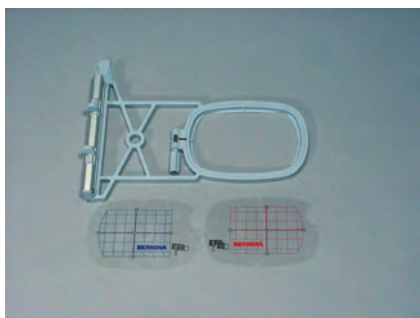
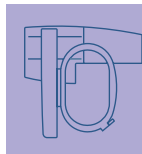
標準アクセサリ（刺しゅう機に含まれるアクセサリ）



大型のだ円形刺しゅう枠（145 × 255mm）刺しゅう枠用テンプレート



中型の刺しゅう枠（100×130mm）刺しゅう枠用テンプレート



小型刺しゅう枠（72×50mm）
青いテンプレートは、通常の刺しゅう用
赤いテンプレートは、フリーアーム刺しゅう用です。



フリーアーム刺しゅう用アダプター



刺しゅう用針セット



刺しゅう用押え金 26 番
上糸の糸こま用ネット糸が均一に送られるよう、上糸の糸こまにかぶせておきます。



刺しゅう用ボビンケース（ピッグテール付）



ベルニナ パーソナル
USB フラッシュメモリー
スティック



ポケット付きソフトカバー

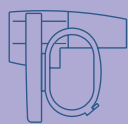


パソコン用接続USBコード

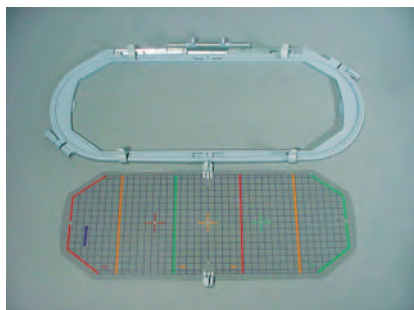


刺しゅう用ソフトウェア
《エディターライト》

特殊アクセサリ（別売りオプション）



ミシンおよび刺しゅう機一体型スーツケース



メガフープ（150x400mm）
刺しゅう枠用テンプレート



直線・刺しゅう用針板



ベルニナ刺しゅうカード



刺しゅうデザインUSB メモリースティック



ベルニナモデム



ベルニナ刺しゅうカード
とマジックボックス



アーティスト刺しゅうソフトウェア

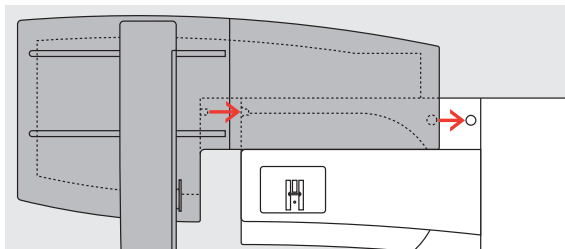


イーサネットカード



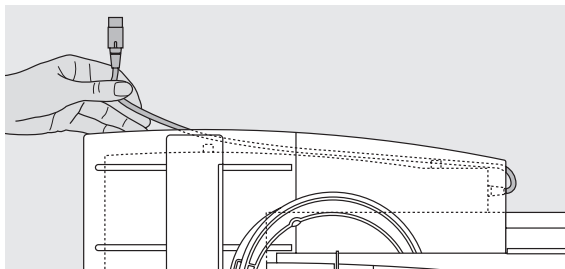
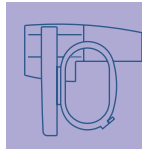
マルチスプールホルダー

刺しゅう機をミシンに接続する



刺しゅう機をミシンに接続するには

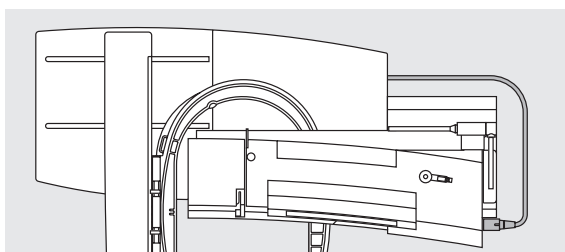
- ・ 刺しゅう機をミシンのフリーアームの後ろに置きます。
- ・ 刺しゅう機を、左側からミシンに向けて、押しつけるようにすると、ベースプレートのラグがはまります。



に戻る

「ファベット」、《デザイン》または《マイ》のデザインモードを選択したときに、表示

刺しゅうの準備



コードを接続する

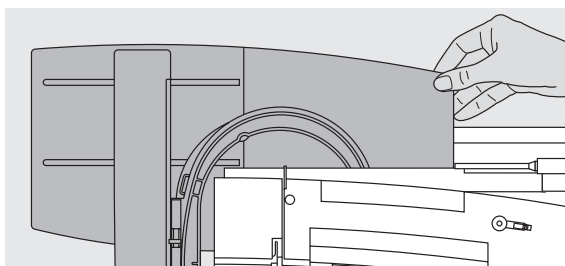
- ・ 平らな面を前に向けて、接続します。
- ・ ミシンの右側にあるソケットに、プラグを挿入します。(アイコンで示してあります)。

コードを外すには

- ・ プラグを引きぬきます。

コードを刺しゅう機にしまう

- ・ コードをホルダーにしまうことができます。
- ・ コードをしまう際、力を入れ過ぎないようにしてください。



刺しゅう機を取り外す

- ・ 刺しゅう機の背面の右コーナー部分に、グリップがあります。
- ・ このグリップを持って、刺しゅう機を持ち上げ、左側に向けてはずします。

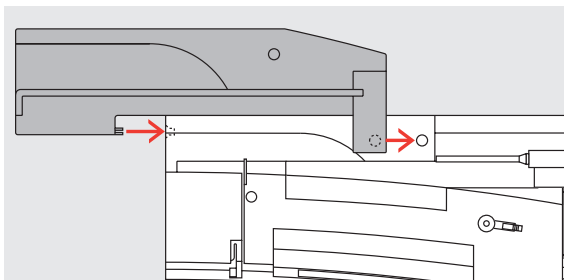
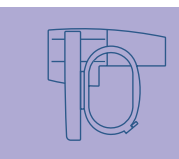
ご注意

刺しゅう機およびフリーアームアダプターの取り付けは、平らな面に置いて作業を行うようにしてください。

注意

運搬の際には、ミシンと刺しゅう機を別々にするようにしてください。接続したまま運搬するのは、非常に危険です。

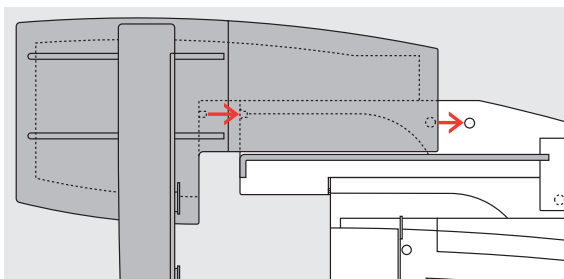
フリーアーム・アダプターを接続するには



袖、ズボンのすそ、子供服、ソックス等の筒状のものに刺しゅうをする際、ミシンのフリーアーム上にアダプターを取り付けます。

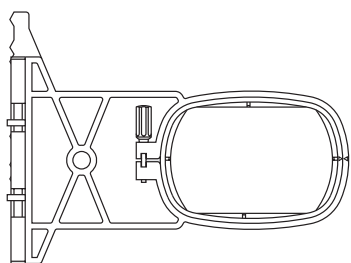
アダプターをミシンに取り付ける

- ・ アダプターを、フリーアームの後ろからミシンに向けて、押します。ベースプレートで、ラグがはまれば、接続完了です。



刺しゅう機をアダプターに取りつける

- ・ 刺しゅう機をアダプターの上に置きます。その際、刺しゅう機の前端を、アダプターのL型ガイド部分にできるだけ近づけるようにします。
- ・ 左側から、刺しゅう機をガイドに沿って押します。ベースプレートで、ラグがはまれば、接続完了です。

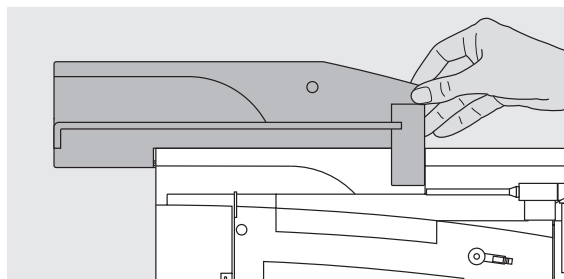


フリーアーム用刺しゅう枠

- ・ 小型のだ円形刺しゅう枠を使います。

注意

フリーアーム刺しゅうには、この小型の枠以外は使えません。



アダプターを取り外す

- ・ 刺しゅう機を、アダプターから外します。
- ・ アダプターの背面の右コーナー部分に、グリップがあります。
- ・ このグリップを持って、アダプターを持ち上げ、取りはずします。

刺しゅうの準備をする



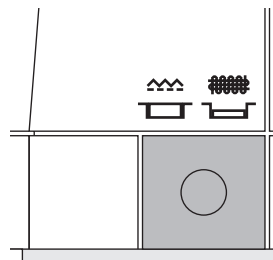
刺しゅう用押え金26番

- ・ 刺しゅう用押え金26番を取りつけます。
- ・ 刺しゅう枠が取り付けられるよう、押え金は上げておきます。



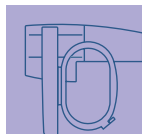
刺しゅう用針

- ・ 最高の仕上がりを得るには、正しい刺しゅう針をお使いください。(19ページ参照)

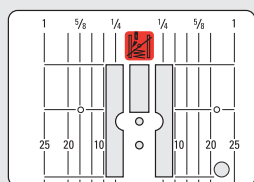


送り歯を下げる

- ・ ミシンの右側にあるボタンを押して、送り歯を下げておきます。



針についての詳細は、17-19 ページをご覧ください。



直線・刺しゅう用針板（オプション）

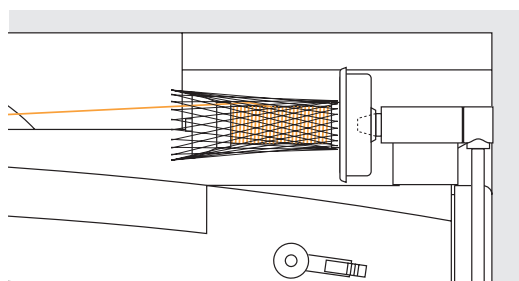
直線縫い用針板には、小さな針穴が開いています。針の入る場所（つまり、上糸と下糸がつながってステッチとなるところ）が限られているため、刺しゅうの仕上がりがきれいになります。

標準装備の針板をはずして、こちらを取りつけます。

刺しゅうの準備

針板についての詳細は、17 ページをご覧ください。

上糸および下糸を通す

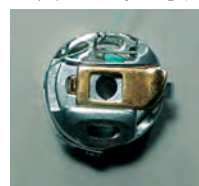


上糸を通す

- ・ フォームパッドを取りつけてから、上糸のこまをセットします。
- ・ レーヨンまたはすべりやすい刺しゅう用の糸を使用する場合には、上糸の糸こまに、ネットをかぶせておきます。
- ・ 糸が滑らず、均一に送ることができるので、仕上がりがきれいになります。

下糸を通す

- ・ 刺しゅう用には、刺しゅう用ボビンケースのビッグテールテンショナーにも糸を通しておきます。



ご注意

下糸のインディケーターセンサーは、ボビンカバーが閉じている場合のみ、有効です。ボビンケースを挿入した後、ボビンカバーを閉じましょう。（センサーは、セットアッププログラムでオンにしておく必要があります。）

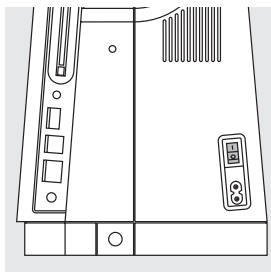
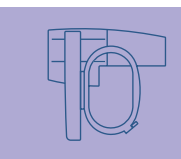
ご注意

ソーイングのときと同様、刺しゅうをしながら、同時に下糸を巻くことも可能です。（13ページをご覧ください）

TIP

垂直糸立て

メタリックまたは特殊な糸を使用する場合には、垂直の糸立て棒および糸ガイド（別売りオプション）を使うとよいでしょう。



ミシンのスイッチを入れる

- ・ アーティスタの刺しゅうは、外部のボタン、調節つまみ、そしてタッチ画面で操作できます。
- ・ スイッチを《1》(オン)にします。



ウェルカム画面

- ・ ミシンの電源を入れると、ウェルカム画面が数秒間、表示されます。
- ・ 次に、メッセージを表示します

ご注意

ウェルカム画面は、セッ
トアッププログラムで、
好みのメッセージにカス
タマイズできます。

刺しゅうデザインを選ぶ

デザインモード選択画面が表示される

- ・ デザインモード選択画面で、刺しゅうデザインをどこから選ぶかを決めることができます。

ミシンに内蔵されたデザインを選ぶ



デザインモード選択画面が立ち上がる

- ・ 通常刺しゅう機が接続された状態でスイッチを入れると左のデザインモード選択画面が表示されます。
- ・ デザインモード選択画面の上段ツールバーで《ミシン》アイコンが青色で表示されアクティブになっています。
- ・ ミシンに内蔵された、《アルファベット》、《デザイン》および《マイデザイン》のモードからどれか選びます。



アルファベットを選択するには

- ・ 《アルファベット》ボタンをタッチします。
- ・ 10種類のアルファベット書体が表示されます。
- ・ 上下にスクロールして、一つを選びます。
- ・ アルファベットキーボードが表示されます。

レタリングに関する詳細は、234 ページをご覧ください。



デザインを選択するには

- ・ デザインモード選択画面で《蝶のデザイン》ボタンをタッチします。
- ・ いろいろな刺しゅうデザインが、カラーで表示されます。
- ・ デザインにタッチして、刺しゅうデザインを選択します。



マイデザインに登録した刺しゅうデザインを選択するには

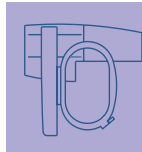
- ・ 刺しゅうメニュー画面で《マイデザイン》アイコンをタッチします。
- ・ 保存されたデザインが、カラーで表示されます。
- ・ 画面をタッチして、デザインを選択します。

刺しゅうカードからデザインを選ぶ (刺しゅうカードを挿入してください)



刺しゅうカードのオンスクリーンボタン

- ・ デザインモード選択画面の上段ツールバーで《刺しゅうカード》をタッチします。
- ・ 刺しゅうカード（オプション）に収録されたデザインが、カラーで表示されます。
- ・ オンスクリーンボタンを押して、デザインを選択します。



刺しゅうカードについては、263 ページをご覧ください。

USB フラッシュメモリースティックからデザインを選ぶ



USB フラッシュメモリースティックのオンスクリーンボタン

- ・ デザインモード選択画面の上段ツールバーで《USB スティック》をタッチします。
- ・ USB フラッシュメモリースティックに収録されたデザインが、カラーで表示されます。（USB フラッシュメモリースティックを事前に接続しておきます）
- ・ オンスクリーンボタンを押して、デザインを選択します。

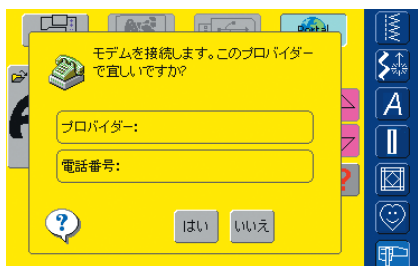
・ USB スティックに関する詳細は 264 ページをご参照下さい。

マイアーティスタポータルからデザインを選ぶ



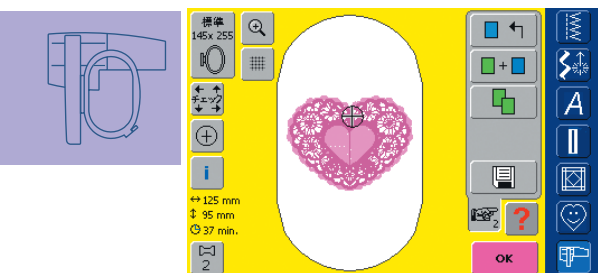
ポータルのオンスクリーンボタン

- ・ デザインモード選択画面の上段ツールバーで《ポータル》をタッチします。
- ・ モデムの接続に関する保存デザイン操作画面が表示されます。
- ・ イーサネットカード（別売りオプション）の場合は、直接接続されます。
- ・ モデム（オプション）が接続されれば、マイアーティスタポータル（情報源）にあるデザインが表示されます。
- ・ オンスクリーンボタンを押して、デザインを選択します。



・ マイアーティスタポータルについては、260 ページをご覧ください。

刺しゅう枠を選択する



デザインメニュー編集画面1

- ・ デザインを一つ選択します。
- ・ «デザインメニュー編集画面1»が表示されます。
 - ・ 選択した刺しゅうデザインが、サイズの合う中で1番小さい刺しゅう枠に収まった形で表示されます。
 - ・ «刺しゅう枠»オンスクリーンボタンに、どの刺しゅう枠を使うべきかが表示されています。
 - ・ 指示された刺しゅう枠をセットします。

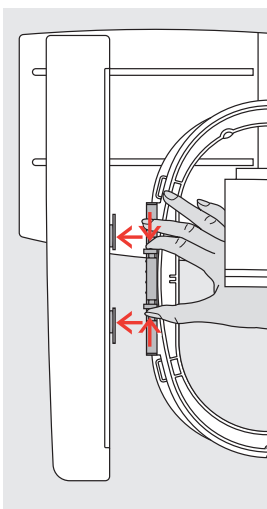
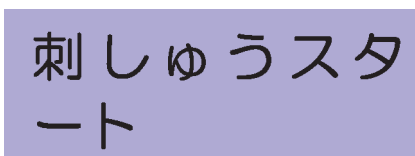


ご注意 新しく選択されたデザインは、常に刺しゅう枠の中央に表示されます。

刺しゅう枠をセットする

針および刺しゅう用押え金を上に上げる

- ・ 針および押え金を上に上げます。
- ・ 布表を上にして入れた刺しゅう枠を、金具を左側にして持ちます。



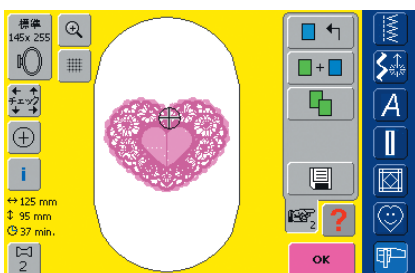
刺しゅう枠をセットする

- ・ 押え金の下に、刺しゅう枠をくぐらせます。
- ・ 刺しゅう枠の横部分についている取付け用の金具をつまみます。
- ・ 小さな取付け用クランプの中心点を、刺しゅうアームのブラケットに合わせます。
- ・ 刺しゅう枠を下に押しつけて、取りつけます。
- ・ つまんでいた取付け用金具を離します。

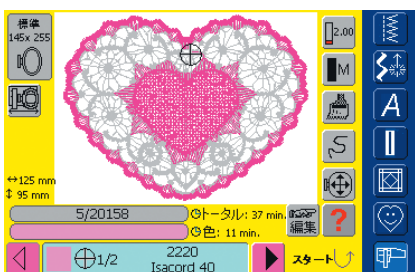
刺しゅう枠を外す

- ・ 刺しゅう枠の取付け用金具をつまんで、押します。
- ・ そのまま刺しゅう枠を持ち上げて、取り外します。

刺しゅうデザイン

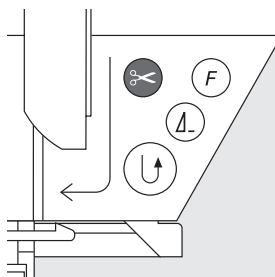


- ・ デザインメニュー編集画面1で«OK»をタッチするか、手元返し縫いボタンを押します。
- ・ 刺しゅう枠が取り付けられているかどうか、ミシンが動いてチェックします。



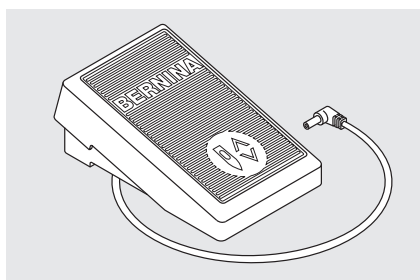
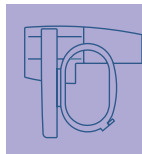
刺しゅうメニュー（準備画面）

- ・ デザインが表示され、刺しゅうメニュー（準備画面）が開きます。
- ・ 準備ができていますので、すぐにステッチできます。



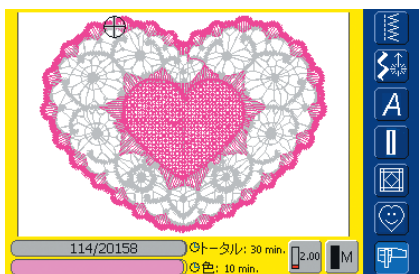
手元返し縫いボタンで、刺しゅうを開始する

- ・ 押え金を下げます。
- ・ 刺しゅうがスタートするまで、手元返し縫いボタンを押したままにします。
- ・ ミシンは6針縫い進めて、自動的に停止します。
- ・ 押え金を上げます。
- ・ デザインの縫い始めの糸端をカットします。
- ・ 押え金を下げます。
- ・ 手元返し縫いボタンを押して、刺しゅうを開始します。



フットコントローラーを使って、刺しゅうをする

- ・ 押え金を下げます。
- ・ フットコントローラーを踏み込みます。
- ・ ミシンは6針縫い進めて、自動的に停止します。
- ・ フットコントローラーを放します。
- ・ 押え金を上げます。
- ・ デザインの縫い始めの糸端をカットします。
- ・ 押え金を下げます。
- ・ フットコントローラーを踏み続けて、刺しゅうを開始します。



刺しゅう画面

- ・ 刺しゅうを開始すると、刺しゅう画面が表示されます。

刺しゅうを中断するには

- ・ 自動で刺しゅうしている時は、手元返し縫いボタンを押すか、またはフットコントローラーを軽く踏みます。
- ・ ミシンが停止します。

糸の色

- ・ 押え金を下げます。
- ・ 手元返し縫いボタンを押すか、フットコントローラーを踏み込みます。
- ・ 同色の箇所をすべて刺しゅうし終わると、ミシンは自動的に停止します。
- ・ 自動糸カッターで、上糸と下糸の両方を自動的にカットします。
- ・ «次の糸に交換してください»のメッセージが表示されます。
- ・ «OK»をタッチして、確認します。

色を変える

- ・ ミシンは、次の色部分をステッチする準備ができています。
- ・ 上糸を交換します。
- ・ 刺しゅうを続けます。

刺しゅう完了後に糸端をカットする

- ・ 押え金を上げます。
- ・ 刺しゅうアームから、刺しゅう枠を取り外します。
- ・ 糸端やデザイン間のつなぎ部分の糸を、注意深く取り除きます。
- ・ 刺しゅう枠を取り外す際、下糸を針板ぎりぎりの位置でカットしないようにご注意ください。

デザインモード選択画面



刺しゅう用ミシンの電源をオンにするか、またはソーイングモードから刺しゅうモードに変換すると、デザインモード選択画面が表示されます。《マシン》アイコンが青く表示されアクティブになっています。



デザインモード選択画面に戻る

- ・ この機能は、《アルファベット》、《デザイン》または《マイデザイン》のどれかのデザインモードを選択したときに、表示されます。
- ・ ボタンをタッチ。
- ・ デザイン選択画面が表示されます。

オンスクリーン機能と画面表示



上にスクロール

- ・ アイコンを必要な回数タッチします。
- ・ 画面の表示が上にスクロールして、いろいろな選択肢を見ることができます。
- ・ 速くスクロールしたい場合には、アイコンをタッチしたままにします。



下にスクロール

- ・ アイコンを必要な回数タッチします。
- ・ 画面の表示が下にスクロールして、いろいろな選択肢を見ることができます。
- ・ 速くスクロールしたい場合には、アイコンをタッチしたままにします。



ヘルプ（マルチ機能ボタン）

機能に関する質問およびヘルプの場合

- ・ 《？》アイコンをタッチして、質問したい機能を選択します。
- ・ 選択した機能に関する説明が表示されます。
- ・ ESC で閉じます。



保存デザイン操作画面を閉じる

- ・ デザインメニュー編集 1 から、デザインモード選択画面に移動したい場合、この機能を使います。
- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 保存デザイン操作画面が閉じて、前画面に戻ります。

デザインに関する質問およびヘルプの場合

- ・ 《？》アイコンをタッチして、質問したいデザインを選択します。
- ・ 保存デザイン操作画面が開いて、以下の情報が表示されます。
- ・ デザインの名称およびフォーマット
- ・ デザインの幅、高さ、刺しゅうに要する時間、ステッチカウントおよび色の数（表示内容は、デザインによって、多少のちがいがあります）。
- ・ この画面から、直接、デザインを開くことも出来ます。（デザインモード選択画面に戻るには、ESC をタッチします）
- ・ メモリーに記憶させたデザインを削除することも出来ます。詳しくは 243 ページ参照。

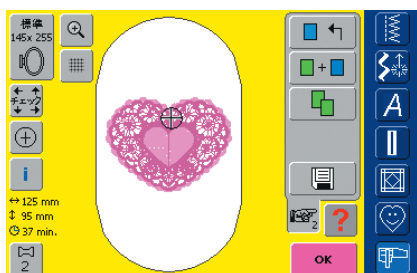


スピニング糸こま

- ・ この糸こまのアイコンは、コンピューターが演算処理中であることを示します。
- ・ この計算が行なわれている間は、ミシンの操作はできません。

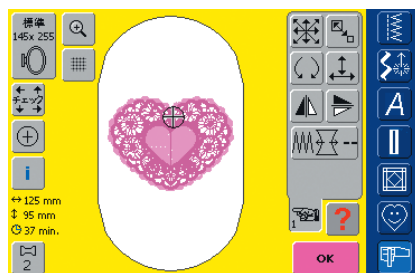
《？》マークをタッチすると、ミシンがロック状態に凍結されます。このロック状態を解除するには、画面上のどこでもいいからタッチします。ミシンから離れるときに安全のため、ロックしましょう。

デザインメニュー編集1と編集2に共通の機能と画面表示



デザインメニュー編集1

デザインを選択すると、この画面が表示されます。このメニューでは、新しいデザインを選択したり、またはデザインを組み合わせたり、複製して連ねたりして、コンビネーションを作成することができます。



デザインメニュー編集2

デザインメニューには、サブメニュー（編集2）があります。デザインに変更（デザインの拡大縮小、反転、回転等）を加える際に使用します。



刺しゅう枠を選択する

- ・ 選択したデザインを刺しゅうするのに、最適の刺しゅう枠を表示します。
- ・ オンスクリーンボタンにタッチ。
- ・ <<刺しゅう枠を選択>>の画面になります。
- ・ 各刺しゅう枠の刺しゅうに使用できるサイズが、mm単位で表示されます。



刺しゅう枠の選択（<<刺しゅう枠の選択>>画面）

- ・ 刺しゅう枠を、小、中、大、特大から選択します。
- ・ 画面は閉じて、選択した刺しゅう枠が、<<刺しゅう枠>>のオンスクリーンボタンの中に表示されます。
- ・ <<刺しゅう機のチェック>>ボタンを押して、刺しゅう機の測定をします。（レファレンスポイント間を移動します。）測定の際、必ず刺しゅう枠を取りつけておくようにして下さい。
- ・ <<ESC>>をタッチすれば、刺しゅう枠の選択をしなくても、画面を閉じることができます。



チェック

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 刺しゅう枠が垂直方向に移動し、ミシンが今現在取り付けてある刺しゅう枠のサイズを読みこみます。
- ・ 刺しゅう枠の読みこみが済んだら、<<キャンセル>>をタッチします。
- ・ デザインをステッチできる範囲は、4回停止しながら計測されます。
- ・ 左下部分
- ・ 右下部分
- ・ 左上部分
- ・ 右上部分
- ・ 停止するたびに、<<OK>>で進めます。
- ・ 取り付けてある刺しゅう枠が、表示されます。



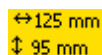
デザインの中心点

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ デザインの中心点が、カーソルで表示されます。
- ・ 刺しゅう枠は、針がデザインの中心点に落ちる位置まで、移動します。
- ・ 刺しゅう枠が取り付けられていない、または取り付けられてある枠が小さすぎる場合には、エラーメッセージが表示されます。
- ・ アイコンを再度タッチします。
- ・ 画面では、デザインの最初のステッチがカーソルでマークされます。



デザインに関する情報

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ デザインに関する以下の情報を表示した画面に変わります。
- ・ デザインの幅、高さ、刺しゅうに要する時間、色の数およびステッチカウント、糸の色および糸のブランド
- ・ ここで必要な色を確認し、刺しゅうを開始する前に糸をそろえることが可能になります。



デザインのサイズ

- ・ デザインの幅および高さがmm単位で表示されます



刺しゅうに要する時間

- ・ 選択したデザインを刺しゅうするのに要する時間が、分単位で表示されます。



色の数

- ・ デザインに必要な色の数を表示します。
- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 色の数の画面が表示されます。（アイコンに再度タッチすれば、画面は閉じます）。

カラーデザインの表示

- ・ 色の順番は、矢印でスクロールすることができます。
- ・ 選択した色の表示は、画面上およびカラーインフォメーションバーに表示されます。
- ・ カラーインフォメーションバーにタッチします。
- ・ 《色およびブランドを変更する》の画面が表示されます。
- ・ 今現在表示されている糸の色またはブランドを変更することができます。

糸色の変更については、240 ページをご覧ください。



ズーム

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ デザインが一段階ずつ、拡大表示されます。
- ・ もう一度、アイコンをタッチします。
- ・ デザインが、もう一段階拡大表示されます。
- ・ 《拡大したデザインをスクロール》のアイコンをタッチします。
- ・ 振幅または送り長さ調節つまみで、デザインをスクロールして見ることができます。
- ・ 更にもう一度、アイコンをタッチすると、デザインのサイズは元に戻ります。



画面目盛を表示

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 大きな十字が、デザインの中央に表示されます。
- ・ もう一度、アイコンをタッチします。
- ・ 画面目盛が表示されるので、デザインをより正確に配置することができます。
- ・ 更にもう一度、アイコンをタッチすると、画面目盛は消えます。



モチーフ検索機能

- ・ この機能は、デザインを組み合わせでデザインしている場合にのみ、表示されます。
- ・ アイコンをタッチします。
- ・ コンビネーションの中のモチーフを順に表示します。
- ・ アクティブになったモチーフは、色付きで表示されます。
- ・ 目的のモチーフがアクティブになるまで、アイコンをタッチします。



ヘルプ

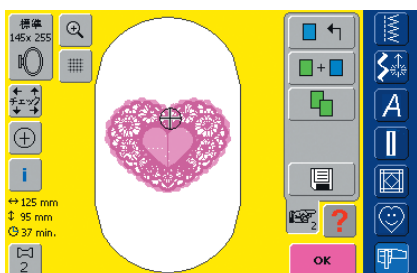
- ・ アイコンをタッチして、機能を選択します。
- ・ 選択された機能に関する説明が表示されます。
- ・ ESC をタッチすると、閉じます。

OK

刺しゅうメニュー（準備完了）

- ・ 《OK》をタッチします。
- ・ デザインメニュー編集 1 の画面から、刺しゅうメニュー（準備完了）に変わります。
- ・ これでデザインを刺しゅうすることができます。

デザインメニュー編集 1



新しいデザイン

- ・ 《新しいデザイン》をタッチします。
- ・ デザインモード選択画面が表示されます。
- ・ 新しいデザインを選択するか、または ESC で画面を閉じます。



デザインを加える

- ・ 《デザインを加える》をタッチします。
- ・ デザインモード選択画面が表示されます。
- ・ 新しいデザインまたはレタリングを選択するか、ESC で画面を閉じます。
- ・ 画面上に、新しいデザインが追加されて表示されます。



デザインを複製する

- ・ 《複製》をタッチします。
- ・ 画面に表示されているデザインが、自動的に複製されます。



削除

- ・ この機能は、デザインを組み合わせでコンビネーションを作成しているときにのみ表示されます。
- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 選択されているデザインを削除します。削除後は、次のデザインがカラー表示されます。



保存

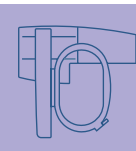
- ・ アイコンをタッチします。
- ・ «保存»の画面が表示されます。

- ・ 保存については、248-251 ページをご覧ください。

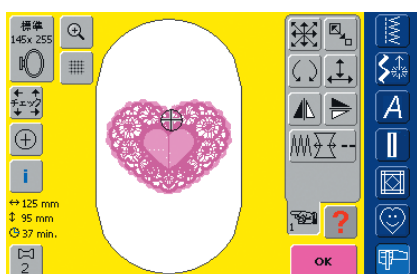


次ページ (編集2) へ

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ デザインメニュー編集 1 の画面が、編集 2 に変わります。



デザインメニュー編集2



デザインを移動

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ ステッチの振り幅および送り長さ調節用の紫のアイコンが表示されます。
- ・ デザインを横方向に移動するには、振り幅調節つまみを回します。右への移動は、時計回りに、左への移動は、時計の反対方向へ回してください。
- ・ デザインを縦方向に移動するには、送り長さ調節つまみを回します。上への移動は、時計回りに、下への移動は、時計の反対方向へ回して下さい。
- ・ 紫のアイコンの中に、変更した距離が、10分の1 mm単位で表示されます。デザインを斜めに移動するには、振り幅調節つまみと送り長さ調節つまみを同時に回します。
- ・ 2つの紫の調節つまみアイコンの中に、同じ数字が表示されるようにすると、デザインは斜めに移動します。
- ・ デザインを中心にしたいときには、紫の調節つまみアイコンをタッチするか、または«デザインの移動»を再度タッチします。



デザインの回転

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ ステッチの振り幅を操作する調節つまみを示す、紫の調節つまみアイコンが表示されます。
- ・ デザインを時計回りに回転するには、調節つまみを時計回りに回します。
- ・ 時計と反対回りに回転するには、時計と反対回りに回します。
- ・ 回転の度合いが、角度で表示されます。
- ・ 元の状態 (0° または 360°) に戻すには、紫の調節つまみアイコンをタッチします。
- ・ «デザインの回転»をタッチした数だけ、デザインは時計回りに 90° ずつ回転します。(90°、180°、270°、360° の順)



デザインの高さ、または幅を拡大・縮小する

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ ステッチの振り幅を操作する調節つまみを示す、紫の調節つまみアイコンが表示されます。
- ・ デザインを左右に拡大するには、振り幅調節つまみを時計回りに回します。
- ・ 左右に縮小するには、時計と反対回りに回します。
- ・ デザインを上下に拡大するには、送り長さ調節つまみを時計回りに回します。
- ・ 上下に縮小するには、時計と反対回りに回します。
- ・ 拡大縮小の率が、パーセンテージで表示されます。
- ・ 元のサイズ (100%) に戻すには、紫の調節つまみアイコンをタッチします。



デザインの拡大縮小

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ ステッチの振り幅を操作する調節つまみを示す、紫の調節つまみアイコンが表示されます。
- ・ デザインを拡大するには、調節つまみを時計回りに回します。
- ・ 縮小するには、時計と反対回りに回します。
- ・ 拡大縮小の率が、パーセンテージで表示されます。
- ・ 元のサイズ (100%) に戻すには、紫の調節つまみアイコンをタッチします。



左右に反転する

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ デザインは、左右に反転されます。



上下に反転する

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ デザインは、上下に反転されます。

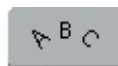


デザインのプロパティ

- デザインのプロパティ機能を使えば、以下のことが可能となります。
 - あるステッチに関して決まっているステッチ数を変更する。
 - 布のつれを調整する。デザイン間の余分なスペースまたは重なりを防ぎます。
 - ランレングスの変更。アウトラインの長さを変更します。
- アイコンをタッチします。
- 保存デザイン操作画面が表示されます。



- ステッチの数を変更（サテンステッチ、ステップステッチ、飾りステッチのファンシーフィル等）。
 - 《+》をタッチすれば、ステッチ数は増えます。
 - 《-》をタッチすれば、ステッチ数は減ります。
 - 変更は、パーセンテージで表示されます。
- 布のつれを調整する
 - 《+》をタッチすれば、布の引きを強くして、デザイン間の余分なスペースおよびフィルステッチの際に生じるアウトラインも減ります。
 - 《-》をタッチすれば、布の引きが弱くなるので、デザイン同士の重なり合いおよびフィルステッチの際に生じるアウトラインもなくなります。
 - 変更は、10分の1 mm単位で表示されます。
- ランレングス（アウトライン）の変更
 - ランレングスを長くするには、《+》をタッチします。
 - 短くするには、《-》をタッチします。
- 《OK》をタッチすると、確定されます。
 - 変更は、10分の1 mm単位で表示されます。



文字の操作

- アイコンをタッチします。
- 保存デザイン操作画面が表示されます。



- レタリングを挿入するには、テキストバーをタッチします。
 - キーボード付きの画面が表示されます。
- アルファベットのタイプを変更するには、アルファベットのアイコンまでスクロールしていきます。
 - 画面に表示されたアルファベットのタイプが変更されます。
- レタリングのサイズを変更するには、高さのボックスまでスクロールしていきます。
 - 変更は、mm単位で表示されます。
- レタリングのベースラインを変更するには、必要なオンスクリーンボタンをタッチします。
 - 横方向へのベースライン
 - 反時計回りの文字列は、カーブしたベースラインの下にレタリングを配置することができます。（3種類のカーブがありますが、緑色の○が大きいほど、カーブはゆるやかになります。）
 - 時計回りの文字列は、カーブしたベースラインの上にレタリングを配置することができます。（3種類のカーブがありますが、緑色の○が大きいほど、カーブはゆるやかになります。）
 - 縦方向へのベースライン
- 上下の矢印を使って、文字間のスペースを変更できます。



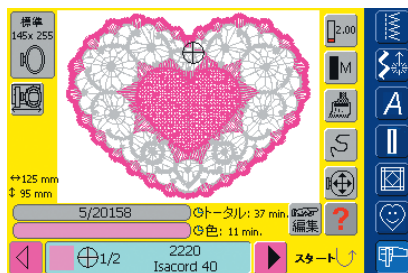
次ページへ 編集1

- アイコンをタッチします。
- デザインメニュー 編集1が表示されます。

ご注意

編集2で最後に使用した機能（デザインの移動、回転、サイズ変更等）は、デザインメニュー編集1に戻れば、また変更することができます。

刺しゅうメニュー（準備完了）

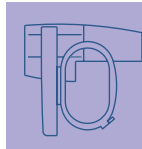


刺しゅうメニュー（準備完了）では、デザインへの変更（糸調子の調整、モータースピードの調整等）は完了し、刺しゅうを開始できる状態となっています。



刺しゅう枠の表示

- 取りつけられている刺しゅう枠が、刺しゅう可能な範囲のサイズ（mm単位）とともに表示されます。



刺しゅう枠のリロケーター

- この機能を使うと、針が刺しゅう枠の左端に非常に近い位置にある場合の糸通しが簡単にできます。
- アイコンをタッチします。
- 刺しゅう枠は、中央に向かって水平に移動します。
- 糸を交換して
- 手元返し縫いボタンをタッチします。
- 刺しゅう枠が元の位置に戻り、刺しゅうを続けることができます。

↔125 mm
↓ 95 mm

デザインサイズ

- デザインの縦横のサイズを、mm単位で表示します。

33 min.

刺しゅうに要する時間

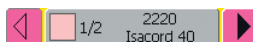
- 選択したデザインを刺しゅうするのに要する時間が、分単位で表示されます。

刺しゅう時間

6439/20158 ①トータル: 25 min.
②色: 25 min.

- 上のバーには、刺しゅうに要する時間および残り時間が表示されます。
- 上のバーの数字は、左側が今現在刺しゅうしているデザインの総ステッチ数を、右側が今現在何ステッチまで完了しているかを示します。
- 今現在、刺しゅう中の色に関する刺しゅう時間は、下のバーに表示されます。
- 刺しゅうが進むにつれて、上下どちらのバーの残り時間も減っていきます。

カラーインフォメーションバー



- 今現在刺しゅうしている糸の色に関する情報が表示されます。
 - 今現在の糸の色。
 - 糸の色の位置（1番目の数字）
 - 数（2番目の数字）
 - 糸のブランドにおける色番号
- 左右の矢印で、糸色を変更できます。
- カラーインフォメーションバーをタッチします。
- 刺しゅう枠は、今現在の色の最初のステッチ位置に移動します。（カーソルのアイコンが、カラーインフォメーションバーに表示されます。）
- カラーインフォメーションバーにタッチすると、今現在刺しゅうしている色を、一つ一つ刺しゅうすることもできます。



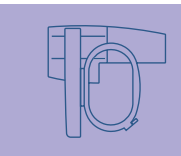
糸調子（変更）

- アイコンをタッチします。
- 糸調子画面が表示されます。
- 糸調子は、好きなように変更できます。
- 選択したセッティングは、オンスクリーンボタンで見ることができます。



デザインメニュー編集 1へ

- アイコンをタッチします。
- 刺しゅうメニュー（準備完了）から、デザインメニュー編集 1 に変わります。



刺しゅうのスピード 1/4-1/2-3/4-4/4

- ・ アイコンをタッチします。(一回または複数回)
- ・ 好みのスードを選択できます。
- ・ アイコン上に、変更の内容がバーの長さで表示されます。
- ・ 刺しゅうの最高スピードを制御出来ます。



《?》ヘルプ

- ・ アイコンをタッチして、それから内容を知りたい機能を選択します。
- ・ 選択した機能の説明が表示されます。
- ・ 《戻る》アイコンで閉じます。



シングルまたはマルチカラーデザイン

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ アイコンがアクティブな場合には、デザイン全体が1色で、止まることなく最後まで刺しゅうされます。
- ・ アイコンがアクティブでない場合には、各色ごとに刺しゅう機が止まります。



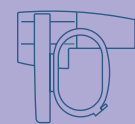
針目のトレース（糸が切れた時など）

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 振り幅調節つまみの操作ガイドボックスが画面に現れます。
- ・ 振り幅ダイヤルを回すと針目を前後に追跡出来ます。
- ・ 刺しゅう枠が針目を追って、動きます。
- ・ 刺しゅうの先の針目をトレースする時は、調節つまみを時計回りに回します。
- ・ 刺しゅうの縫ったあとの針目をトレースするには、反時計方向に回します。
- ・ 調節つまみのガイドボックスに表示された番号は、ダイヤルで動かした針目の数です。
- ・ ダイヤルで動かす前のゼロ位置に戻すには、調節つまみのガイドボックスの中のダイヤルアイコンをタッチします。



刺しゅう枠を移動する

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 振り幅調節つまみおよび送り長さ調節つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・ 例えば、大きなデザインを刺しゅうする場合、布を刺しゅう枠に張り直す必要があることもあります。(レタリング、ボーダー等)。このような場合、調節つまみで刺しゅう枠を動かして、前の刺しゅうで最後に針がさした位置へ移動する事が出来ます。



手元返し縫いボタンで、刺しゅうを開始する

- ・ 手元返し縫いボタンをタッチすると、刺しゅうが開始されます。
- ・ デザインメニューから、直接刺しゅうメニューを入力する場合には、手元返し縫いボタンをタッチします。



自動糸カッター

- ・ 1色の作業が完了すると、上糸および下糸は自動的にカットされます。

外部操作ボタン



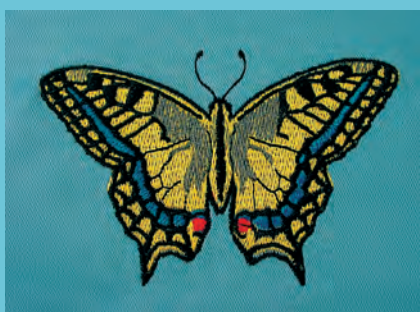
ステッチの振り幅および送り長さ調節つまみ

- ・ 通常振り幅や送り長さを調節するダイヤルです。マルチ機能を持っており、糸調子、サイズ変更、デザインの回転等の操作をもコントロールします。
- ・ これらのダイヤルを使って操作するときには、画面に操作ガイドボックスが表示されます。



刺しゅうモード、ソーイングモード切替ボタン

- ・ 刺しゅうモードをソーイングモードに切り替えます。
- ・ その反対もこのボタンをタッチして行います。

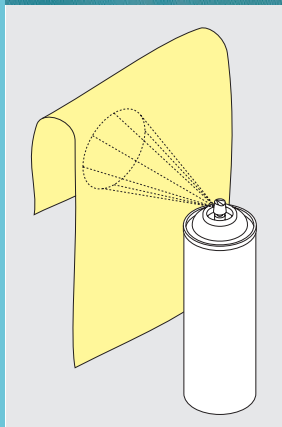


一般的な知識 216

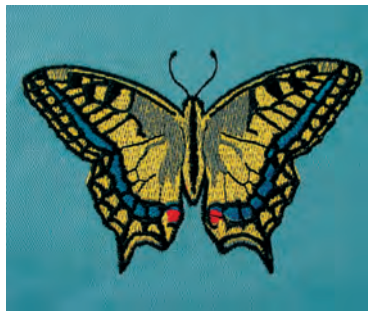
刺しゅう糸 218

刺しゅう用安定紙 219

刺しゅう枠に布を張る 221



知っておきたい刺しゅうの知識



刺しゅう用デザインを選ぶ

- ・ 薄手の土台布を使う場合には、ステッチ数が少ない、単純なデザインがよいでしょう。
- ・ 大型で、ステッチの数の多いデザイン（色数も多く、刺しゅうの方向が一定でないもの）は、分厚い土台布に適しています。

刺しゅうテスト

- ・ サンプルの布を用意して、いつでもテストを行なうようにしましょう。色、糸の質、針、ステッチの数、テンション等の調整が必要かどうか確認できます。
- ・ テスト用には、実際に使用する土台布と同じものに、同じ安定紙を用意します。

デザインのサイズ

- ・ デザインは、PC上でもミシンでも、アーティストのソフトウェアを使ってサイズ変更できます。
- ・ きれいな仕上がりのためには、縮小は75%まで、拡大は150%までにするとよいでしょう。

一般的な知識

いろいろなステッチ

アンダーレイステッチ

- ・ アンダーレイステッチは、デザインの基礎となる部分であり、土台布を安定させ、その形を保たせるために使われます。また、ニットなどの土台布に、ステッチが沈み込んでしまうのを防ぐためにも使われます。アーティスト730に収録されたデザイン、およびアーティストのデザインカードのデザインには、自動的にアンダーレイステッチがなされます。



フィルステッチ

サテンステッチ

- ・ ジグザグを細かい目で繰り返していくものです。糸がデザインをカバーするような感じになります。
- ・ サテンステッチは、小さく、幅の狭い個所をフィルするのに便利です。大きな部分には、サテンステッチは使いません。振り幅をあまり大きく指定してしまうと、ステッチが広がって、仕上がりがきれいにはいきません。加えて、ステッチの糸が緩んで、何かに引っかかり、刺しゅうがだめになる危険性もあります。



ステップ（たたみ）ステッチ

- ・ 特定の長さのステッチを繰り返すフィルステッチの一種です。大きな部分を効率よくフィルするのに、使用されます。



ファンシーフィルステッチ

- ・ その部分に特殊効果をつけるのに使います。
- ・ デザイン全体に使用できます。



アウトラインステッチ

- ・ 直線縫い、またはサテンステッチを使います。
- ・ ある一部分、あるいは数箇所を囲むのに使います。
- ・ アウトラインステッチの例としては、直線縫い、ダブルラン、トリプルラン、サテンステッチ等があります。



ジャンプステッチ

- ・ デザインの1箇所の刺しゅうが完了し、次の個所に移動する際に使われる、送りの長いステッチです。
- ・ ジャンプステッチの前後には、返し縫いが入ります。
- ・ ジャンプステッチは、次の色で刺しゅうを開始する前に、始末しておきます。



刺しゅう糸について

刺しゅうをきれいに仕上げるには、糸の品質が重要な要素となります。安物の糸は、でこぼこや糸切れの原因になります。糸に関しては、ぜひ最寄りのお買い上げ店でご相談ください。

ポリエステル糸

ポリエステル糸は、丈夫で色落ちしない糸で、どんな刺しゅうにも適していますが、特に子供服や子供用品に最適です。洗濯にも強く、色あせたり、切れたりしません。

つやのあるレーヨンまたはポリエステルの刺しゅう糸を上糸に使用すると、仕上がりが非常に美しくなります。どんな作品にでも使える、幅広い色のバリエーションがあります。



刺しゅう糸

レーヨン糸

レーヨンは、つやのある柔らかいビスコースの繊維からできており、細密で繊細な刺しゅうに適しています。ふだん使いのものには不向きです。

メタリック加工されたポリエステル糸

メタリック糸は、細いものから中くらいまであり、刺しゅうに特殊効果を持たせるのに適しています。メタリック糸を使用する場合には、針も、できれば130/705H-MET針またはオーガン針等にとよいでしょう。

刺しゅう用針

- ・ 刺しゅう専用針をお勧めします。
- ・ メタリック糸にはメタリック用の針をお使いください。
- ・ 糸のサイズに合わせて、針のサイズも変えましょう。
- ・ 針の交換は、こまめにします。
- ・ 針に接着タイプの安定紙ののりが付着するとトラブルの原因となります。交換するか綺麗にのりをふき取って使ってください。

刺しゅうに適した下糸

ポピンフィル（特殊下糸）

ポピンフィルは、特に柔らかく軽い、下糸専用のポリエステル糸です。この特殊な下糸を使うと、糸調子が安定し、上糸ときちんとからむようになります。

ダーニング用および刺しゅう用糸

コットンの布に刺しゅうするのに最適なのは、メトラー60ウェイト等のコットン糸です。



TIP

ラメ糸・メタリック糸を使う場合には、糸のねじれを少なくするために、垂直の糸立て棒を使うことをお勧めします。

針に関する情報は、17-19 ページを参照のこと。



TIP

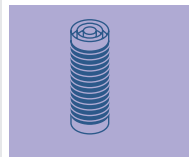
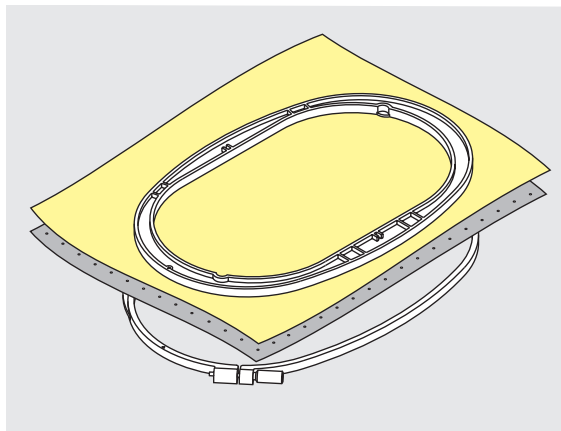
ヒント
下糸の色は、白か、または土台布と合うものにしましょう。

破り取れる安定紙（ティアウエイ）

- ・ 芯地で、紙のように破れるものです。
- ・ 1枚、または複数枚を同時に使用できます。
- ・ いろいろな厚さのものがああります。
- ・ しっかりと安定させたい場合には、布の裏側に、スプレー糊で接着してから、刺しゅう枠にセットするとよいでしょう。
- ・ ステッチが終了したら、ゆっくりと安定紙を裏から破り取ります。
- ・ 刺しゅう箇所裏側には、安定紙が残った状態になります。

用途

目の粗い布地および伸縮性のない布地に最適です。



切り取る安定紙（カット・アウェイ）

- ・ 1枚、または複数枚を同時に使用できます。
- ・ 薄手のものと、分厚いものがあります。
- ・ しっかりと安定させたい場合には、布の裏側に、スプレー糊で接着してから、刺しゅう枠にセットするとよいでしょう。
- ・ ステッチが終了したら、注意して安定紙を裏側ではさみで切り取ります。
- ・ 刺しゅう箇所裏側には、安定紙が残った状態になります。

用途

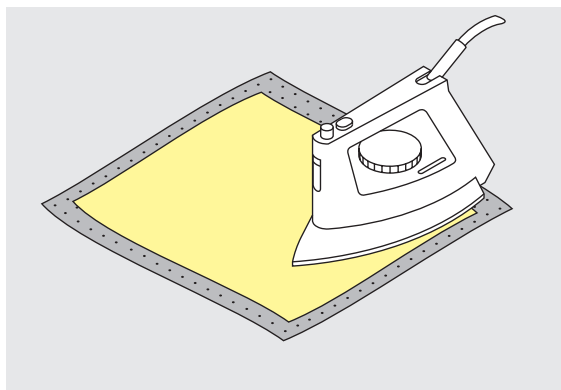
伸縮性のある布地、特にニットに最適です。

刺しゅう用安定紙 （スタビライザー）

アイロン接着芯

- ・ 使用前に、ぬるま湯に浸して、縮ませておく必要があります。
- ・ 布地の裏側にアイロンで接着します。
- ・ さまざまな厚さのものがあありますので、使う布地に適したものを選んでください。
- ・ あとからはがせるタイプのももあります。

デザインを刺しゅうする土台布を補強するものです。
安定紙と一緒に使用します。



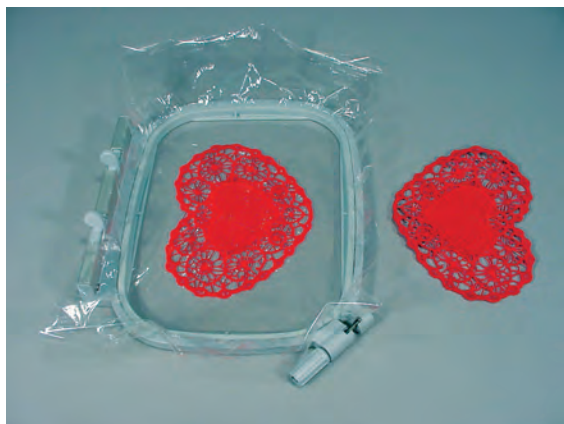
のり付き安定紙

- ・ 安定紙を刺しゅう枠にセットします。その際、紙の面を上にしておきます。
- ・ はさみのような先の尖ったものを使い、紙をはがすと、のりのついた面が出てきます。
- ・ 布をその上に固定して、刺しゅうします。

小さな布地や革、ジャージーやシルクのような、繊細な布地、またはベルベットやパイル地のように、刺しゅう枠にセットするのが難しい布地に使います。

ご注意

シール状の安定紙を使用した場合、針、針板、刺しゅう枠の周囲等に、べたべたが残っていないかどうか確認してください。

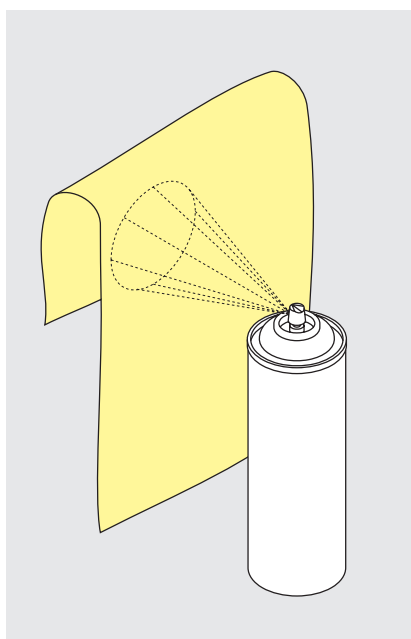


水溶性安定紙(タオル地またはレース刺しゅうに使用)

- ・ 水溶性安定紙は、食品ラップのような外見です。
- ・ 刺しゅうが完成したら、ぬるま湯につけて溶かします。
- ・ タオルのような、毛足の長い布地を使用する際には、最適の保護材です。
- ・ タオル等を裏側から安定紙で補強、水溶性安定紙を上にかぶせます。これによって、繊維が布目に沈み込んでしまって、ステッチの合間から土台布が見えてしまうのを防ぎます。
- ・ 必要ならば、スプレー糊で固定します。
- ・ 毛足の長い布地の場合には、必要に応じて複数の安定紙で裏側から補強しておきます。
- ・ レース刺しゅうの場合には、水溶性安定紙を複数枚重ねて、刺しゅう枠にセットします。(この場合、安定紙を溶かした後は、刺しゅうデザインのみが残ります)。
- ・ 水溶性安定紙を溶かした後は、デザインは平らな場所において、乾かします。
- ・ 水につけられない布地(ベルベット等)に重ねて使用した場合には、そっと破り取ることも可能です。

使い方

- ・ タオル、ベルベット、ブークレーニット等
- ・ 繊細で薄手の布地(オーガンジー、パティスト等)
- ・ ステッチ数の少ないデザインの安定紙として
- ・ レースデザインの作成には、厚手の水溶性安定紙を使用しましょう。



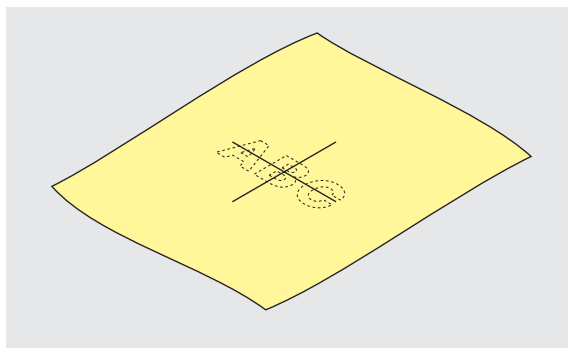
布地の補強用・スプレー糊

- ・ スプレー糊は、薄手の柔らかい布地、または目の粗い布地をしっかりとさせるのに最適です。
- ・ 刺しゅうしたい部分全体にスプレーします。乾くまで置いておくか、低温のアイロンで優しくドライします。
- ・ 水溶性安定紙等を、布地の裏側に使用します。

使い方

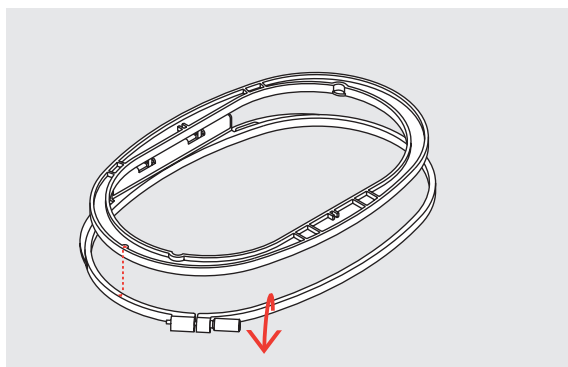
- ・ 薄手で、目の粗い布地に最適です。パティストや薄手の麻等。

土台布を刺しゅう枠にセットする



センタリング

- ・ 刺しゅうの土台布の中心点を決めます。
- ・ 布用ペンまたはチョークで、印をつけます。

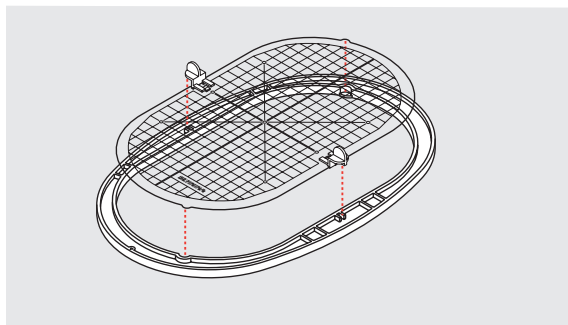


刺しゅう枠を使用するには

- ・ ネジをゆるめます。
- ・ 内側の枠を外します。
- ・ はめるときには、両方の枠についている矢印を合わせるようにします。
- ・ 矢印の位置は、中型、大型、特大型の枠では前中央に、小型の枠では、右側にあります。

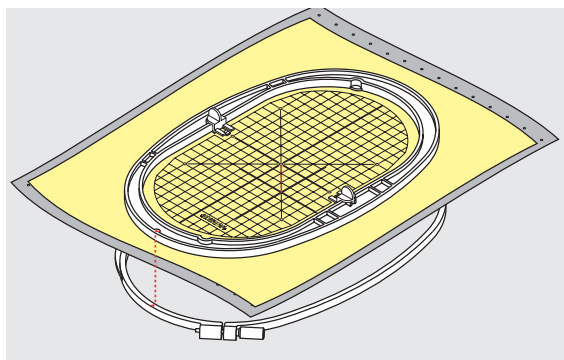


布を刺しゅう枠にセットする



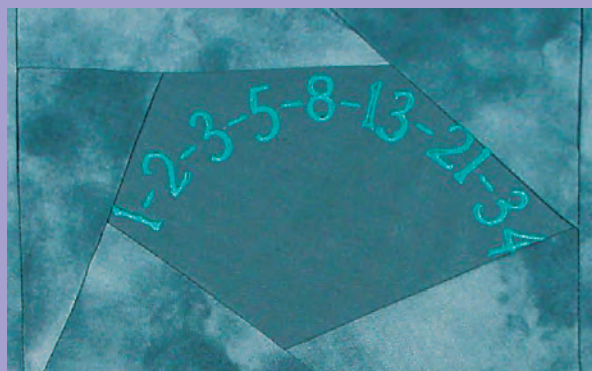
刺しゅう用テンプレート

- ・ 刺しゅう枠にはそれぞれテンプレートがついています。(小型の枠には、2枚)
- ・ 刺しゅう可能な範囲には、1センチ角の格子が描かれています。
- ・ 中心点および角部分には、穴が開いているので、ここを通して布地に印つけができます。
- ・ テンプレートは、「BERNINA」の文字がきちんと読める状態で、前面（矢印の横）にくるように、内側の枠にセットします。
- ・ テンプレートは、自動的に内側の枠に固定されます。
- ・ テンプレートを外す際には、小型および中型に関しては、指穴を使って外します。大型および特大型に関しては、取り付けクリップを外すようにします。



布を刺しゅう枠にセットする

- ・ 外枠の上に布地を置きます。
- ・ 布地にマークした中心点と、テンプレートの中心点を合わせて、内側の枠をセットします。
- ・ 内側と外側の枠の矢印を合わせます。
- ・ 内側の枠を布の上に押しつけて、はめ込みます。その際、ネジをゆるめて、布地をきちんと入れるようにしましょう。セットできたら、ネジをしめます。
- ・ テンプレートを外します。



デザイン 224

刺しゅう
デザインの配置
反転、サイズ変更等
コンビネーション

アルファベットーレタリング 234

レタリングについて
レタリングのコンビネーション

調整 240

デザインの色
デザインの変更

アプリケーション 243

フリーアーム刺しゅう
レース
ボーダー
シャドー刺しゅう

エンブroidリー

解説

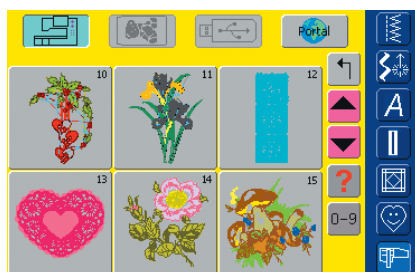
デザインはすべて、そのまま刺しゅうすることもできすし、また他の機能と組み合わせてアレンジすることも可能です。

デザインのコンビネーション以外にも、デザインを回転させたり、ステッチの数を変更したり、糸の色を変えてみたり、いろいろな楽しみ方があります。



デザイン・モチーフ

デザインに変更を加えず、そのまま刺しゅうする方法



デザインメニュー

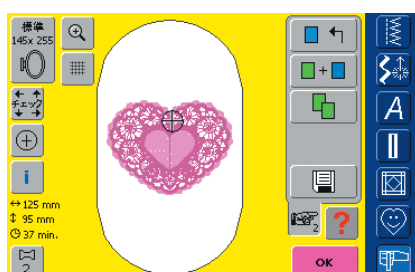
デザインの選択メニューに、各種のデザインが表示されます。

- ・ 〈?〉 (ヘルプ) 機能をタッチして、デザインを選択します。



- ・ 《デザインインフォメーション》の特殊画面で、以下の情報を見ることができます。

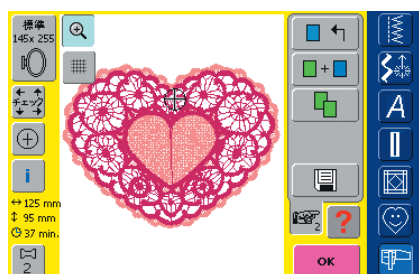
- ・ デザインの名称
- ・ 横幅
- ・ 縦幅
- ・ 刺しゅうに要する時間
- ・ ステッチの数
- ・ 色の数
- ・ 《開く》をタッチします。
- ・ 選択したデザインが、デザインメニュー編集 1 に表示されます。



刺しゅう枠の選択

選択したデザインにもっとも適切な (1 番小さい) 刺しゅう枠が、自動的に選択されます。

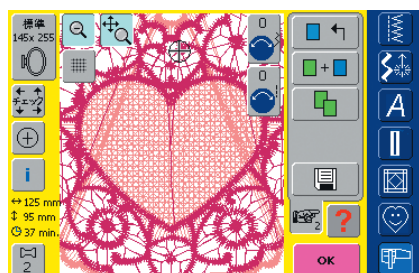
- ・ デザインは、画面上で、刺しゅう枠に収まった形で表示されます。
- ・ 《刺しゅう枠を選択》を押しても、刺しゅう枠が表示されます。



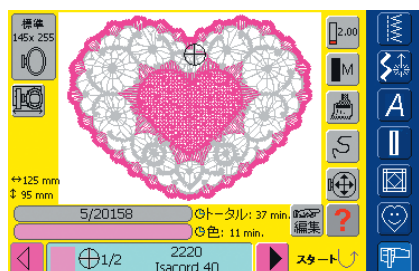
デザインの詳細（ディテール）を見る（ズーム機能）

デザインのディテールを見るには、ズーム機能を使います。

- ・ アイコンを一回タッチします。
- ・ デザインを一段階、拡大表示します。
- ・ アイコンをもう一回タッチします。
- ・ もう一段、拡大表示されます。加えて、《拡大したデザインをスクロールする》機能が表示されます。



- ・ 《拡大したデザインをスクロールする》をタッチします。
- ・ 振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・ 各部分の拡大版が表示されますので、それぞれの調整つまみを使って、縦横にスクロールして見ます。
- ・ 左右の移動は、振り幅調整つまみ。
- ・ 上下の移動は、送り長さ調整つまみで。
- ・ アイコンにもう一回（3回目）タッチすると、デザインはオリジナルサイズに戻ります。



刺しゅうデザイン

- ・ 刺しゅうメニュー（準備完了）を表示するには、デザインメニュー編集1で《OK》をタッチするか、または手元返し縫いボタンを押します。
- ・ 刺しゅうを開始することができます。

刺しゅうの開始については、204-205 ページをご覧ください。



刺しゅう枠リロケーター

- ・ この機能を使うと、針が刺しゅう枠の左端に非常に近い個所にある場合等、刺しゅう枠を一時的に移動できますので、糸通しが簡単になります。
- ・ アイコンをタッチすると、刺しゅう枠が中央に向かって、横方向に移動します。これで、糸通しが簡単にできます。



TIP

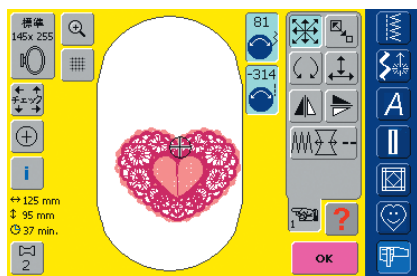
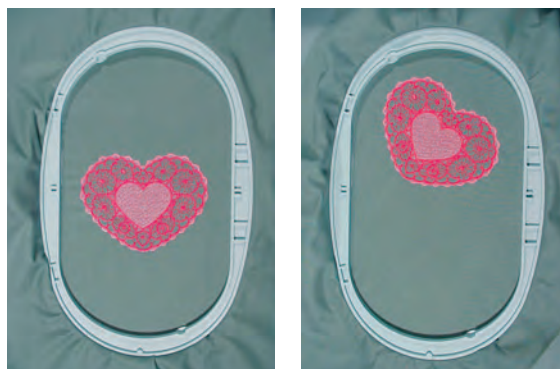
デザインの位置を決める

デザインの位置を決める

デザインを移動したり、回転したりして、刺しゅう枠の中の好きな場所に置きます。

準備

- ・ 選択メニューから、デザインを選択します。
- ・ デザインメニュー編集1に、デザインが表示されます。
- ・ «次ページへ»アイコンをタッチして、デザインメニュー編集2に移ります。



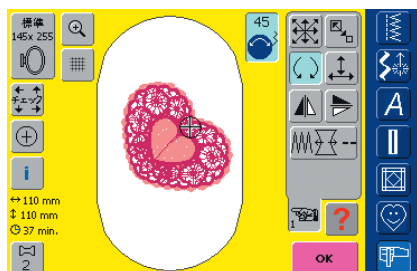
デザインを移動させる

デザインを好きな場所に置くことができます。

- ・ アイコンをタッチ。
- ・ 振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・ 左右の移動は、振り幅調整つまみで。
- ・ 調整つまみを右回りに回せば、デザインも右に移動します。
- ・ 調整つまみを左回りに回せば、デザインも左に移動します。
- ・ 操作ガイドボックスには、変更が10分の1 mm単位で表示されます。
- ・ 上下の移動は、送り長さ調整つまみで。
- ・ 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは上に移動します。
- ・ 時計と反対回りに回せば、下に移動します。
- ・ 操作ガイドボックスには、変更が10分の1 mm単位で表示されます。
- ・ デザインを斜めに移動したい場合には、振り幅および送り長さ両方の調整つまみを使用します。
- ・ 両方の操作ガイドボックスに同じ数値が表示されれば、デザインは45度の角度で斜めに移動します。
- ・ デザインを元の中心位置まで戻すには、操作ガイドボックスをタッチするか、「デザインの移動」を再度タッチします。
- ・ デザインが刺しゅう枠の外にはみ出してしまう場合には、刺しゅう枠が赤く表示されます。

ご注意

調整つまみをゆっくり回せば、デザインを段階的に移動することができます。(一目盛は1/10mm)



デザインを回転させる

デザインの角度を自由に変えられます。

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 振り幅調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・ 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは右回りに回転します。
- ・ 反時計方向に回せば、左回りに回転します。
- ・ 操作ガイドボックスには、回転の角度が表示されます。
- ・ デフォルトのセッティング(0°または360°)に戻すには、操作ガイドボックスに表示された紫の調整つまみアイコンをタッチします。
- ・ «デザインの回転»アイコンをタッチすると、デザインは時計回りに一回90度で右回転します。(0°、90°、180°、270°、360°)

ご注意

調整つまみをゆっくり回せば、デザインは、1度づつ回転します。



デザインの位置をチェック

《チェック》機能および《デザインセンター》機能を使えば、デザインの位置を、刺しゅうを始める前にチェックすることができます。



チェック

《チェック》機能では、取り付けられている刺しゅう枠のサイズおよびステッチできる範囲を見ることができます。

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 刺しゅう枠のサイズの読み込みが始まります。（刺しゅう枠が移動します。）
- ・ それから、ステッチできる範囲と選択したデザインのサイズを確認します。
- ・ 次に、刺しゅう枠が4ステップで移動し、デザインのステッチされる範囲が確定します。
- ・ 刺しゅう枠が左下コーナーに移動。
- ・ 次に右下コーナー。
- ・ 右上コーナー。
- ・ 左上コーナー。
- ・ 《OK》をタッチすれば、各位置を確定します。



デザインセンター（デザインの中心点）をチェックする

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ デザインの正確な中心点が表示されます。
- ・ 刺しゅう枠が移動して、針が中心点に落ちる位置で停止します。
- ・ 刺しゅう枠が取り付けられていない、または小さすぎる場合には、エラーメッセージが表示されます。
- ・ アイコンを再タッチすると、画面では、デザインの最初のステッチが、もう1度マークされます。

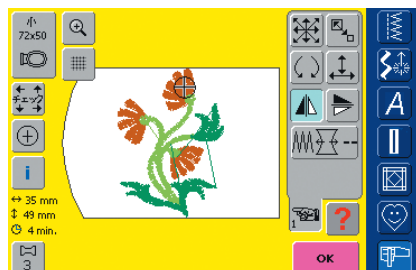
デザインの変更

デザインを反転させる

デザインはすべて、左右または上下に反転できます。

準備

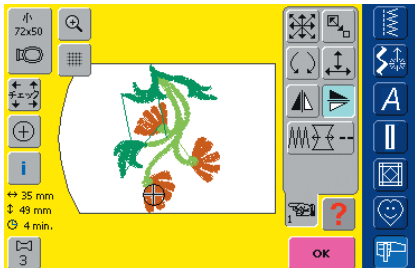
- ・ 選択メニューから、デザインを選択します。
- ・ デザインメニュー編集1に、デザインが表示されます。
- ・ 《次ページへ》アイコンをタッチして、デザインメニュー編集2に移ります。



デザインを左右に反転させる

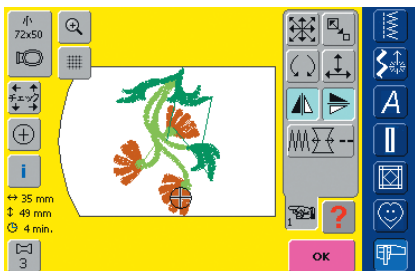
- ・ 《左右に反転》アイコンをタッチします。
- ・ デザインは、左右（縦方向）に反転した形になります。





デザインを上下に反転させる

- ・ 《上下に反転》アイコンをタッチします。
- ・ デザインは、上下（横方向）に反転した形になります。



デザインを上下左右に反転させる

- ・ 《左右に反転》および《上下に反転》の両方のアイコンをタッチします。
- ・ デザインは、上下左右に反転されます。



新しいデータを計算する



- デザインメニュー編集2から刺しゅうメニュー（準備完了）に移った後、
- ・ 《針数再計算》をタッチします。時間はかかりますが、最高の仕上がりになります。
 - ・ 時間を節約したい場合には、《単純サイズ変更》をタッチします。仕上がりはそれほどきれいにはいきませんので、90%から120%の間でサイズ変更したデザインのみを使用しましょう。
 - ・ 糸こまのスピニングしているマークは、デザインの変更を計算し直していることを示します。同時に、必要な場合元に戻せるように、デザインの保存を行います。
 - ・ パターンのサイズにより、保存に時間のかかる場合があります。
 - ・ 変更されたデザインは、それぞれメニューに表示されます。

ご注意

計算をしている間は、新しい作業ができません。



TIP



ヒント

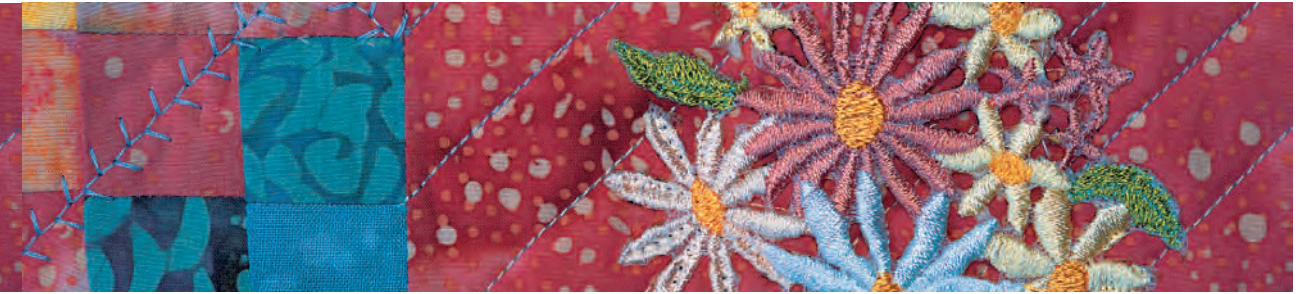
反転したデザインを回転させる
《反転》と《回転》を組み合わせると、すばらしいコンビネーションが作れます

TIP

ヒント

デザインを組み合わせる
反転したデザインと、しないデザインを組み合わせると、効果的なボーダー等がデザインできます。

デザインのコンビネーションについては、231 ページから233 ページをご覧ください。



デザインのサイズを変更する

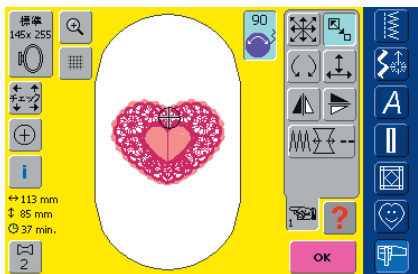
デザインはすべて拡大縮小したり、また縦方向、あるいは横方向のみにサイズ変更したりすることが可能です。

準備

- ・ 選択メニューから、デザインを選択します。
- ・ デザインが、デザインメニュー編集1に表示されます。
- ・ ≪次ページへ≫アイコンをタッチして、デザインメニュー編集2に移ります。

ご注意

縮小と拡大は 75%から 150%の範囲ですと、美しく仕上がります。



デザインをそのままの形で拡大縮小するには

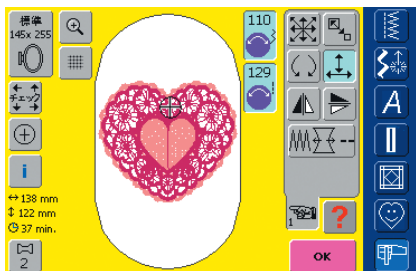
デザインのサイズを変更する

- ・ アイコンをタッチします。
- ・ 振り幅調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・ 調整つまみを時計回りに回せば、デザインは拡大されます。
- ・ 時計と反対回りに回せば、縮小されます。
- ・ 操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。
- ・ 標準（デフォルト）のセッティング（100%）に戻すには、操作ガイドボックスをタッチします。

ご注意

調整つまみをゆっくり回せば、サイズの変更も1%ずつ進みます。





デザインの高さまたは幅を調整する

デザインは、横方向または縦方向のみに拡大縮小することも可能です。

- ・アイコンをタッチします。
- ・振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・横のサイズを調整したい場合には、振り幅調整つまみを時計回りに回せば、デザインを拡大でき、反時計方向に回すと縮小できます。
- ・縦のサイズを調整したい場合には、送り調整つまみを時計方向に回せば、デザインは拡大され、反対回りに回すと縮小できます。
- ・操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。
- ・縦幅の調整は、送り長さ調整つまみで。



- ・操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。
- ・標準（デフォルト）のセッティング（100%）に戻すには、操作ガイドボックスをタッチします。

ご注意
調整つまみをゆっくり回せば、サイズの変更も1%ずつ進みます。

デザインサイズの表示

↔139 mm
↓124 mm

デザインの縦横のサイズが、画面にmm単位で表示されます。

サイズ変更後のデザインに適した刺しゅう枠を選択する



デザインのサイズに合わせて、刺しゅう枠を選択します。

- ・《刺しゅう枠の選択》をタッチします。
- ・そのデザインに使用できる刺しゅう枠のリストを載せた特殊画面が開きます。
- ・刺しゅう枠を選択すると、特殊画面は閉じて、選択した枠の中にデザインが入った形で表示されます。

新しいデータを計算するには

デザインメニュー編集2から刺しゅうメニュー（準備完了）に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

新しいデータの計算については、228ページをご覧ください。

デザインのコンビネーション（合成）

デザインを組み合わせ、まったく新しい刺しゅうのデザインを作成することができます。似たようなデザインでも、まったく違う雰囲気のものでも、合成することが可能です。また、デザインとレタリングのコンビネーションもよいでしょう。

こんな場合に使用すると効果的です。

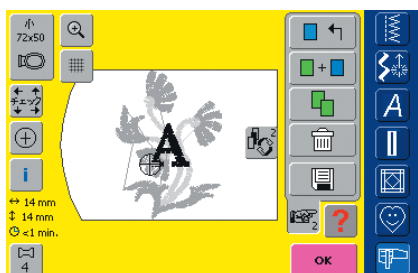
- ・ デザインのバリエーションを組み合わせる。
- ・ 新しいデザインを作成する。
- ・ ボーダーを刺しゅうする。
- ・ ロゴ、紋章、バッジ、ラベル等を作成する。

準備

- ・ 選択メニューから、デザインを選択します。
- ・ デザインメニュー編集1にデザインが表示されます。



コンビネーションの作成



他のデザインを追加するには

《デザインを追加する》の機能で、選択メニューにある他のデザインまたは文字を、今現在あるデザインに追加します。

- ・ 《デザインを追加する》をタッチします。
- ・ 選択メニューが開きます。
- ・ デザインまたは文字を選択します。
- ・ 選択したデザインは、少しだけフェイドアウトした感じの色で、デザインメニュー編集1の画面に表示されます。

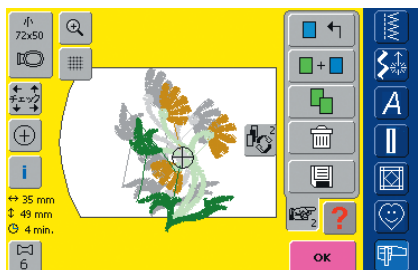
レタリングについては、234-239 ページをご覧ください。



デザインを複製するには

同じデザインのバリエーションを組み合わせるには、《複製》機能が便利です。

- ・ 《複製》をタッチします。
- ・ 複製とはコピーして張り付ける作業を同時に処理します。
- ・ 選択されているデザインが自動的に複製され、少しだけフェイドアウトした感じの色で、表示されます。



ご注意：

合成されたデザインを全て一緒に移動させるときは、画面上の動きがスローになることがあります。



デザインをコンビネーション（合成）するには

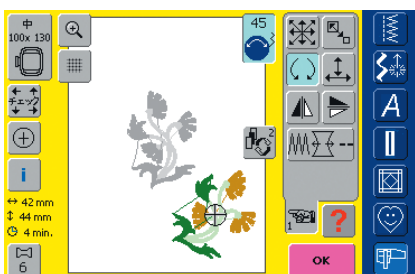
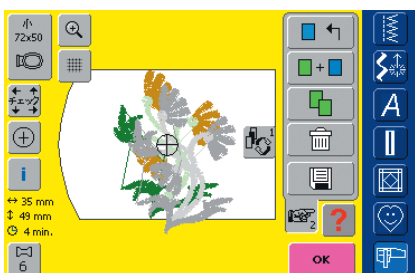
《デザインの移動》、《デザインの回転》、《デザインの反転》等の機能を使って、好きなようにコンビネーションを作成することができます。



デザインコンビネーションの中含まれるモチーフを選択するには

- ・ 《モチーフ検索》アイコンを、一回または複数回タッチします。
- ・ デザインの組み合わせを作る時に、一つのモチーフから他のものに移動するのに使います。
- ・ アクティブになったモチーフは、カラー表示されます。
- ・ 必要なモチーフがアクティブになるまで、《モチーフ検索》アイコンをタッチします。

ご注意
アイコンをタッチした回数によって、モチーフが一つ、またはデザインコンビネーションの全体がアクティブになります。



デザインコンビネーションの作成または変更

- ・ 《次ページへ》のアイコンをタッチすると、デザインメニュー編集2に変わります。アクティブなデザイン（カラー表示）に変更を加えて、コンビネーションを作成することができます。
- ・ 《デザインの移動》では、デザインを好きな場所に移動することができます。
- ・ その他、サイズ変更、回転、反転等の変更も可能です。

他の機能については、206-213 ページをご覧ください。

- ・ 画面には、すべての変更が直接表示されます。
- ・ デザインコンビネーションの中の他のデザインを変更したい場合には、《モチーフ検索》アイコンで、そのデザインをアクティブにした後、変更を加えます。



ご注意
《デザインの移動》機能（2度タッチ）で、複製したデザインを中央に配置できます。



ご注意
表示されている刺しゅう枠が小さすぎる場合には、《刺しゅう枠を選択》機能で、大きなものを選び直します。



デザインコンビネーションを変更する

新しいデザインを追加する

- ・ 他のデザインを追加、または画面のデザインを複製して貼り付ける方法は、《コンビネーションの作成》をご覧ください。

デザインに変更を加える

- ・ デザインメニュー編集 1 または 2 で、《モチーフ検索》アイコンをタッチします。選びたい部分がカラーで表示されるまで、タッチし続けてください。
- ・ デザインメニュー編集 2 にて、選択したデザインに修正を加えることができます。



デザインの削除

- ・ デザインメニュー編集 1 または 2 で、《モチーフ検索》アイコンをタッチします。選びたい部分がカラーで表示されるまで、タッチし続けてください。
- ・ デザインメニュー編集 1 で《削除》をタッチすると、選択したデザインが自動的に削除されます。

サイズ変更後のデザインに適した刺しゅう枠を選択する

刺しゅうを美しく仕上げるには、デザインのサイズに合った刺しゅう枠を選択することが重要です。

適した刺しゅう枠の選択に関しては、204 ページおよび 207 ページをご覧ください。

新しい刺しゅうデータを計算する

デザインメニュー編集 1 または 2 から刺しゅうメニュー（準備完了）に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

新しい刺しゅうデータの計算については、228 ページをご覧ください。

デザインの保存については、248-250 ページをご覧ください。



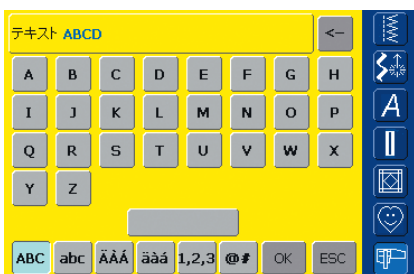
文字は他の文字やデザインとコンビネーションを作成して、刺しゅうすることができます。アーティスト730では、デザインメニュー編集2で、さまざまな変更を加えることができます。文字のサイズ変更はもちろんのこと、ベースラインも変更できます。横列に並んだ文字を、アーチ型にアレンジすることも可能です。

このようなものの刺しゅうに最適です。

- ・ 名前、モノグラムおよび住所
- ・ 単語およびテキスト
- ・ ロゴ、紋章、バッジ、ラベル等の作成
- ・ キルトラベルの作成



文字・レタリング



文字のコンビネーション

- ・ 選択メニューから、アルファベットを選択します。
- ・ キーボード付きの特殊画面が表示されます。
- ・ 《ABC》の大文字用オンスクリーンボタン（上列）が、自動的にアクティブになります。
- ・ 特殊画面には、レタリングに関するさまざまな機能があります。
- ・ 《大文字》機能
- ・ 《小文字》機能
- ・ 《特殊大文字》機能
- ・ 《特殊小文字》機能
- ・ 《数字》機能
- ・ 《特殊記号》機能
- ・ 必要な文字を選択します。
- ・ ブランクのスペースバーをタッチすれば、スペースを挿入することもできます。
- ・ テキストバーに、文字が表示されます。

ご注意

編集後のレタリングが、刺しゅう枠に収まらない場合には、レタリング全体を90度回転させます。（刺しゅう枠の縦方向ならば、かなりの文字数でもフィットします。）

文字の修正

- ・ どこか1文字を削除したい場合には、テキストバーの右側の矢印をタッチします。
- ・ 右から左に向かって、1文字ずつ削除されます。
- ・ テキストバーに表示されている文字すべてを削除したい場合には、テキストバーをタッチします。
- ・ 文字は完全に削除され、テキストバーは空白になります。

文字を確定する

- ・ 文字のコンビネーションは、《OK》で確定できます。デザインメニュー編集1に、確定した文字が表示されます。

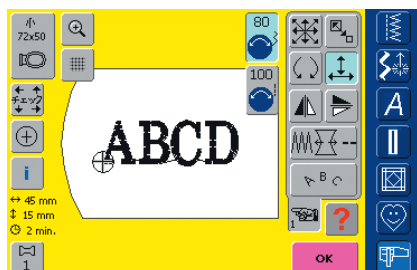
文字に修正を加える、または加えないままで刺しゅうする

- ・ 文字のコンビネーションは、そのまま刺しゅうすることも、他の機能を使って好きなように変更を加えることも可能です。

変更しないままで刺しゅうする方法は 204-205 ページ（デザインを変更しないで刺しゅうする基本的な手法）をご参照ください。

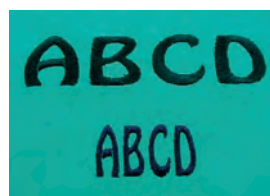
レタリングのサイズを変更する

変更は、デザインメニュー編集2で行ないます。



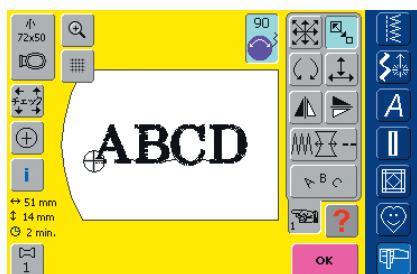
レタリングのサイズを変更する

- ・アイコンをタッチします。
- ・振り幅および送り長さ調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・左右のサイズ変更は、振り幅調整つまみで。
- ・上下は、送り長さ調整つまみで。
- ・操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。
- ・基本のセッティングに戻すには、操作ガイドボックスをタッチします。



レタリングの反転

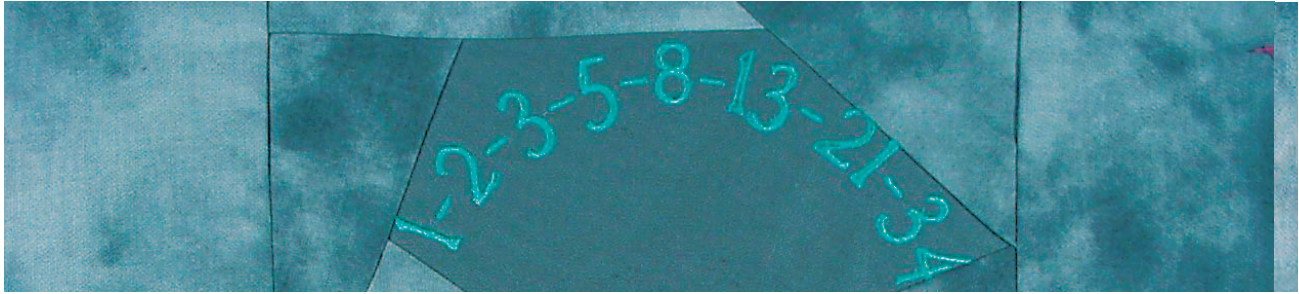
- ・《左右の反転》のアイコンをタッチすれば、デザインは左右に反転されます。
- ・《上下の反転》のアイコンをタッチすれば、デザインは上下に反転されます。



レタリングをそのままの形で拡大縮小する

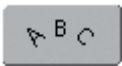
- ・アイコンをタッチします。
- ・振り幅調整つまみの操作ガイドボックスが表示されます。
- ・調整つまみを時計回りに回せば、デザインを拡大できます。
- ・反対回りに回せば、縮小できます。
- ・操作ガイドボックスには、変更がパーセンテージで表示されます。





レタリングをアーチ状に配置する

- ・ アイコンをタッチすると、特殊画面が表示されます。
- ・ アーチのアレンジを選択します。
- ・ ベースラインのカーブの下にレタリングを配置します。(時計と反対回りの配置)
- ・ ベースラインのカーブの上にレタリングを配置します。(時計回り)
- ・ ベースラインのカーブは、3種類の中から選ぶことができます。(緑色の○が大きいほど、カーブはゆるやかになります。)
- ・ ≪OK≫で確定します。
- ・ 特殊画面が閉じて、アーチ状のレタリングが表示されます。



縦または横のベースライン

- ・ アイコンをタッチすると、特殊画面が表示されます。
- ・ 縦または横を選択します。
- ・ ≪OK≫で確定します。
- ・ 特殊画面が閉じて、レタリングが選択したベースラインに沿って表示されます。



レタリングの移動

- ・ ベースラインを変更した後、プログラムしたテキストを刺しゅう枠の中心からずらすことができます。
- ・ アイコンを2回タッチして、テキストを刺しゅう枠の中心から移動します。



レタリングのサイズを直接入力で変更する

- ・ レタリング操作ボタンをタッチします。
- ・ 高さボックスの右端にある矢印を使って、レタリングの高さをmm単位で変更することができます。
- ・ 上方向の矢印で、サイズを大きくします。
- ・ 下方向の矢印で、サイズを小さくします。



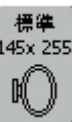
レタリングのスペースを変更する

- ・ 文字間のスペースを、スペースの矢印で、mm単位で変更できます。



フォントを変更する

- ・ フォント表示ボタンをタッチ。
- ・ 入力したテキストに関して、新しいフォントを選択できます。
- ・ フォントバーの右端にある矢印を使って、フォントスタイルを変更できます。



サイズ変更後のデザインに適した刺しゅう枠を選択する

刺しゅうを美しく仕上げるには、デザインのサイズに合った刺しゅう枠を選択することが重要です。

刺しゅう枠の選択については、204 ページおよび 207 ページをご覧ください。

新しいデータを計算する

デザインメニュー編集2から刺しゅうメニュー（準備完了）に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

- ・ 新しいデータの計算については、228 ページをご覧ください。

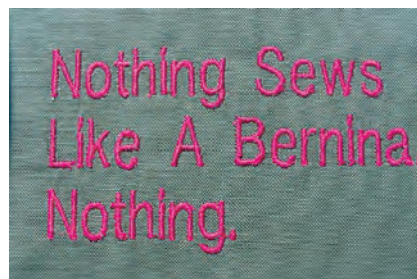
- ・ レタリングの変更の保存に関しては、248-250 ページをご覧ください。

レタリングのコンビネーション

レタリングは、他の文字やデザインと組み合わせることができます。

違う言葉を組み合わせる場合

文章の中の単語は、右の例のように一列毎にまとめられ、配置されます

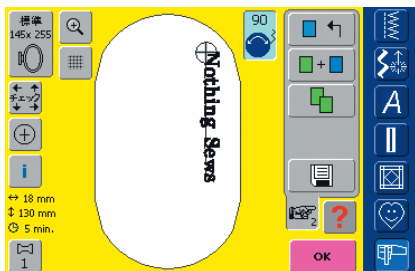


テキストの1行目を配置する

- ・ 選択メニューから、アルファベットのタイプを選択します。
- ・ キーボード付きの特殊画面が表示されます。
- ・ ここでは《Nothing Sews》と入れます。
- ・ 大文字ボタンまたは小文字ボタン、およびブランクのスペースバー等で、文章を作ります。
- ・ 文字のコンビネーションは、《OK》で確定できます。デザインメニュー編集1に、確定した文字が表示されます。
- ・ 《次ページへ》を選択すると、デザインメニュー編集2に移ります。

ご注意：

合成されたデザインを全て一緒に移動させるときは、画面上の動きがスローになることがあります。

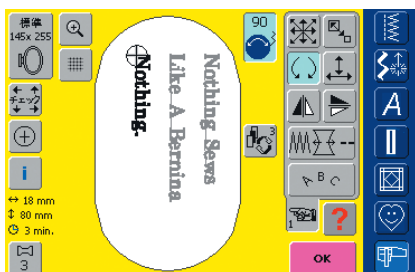


1 行目を配置する

- ・ 刺しゅう枠選択機能で、大型のだ円形の刺しゅう枠を選択します。
- ・ 《デザインの回転》機能で、テキストを90度回転します。
- ・ 《デザインの移動》機能で、テキストを好きな位置に配置します。
- ・ デザインが刺しゅう枠からはみ出してしまう場合、刺しゅう枠が赤く表示されます。

2 行目を以降を配置する

- ・ デザインメニュー編集1で、《デザインの追加》を選択します。
- ・ 2行目以降も、1行目と同様の手順で配置できます。
- ・ 行間のスペースを均一にするには、テキストラインを配置する際に、《デザインの移動》機能に表示される数字を確認、およびガイドライン機能をオンしておきます。



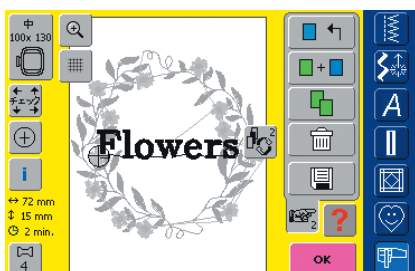
デザインとレタリングを組み合わせる

デザインを選択した後、レタリングを加えるか（デザインの中にレタリングがある形）、またはレタリングを最初に作成してから、デザインを加え（文字列をデザインで装飾する形）でもよいでしょう。

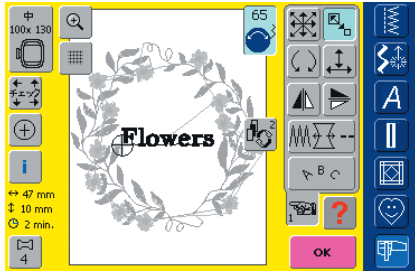


例にしたデザインの作成方法（デザインの中にレタリングがある形）

- ・ ミシンの中で、好きなデザインを選択します。
- ・ 選択したデザインは、デザインメニュー編集1に表示されます。
- ・ デザインメニュー編集1で《デザインの追加》を選択します。
- ・ 選択メニューから、アルファベットのタイプを選択します。
- ・ キーボード付きの特殊画面が表示されます。
- ・ テキストを入力します。（ここでは、Flowers）
- ・ 大文字または小文字ボタンを使って、レタリングを選択します。
- ・ レタリングを《OK》で確定すると、レタリングは、デザインメニュー編集1のデザインの上に、少しだけフェイドアウトした色で表示されます。



ご注意：
合成されたデザインを全て一緒に移動させるときは、画面上の動きがスローになることがあります。



文字列を、デザインに合わせて変更する

- ・ 《次ページへ》を選択して、デザインメニュー編集2に移ります。
- ・ 《デザインの移動》機能で、テキストを好きな場所に配置します。
- ・ 《デザインのサイズ変更》または《デザインを縦または横方向にサイズ変更》機能を使って、テキストのサイズを変更します。



新しいデータの計算

デザインメニュー編集2から刺しゅうメニュー（準備完了）に移ると、変更にしたがい、新しい刺しゅうデータが計算されます。

レタリングの保存については、248-250 ページをご覧ください。

新しいデータの計算については、228 ページをご覧ください。

デザインの色の編集

デザインのオリジナルの色を画面上で変更してみましょう。

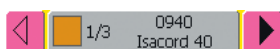
準備

- ・ 選択メニューから、デザインを選択します。
- ・ 選択したデザインは、デザインメニュー編集 1 に表示されます。



編集

デザインの色を変更する



- ・ デザインメニュー編集 1 または 2 で、《色の数》機能をタッチします。
- ・ 色デザインの画面が開きます。
- ・ 今現在の色、色の順番（最初の数字）、必要な色数（2 番目の数字）および選択した糸ブランドにおける色番号が表示されます。
- ・ 変更したい色が表示されるまで、矢印でスクロールします。
- ・ カラーインフォメーションバーをタッチします。



現在の糸色を変更するための特殊画面が開きます。

- ・ 糸ブランドを変更したい場合には、ブランド名の横の矢印をスクロールして、希望のものを表示します。
- ・ 糸色を変更したい場合には、希望の色が表示されるまで、糸色の横の矢印をスクロールします。
- ・ タッチしたカラーバーが、選択されています。（ブルーでハイライトされます。）



ご注意

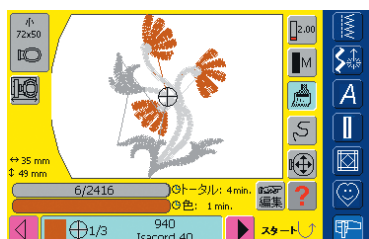
ある色をすぐに選択するには、《数字で色を選択する》の機能を使います。

- ・ 《OK》をタッチすると、選択した糸色および変更した糸のブランドが、カラーインフォメーションバーに表示されます。



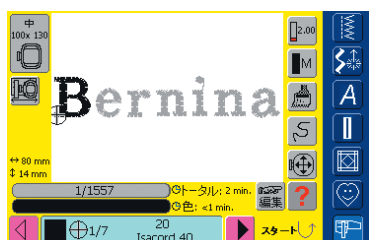
デザインを単色で刺しゅうするには

- ・ 刺しゅうメニュー（準備完了）で、《ブラシ》のアイコンをタッチします。
- ・ 《ブラシ》のアイコンをオンにします。（ブルーでハイライトされていれば、オンの状態です。）
- ・ デザイン全体の刺しゅうが完成するまで、ミシンは停止しません。

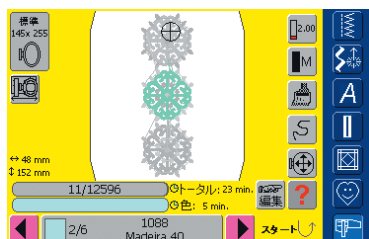


レタリングを多色で刺しゅうするには

- ・ 単色で刺しゅうする場合には、《ブラシ》アイコンは見えない状態（オフ）になっています。
- ・ 1文字ずつ、または1単語ずつ色を変えて刺しゅうするには、文字毎、または単語毎に分けてプログラムする必要があります。
- ・ 1色の刺しゅうが完了するたび、ミシンは自動的に停止します。
- ・ 糸を交換します。
- ・ 新しい色に交換するたび、その色の刺しゅうに要する時間が表示されます。
- ・ レタリング全体を単色で刺しゅうするには、表示されている《ブラシ》アイコンをタッチします。



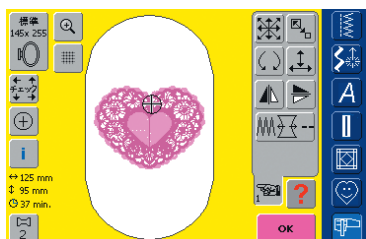
モチーフの組み合わせについては、231ページをご覧ください。



色別にセクションを分けて刺しゅうする、および色の順番をマニュアルで調整する

- ・ 特殊効果をねらうのならば、デザインを色別にセクション分けして刺しゅうする必要があります。（アウトラインのみを違う色にする、等）
- ・ 刺しゅうメニュー（準備完了）で、色の順番をスクロールして、希望の色を表示します。
- ・ カラーインフォメーションバー（カーソルのアイコンが表示されます）をタッチして、確定します。これで、針がその色の刺しゅうを開始する地点まで移動します。
- ・ 刺しゅうします。（その色の刺しゅうが完了すると、ミシンは自動的に停止します。）

デザインの調整



タオル、ベルベット等の特殊な布を使う場合や、通常より細い、または太い糸を使用する場合には、基本のセッティングでは、仕上がりがきれいにならないことがあります。試し縫いをしてみて、あまりよくない場合には、デザインメニュー編集2で、デザインのプロパティを調整してみましょう。

- ・ デザインプロパティの機能をタッチします。
- ・ 特殊画面が表示され、以下の項目を調整することができます。
 - ・ サテンステッチ密度：サテンステッチの密度変更できます。
 - ・ ステップステッチ密度：ステップステッチ密度を変更できます。
 - ・ ファンシーステッチ密度：ファンシーフィルステッチの密度を変更できます。
 - ・ 引きつれ補正：デザイン間のスペースの空きすぎ、または重なりを補正します。
 - ・ ステッチの長さ：アウトラインステッチの長さを調節します。

ステッチの密度を調整する

- ・ ステッチのタイプを指定します。(ステップ、またはファンシーフィルステッチのような飾りステッチ。)
- ・ «+»をタッチすると、ステッチの密度が濃くなります。
- ・ «-»をタッチすると、ステッチの密度が薄くなります。
- ・ «OK»をタッチして、入力を確認します。
- ・ スピンする糸こまの表示は、デザインが計算されていることを示します。
- ・ スピンする糸こまが消えると、デザインメニュー編集2が再表示されます。



ステッチタイプについては、216-217 ページをご覧ください。

布の引きつれ補正を調整する



- ・ アウトラインがきちんとできない、またはデザインがゆがんで刺しゅうされてしまう場合に使用します。
- ・ «+»をタッチすると、オブジェクト間またはアウトラインの余分なスペースを減らし、フィルステッチによって生じる布のつれを解消します。
- ・ «-»をタッチすると、オブジェクトまたはアウトラインの重なりを防止します。
- ・ «OK»をタッチして、入力を確認します。
- ・ スピンする糸こまの表示は、デザインが計算されていることを示します。
- ・ スピンする糸こまが消えると、デザインメニュー編集2が再表示されます。



ステッチの長さ（アウトライン）の変更

- ・ «+»をタッチすると、ランレングスが長くなります。
- ・ «-»をタッチすると、ランレングスは短くなります。
- ・ «OK»をタッチして、入力を確認します。
- ・ スピンする糸こまの表示は、デザインが計算されていることを示します。
- ・ スピンする糸こまが消えると、デザインメニュー編集2が再表示されます。

フリーアーム刺しゅう



フリーアーム刺しゅうは、レタリングおよび小さなデザイン(72mm×50mm程度)に使用します。

このような場合に使用します。

- ・ そで、ズボンのすそ、ソックスその他の筒状のものに刺しゅうするとき、便利です。



準備

- ・ ミシンと刺しゅう機の間に、アダプターをつけておきます。

アダプターの取り付けについては、200 ページをご覧ください。



応用テクニック

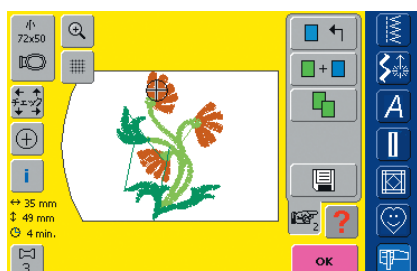


デザインの選択

- ・ デザインを選択します。小型刺しゅう枠の、刺しゅうできる範囲は、72X50mm です。
- ・ 必要場合は、デザインのサイズ変更を行ないます。
- ・ また、選択メニューから《?》(ヘルプ) 機能を選択して、デザインのサイズを確認しましょう。

ご注意

フリーアーム刺しゅうには、小さなデザインやレタリング、文字のコンビネーション等がよいでしょう。



- ・ デザインまたは文字を選択します。
- ・ 選択したデザインは、小型の刺しゅう枠に入った形で、デザインメニュー編集1に表示されます。
- ・ 必要ならば、デザインまたはレタリングに変更を加えます。
- ・ 変更を加える場合には、最大サイズが 72 X 50mm を超えないように注意してください。

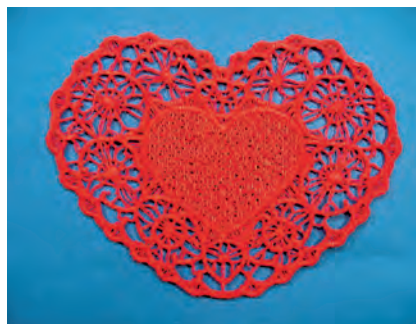
刺しゅうする

- ・ デザインメニュー編集1 または2から刺しゅうメニュー(準備完了)になると、《アダプターの認識》が表示されます。
- ・ ミシンにアダプターおよび小型の刺しゅう枠が取り付けられていることを確認します。
- ・ デザインを刺しゅうします。



レースを刺しゅうする

- ・ レース状のデザインは、布の上に直に刺しゅうすることも可能ですが、水溶性安定紙の上に刺しゅうして、《レース》本来の使い方をするのもよいでしょう。
- ・ 繊細な仕上がりにしたい場合には、細い糸を使用しましょう。クロシェットタイプの刺しゅうに仕上げるには、太めの糸を使います。



刺しゅうする

- ・ 不織布タイプの強度のある水溶性安定紙を使って刺しゅう枠にセットします。
- ・ デザインを刺しゅうします。
- ・ 安定紙を水またはぬるま湯につけて溶かしてから、ペーパータオルの上に置き、乾燥させます。

ご注意

ミシンにプログラムされているレースデザインは2種類ありますが、水溶性安定紙を使ったテクニックで作れるのは、写真上のハート型のものだけです。

TIP

ヒント

ボーダー等のレースデザインを水溶性安定紙に刺しゅうする場合には、安定紙の下にオーガンジー、ネットまたはチュールのような薄い布地のハギレを置きましょう。（安定紙を二重にする場合には、間に挟みます。）水溶性安定紙を洗い流し、乾燥した後、余分を切り取ります。

ボーダーを刺しゅうするには

- ・ ボーダーは、小さなデザインのいくつかの組み合わせ、または並んだデザインの一列から構成されています。
- ・ テーブルセンター、ベッドカバー、ドレープまたはスカートのすそ等に最適です。

準備

- ・ しつけ用ステッチ（21番）か、またはあとで消えるマーカーペン（必ずハギレで試してからにしましょう）を使って、ボーダーの中心をマークします。
- ・ ボーダーのサブディバイド（分割）をします。ボーダー全体の長さおよび、ボーダーに含まれるシングルデザイン、または連続デザインの長さを測ります。（デザイン一つのサイズは、ミシンに表示されます。）
- ・ ボーダー全体の長さを、シングルデザイン、または連続デザインの長さで割り、いくつのデザインが含まれるのかを計算します。
- ・ 出た余りの数値は、デザイン間の距離となります。（そのため、デザインの数は、実際よりも一つ少なく考えるようにします。計算の結果が、《8個のデザインまたは連続》となった場合には、《7個》としておきます。
- ・ デザイン間の距離を広げたい場合には、デザインの数を更に減らします。
- ・ 各デザインの中心点をマークします。
- ・ 連続模様のデザインの場合は、一つの模様の終点が、そのまま次の模様の縫い始めになるので、デザインの位置は自動的に決定されます。

刺しゅうする

- ・ 布を刺しゅう枠にセットするには、テンプレートを使います。（中心点および中心線をガイドとして使用します。）
- ・ デザインを刺しゅうしたら、布を枠から外して、次のマークを目安に、セットし直します。



TIP

デザインを配置する

ベルニナソフトウェアを使うと、デザインを実物大で印刷し、テンプレートとして使用することができます。デザインを布に直接印刷し、中心点または縫い始めをマークします。

または、デザインを土台布のハギレに刺しゅうし、印刷の代わりに、そのデザインをテンプレートとして使うこともできます。

TIP

刺しゅうを完成する前に、最初のステッチをチェックする

刺しゅうメニュー（準備完了）のカラーインフォメーションバーをタッチすると、刺しゅう枠が、今現在選択されている色の縫い始めの位置まで移動します。（カーソルのアイコンが、カラーインフォメーションバーに表示されます。）

TIP

メガフープ（オプション）

ボーダーの刺しゅうには、特大刺しゅう枠が便利です。通常の刺しゅう枠を使うよりも、布の入れ替えを少なくできます。



シャドー刺しゅう

同じ文字を2回、違う色で、前のものに微妙にずらして重ねるような感じで刺しゅうすると、シャドーをつけられます。



レタリングの作成

- ・ レタリングを作成します。

ステッチの数を減らす

- ・ レタリングを重ねて刺しゅうするため、ステッチの数を減らす方がきれいに仕上がります。
- ・ デザインメニュー編集2で、デザインのプロパティ機能を選択しておきます。
- ・ ステッチタイプを変更するための特殊画面が表示されます。
- ・ レタリングのステッチ数を減らすには、《-》をタッチして、《OK》で確定します。
- ・ 数を減らした度合いによって、レタリングの刺しゅうに隙間が開いたように見えることがあります。

レタリングについては、234 ページをご覧ください。



レタリングの複製

- ・ デザインメニュー編集1の《複製》機能で、レタリングをコピーします。
- ・ レタリングのコピーにも、ステッチの数の変更が反映されます。



コピーしたレタリングを移動する

- ・ レタリングのコピーを、デザインメニュー編集2で、好きな位置に配置します。
- ・ 配置の仕方によって、シャドーが大きく見えたり、小さく見えたりするので、効果をよく考えて配置しましょう。

デザインの色を変更する

- ・ デザインメニュー編集1 または2で、レタリングの色を変更します。

シャドー付きのレタリングを刺しゅうする

- ・ レタリングを刺しゅうします。

デザインの色の変更については、240 ページをご覧ください。

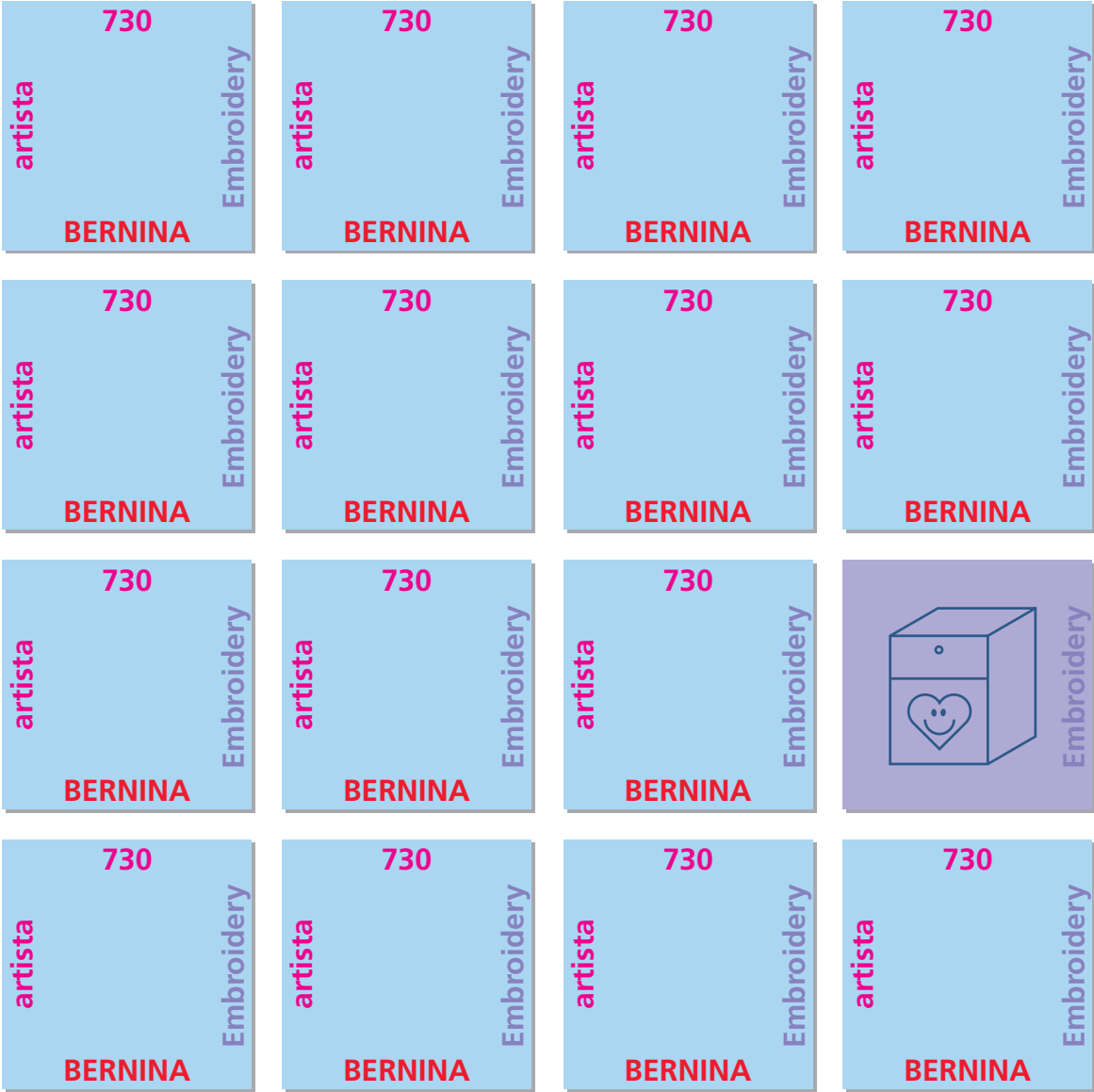
TIP
美しい仕上がりのために
必要ならば、ステッチの数によって、刺しゅうのスピードを
ゆるめます。

デザインの保存について 248

ミシンに保存するには
デザインカードに保存するには
デザインの上書き
ベルニナフラッシュメモリースティック
に保存するには

保存してあるデザインを削除する 251

保存してあるデザインの一つを削除する
保存してあるすべてのデザインを削除する



デザインの保存および削除について

デザインの保存について

ミシン、デザインカード、USB フラッシュメモリースティックまたはマイアーティスタポータルに含まれるデザイン、およびアーティスタソフトウェアで作成したデザインはすべて組み合わせたり、アレンジしなおしたり、とさまざまな変更を加えることができ、その後、保存することも可能です。デザインの保存は、ミシン本体、デザインカード、または USB フラッシュメモリースティックのいずれかに行います。

ミシンには、メモリーシステムがあり、ソーイングステッチのコンビネーションおよび《マイデザイン》の刺しゅう、それからパーソナルプログラム等を保存します。メモリーシステム内のスペースは、特に分割されていませんので、容量の残りがある限り、いくらでもデザインを保存することが可能です。メモリーの容量がなくなってしまった場合には、すでに保存済みのデザインまたはステッチの情報を削除すれば、新しいデザインを保存できます。



ミシン本体のメモリーに保存する

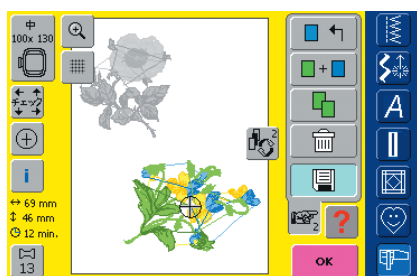
ご注意

保存されているステッチコンビネーションでは、個々のステッチを選択して、変更を加えることができます。

ご注意

サイズ、ステッチの数等の変更後に保存されたデザインは、新しい1個のデザインとして認識されます。そのため、今現在のサイズが100%と表示され、変更前のサイズ、ステッチの数は見られなくなります。

デザインを保存する



- ・ ミシン、デザインカードまたは周辺機器より、デザインを選択する。
- ・ 変更、または組み合わせで、コンビネーションを作成します。
- ・ デザインメニュー編集1で、《保存》をタッチします。

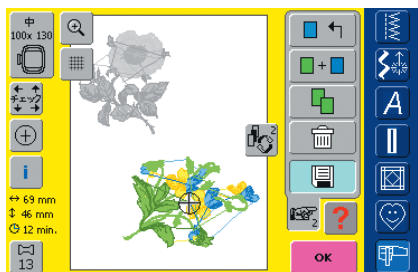


- ・ 保存すべきデザインは、画面左下に《無題》として表示されます。
- ・ 選択メニューから、刺しゅうミシンボタンを選択します。
- ・ デザインを保存したいフォルダー（アルファベット、デザイン、マイデザイン等）を選択します。
- ・ メモリーの残り容量が、フォルダー上のバーにパーセンテージで表示されます。
- ・ デザインを保存します。



- ・ キーボードの画面が表示されます。
- ・ デザインのフォルダーに名前をつけます。
- ・ ≪OK≫をタッチ。
- ・ デザインに名前がついて、≪マイデザイン≫のフォルダーの中に保存されます。(表示はアルファベット順になります。)

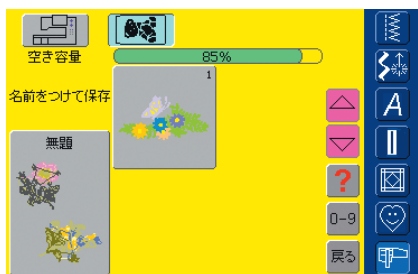
デザインカードへの保存



- ・ ブランクデザインカードは別売りです。ベルニナ正規販売代理店にお問い合わせください。
- ・ ミシン、デザインカードまたは周辺機器より、デザインを選択する。
- ・ 変更、または組み合わせて、コンビネーションを作成します。
- ・ デザインメニュー編集1で、≪保存≫をタッチします。



- ・ 刺しゅうカードについては、263 ページをご覧ください。

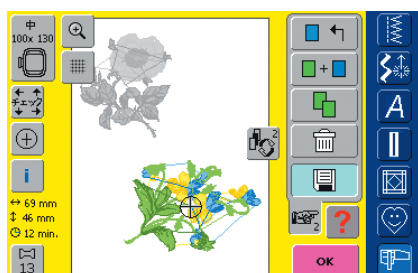


- ・ 保存すべきデザインは、画面左下に≪無題≫として表示されます。
- ・ デザインカードを挿入します。
- ・ 選択メニューから、デザインカードボタンを選択します。
- ・ デザインを保存したいフォルダー（アルファベット、デザイン、マイデザイン等）を選択します。
- ・ メモリーの残り容量が、フォルダー上のバーにパーセンテージで表示されます。
- ・ 保存したいデザインを選択します。

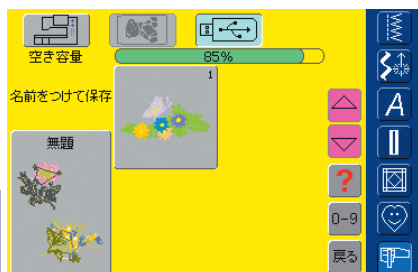


- ・ キーボードの画面が表示されます。
- ・ デザインのフォルダーに名前をつけます。
- ・ ≪OK≫をタッチ。
- ・ デザインに名前がついて、選択したフォルダーの中に保存されます。(表示はアルファベット順になります。)

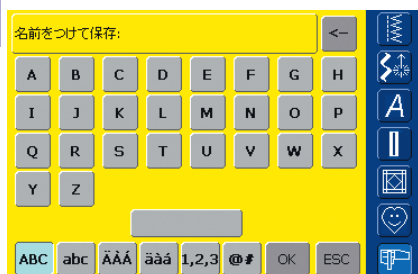
USB フラッシュメモリースティックに保存する



- ・ベルニナブランドの USB フラッシュメモリースティックがオプションでご用意されています。最寄りのベルニナ正規取扱店にお問い合わせください。
- ・ミシン、刺しゅうカードまたは他のデータ集から刺しゅうデザインを選択します。
- ・必要ならば、編集、組み合わせ等の作業を行います。
- ・編集画面 1 で、「保存」を押します。

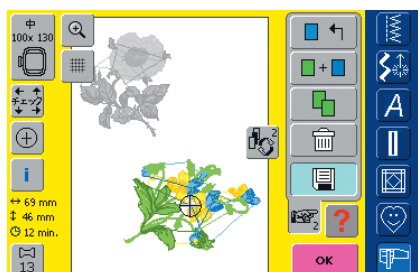


- ・保存したいモチーフは「無題」で、画面左側に表示されます。
- ・フラッシュメモリースティックを接続、「USB スティック」を選択します。
- ・デザインの上にあるグリーンのバーに、使用されているメモリーの量がパーセンテージで表示されます。
- ・保存したいデザインを選びます。

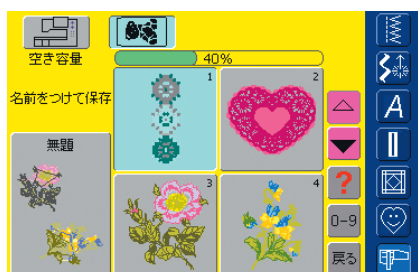


- ・スクリーン上にキーボードが表示されます。
- ・デザインの名称を入力します。
- ・「OK」を押します。
- ・これで、デザインはフラッシュメモリースティックにアルファベット順で保存されます。

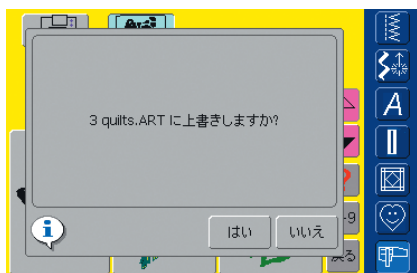
デザインを上書きする



- ・《マイデザイン》、デザインカードまたは USB フラッシュメモリースティックに保存されたデザインの上に、新しいデザインを直接上書きすることができます。
- ・ミシン、デザインカードまたは周辺機器より、デザインを選択する。
- ・変更、または組み合わせで、コンビネーションを作成します。
- ・デザインメニュー編集 1 で、《保存》をタッチします。

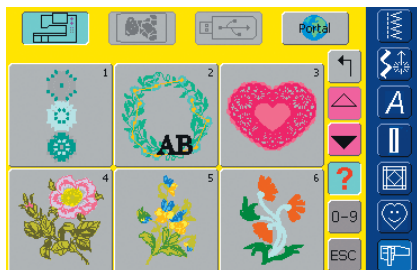


- ・保存するべきデザインは、画面左下に《無題》として表示されます。
- ・選択メニューから、デザインカードボタン（事前にデザインカードをセットしておく）、メモリースティックボタン（事前にメモリースティックをセットしておく）、または刺しゅうミシンボタンを選択します。
- ・上書きしてもよいデザインをタッチします。



- ・ 《3quilts.ART を書き込みしますか?》のメッセージが表示されます。
- ・ 《イエス》で確定します。デザインを保存します。
- ・ 保存したいデザインを選択します。
- ・ 書き込まれた元のデザインの名前で、選択したフォルダーの中に保存されます。(表示はアルファベット順になります。)

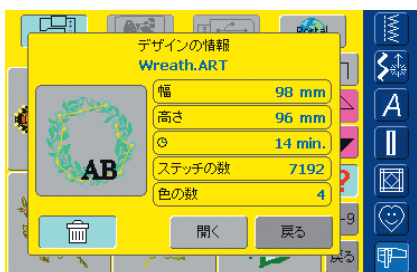
保存したデザインを削除する



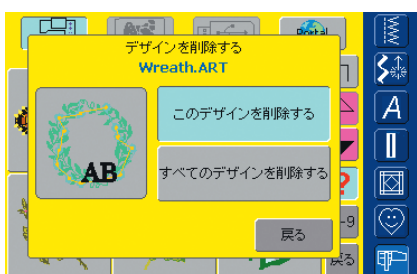
- ・ 選択メニューから、デザインカードボタン（事前にデザインカードをセットしておく）、メモリースティックボタン（事前にメモリースティックをセットしておく）、または刺しゅうミシンボタン、およびデザインを保存したいフォルダー（アルファベット、デザイン、マイデザイン等）を選択します。
- ・ デザインメニューで、《?》（ヘルプ）ボタンをタッチします。
- ・ デザインを選択します。



保存したデザインを削除する



- ・ 選択したデザインの情報を載せた特殊画面が開きます。左下には、削除ボタンが表示されています。
- ・ 《削除》をタッチします。



- ・ 特殊画面が開きます。
- ・ 《このデザインを削除します》をタッチします。
- ・ 《本当にこのデザインを削除しますか?》のメッセージが表示されます。
- ・ 《イエス》で確定します。
- ・ これでデザインは削除されました。

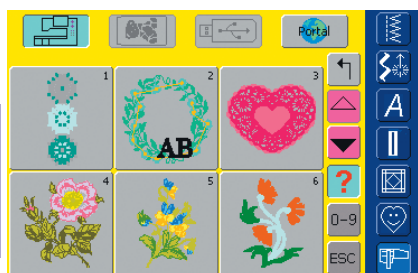
ご注意

ミシン内蔵のデザインを削除または書き込んでしまった場合には、同梱の USB データスティックからダウンロードすれば、データを回復できます。

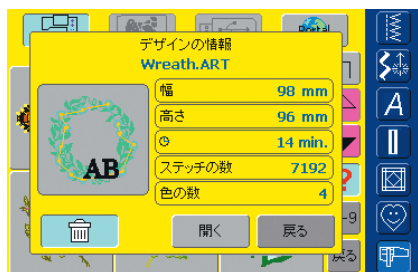
保存した全てのデザインを削除するには



- ・ デザインカード、USB フラッシュメモリースティックまたはミシンに保存されている内容、またはミシンに保存されているフォルダーを丸ごと、一気に削除することもできます。
- ・ デザインカードの内容を削除するには、デザインカードを挿入してから、メニューで《デザインカード》を選択します。
- ・ USB フラッシュメモリースティックの内容を削除するには、スティックをセットしてから、メニューで削除の作業を行います。
- ・ ミシンに保存されたフォルダーの内容を削除するには、メニューで《ミシン》を選択し、それからフォルダー（アルファベット、デザイン、マイデザイン等）を選択します。



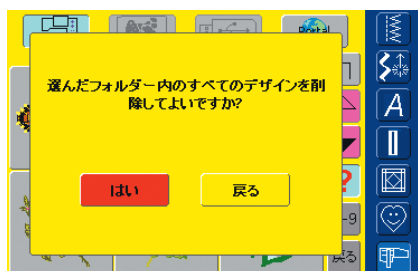
- ・ <<?>>（ヘルプ）ボタンをタッチします。
- ・ デザインを選択します。



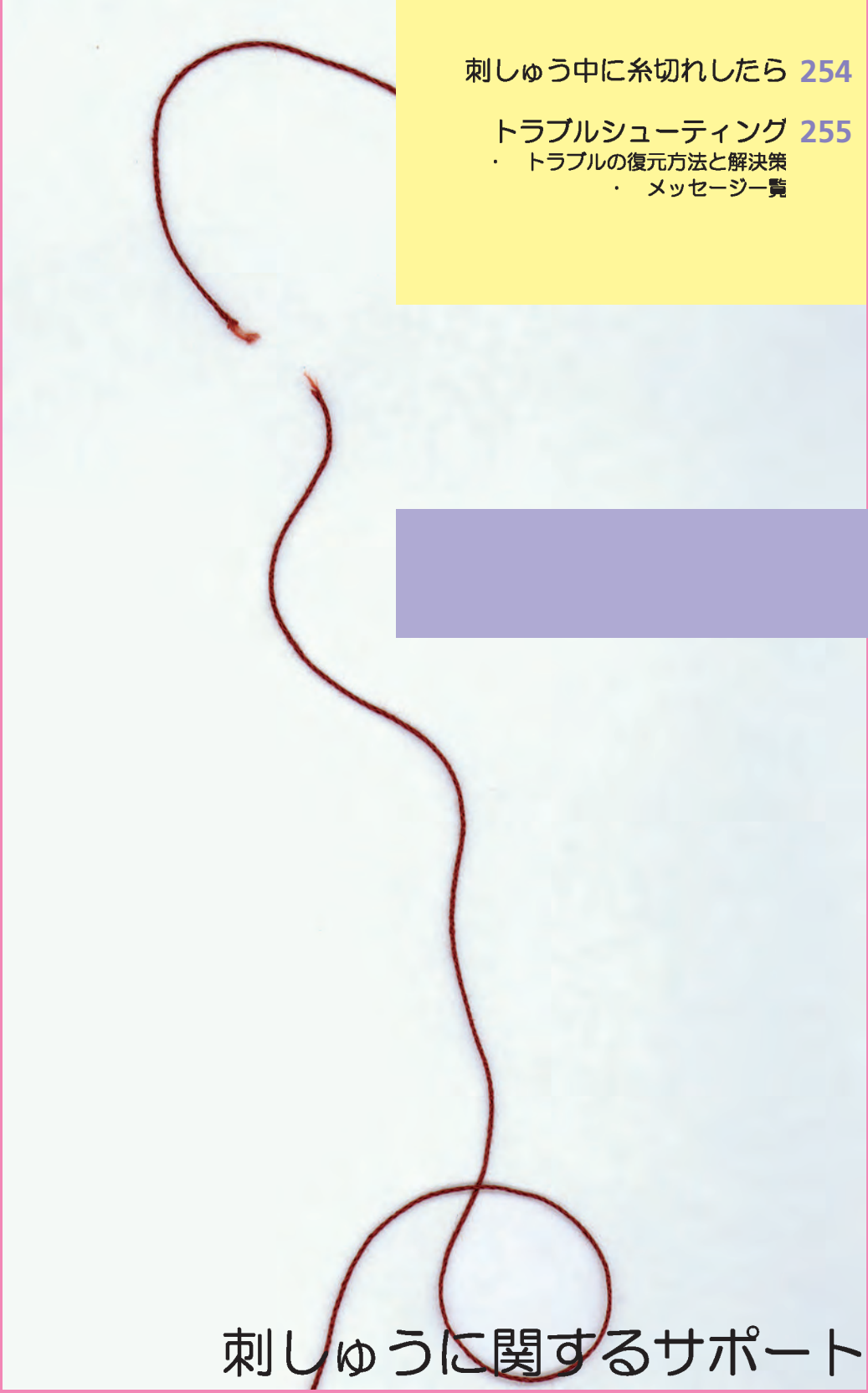
- ・ 選択したデザインの情報を載せた特殊画面が開きます。左下には、削除ボタンが表示されています。
- ・ <<削除>>をタッチします。



- ・ 特殊画面が開きます。
- ・ <<すべてのデザインを削除します>>をタッチします。



- ・ <<本当にすべてのデザインを削除しますか?>>のメッセージが表示されます。
- ・ <<イエス>>で確定します。
- ・ これでデザインカードまたは USB メモリースティック内のフォルダーに保存されていた、すべてのデータが削除されました。



刺しゅう中に糸切れしたら 254

トラブルシューティング 255

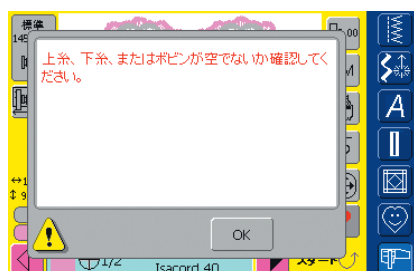
- ・ トラブルの復元方法と解決策
- ・ メッセージ一覧



刺しゅうに関するサポート

刺しゅうの途中で、上糸または下糸がなくなってしまう、または切れてしまうというのは、よくあることです。上糸および下糸センサーをオンにしておけば、そのような場合にはミシンが自動的に停止します。

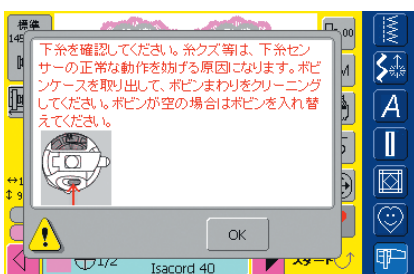
セットアップで上糸および下糸センサーをオンにする方法については、172 ページをご覧ください。



上糸が切れた場合

- ・ 上糸がなくなったり、切れたりした場合には、ミシンは自動的に停止します。
- ・ 画面にメッセージが表示されます。
- ・ 上糸および下糸をチェックして、かけ直します。
- ・ ≪OK≫をタッチして、刺しゅう画面に戻ります。

刺しゅうの途中で糸が切れたとき



下糸がなくなった場合

- ・ 下糸がなくなった場合には、ミシンは自動的に停止します。
- ・ 画面にメッセージが表示されます。
- ・ 下糸をチェックして、必要ならば巻き直します。
- ・ ≪OK≫をタッチして、刺しゅう画面に戻ります。

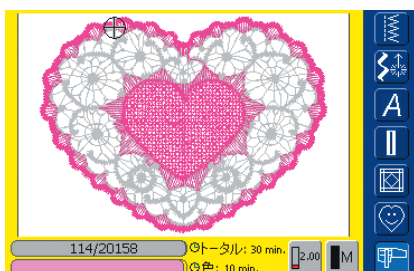
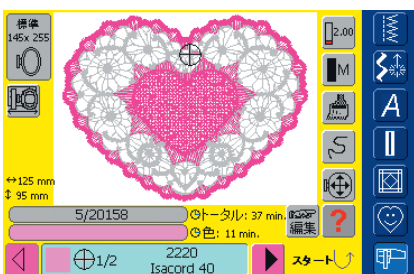
ご注意：

ボビンを逆回転方向にセットしたり、間違ったボビンケースをつかっていると、このメッセージが表示されます。14 ページを参照してご確認ください。

針目のトレース

糸切れの後、刺しゅうの順番をコントロールするには

- ・ 針目トレースのアイコンをタッチします。
- ・ 糸が切れた箇所を見やすいように、モチーフが拡大表示されます。
- ・ 操作ガイドボックスが表示されます。
- ・ 針目を一針毎にトレースするときは、振り幅調節つまみを時計回り（または反対回り）に回して、刺しゅうの順番に従い前後に針目を追跡します。
- ・ 針目を早く動かしたいときは、送り調節つまみをゆっくり回して、刺しゅう枠を 100 針ごとに速く移動することが可能です。
- ・ 糸切れした箇所から数針戻ったところまで戻します。



刺しゅうを再開する

- ・ フットコントローラーまたは手元返し縫いボタンを押して、刺しゅうを再開します。
- ・ 刺しゅう画面が、再表示されます。
- ・ デザインを仕上げます。

困った時は・・・トラブルシューティング

刺しゅうミシンを使う際、よく起こる間違いについては、以下をご参照ください。

初めにチェックしましょう

- ・ 上糸および下糸のかけ方に間違いはないか
- ・ 針のセットに間違いはないか。針の平らな部分が、後ろ側です。
- ・ 針のサイズは正しいか（詳しくは 17-19 ページ「針および糸の一覧表」をご覧ください。）
- ・ ミシンの釜付近が綺麗に掃除されているか。糸くず等は残さないようにしましょう。
- ・ 定期的に針板を外して掃除されているか。
- ・ テンション皿またはボビンケース内のスプリングの下に糸くずがはさまっていないか。

挟まった糸を取り除く

下糸がぶつんと切れてしまい、糸が糸取りレバーのあたりに挟まってしまった場合には、以下のようにします。

- ・ 電源をオフにする。
- ・ ミシンのヘッドカバーのネジを、アクセサリーの L 型レンチで外す。
- ・ ヘッドカバーを左側に引くようにする。
- ・ 糸くずを取り除く。
- ・ ヘッドカバーを取りつけて、ネジを締める。

上糸が切れる

考えられる原因

- ・ 上糸調子が強すぎる
- ・ 針の品質に問題がある。針は、ベルニナ製のものを使いましょう。
- ・ 針を確認して下さい。針の平らな部分が後ろ側です。
- ・ 針先に傷がある、または針が曲がっている。
- ・ 糸の品質に問題がある、糸にこぶが多かったり、糸けはがひどい、糸が古い、または乾燥しすぎている。

解決方法

- ・ フォームパッドを取りつけましょう。
- ・ 正しい糸こま押さえを使いましょう。
- ・ 糸の送りを均一にするために、ネットを使いましょう。（上糸のスプールの上にかけます。）
- ・ 針板の穴または釜のチップが損傷している。その場合は、ベルニナ正規販売店にご相談ください。
- ・ 刺しゅうのスピードをゆるめる。

下糸が切れる

- ・ 下糸調子が強すぎる。
- ・ 下糸が、ボビンケースにはさまっている場合は、ボビンを入れ直します。
- ・ 針先が鈍っている、または針が曲がっている。
- ・ 針板の穴が、針で損傷している場合、専門家による処置が必要ですので、ベルニナ正規販売代理店にご相談ください。

針目が飛ぶ

- ・ 間違った針を使用している。ベルニナ純正の 130/705H 番手の針を使いましょう。
- ・ 針が曲がっているか、針先が鈍い、またはセットの仕方が悪い。針は、きちんと最後まで差し込まれていますか。
- ・ 品質の悪い、さびた針を使っている。

針が折れる

- ・ 針クランプのネジがゆるい。
- ・ 針板に問題がある。

針目が揃わない

- ・ テンション皿の間に糸くずが挟まっている。その場合は、折りたたんだ薄い布の折り目部分（布端部分ではありません）をテンション皿に挟んで、前後に動かし、掃除します。
- ・ ボビンケーススプリングの下から、糸くずを取り除きます。
- ・ 糸調子を調整します。
- ・ 安定紙が合わない、または安定紙を使っていない。
- ・ 糸のかけ方が間違っているかもしれません。上糸と下糸をチェックしましょう。

トラブルシューティング



- ・ 刺しゅうの際には、下糸をつのにも通しておきましょう。
- ・ 正しい糸こま押さえを使いましょう。
- ・ 釜を掃除して、注油しましょう。（必ず純正品のオイルを使うようにしてください。清掃および注油に関しては、185 ページをご覧ください）

ミシンが動かない、またはスピードが遅い

- ・ 電源プラグがきちんと差し込まれていない。
- ・ 電源スイッチが、《O》（オフ）になっている。
- ・ ミシンのある部屋の温度が低い。摂氏 5° 以下の気温では正常に作動しない場合もあります。

ソーイングライトが点灯しない

- ・ ベルニナ正規販売代理店にご相談ください。

下糸センサーが作動しない

- ・ 釜カバーが開いている。
- ・ セットアッププログラムで、オンにしていない。
- ・ ボビンケースの中の糸くずを取り除く。
- ・ ボビンをセットする方向を間違っている。（14 ページ参照）
- ・ 間違った全回転釜用のボビンケースを使っている。

上糸センサーが作動しない

- ・ セットアッププログラムで、オンにしていない。

スクリーン・メッセージ

アーティスト 730 から以下のようなメッセージでアプリケーションや機能に関する注意、警告または確認の意味で、ユーザーとコミュニケーションが取られます。

以下に掲載したメッセージは、刺しゅう機からのメッセージのリストです。このようなメッセージが出された場合、指示に従って対処してください。

ミシンに関するメッセージについては、189ページをご覧ください。

メッセージ

- ・ 《刺しゅうからソーイングに転換できません。貼り付け作業を終了して、《編集》ボタンを押し、前画面に戻ります。これでソーイングに移る準備ができました》
- ・ 《押えまたは針の高さがが間違った位置にあるため、刺しゅう枠を取り付けられません》
- ・ 《送り歯を下げてください》
- ・ 《刺しゅう枠を大きなものに換えてください》
- ・ 《カードの取り出しに失敗しました。データが失われたおそれがあります。カードの取り出しは、取扱説明書に従ってください》
- ・ 《針落ちポイントが、刺しゅう可能な範囲を外れています。》
- ・ 《次のステッチが刺しゅう可能な範囲を外れた部分にあります。布を刺しゅう枠にセットし直し、デザインの位置を変えてください》
- ・ 《メガフープを上位置（1）に移動し、押えを上げてOKを押してください。ポジションの自動計測が開始されます》
- ・ 《メガフープを中位置（2）に移動し、押えを上げてOKを押してください。ポジションの自動計測が開始されます》
- ・ 《メガフープを下位置（3）に移動し、押えを上げてOKを押してください。ポジションの自動計測が開始されます》
- ・ 《針を1番高い位置に上げてください》
- ・ 《刺しゅう機を取り付けてください》
- ・ 《刺しゅう機が認識されていません》
- ・ 《刺しゅうカードが認識されていません》

説明

刺しゅうメニュー（準備完了）画面からソーイングモードに転換することはできません。「編集」を押して、編集画面に戻してください。

押え金および針基線を確認してください。

送り歯ドロップキーを押してください。送り歯の位置が変われば、メッセージは自動的に消えます。

デザインのサイズが、取り付けられている刺しゅう枠に合いません。

作業進行中は、刺しゅうカードをミシンから取り出しはけません。

縫い始める前に、デザインを移動して、刺しゅう枠に収まるようにしてください。

メッセージの指示に従ってください。

特大刺しゅう枠をポジション1（上）に移動してください。

特大刺しゅう枠をポジション2（中央）に移動してください。

特大刺しゅう枠をポジション3（下）に移動してください。

針を一番上の位置まで、手で押し上げてください。

刺しゅう機を取り付けてください。

刺しゅう機とミシンの接続を確認してください。

刺しゅうカードを一旦取り外してから、再度挿入してください。必要ならば、他のカードでお試してください。



メッセージ

説明

- ・ 《刺しゅうモードが選択されました。送り歯を下げて、押え15番または26番を取りつけ、押えを上へ上げてください。刺しゅう枠を取りつけている場合は、外して下さい。《OK》を押すと、刺しゅう機のアームが動きます。》
メッセージの指示に従ってください。
- ・ 《取りつけられている刺しゅう枠は、このデザインには小さすぎます。《編集》ボタンを押して前画面に戻り、刺しゅう枠を交換するか、デザインを縮小してから、《OK》を押してください》
メッセージの指示に従ってください。
- ・ 《刺しゅう枠が標準刺しゅう枠からフリーアームタイプ（またはその反対）に変更されています。《チェック》ボタンを押して、刺しゅうデザインの再計測を実施してください》
刺しゅうデザインは、刺しゅうモードでしか縫うことができません。
- ・ 《ADX（アーティスト・データ・エクスチェンジ）：デザインを刺しゅうするには、刺しゅうモードに転換してください。》
刺しゅうデザインは、刺しゅうモードでしか縫うことができません。
- ・ 《刺しゅう枠にデザインが入りきりません。》
デザインのサイズを縮小するか、空き容量のある USB スティックを使って保存します。
- ・ 《左下部分が、刺しゅう枠からはみ出しています》
デザインのサイズを縮小するか、もっと大きな刺しゅう枠をお使いください。
- ・ 《右下部分が、刺しゅう枠からはみ出しています》
デザインを縮小、または移動して刺しゅう枠内に収めてください。
- ・ 《右上部分が、刺しゅう枠からはみ出しています。》
デザインを縮小、または移動して刺しゅう枠内に収めてください。
- ・ 《左上部分が、刺しゅう枠からはみ出しています》
デザインを縮小、または移動して刺しゅう枠内に収めてください。
- ・ 《刺しゅうが完了しました》
刺しゅう枠を外して、布を取り外してください。
- ・ 《上糸および下糸をチェックしてください。糸切れやボビンが空になっていませんか》
必要に応じて、上糸および下糸を確認してください。
- ・ 《下糸をチェックしてください。ボビン回りの糸くずを清掃し、ボビンが空の場合は、巻いてください》
メッセージの指示に従ってください。または、ボビンのセットが間違っていないか確認して下さい。
- ・ 《押えを下げてください》
押え金を下げれば、メッセージは自動的に消えます。
- ・ 《押えを上げてください》
押え金を上げれば、メッセージは自動的に消えます。
- ・ 《糸かけを簡単にするために、押えを下げてください》
押え金を下げてください。
- ・ 《ミシンと刺しゅう機に異常が発生しました。最寄りの買い上げ店にご連絡ください》
お近くのベルナ正規代理店にお問い合わせください。
- ・ 《起動時にエラーが発生しました。ミシンを再起動させてください。問題が続く場合には最寄りの買い上げ店にご連絡ください。》
ミシンの電源を一旦オフにしてから、再びオンにしてください。
- ・ 《ベルナモデムが認識できません。モデムを入れ直して、もう一度トライしてください》
モデムが認識されていません。モデムを取り外し、付け直してください。



メッセージ

- ・ 《電話回線に繋がりません。電話線が正しく繋がっているか、またプロバイダーの電話番号を確認の上、再度トライしてください》
- ・ 《プロバイダーと接続できませんでした。ユーザーネームとパスワードを確認してください》
- ・ 《プロバイダーとの接続が切断されました。あとでもう一度トライするか、別のプロバイダーを使ってください》
- ・ 《モデムに何らかの不具合が起きました。もう一度トライしてください》
- ・ 《マイアーティスタポータルでのファイルの保存、または削除ができません》
- ・ 《マイアーティスタポータルとの接続に異常が発生しました。もう一度トライしてください》
- ・ 《ミシンの自己定期診断の時期です。以下のガイドに従って作業してください。
 - 1) 針板を取り外して、送り歯のまわりの糸くずを取り除いてください。
 - 2) 釜に注油して下さい。
 - 3) 詳しくは取扱説明書の 185 ページをご参照ください。》
- ・ 《ディーラー定期点検の時期になりました。最寄りのお買い上げ店にご連絡ください》
- ・ 《ディーラー定期点検がされておりません。次回定期点検の時期まで、このメッセージは表示されません》
- ・ 《メインモーターに異常が発生しました。釜まわりをチェックしてください》

説明

セットアッププログラムでモデムのセッティングを確認してから、再試行してください。

セットアッププログラムでモデムのセッティングを確認してから、再試行してください。

接続に問題が起きました。他のプロバイダーを選択するか、または再試行してください。

モデムを一旦はずして、再度取りつけてください。

「マイアーティスタ」ポータルでは、ヒントやニュースを検索するだけで、ファイルへのアクセスはできません。

「マイアーティスタ」ポータルに、再度接続してください。必要ならば、モデムを一旦はずして、再度取りつけてください。

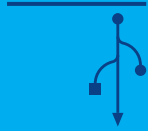
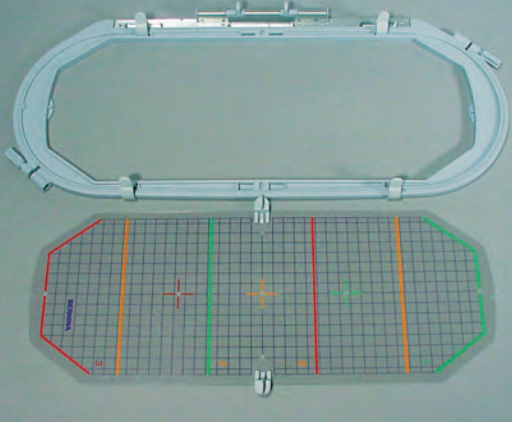
このお知らせは、およそ 18 万ステッチを縫うごとに表示されます。クリーニングおよび注油を完了したら、スクリーン上の「OK」をタッチしてください。この表示は、「ESC」をタッチすれば、一時的にクリアすることができますが、ミシンの電源を入れたとき、また表示されます。3 回、「ESC」でクリアすると、次に 18 万ステッチを縫うまで表示されなくなります。

ミシンをベルニナ正規取扱店に定期点検に出してください。このお知らせは、およそ 200 万ステッチを縫うごとに表示されます。定期点検後、ベルニナ正規取扱店では、ステッチカウンターを「0」に戻してお返しします。この表示は、「ESC」をタッチすれば、一時的にクリアすることができますが、ミシンの電源を入れたとき、また表示されます。3 回、「ESC」でクリアすると、次に 200 万ステッチ（前回と合計で 400 万ステッチ）を縫うまで表示されなくなります。

定期点検を励行されない場合、ミシンの正常な動作は保証できかねますので、ご注意ください。

釜開閉ふたを開きます。釜およびポビンケース周辺の糸くずを取り除いてください。必要ならば、電源を入れなおしてください。



			周辺機器 260 ベルニナコンピューターシステム 周辺機器の接続 アクセサリー 262 スーツケースシステム メガフープ 刺しゅうカード ベルニナアーティスタソフトウェア USB フラッシュメモリースティック
			

周辺機器およびアクセサリー

ベルニナ・コンピューター・システム

周辺機器（別売りオプション）を接続して、アーティスタ 730 のミシンを、刺しゅう用コンピューターシステムにすれば、趣味の手芸を、無限の可能性を持つ芸術へと進化させることも可能です。
マイアーティスタポータル（情報源）との直接の接続に加えて、OESD の USB フラッシュメモリースティックを使えば、もっとたくさんのデザインが手に入ります。

詳しくは、最寄りの買い上げ店にお問い合わせください。

周辺機器

アーティスタ 730 には、以下の外部機器の接続ができます。

- ・ ベルニナモデム
- ・ ベルニナイーサーネットカード

ご注意

周辺機器はすべて別売りオプションです。（国によって異なります。）

詳しくは、最寄りの買い上げ店にお問い合わせください。

周辺機器



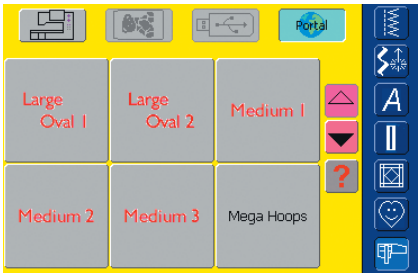
モデムおよびイーサーネットカード （マイアーティスタポータルへの接続に必要）

ベルニナモデムまたはイーサーネットカードを接続するだけで、マイアーティスタページにアクセスし、刺しゅうミシン専用プログラムされた特別なポータルページを見ることができます。ページは、アーティスタ 730 の画面で見られます。マイアーティスタのポータルページでは、ミシンにダウンロード可能なデザインが、刺しゅう枠のサイズによって分類されています。



モデムを接続するには

- ・ モデムを接続します
- ・ 《ポータル》をタッチします。
- ・ 接続に関するメッセージに《イエス》で確認します。
- ・ プロバイダーとの接続が完了したら、メッセージを《イエス》で確定します。
- ・ 開いた画面から、希望のサイズの刺しゅう枠を選択すると、刺しゅう用デザインの一覧が表示されます。



イーサーネットカードを接続するには

- ・ イーサーネットカードを接続します。
- ・ 《ポータル》を押します。
- ・ ミシンがインターネットの接続を探します。
- ・ 接続が完了すると、刺しゅう枠の描かれた画面が開きます。
- ・ ご希望のサイズの刺しゅう枠を選択します。
- ・ 選択した刺しゅう枠に合うサイズのデザインが表示されます。

マイアーティスタの内容は、逐次アップデートされます。

周辺機器の接続



周辺機器を接続するには

- ・ ミシンの右側にあるソケットに、周辺機器のプラグを接続します。(アイコンを目印に)

ご注意
外部機器の取扱説明書をご覧ください。



1. ベルニナモデム
ベルニナイーサーネットカード
ベルニナ刺しゅうカード



2. USB フラッシュメモリーステック

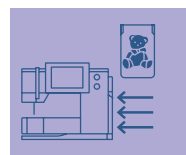


3. 刺しゅう機

4. PCの接続

注意
ベルニナアーティスタ730には、ベルニナ製の周辺機器を使用してください。

最寄りのお買い上げ店にお問い合わせください。



ベルニナ社では、アーティスタ 730 のソーイングおよび刺しゅう用システムの付属品として、多くのオプションを用意しております。詳しくは、最寄りのお買い上げ店にお問い合わせください。

スーツケースシステム

ミシンの持ち運びに大変便利な、キャスター付きスーツケースができました。標準アクセサリおよび特殊アクセサリを収納する場所もありますので、特に刺しゅう機の移動には、非常に便利です。



アクセサリ

ご注意
ミシンをホコリや湿気から守る、このスーツケースシステムは、短距離の移動に最適です。

ミシン用スーツケース

- ・ バッグおよびコンパートメントを取り外し、画面を前面に向けた形でミシンを収納します。
- ・ 取り外したバッグとコンパートメントに、標準アクセサリを収納して、スーツケースに戻します。
- ・ バッグには、特殊アクセサリを収納しましょう。



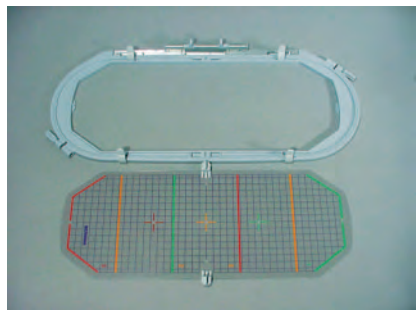
刺しゅう機用スーツケース

- ・ バッグおよびコンパートメントを取り外し、刺しゅうアームを前面に向けた形で刺しゅう機を収納します。
- ・ 取り外したバッグとコンパートメントに、標準アクセサリを収納して、スーツケースに戻します。
- ・ バッグには、特殊アクセサリを収納しましょう。



注意
飛行機、長距離バスまたは電車で移動する際には、スーツケースは必ず手荷物にするか、または「精密機械」として扱うようにしてください。通常の荷物として預けることは、絶対におやめください。

メガフープ



非常に大型のデザインや大きなデザインのコンビネーション、または長いボーダーを刺しゅうするには、この特大の枠が便利です。特大刺しゅう枠には、刺しゅうを開始する位置が3点あります。特大刺しゅう枠を置き直した場合には、ミシンが停止し、1番、2番、3番のどの点に移動すべきかのメッセージが表示されます。

アーティスト 730 では、同梱された VRA.00 のテンプレートと一緒にお使い下さい。



メガフープを使うような、特大サイズのデザインは、刺繍デザインスティックや刺しゅう CD-ROM などに含まれています。また、マイアーティストポータルからもダウンロードできます。(ベルニナモデムまたはベルニナイーサーネットカードを接続してご利用下さい)。

ご注意
メガフープには、専用の取扱説明書がついています。

刺しゅうカード

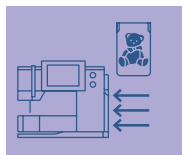


① 刺しゅうカード
挿入スロット

様々なデザインが収められたベルニナ・デザインカードだけでなく、オリジナルの刺しゅうデザインやステッチ・コンビネーションをご自分用に保存するために、ブランクのメモリーカードもオプションでご用意しています。

ベルニナ・デザインカードには、テーマ別にたくさんの刺しゅう用デザインが収められています。デザインのテーマは、どんどん増え続けています。

ブランクカード同様、旧来のベルニナ・デザインカードも一部を除いてご利用いただけます。



刺しゅうカードを挿入する

- ・ ミシンの右側面にある挿入スロットに、デザインカードをしっかりと差し込みます。
- ・ 画面上で、デザインを開き、表示できます。

刺しゅうカードを取りはずす

- ・ 刺しゅうカード取り外しボタンを軽く押します。
- ・ ボタンが中から出てきます。
- ・ ボタンを強く押し込みます。
- ・ 刺しゅうカードが、ミシンの挿入口から押し出されてきます。
- ・ カードを取り外します。

注意
刺しゅう機が動いている最中に、カードを取り出さないようにご注意ください。

メモ：
アーティスト 180 用などの旧来のデザイン・カードを使うときは、デザインカードに添付された色見本チャートをご参照下さい。

USBフラッシュメモリースティック



② USB スティック用ソケット

ベルニナの刺しゅうデザインを収録した USB スティックの他に、ブランドのメモリースティック（ベルニナパーソナルメモリースティック）もオプションでご用意しています。刺しゅうデザインやデザインのコンビネーションを保存するのにご利用ください。

ベルニナの刺しゅう関連子会社の OESD 社には USB スティックの刺しゅうデザインがテーマ別に豊富に取り揃えられています。デザインリストは、www.embroideryonline.com、またはお近くのベルニナ正規取扱店をご覧ください。

USB刺しゅうデザインスティックを接続するには

- ・ USB スティックをミシンの USB スロットに差し込むと、USB アイコンが点灯します。
- ・ USB アイコンをタッチすると内容がスクリーンに表示されます。

USB刺しゅうデザインスティックを取り外すには

- ・ スティックを引き抜いてください。

ご注意

異なる刺しゅうデザインスティックからデザインを集めて合成したい場合には、まず個々のデザインをミシンのメモリーに保存します。（248 ページから 249 ページをご参照ください）。その後、メモリーに保存したデータを合成して、一つのデザインに仕上げます。

ご注意

刺しゅう作業進行中に、刺しゅうデザインスティックをミシンから引き抜かないようにご注意ください。

ベルニナアーティスタ刺しゅう用ソフトウェア



③ パソコンコネクター

デザインを PC 上で合成したり、拡大したり、変更を加えるには、ベルニナ・デザイナー刺しゅうソフトウェアを使いましょう。このソフトを使えば、イラストや写真から、まったくオリジナルのデザインを創り出して刺しゅうすることも可能です。

デザインのプロセスは、簡単です。まず下書きをした図柄から、またスキャナーやデジタル・カメラで取り込んだ画像から、最後にデザインをステッチ用に変換するまで、すべて簡単な操作で作業することができます。

完成したオリジナルデザインは、ミシンに同梱された USB コードを通して、直接ミシンに転送して、刺しゅうすることができます。

USBコードでパソコンとミシンを接続する

- ・ ミシンに同梱されている USB コードを、ミシンの右側面にあるソケットに接続する。

刺しゅうデザインの保存先

- ・ パソコン
- ・ アーティスタ 730 刺しゅうミシン
- ・ 空のデザインカード
- ・ ベルニナ USB フラッシュメモリースティック

その他のアクセサリーについては、最寄りのベルニナ正規販売代理店にお問い合わせください。

警告：

パソコンからミシンへ刺しゅうデータを転送、またはその逆の操作を完了したとき、必ず USB ケーブルをミシンから取り外してください。

ご注意

ベルニナアーティスタ刺しゅう用ソフトウェアには、取扱説明書がついています。

用語集

追加する

- ・ 《追加する》とは、何かを追加してコンビネーションを作成する、デザインを合成すること。
- ・ 《新しいデザインを追加する》等。

自動

- ・ ボタンホールを縫う際に表示される。
- ・ 送り長さがプログラム済みの場合、《自動》が表示される。ボタンホールがプログラム済みの長さに、自動的にステッチされる場合、等。

自動、繰り返し

- ・ 《繰り返し》とは、やり直しをすること。つまり、《自動繰り返し》というのは、自動的に何かの作業を繰り返すということ。
- ・ 外部の針基線ボタンを押しつづけると、針の位置は、速い速度で自動的に移動します。

バランス

- ・ ステッチまたはデザインのバランスをとる、というのは、ステッチまたは横送り縫いのゆがみを補正するという意味。

測定（キャリブレーション）

- ・ 画面の感度を調整する。
- ・ 《測定》とは、画面のセッティング時に、測定の単位を決定することをいいます。

チェック

- ・ チェックすること。
- ・ 刺しゅうするときには、ミシンが、どの刺しゅう枠を使うかをチェックし、それからデザインの位置をチェックするのに、布をあちこち動かします。

クリアー

- ・ クリアーする、削除する
- ・ 機能またはコマンドを削除して、もともとの設定に戻します。

複製する

- ・ 同じものを2つ作成するという意味。
- ・ デザインを複製するというのは、あるデザインをコピーして、貼付けを同時に実行すること。

編集する

- ・ 編集する、書込みをする、印刷の準備をする等。
- ・ 反転、サイズ変更等のデザインの編集は、デザインメニューの編集画面1または2で行ないます。

ESC

- ・ 機能を閉じる、元の位置に戻る等をいいます。（例・画面のセッティングを元に戻す、等）

秋

- ・ アーティスタ730の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分類されています。春、夏、秋、冬です。

ヘルプ

- ・ ヘルプメニューのことです。
- ・ ソーイングおよび刺しゅうミシンの、ステッチや機能についての説明をするプログラムです。

履歴（ヒストリー）

- ・ 記録
- ・ アーティスタ730では、最近使ったステッチを、過去15個までさかのぼって《履歴》機能に保存します。

マニュアル

- ・ 手動で。
- ・ マニュアルのボタンホールは、4段階または6段階で縫われます。（ボタンホールのタイプによります）。マニュアルで、画面上の位置を変更していきます。

メガフープ

- ・ 《特大》の刺しゅう枠です。
- ・ 特大のデザイン、または長いボーダー等を刺しゅうするのに使います。

メモリー

- ・ 《保存》する場所のこと。
- ・ プログラムおよびデータは、ここに保存されます。
- ・ ステッチコンビネーションやデザインを保存するには、ミシンのメモリーを使います。

メニュー

- ・ 機能の一覧表。

モデムおよびイーサネットカード

- ・ モデムおよびイーサネットカードは、電話回線を通じてデータをミシンに転送する役割をします。

新規

- ・ 新しいもの
- ・ 新しいデザインを開く、等。

OK

- ・ 何かの質問を確定する返事。
- ・ 指定したコマンド、または変更したものを確定するときを使う。

PC

- ・ パーソナルコンピュータの略。

周辺機器

- ・ コンピューターシステムの中心機器ではないもの。
- ・ アーティスタ 730 では、モデムやイーサネットカード等。

ポップアップ

- ・ ポップアップメニューのこと。
- ・ 選択肢のリストを載せたメニューで、エントリーバーの横の矢印をタッチすると表示されます。

ポータル

- ・ «入り口»。
- ・ アーティスタ 730 の情報源
- ・ アーティスタ 730 のポータルは、マイアーティスタポータルです。モデムまたはイーサネットカードを接続して、ポータルの機能を選択すると、アクセスでき、デザインのダウンロード等が可能になります。

プロバイダー

- ・ コミュニケーションサービス（インターネットへのアクセス等）を提供してくれる業者。
- ・ マイアーティスタポータルへのアクセスは、プロバイダーを通じて行ないます。いろいろな業者がいるので、どれかと契約します。マイアーティスタポータルと接続するには、業者の名前、番号、ユーザーネームおよびパスワードを入力します。

布のひきつれ補正

- ・ デザインのステッチ間が開きすぎる、またはステッチが重なる等の調整をすること。
- ・ アウトラインがきれいでない、またはデザインがゆがんでしまった等の場合に使います。

準備、準備完了

- ・ 刺しゅうメニュー（準備完了）では、すぐにステッチを開始できることを意味します。

レコード

- ・ 記録すること。
- ・ ステッチカウンターは、いくつかのステッチを使うべきかをプログラムします。
- ・ ステッチカウンターでは、ボタンホールステッチされた長さを記録します。

リセット

- ・ 元の状態に戻すこと。
- ・ «元のセッティングに戻す»等。

スクロール

- ・ ブラウズすること。
- ・ ファイルのすべてを表示できないとき、«スクロール»して、画面の全体を見ることになります。

センサー

- ・ シグナルを受け取るもの。センサーで測定する場合もあります。

セットアップ

- ・ 決定する、開始するの意味。
- ・ 構成
- ・ セットアッププログラムでは、デフォルトのセッティングを自分の好みに変更することが可能です。

ソフトウェア

- ・ プログラムのこと。（コンピュータープログラム）。
- ・ ハードウェア（コンピューターの外形）に対する言葉。

春

- ・ アーティスタ 730 の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分けられています。春、夏、秋、冬です。

夏

- ・ アーティスタ 730 の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分けられています。春、夏、秋、冬です。

タッチ画面

- ・ センサー画面。
- ・ 画面上のボタンに指またはペンでタッチして、コマンドを選択できるタイプのもので。

チュートリアル

- ・ セルフヘルプ（自分でできる）プログラム。ソーイングおよび刺しゅうに関する様々な情報を得られます。

アップデート

- ・ 最新版。
- ・ コンピューターソフトウェアをアップデートする、というのは新しいバージョンをインストールする、またはプログラムの一部をアップデートすることをいいます。

アップグレード

- ・ よりレベルの高いものに更新すること。
- ・ ミシンをアップグレードする、というのは、ミシンの機能を高めたり、使える機能の数を増やしたりすることをいいます。

USB

- ・ ユニバーサル・シリアル・バス
- ・ ペルニナミシンでは、周辺機器の接続に、USBコードを使います。

ウィンドウズCE

- ・ CEとは、コンシューマー・エレクトリックの頭文字です。
- ・ アーティスタ 730 のミシンに使われているシステムです。

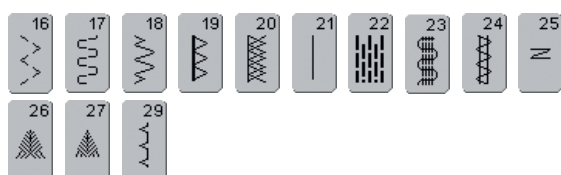
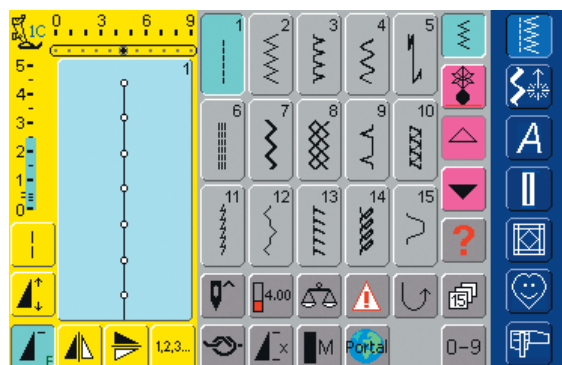
冬

- ・ アーティスタ 730 の刺しゅうデザインは、四季をテーマに分けられています。春、夏、秋、冬です。

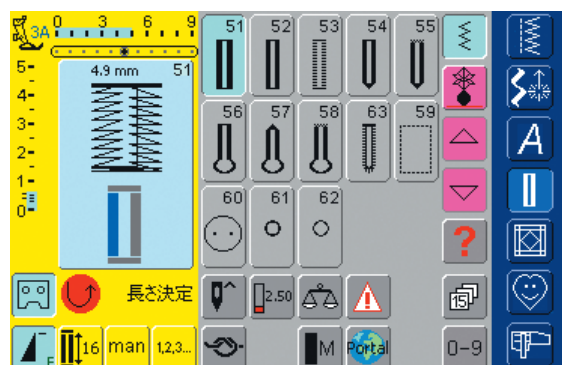
ズーム

- ・ 拡大、サイズ変更をいいます。
- ・ デザインの表示を《ズーム》して、拡大縮小して見ることができます。

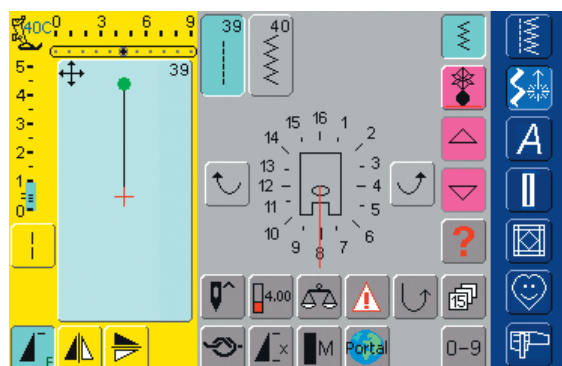
実用縫い



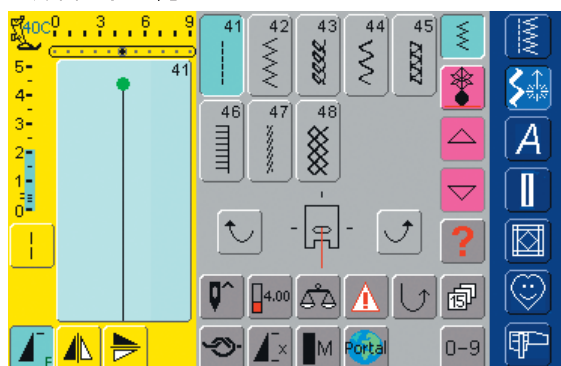
ボタンホール



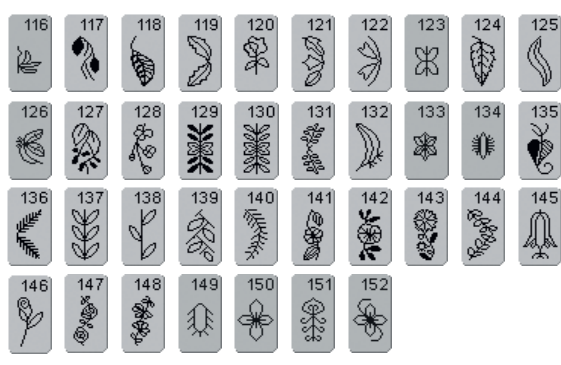
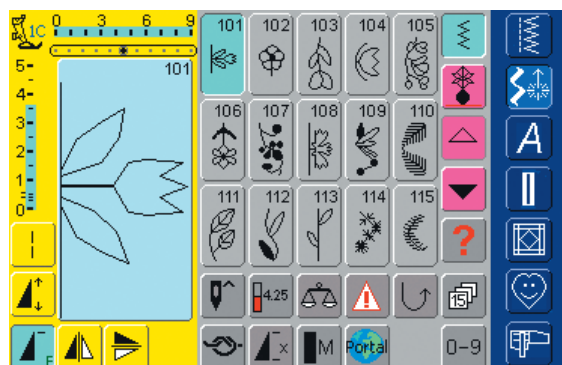
16方向縫い

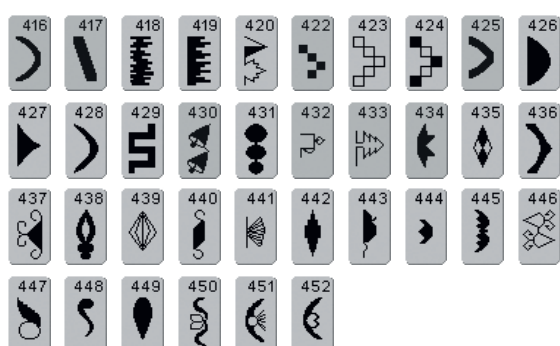
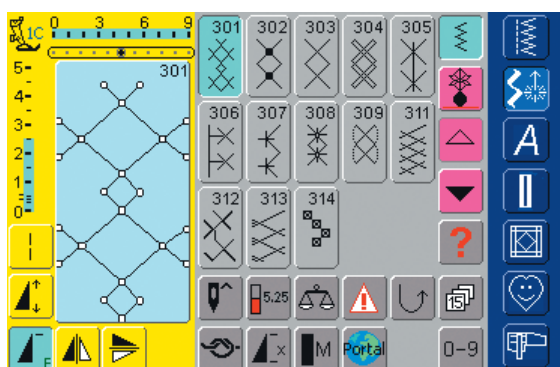
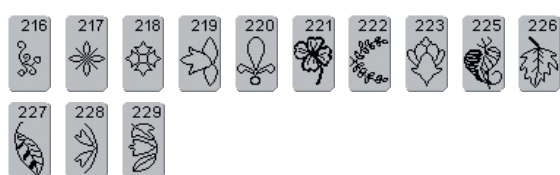


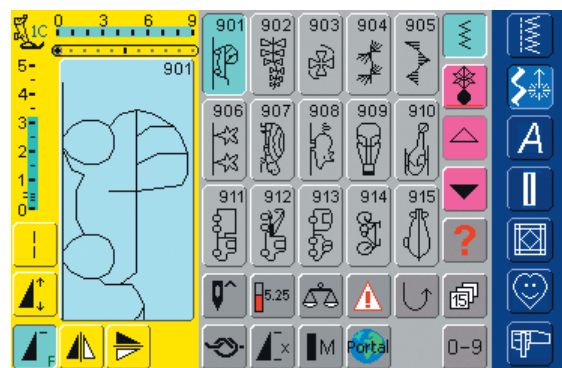
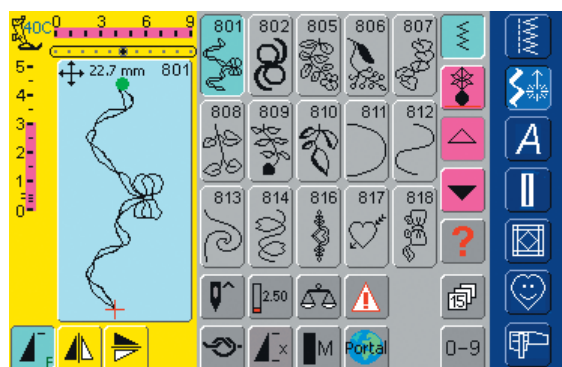
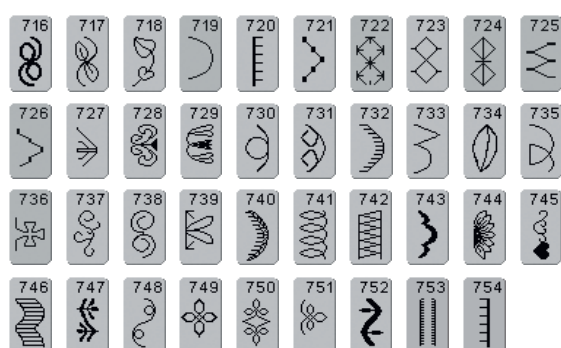
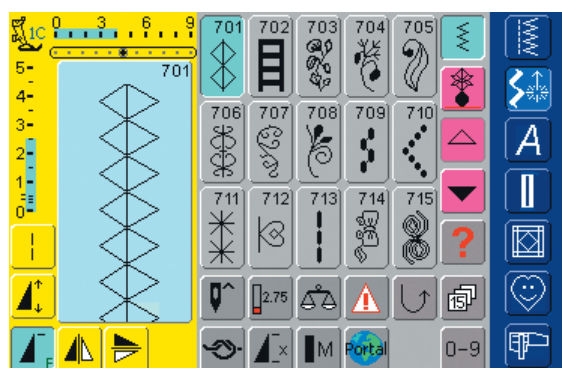
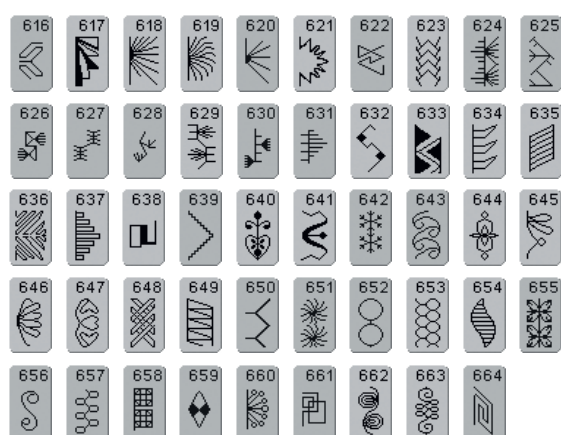
4方向パッチ縫い

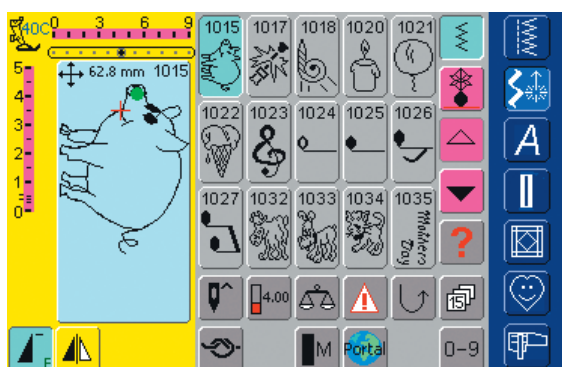


飾り縫い 9mm と 40mm

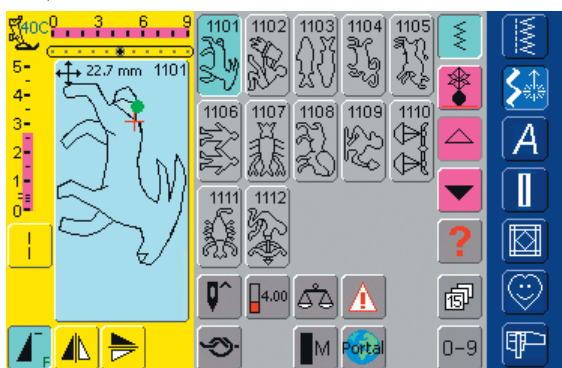




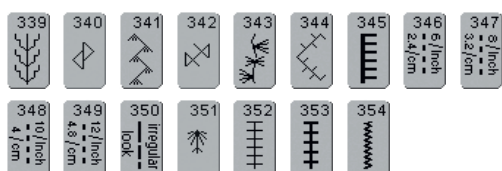
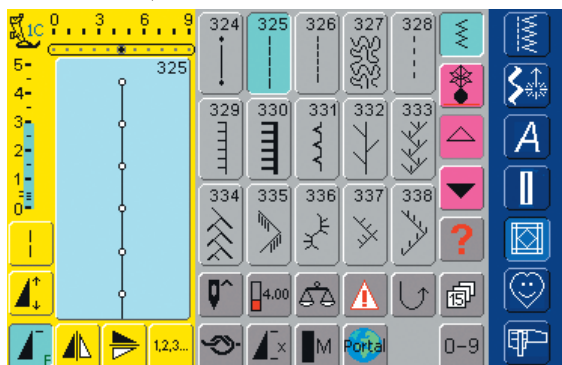




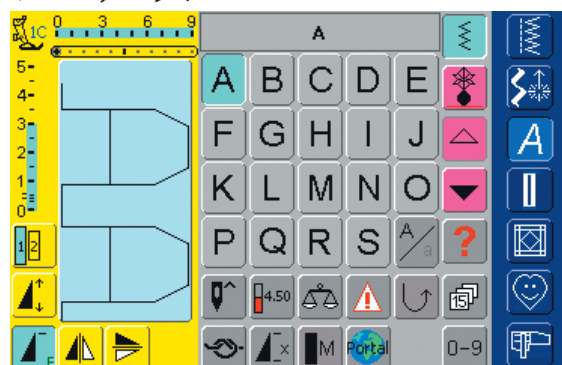
星占い



キルトステッチ



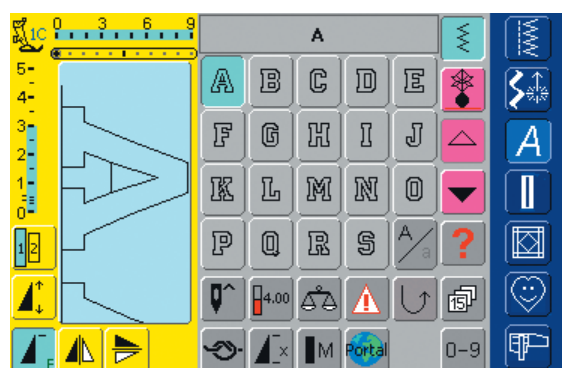
アルファベット



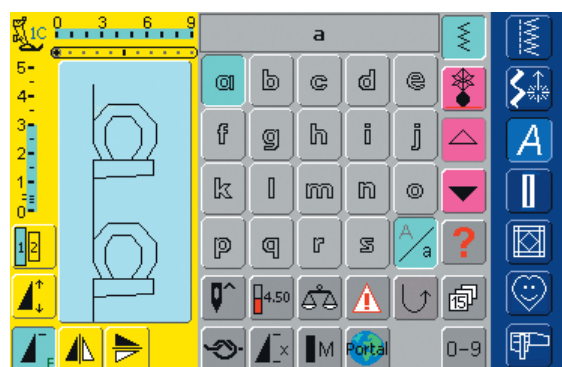
T U V W X Y Z Ä Ö Ü
 Å Æ Œ Ø Ñ È É Ê Æ Å
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
 - - . ' ! + = & ÷ ?
 % & @ () []



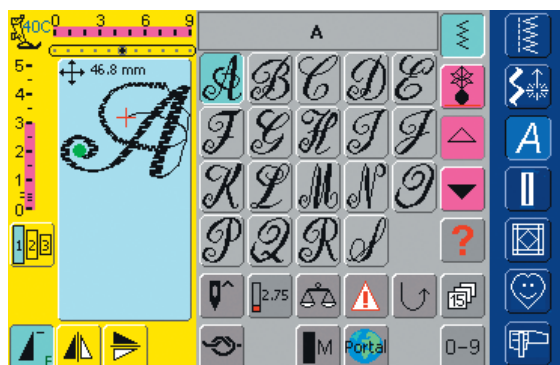
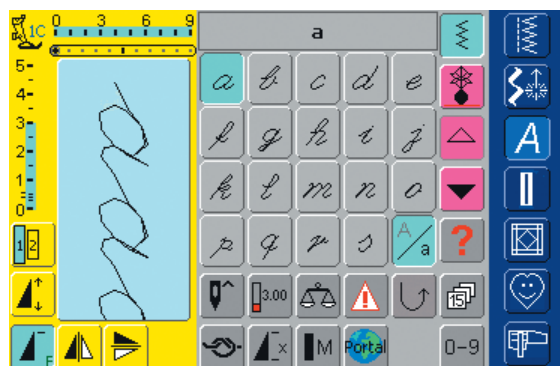
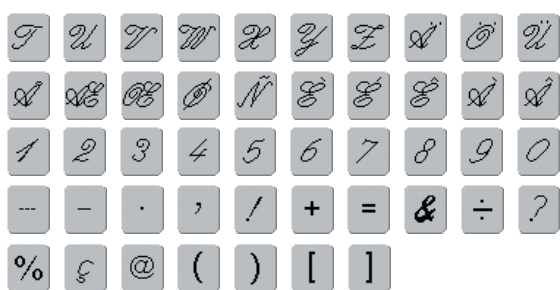
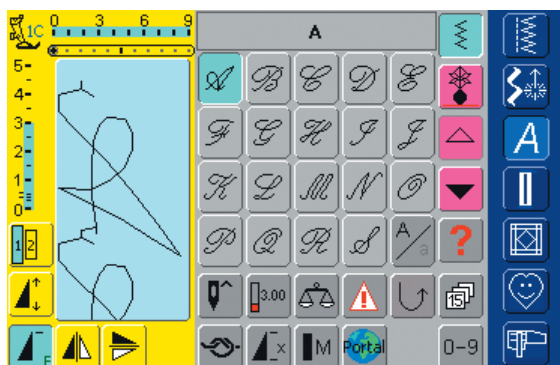
t u v w x y z ä ö ü
 å æ œ ø ñ è é ê æ å



T U V W X Y Z Ä Ö Ü
 Å Æ Œ Ø Ñ È É Ê Æ Å
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
 - - . ' ! ? % & @ (
) []



t u v w x y z ä ö ü
 å æ œ ø ñ è é ê æ å



春



水仙の花



↑ 160
↓ 137



51



アイリスの花



↑ 171
↓ 137



52



小さなパンジー



↑ 57
↓ 37



12



フラワーリース



↑ 96
↓ 98



11



蝶



↑ 61
↓ 94



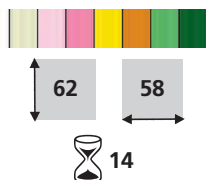
27

88 幅 (mm単位)
↑ 127 高さ (mm単位)
⌚ 51 刺しゅうに要する時間 (分単位)

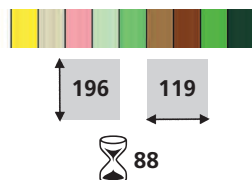
夏



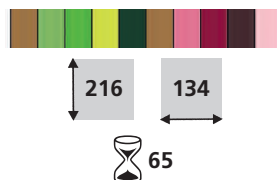
小さな野バラ



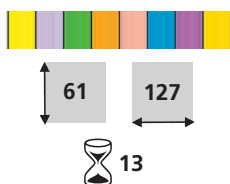
白いバラ



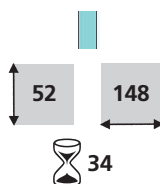
フューシャ



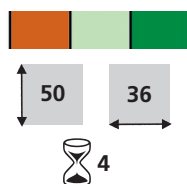
花と蝶



レースのボーダー



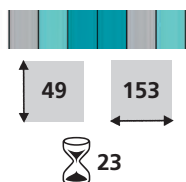
デイズー



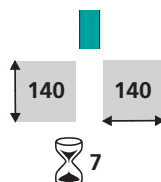
秋



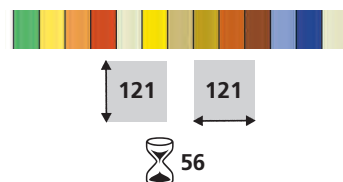
3つのキルト



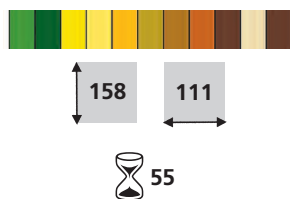
キルトのアウトライン



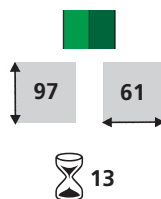
マッシュルーム



ひまわり



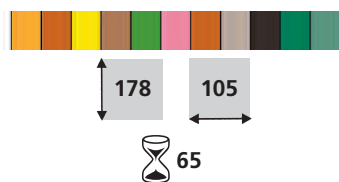
ぶどうの葉



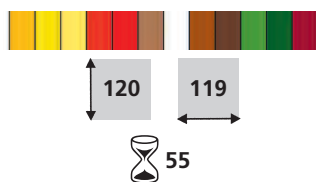
冬



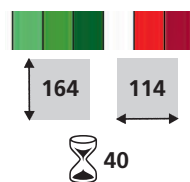
まつぼっくり



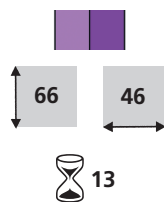
ひいらぎと小鳥



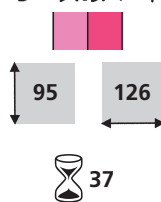
ひいらぎとハート



王家のタッセル



レースのハート



アルファベット一覧表

Alice
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

Alice

アリス: 高さ 8-50mm

Blackboard
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

Blackboard

ブラックボード: 高さ 8-50mm

Childs Play
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m
n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

Childs Play

チャイルドプレイ: 高さ 13-30mm

Cursive
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

Cursive

カーシブ: 高さ 7-60mm

Drifter
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

Drifter

ドリフター: 高さ 6-40mm

King Charles
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

King Charles

キングチャールズ: 高さ 8-50mm

Lisa
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

Lisa

リサ: 高さ 13-75mm

London
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 . , / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

London

ロンドン: 高さ 8-50mm

Swiss Block
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
., / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß
à á â ã ä å æ ç è é ê ë ì í î ï
ñ ò ó ô õ ö ø ù ú û ü ý þ ß

Swiss block

スイスブロック: 高さ 6-60mm

Varsity Block
A B C D E F G H I J K L M
N O P Q R S T U V W X Y Z
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
., / ? ! @ # \$ % & * () - ' " : ; < > =
À Á Â Ã Ä Å Æ Ç È É Ê Ë Ì Í Î Ï
Ñ Ò Ó Ô Õ Ö Ø Ù Ú Û Ü Ý Þ ß

Varsity block

バーシティブロック: 高さ 6-35mm

索引

ア		各種機能・ステッチ番号入力	33
アイレット	133	各種機能・セキュリティ（安全）機能	32
アクセサリ	262-264	各種機能・ソーイング・スピード	32
アクセサリ・アーティスト 刺繍ソフト	264	各種機能・止め縫い機能	32
アクセサリ	10	各種機能・針上下停止位置選択機能	31
アクセサリ・刺繍カード	263	各種機能・ボタンホールサイズ数値入力	31
アクセサリ・刺繍USBフラッシュメモリー	264	各種機能・ボタンホール長さをプログラム	31
アクセサリ・刺繍メガフープ	263	各種機能・マイ・アーティスト・ポータルサイト	33
アクセサリ・刺繍用	197-198	各種機能・マニュアル4-6 ステップボタンホール	31
アクセサリボックス	10	各種機能・マルチ機能ボタン	31
アルファベット	97-108	各種機能・組せの分割機能（1）	31
アルファベット・サイズを変える	101	各種機能・メモリーの分割機能（2）	31
アルファベット・まとめ	98	各種機能・メモリーボックス	33
アルファベット・モノグラム・サイズ1	104-106	各種機能・モノグラム(イニシャル)サイズ	31
アルファベット・モノグラム・サイズ2・3	107-108	各種機能・模様頭だし機能	30
アルファベット・モノグラムのサイズについて	103	各種機能・模様拡大機能	30
アルファベット・レタリングと機能を組合せる	101-102	各種機能・模様の左右反転	30
アルファベット・小文字を選択する	101	各種機能・連続返し縫い機能	33
アルファベット・組合わせ訂正する	102, 108	各種機能・ロングステッチ機能	30
アルファベット・文字タイプの選択	99	飾りキルトステッチ	142
アルファベット・文字を組合せる	100	飾りステッチ・9ミリ幅	76
イ		飾りボタンホールを縫う	131
糸が切れたら・刺しゅう	254	飾り縫いステッチ	73-96
イーサネットカード	192-193, 260	画面外部の機能	28
ウ		外部操作ボタン	213
上糸をセットする	14, 201	外部機能・ステッチ振り幅調節ノブ	213
エ		外部機能・刺繍・ソーイング・モード	213
エアルームテクニック	82	外部操作機能	205
エラスティックシャーリング	63-66	キ	
糸こま立て		機能の選択方法	24
糸こま立て・（垂直）	16	キルトステッチ	135-152
糸こま立て・（水平）	13, 14, 16, 201	キルトステッチ・いろいろなテクニック	137
オ		キルトステッチ・飾り縫いキルトステッチ	142
オーバーロック縫いでリブ付け	59	キルトステッチ・キルティング用留め縫いステッチ	138
お気に入りボタンのカスタマイズ	170	キルトステッチ・サテンスステッチ	143
オンスクリーンの機能と画面表示	29	キルトステッチ・手縫い風キルトステッチ	141
送り歯をセンサー	33	キルトステッチ・ピーシング用直線縫いステッチ	140
カ		キルトステッチ・布端を折り返したアップリケ	143
各種機能		キルトステッチ・フリーハンドキルティング	148
各種機能・糸テンション	32	キルトステッチ・ブランケットステッチ	145
各種機能・一模様縫い機能	32	キルトステッチ・各種ステッチ	136
各種機能・押え金番号表示	30	チュートリアル	179-180
各種機能・大文字・小文字	31	ク	
各種機能・送り歯センサー機能	33	組合わせ・実用縫いと飾りステッチ	79
各種機能・削除	31	クリーニングおよびメンテナンス	185
各種機能・種類の上下模様反転	30	クリエイティブコンサルタント	181-182
各種機能・ステッチ・カウンター	31	クロスステッチ	81
各種機能・ステッチ・ヒストリー	33		
各種機能・ステッチバランス	32		

コ

工場出荷時の基本設定にリセットする	175
コバステッチ	46
故障かな?、と思ったら	186, 255
ゴムひも付け	63-66
コンシールファスナー	46

サ

サテンステッチ	143
---------	-----

シ

刺繍	
刺繍・アウトラインステッチ	217
刺繍・アンダーレイ(下地)ステッチ	216
刺繍・各種のステッチタイプ	216-217
刺繍・サテンステッチ	216
刺繍・ジャンプステッチ	217
刺繍・ステッチ一覧表	268-273
刺繍・ステッチメモリー	39
刺繍・たたみステッチ	216
刺繍・デザインコレクション	274-277
刺繍・ファンシー・フィルステッチ	217
刺繍・ボーダー	245
刺繍・レース	244
刺繍を綺麗に仕上げるには	207-214
刺繍アルファベット	234-239
刺繍アルファベット・文字を修正する	234
刺繍アルファベット・文字を組合せる	234
刺繍アルファベット・模様とレタリングを組合せる	238-239
刺繍アルファベット・レタリングのサイズを変更する	235-237
刺繍アルファベット・レタリングの移動	235-237
刺繍アルファベット・レタリングを組合せる	237-238
刺繍データを最適化する	228
刺繍テスト	216
刺繍デザイン	224-225
刺繍デザイン・デザインの細部をズームイン	225
刺繍デザイン・デザイン案内	224
刺繍デザイン・枠を選択する	224
刺繍デザインを選択する	202-203
刺繍について	215-239
刺繍のセットアップ	167
刺繍の一般的な知識	208
刺繍の機能と画面	206
刺繍の機能と画面・上系テンション調節	211

刺繍の機能と画面・チェック	207
刺繍の機能と画面・カラーインフォメーションバー	211
刺繍の機能と画面・カラーデザインの表示	208
刺繍の機能と画面・左右反転	209
刺繍の機能と画面・削除	208
刺繍の機能と画面・刺繍インフォメーション	207
刺繍の機能と画面・刺繍サイズ	207, 211
刺繍の機能と画面・刺繍時間	207, 211
刺繍の機能と画面・刺繍スピード	212
刺繍の機能と画面・単色・多色切替	212
刺繍の機能と画面・刺繍デザインの中心点	207
刺繍の機能と画面・刺繍模様を移動する	209
刺繍の機能と画面・刺繍枠のリロケーター	211
刺繍の機能と画面・刺繍枠の表示	211
刺繍の機能と画面・刺繍枠を移動する	212
刺繍の機能と画面・刺繍枠を選択する	207
刺繍の機能と画面・比例して模様を変換	209
刺繍の機能と画面・刺繍プロパティ	210
刺繍の機能と画面・編集画面	211
刺繍の機能と画面・編集画面 1	207
刺繍の機能と画面・編集画面 2	207
刺繍の機能と画面・模様コピー	208
刺繍の機能と画面・模様を加える	208
刺繍の機能と画面・次ページ - 編集 1	210
刺繍の機能と画面・次ページ - 編集 2	209
刺繍の機能と画面・デザインの拡大	208
刺繍の機能と画面・デザインの検索(リトリブ)	208
刺繍の機能と画面・デザインの下上反転	209
刺繍の機能と画面・デザインを回転する	209
刺繍の機能と画面・デザインを保存する	209
刺繍の機能と画面・デザイン模様の高さ及び幅を変更	209
刺繍の機能と画面・ヘルプ	208, 212
刺繍の機能と画面・罫線を表示	208
刺繍の準備をする	196
刺繍を始める	196
刺繍機の準備	201
刺繍機を取り付ける	191
刺繍機能一般	
刺繍機能一般・ESC(戻る)	29, 206
刺繍機能一般・OK	29
刺繍機能一般・ヘルプ	29, 206
刺繍機能一般・メニュー画面に戻る	206

刺繍機能一般・下にスクロール	29, 206		
刺繍機能一般・回転する系こま表示	206		
刺繍機能一般・上にスクロール	29, 206		
刺繍糸	218		
刺繍用アクセサリ	198		
刺繍用のデザインを選択する	202		
刺繍用安定紙	219-220		
刺繍枠に布を張る	222		
刺繍枠を取り付ける	204		
刺繍枠を選択する	204, 207		
しつけ縫い	49		
下糸をセットする	13-14, 201		
自動糸切り装置	28, 213		
自動返し縫い直線ステッチ	42		
実用縫い	35-72		
周辺機器	192		
周辺機器の接続について	191-194		
伸縮オーバーロック	56		
ジグザグステッチ	50		
シャドー刺繍	246		
ジャージーステッチとヘムステッチ	58		
16方向縫い（パノラマ縫い）	94		
ス			
スーパーストレッチステッチ	56		
ズーム機能	225		
ステッチ組合せの保存および削除	158-159		
ステッチの組合せ・ステッチ変更エリアを空にする	159		
ステッチの組合せ・メモリーから削除する	162		
ステッチの組合せ・メモリーの確認	160		
ステッチの組合せ・空のメモリーを開く	160		
ステッチの組合せ・組み合わせステッチを反転する	162		
ステッチの組合せ・組合せを修正する	161		
ステッチの組合せ・組合せを分割する	162		
ステッチの組合せ・組合せ方と保存の仕方	158-159		
ステッチの組合せ・保存した組み合わせステッチを呼び出す	160		
ステッチの組合せを保存、または削除する	157-162		
スクリーンの表示	23		
ステッチの一覧表	268-273		
ステッチの削除	155		
ステッチの選択	155		
ステッチの変更	156		
ステッチ密度	242		
ステッチメモリー機能	24, 39		
ストレッチ縫い	56		
		セ	
		セットアップ・スクリーン	165
		セットアッププログラム	163-175
		セットアッププログラム・ウエルカムメッセージ	165
		セットアッププログラム・お気に入り機能をセットする	170
		セットアッププログラム・画面設定	165
		セットアッププログラム・刺繍設定	167-168
		セットアッププログラム・ソーイング設定	166
		セットアッププログラム・タッチスクリーン	169
		セットアッププログラム・ハードウェア	175
		セットアッププログラム・ソフトウェアおよび言語	170-171
		セットアッププログラム・まとめ	164
		セットアッププログラム・メッセージとオーディオの設定	172-173
		セットアッププログラム・プロバイダーの設定	174
		セットアッププログラム・工場標準設定に戻す	175
		ソ	
		操作説明	11
		ソーイングおよびミシンに関するサポート	177-190
		ソーイング機能のセッティング	166
		タ	
		ダーニング（自動つくろい縫い）	67
		タッチスクリーンの感度リセット	169
		ダブルオーバーロック	55
		チ	
		チュートリアル	179
		直線ボタンホールを縫う	127
		直線縫い	41
		テ	
		手縫い風キルトステッチ	141
		デザインを移動・デザインの高さと幅を変える	230
		デザインを移動・デザインを拡大及び縮小する	229
		デザインを移動・デザインを反転させる	227-228
		デザインを移動する	227-230
		デザインを加える	231
		デザインを刺繍する	204
		デザインを調節	242
		デザインガイド	224
		デザインの色編集	240-241
		デザインの色・色別に刺繍する	241
		デザインの色・デザインの色と糸のメーカーの選び方	240
		デザインの色・デザインを単色で塗りつぶすには	241
		デザインの色・レタリングを色別に刺繍するには	241
		デザインの組合せ	231-233
		デザインの組合せをコピーする	231

デザインの組合せを作る	232	BSR でキルティング・BSR を起動する	149-152
デザインの保存と削除	247-225	BSR でキルティング・直線縫いとジグザグ縫い	149
デザインの保存と削除・デザインカードに保存する	249	BSR でキルティング・警告ブザーのオン・オフ	151
デザインの保存と削除・デザインを書き込む	250-251	BSR でキルティング・BSR モード1	149
デザインの保存と削除・フラッシュメモリーに保存する	250	BSR でキルティング・BSR モード2	149
デザインの保存と削除・保存したデザインを一つ削除する	251	BSR でキルティング・BSR ソーイング機能を起動する	151
デザインの保存と削除・保存したデザイン全てを削除する	252	BSR でキルティング・概略説明	149
デザインの保存と削除・ミシンに保存する	248-249	BSR でキルティング・準備	150
デザインの位置を決める・デザインを移動する	226	フ	
デザインのレイアウト・デザインを回転させる	226	布、針、糸	17
デザインのレイアウト・デザインの位置をチェック	227	布を刺繍枠にセットする	221-222
デザインのレイアウト・デザインセンターをチェックする	227	ファスナー付け	45
デザインメニュー編集	207	縁縫い	43
デザインモード選択画面	202	フライステッチ	72
電源スイッチ	11	ブランケットステッチ	145
ト		フリーアーム・アダプターを接続するには	200
トラブルシューティング	186	フリーアーム刺繍	243
トリプルジグザグ	51	フリーハンドキルトステッチ	148
トリプル直線ステッチ	48	フリーハンド刺繍	70
ニ		プロバイダーのセッティング	174
ニット地を縫う方	53	ハ	
2本針による緑かがり	60	へムステッチ	83
ヌ		ヘルプ	178
布端にオースキャロップを縫う	87	ホ	
織地の緑を補強する	62	ポピンケース	
ネ		ポピンケース・取り付け方と取り外し方	13
ネットステッチ	54	ボタンホール	110
ハ		ボタンホール・芯糸を入れたボタンホール	114
バータック	71	ボタンホール・ステッチカウント式	123
端を折り反したアップリケ	146	ボタンホール・はと目	121
針について	18-19	ボタンホール・マニュアル式	125
バランス	183	ボタンホール・メモリーに記憶	118
バランス・ボタンホール	113	ボタンホール・玉縁	129
バランス・ステッチと装飾用のステッチ	183	ボタンホール・自動	116
バランス・横送り縫い	184	ボタンホール・手縫い風	122
バリオーバーロック縫い	55	ボタンホール・標準とストレッチタイプ	119
ヒ		ボタンホール・寸法を直接入力する	116
スカラップ	88	ボタンホール・高さ調節板の使い方	115
ピンタック	84	ボタンホールの各種機能	111
BSR でキルティング	149	ボタンホールを上手に縫うには	112
		ボタンを縫い付ける	132

マ	
マイプログラム	153-156
マイプログラム・ステッチを変更する	156
マイプログラム・ステッチを削除する	155
マイプログラム・プログラミング画面	154
マイプログラム・ステッチを選択する	155
まとめ	5
まつり縫い	52
刺繍デザイン・マイアーティストポータルからダウンロード	203
ミ	
ミシン本体内臓刺しゅうデザイン	202
ミシンのセットアップ方法	11
メ	
メニュー	26-27
メッセージとシグナル音のセッティング	188-190, 256-258
モ	
モデム	192-193, 260
ユ	
ユニバーサルステッチ・エラスティックゴムを縫う	64
USB(ユートリアルガイド用)	193
ヨ	
横送りステッチ	89-93
横送りステッチ・16 方向・自動横送り縫い	94
4 方向縫い	96
用語辞典	265-267
レ	
レタリング	97-108
レタリングの組合せ	237-238
レタリングの組合せ (9mm)	100
ロ	
ロングステッチ	40

BERNINA®



Mettler 